絵を見ながらたのしく編める
レーシーニット
貞包八重著
1日で編めるやさしいテクニックとシンプルなデザイン
春夏の素材と編機の特長をいかした斬新なアイディア作品集
日本ヴォーグ社

ブラザー編機 バリエ カネボウ サマーベル 170g 編み方88頁
衿もとにたっぷりギャザーを入れた、着やすいブラウス。
には、いつでも、だれでも着られる良さがあります。
YO'S NEEDLECRAFT
940 E. DOMINGUEZ #0
CARSON, CA. 90746
(213) 515-6473

ブラザー編機 デリカ カネボウ ウェディングベル 215g 編み方88頁

2

3

メッシュ編のカーディガン。同じ編み柄でも、素材を変えると雰囲気が変わります。
メッシュ編の縫製は、とじ針を使わないスピーディーな鎖とじが特長。

21号（キャップ）　編み方90頁

ヨークのバリエーション。
の模様でいろいろな変化が楽しめます。

夏らしいピエロカラーのブラウス。衿と身頃を重ねて縁を編み、編機からはずすと衿付けは終わりです。

7

粗いメッシュ編のステンカラーブラウス。
2目の穴もLキャリジで手早く作れます。

長方形のファンシーベスト。ひも結びがアクセントです。

マニッシュな前あきベスト。
編み続きの衿とVカットの裾がポイントです。

ギャザーで形作ったVネックとUネック。シルエットはどちらも全くの長方形です。

12

台形を8枚つないだ円型パピヨン。6段ごとに鎖とじでらくらく縫製。ベルトは両脇にまち分を加えます。

フードも続けて簡単に編めるT型パーカ。
裾をひもで締めると、シルエットに表情が出ます。

横編のダーンドルスカートと直線丸ヨークのツーピース。
とじ目の穴数をそろえて簡単にいせこんだ3段切り替えです。

ひだ幅に変化をつけた間引きプリーツのスカートとボー結びのツーピース。
ラメがらみの糸で上品な街着です。

6

17

前裾から後裾まで続けて編んだ直線編のブラウス。肩でカードを差し替えるだけで模様がそろいます。アクリル素材で縁編が簡単。

[illegible]のポイントとアイディア

パンチカードの上下を逆にすると前後身頃の模様がそろいます

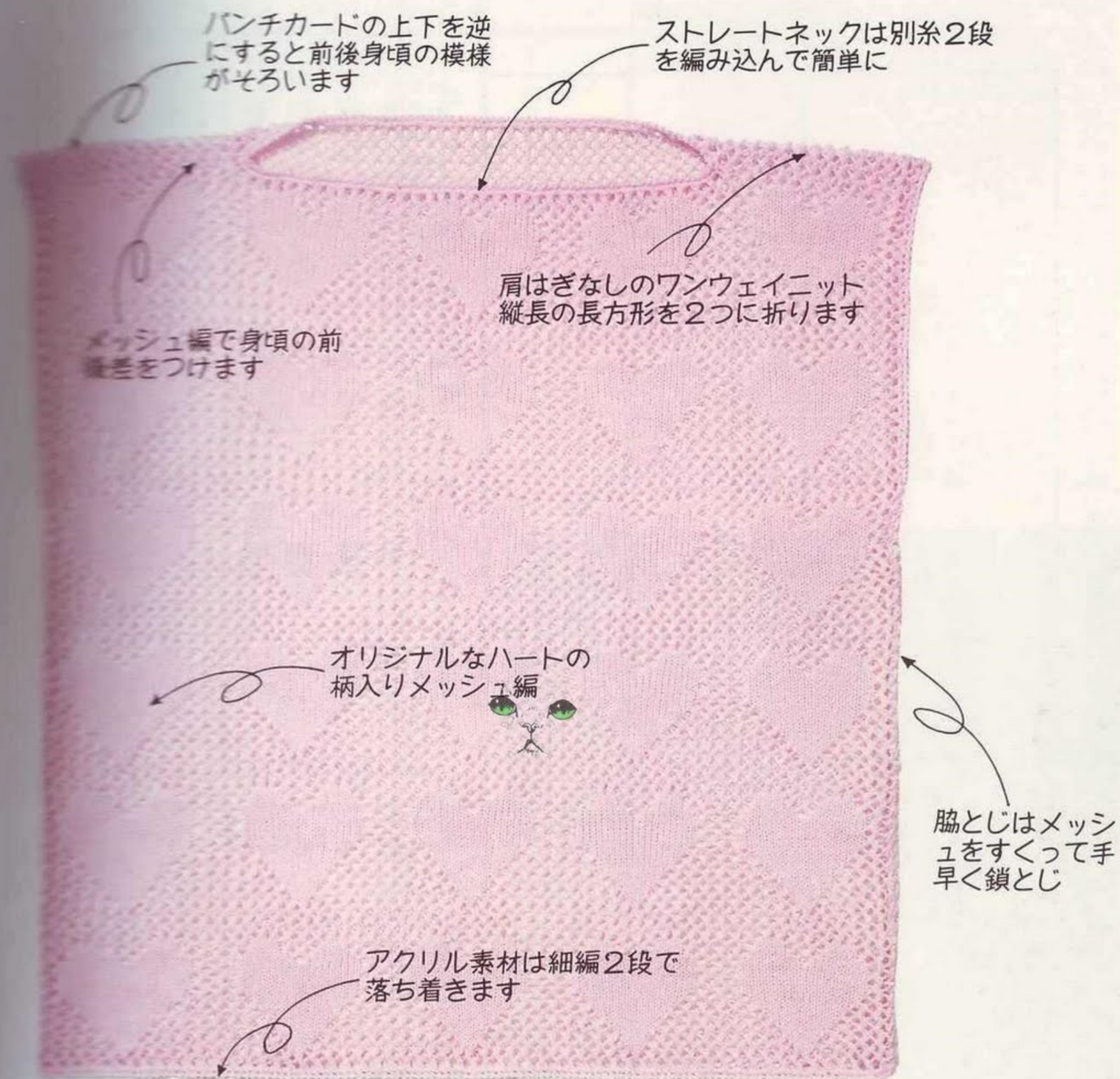
ストレートネックは別糸2段を編み込んで簡単に

肩はぎなしのワンウェイニット縦長の長方形を2つに折ります

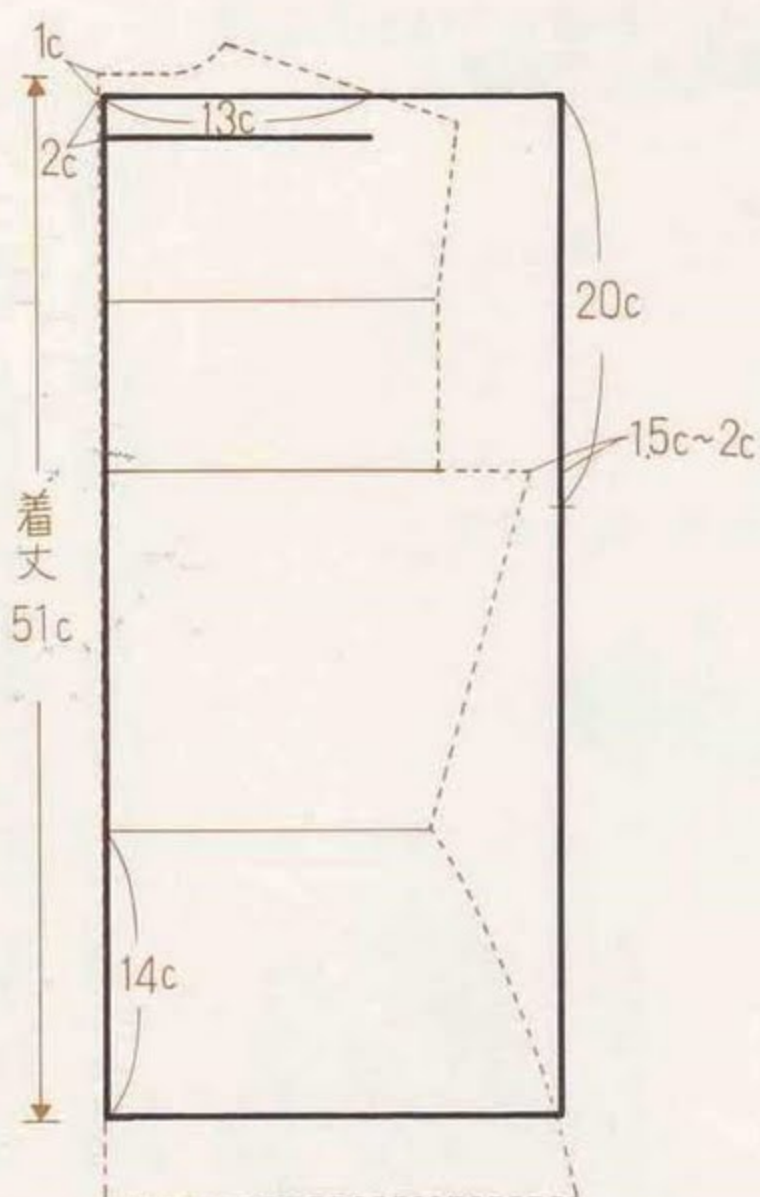
メッシュ編で身頃の前後差をつけます

オリジナルなハートの柄入りメッシュ編

脇とじはメッシュをすくって手早く鎖とじ

アクリル素材は細編2段で落ち着きます

準備するもの

ブラザー編機 パリエ （編目ダイヤル$3\frac{2}{3}$～４）
カネボウ サマーベル ピンク(303)100ｇ

製 図

① W.Lから14cm伸ばして着丈をとります。
② ストレートネック13cmを肩線上にとって水平線を引き、そのまま横に伸ばしておきます。
③ B.Lで1.5～2cmのゆるみを入れて着丈と長方形を描き、袖口丈20cmに印を付けます。
④ 実際のネックライン13cmを、2cm前寄りにとり直します。

出来上がり寸法 胸囲90～92cm、丈50cm。
ゲージ パンチカード1模様の幅が9cm、丈が8cm。10cm平方に直すと27目×50段。

編み方図

(123目)
後身頃
袖口止まり
袖口止まり
30c(150段)
18c(88段)
4c(2段)
26c(71目)
別糸2段編む
前身頃
袖口止まり(糸印を付ける)
袖口止まり 糸印を付ける
18c(88段)
30c(150段)
$24^{目}\times5+3^{目}=123^{目}$
9c×5＝45c
45c(123目)

※パンチカードの作り方は56頁を参照してください。
中心
8c
9c

作り目をします

作品の編み始めには、必ず作り目をします。この作り目はパリエ、デリカとも同様です。ただ、編目ダイヤルは使用する編機、素材により変わります。

1 準備をします

① 作品に使う糸と同じ種類の、色の違う糸を糸取装置に通し、糸かけに休めておきます。
② 必要な目数の針をB位置に出します。
③ Kキャリジの編目ダイヤルを4（サマーベルの場合）に合わせ、1～2回左右に動かしたあと、みぞ板の右端に置きます。
④ 編出し板の両端をシンカにかけます。

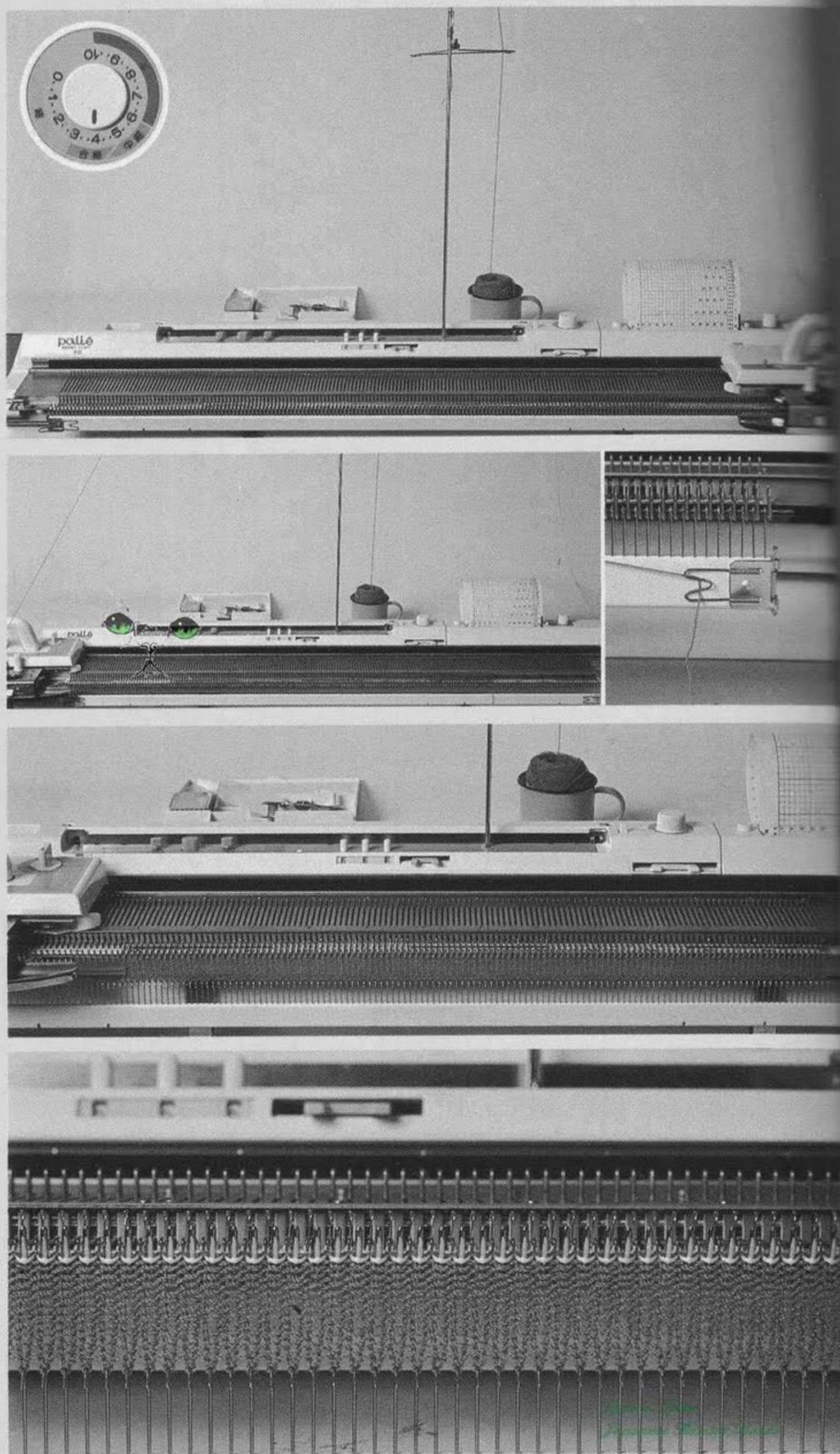
2 1段編みます

① 糸かけに休めてある糸を糸口に通し、糸端を左手で持ったまま、Kキャリジを右から左へ動かします。
② 編出し板の両端をシンカからはずし、軽く下に引き下げます。編み糸は、編針の左隣にある編出し板の歯1本にかけ、残りの歯にはかからないようにします。右に残った糸端は引き過ぎないように注意して、編出し板の糸かけにかけます。

3 10～15段編みます

Kキャリジが左側にくるまで10～15段編み、糸を15～20cm位残して切り、編出し板の糸かけにかけます。
※以上が編み始めの捨て編です。

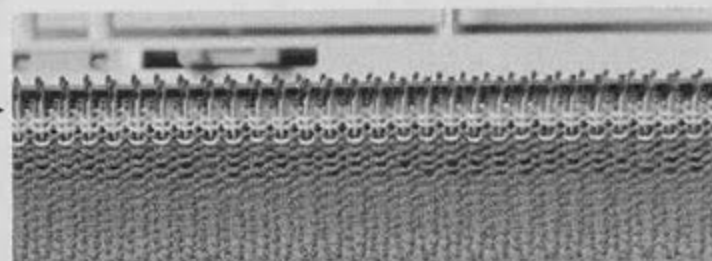
4 抜き糸で1段編みます

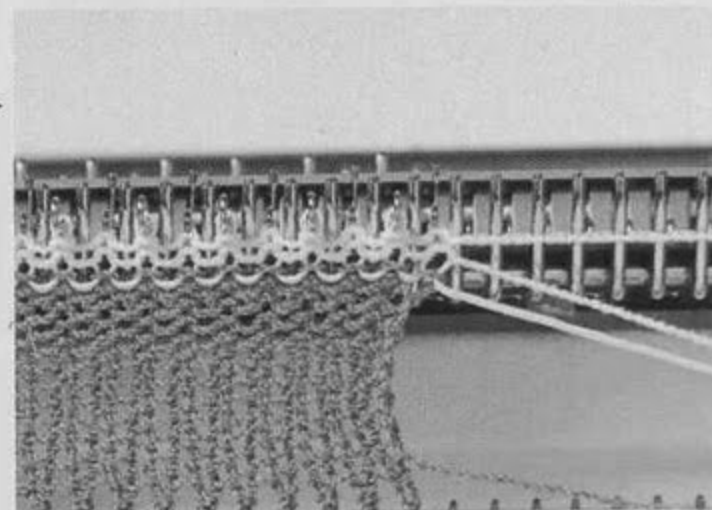
糸口に抜き糸を通し、左から右へ動します。糸端は左右とも、編出し板の糸かけにかけます。
※これで作り目が出来ました。

前身頃を編みます

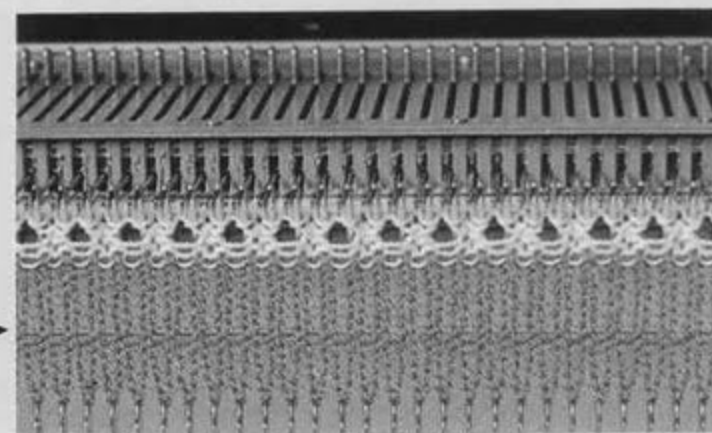
Kキャリジを右側、Lキャリジを左側に置きます。編み糸を糸取装置に通し、糸かけに休めておきます。パンチカードはスタート位置に、ストップレバーは〈とまる〉に合わせます。

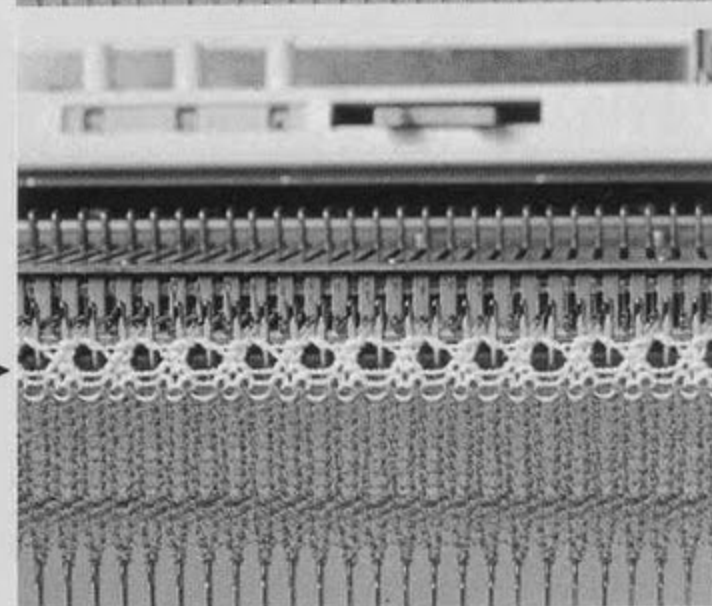
[illegible]の編み方

1 2段編みます

糸かけに休めてある糸をKキャリジの糸口に通し、糸端を20～30cm残して2段編みます。

2 Lキャリジを右へ動かします

Lキャリジを右へ動かすと、パンチカードの穴の部分がD位置に選針されます。左右とも端から2本めが選針されています。

3 Lキャリジを左へ動かします

ストップレバーを〈まわる〉に合わせ、Lキャリジを左へ動かします。2で選針された針が左の針に重なり、編み目は右上2目1度になります。

4 2段編みます

Kキャリジで2段編みます。パンチカードは動きません。

5 Lキャリジを1往復させます

Lキャリジを1往復させると、2と逆の針が選針されます。両端目も選針されているので、指でB位置までもどします。

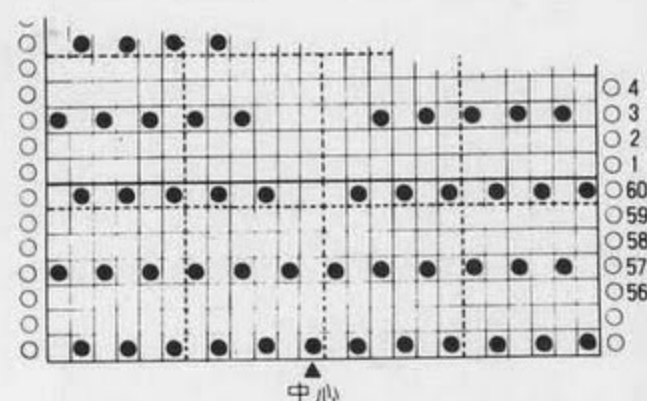
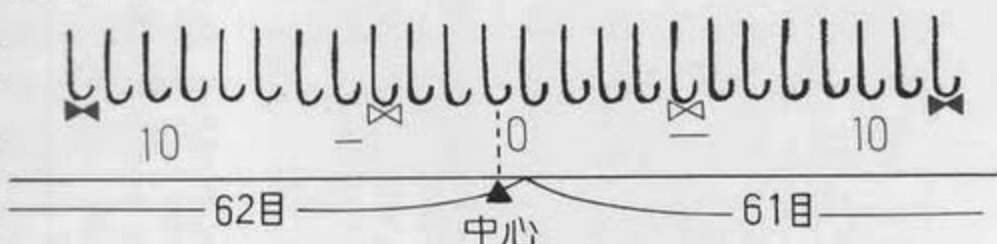
6 Lキャリジをもう1往復させます

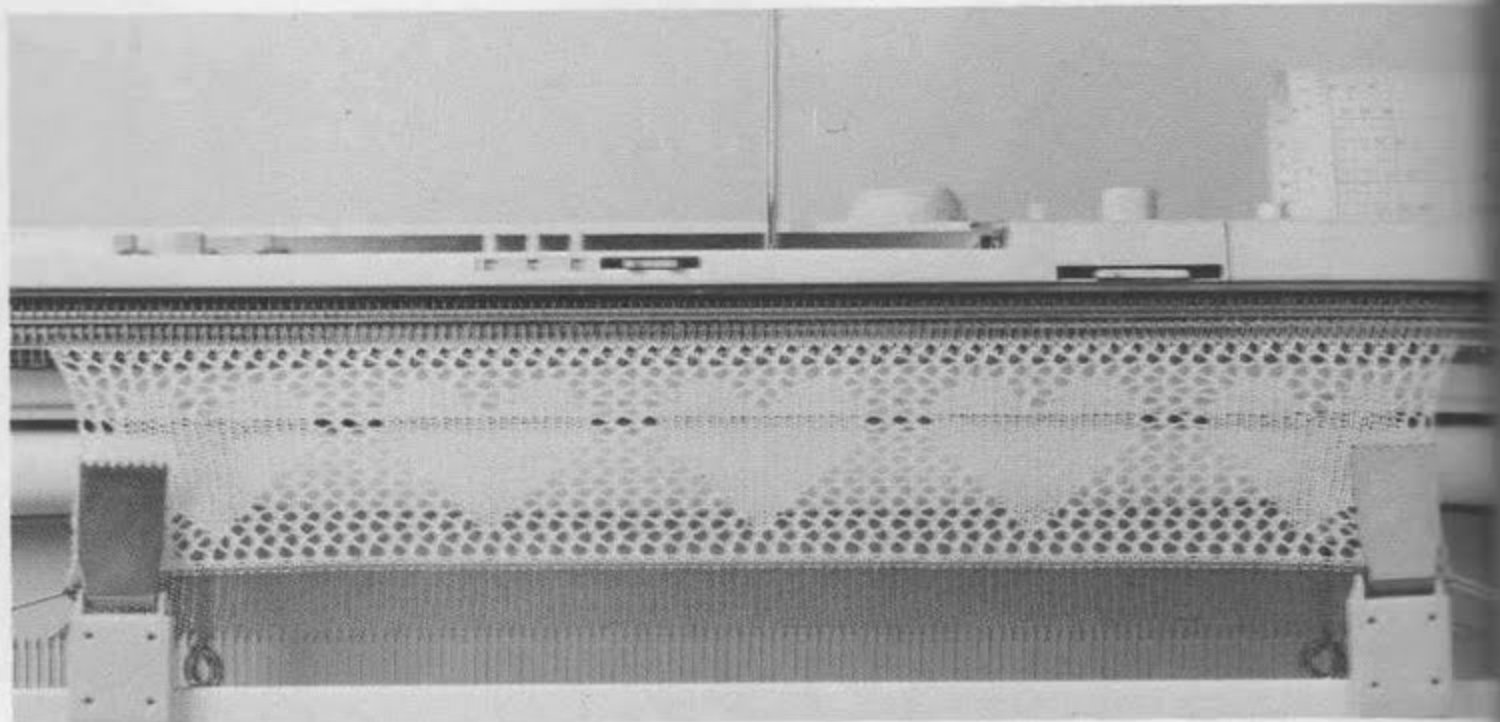
Lキャリジを右へ動かすと、5で選針された針が右の針に重なり、編み目は左上2目1度になります。このままだとKキャリジが動かせないので、Lキャリジを左にもどします。

[illegible]の目数を編む場合の中心位置

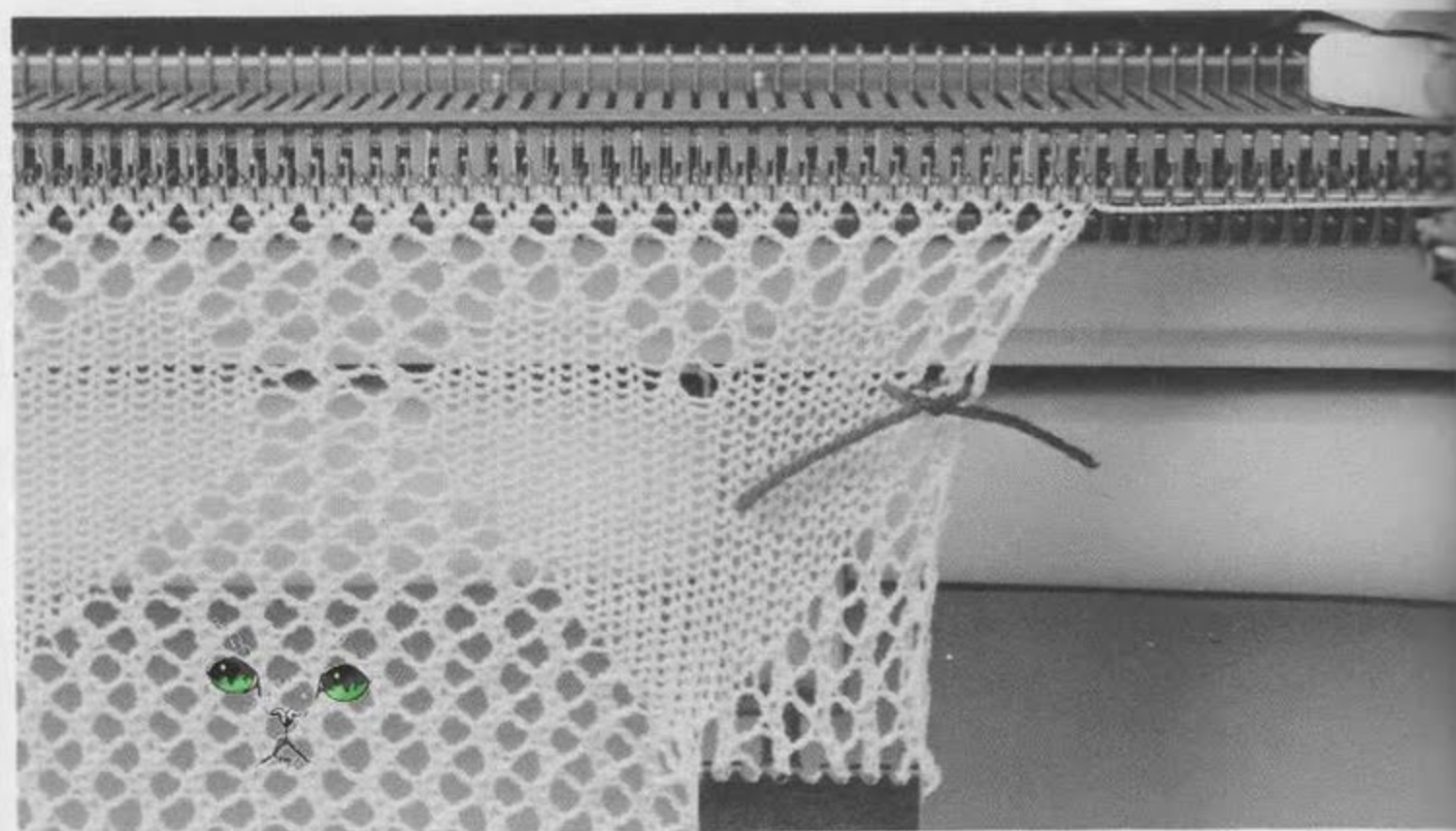
[illegible]が123目の場合は、編機に向かって[illegible]を1目多く62目、右側61目の針を[illegible]に出します。これは、この本のパンチカードの[illegible]、[illegible]の場合はすべて[illegible]の左のマスになっているからです。

10　—　0　—　10

62目　中心　61目

7 40段編みます

1～6を繰り返して40段編みますとパンチカードがスタート位置にもどり、ハート模様が横に１列に並びます。１模様編めたところです。

8 袖口止まりに糸印を付けます

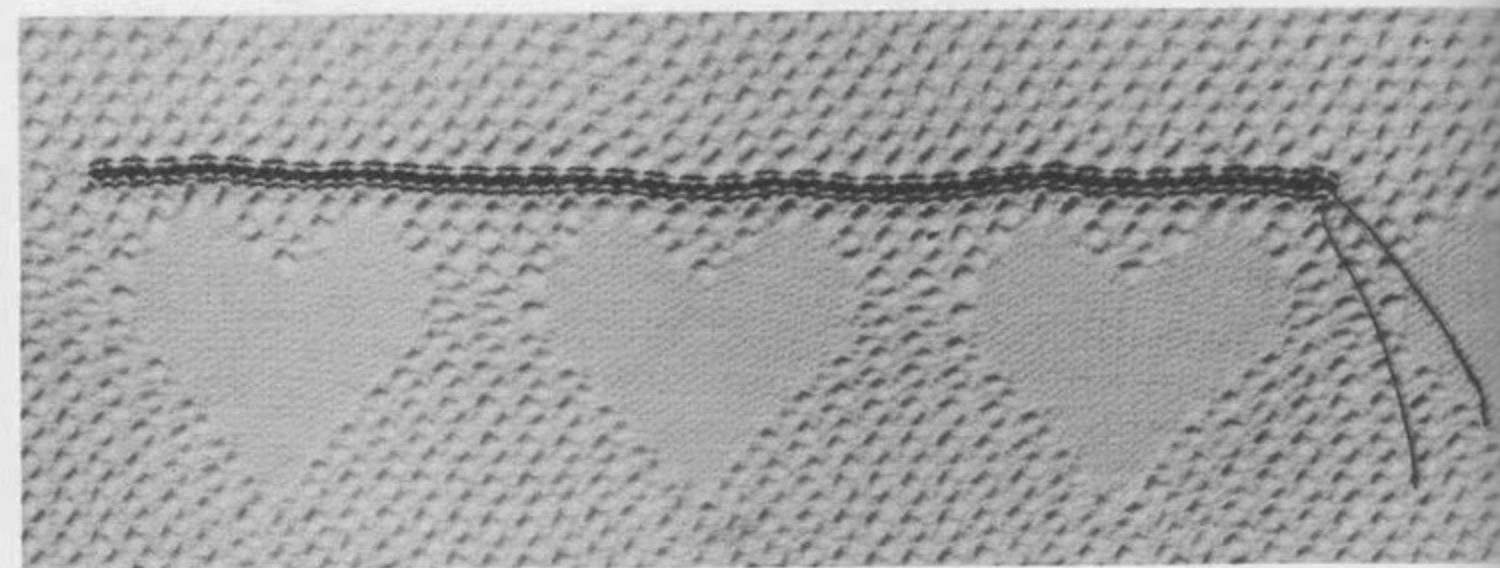
編み始めから150段のところに糸印を付けますが、ここで段数計を０にもどし、２～４段編んだあとで付けた方が楽です。

編み地が長くなったら、両端に軽い重り(カラーウェイト)をかけます。

9 衿あきを別糸で２段編みます

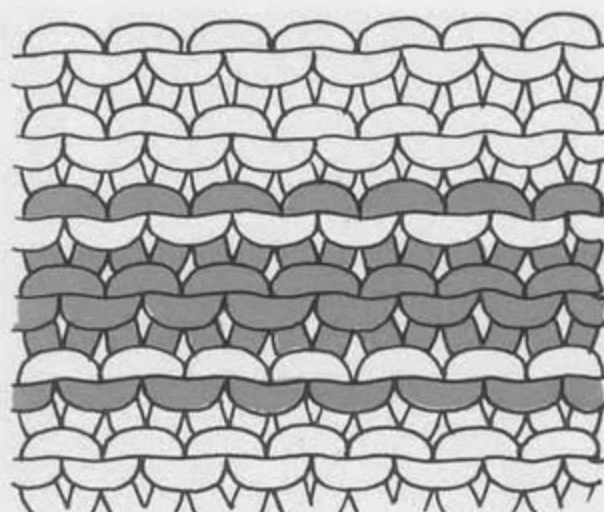
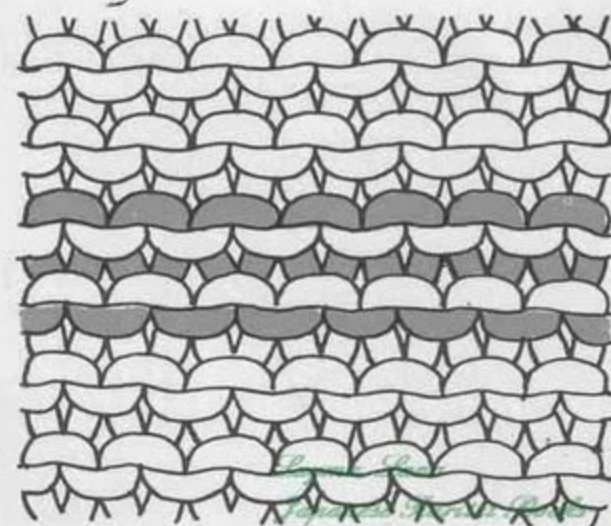
① 糸印から88段編んだら別糸を糸口に通します。

② カムボタンの<すべり目左右>を押します。

③ 衿あき71目(右35目、左36目)の針をE位置に出して編みます。

④ もう１度、E位置に出して編みもどります。

別糸で２段編むのはなぜ？

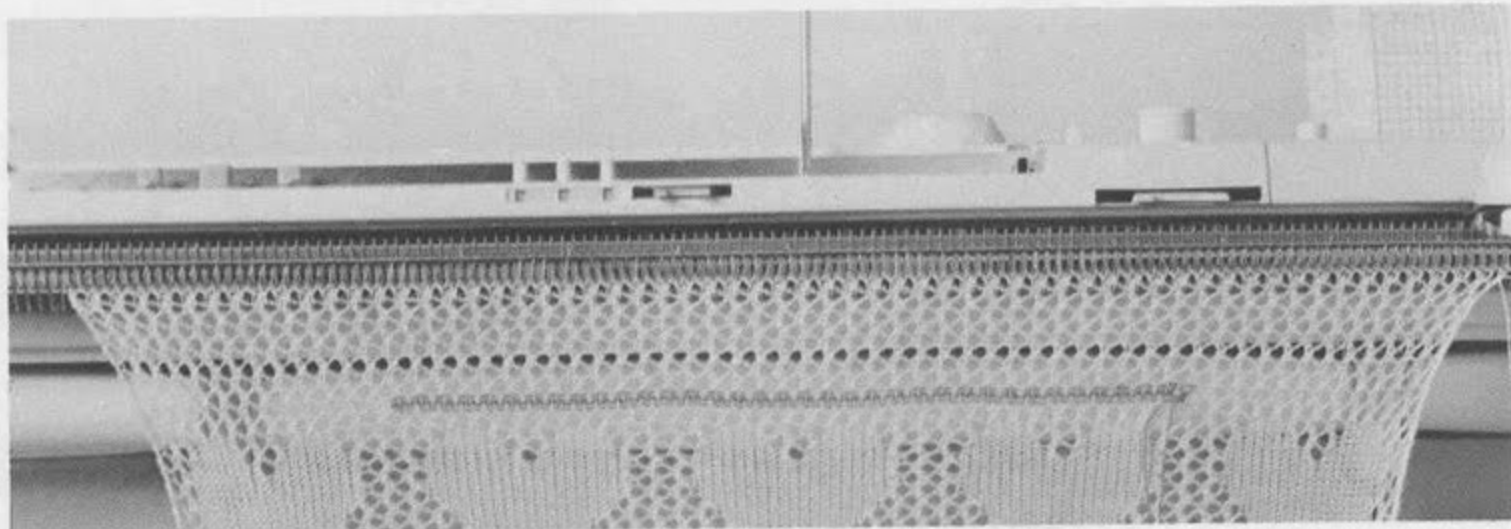
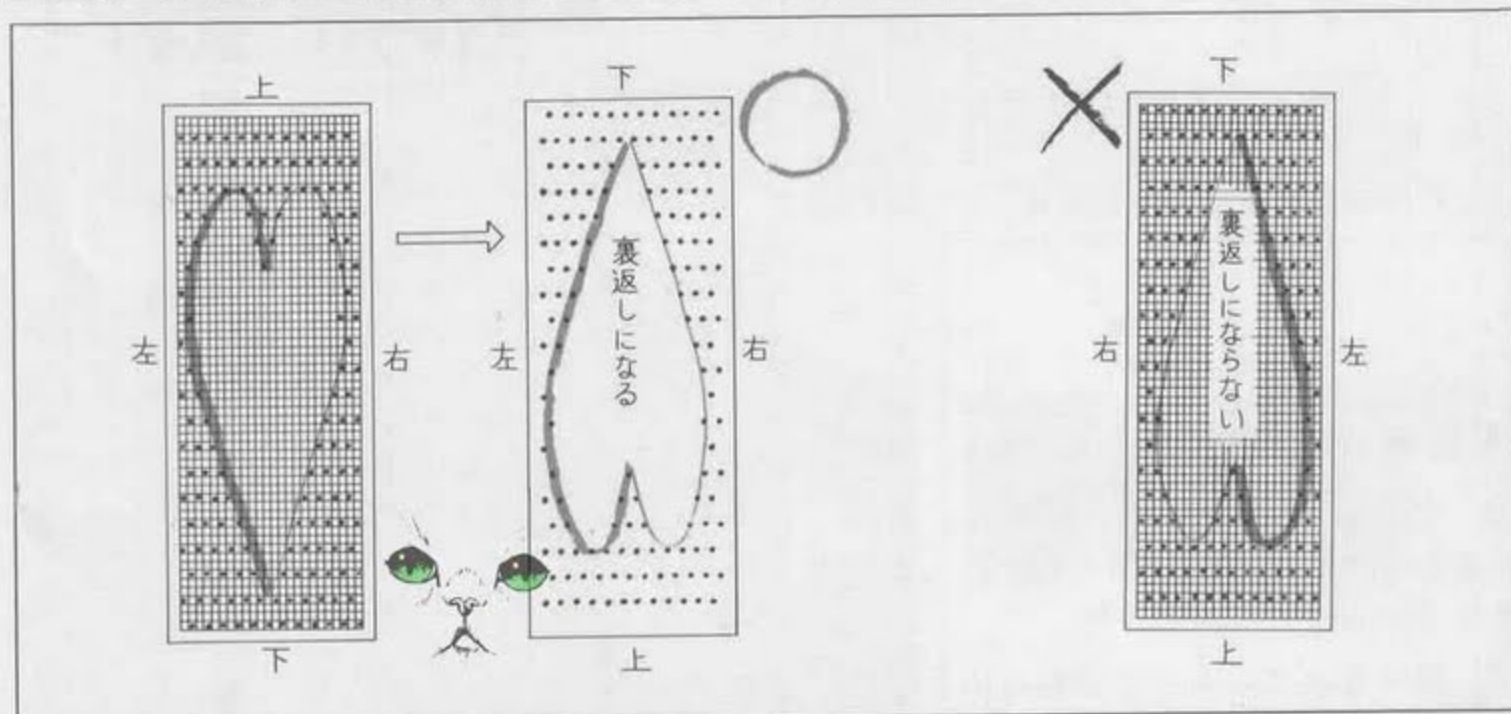
① 別糸を２段編むと、前身頃のニードルループと後身頃のシンカーループの間が離れるので、あとの始末がしやすくなります。

② ２段編むことによって、Kキャリジが編み糸のある方にもどり、次の操作に移りやすくなります。

別糸で２段編んだもの

後身頃を編みます

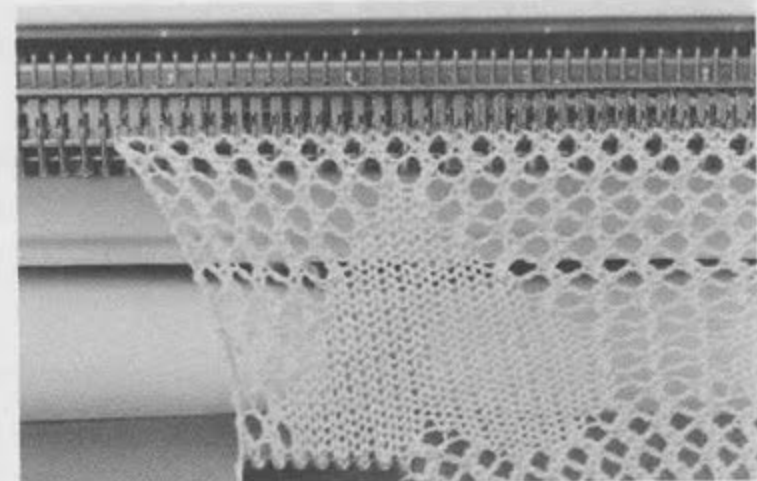
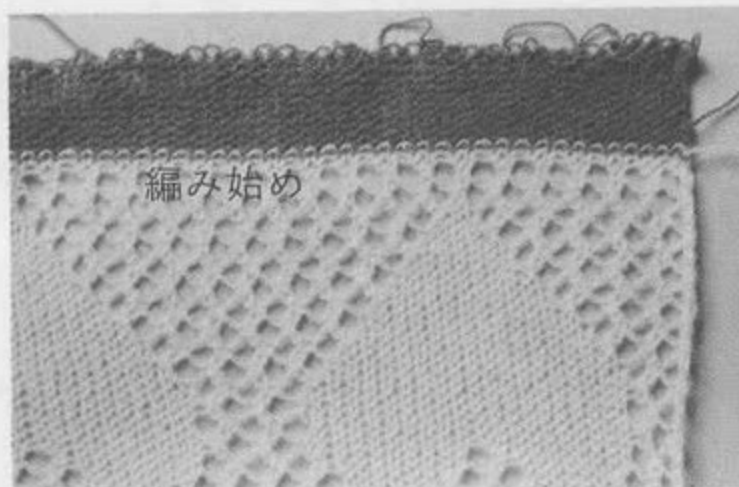
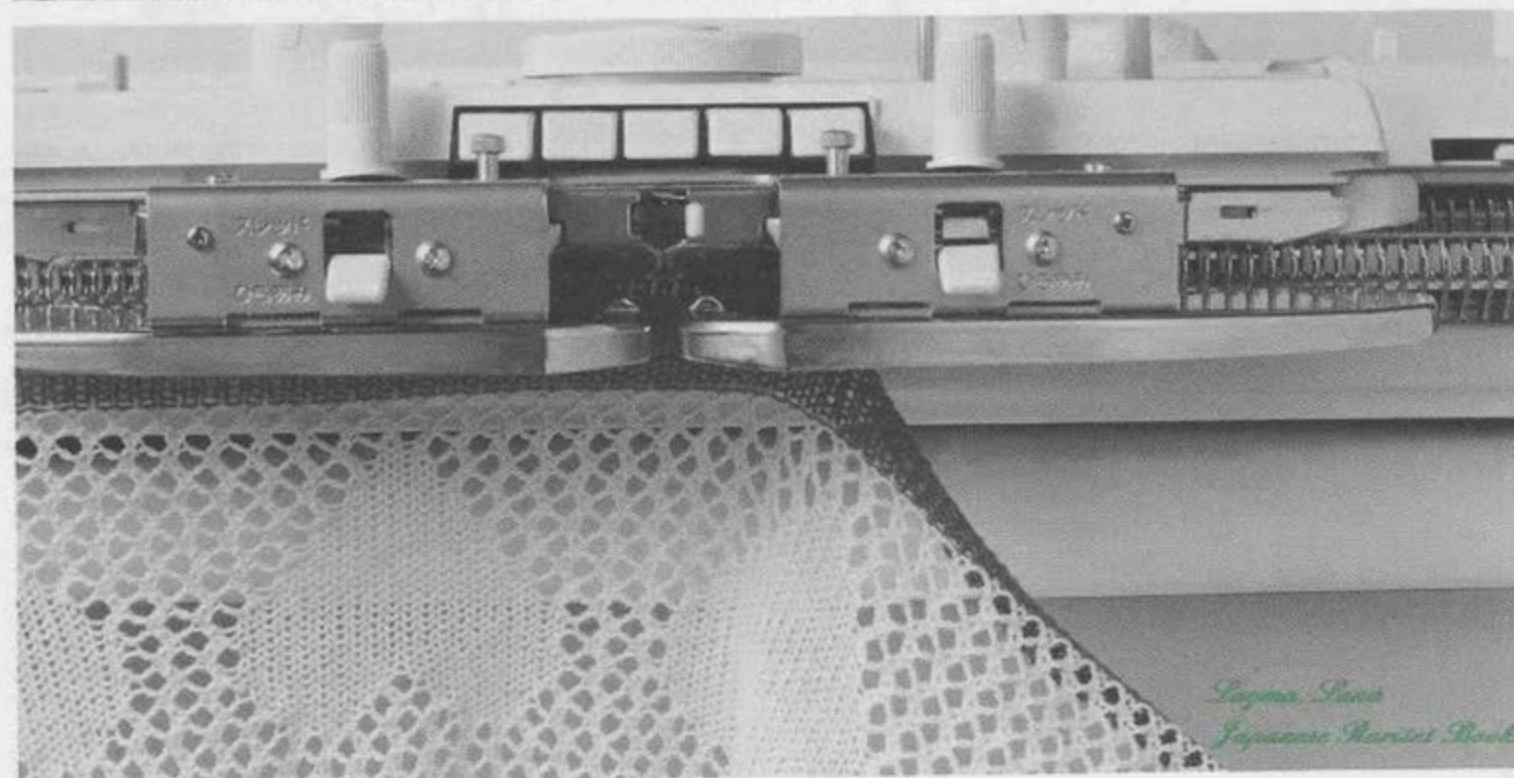
前身頃と模様を合わせるため、肩の部分はメッシュ編にします。従って、メッシュの部分は手まめにパンチカードを動かします。

[illegible]パンチカードの60～5を反転して20段編みます

[illegible] 編み糸に替えたらすぐにLキャリジを左へ動かします。前身頃に続けてメッシュの選針が出来ますが、衿あきの別糸とその両側1目ずつ(合計73目)は選針された針をB位置までもどします。
[illegible] 以下模様編の要領で繰り返して20段まで編みます。この部分はメッシュ編になります。

[illegible]パンチカードを入れ替えます

パンチカードを上下逆にして、セットします。つまりパンチカードは裏返しになります。ハートの始まる4列目の穴をスタート位置に合わせ、7段送ります。上下逆にしても裏返しにならない場合は中心の目がずれますので、注意してください。

[illegible]前身頃と同じ寸法を編みます

計算でいけば88段と150段編むことになりますが、段数の2～4段のずれは気にしないで、編み始めと同じ状態(ハートの下に2つ穴があく)になるまで編みます。

[illegible]捨て編をしてはずします

別糸で10～15段編んで糸口から糸をはずし、キャリジを動かしてはずします。

仕上げをします

アイロンで形や寸法を整え、脇とじをして縁編をし、仕上げアイロンをかければ出来上がりです。

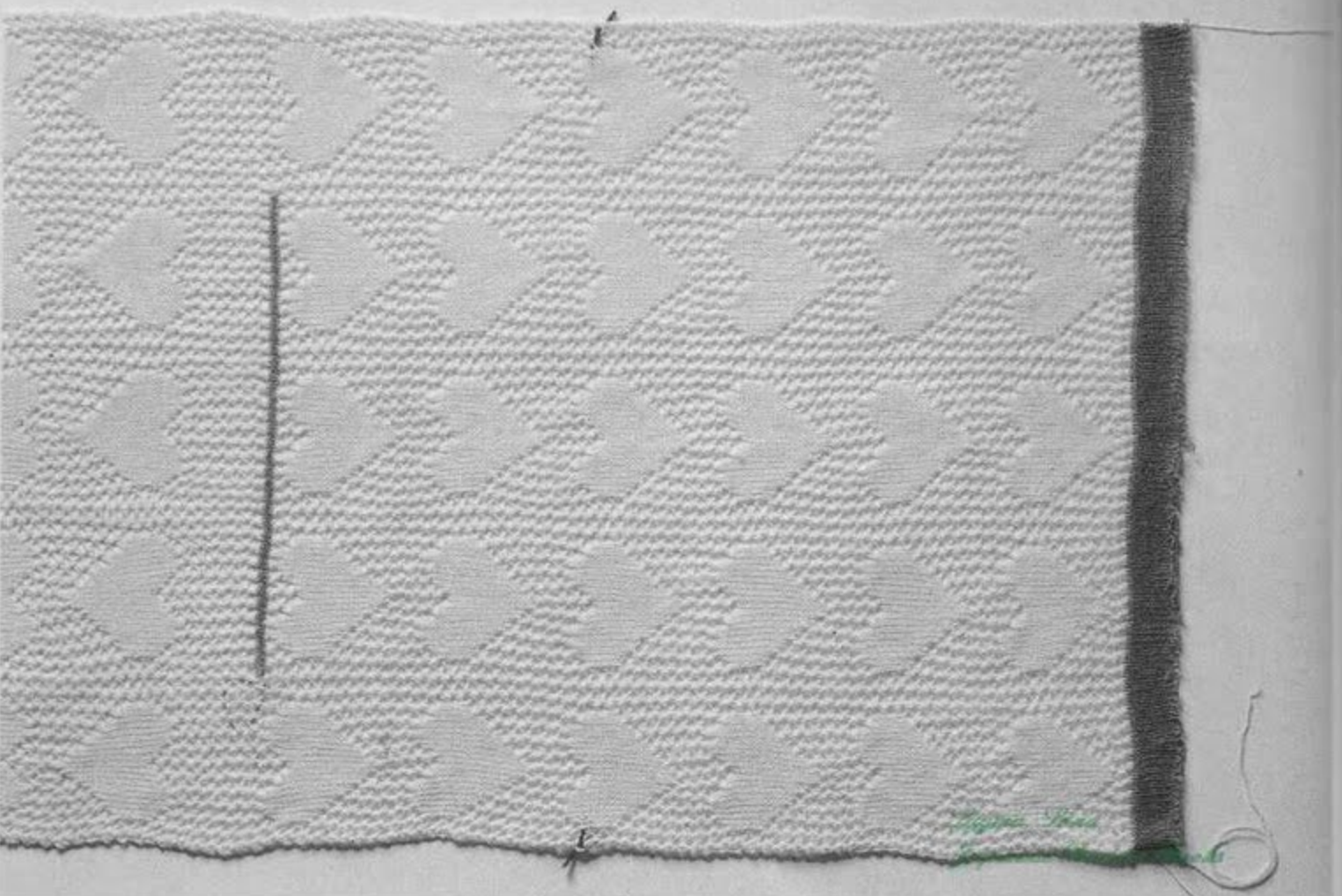
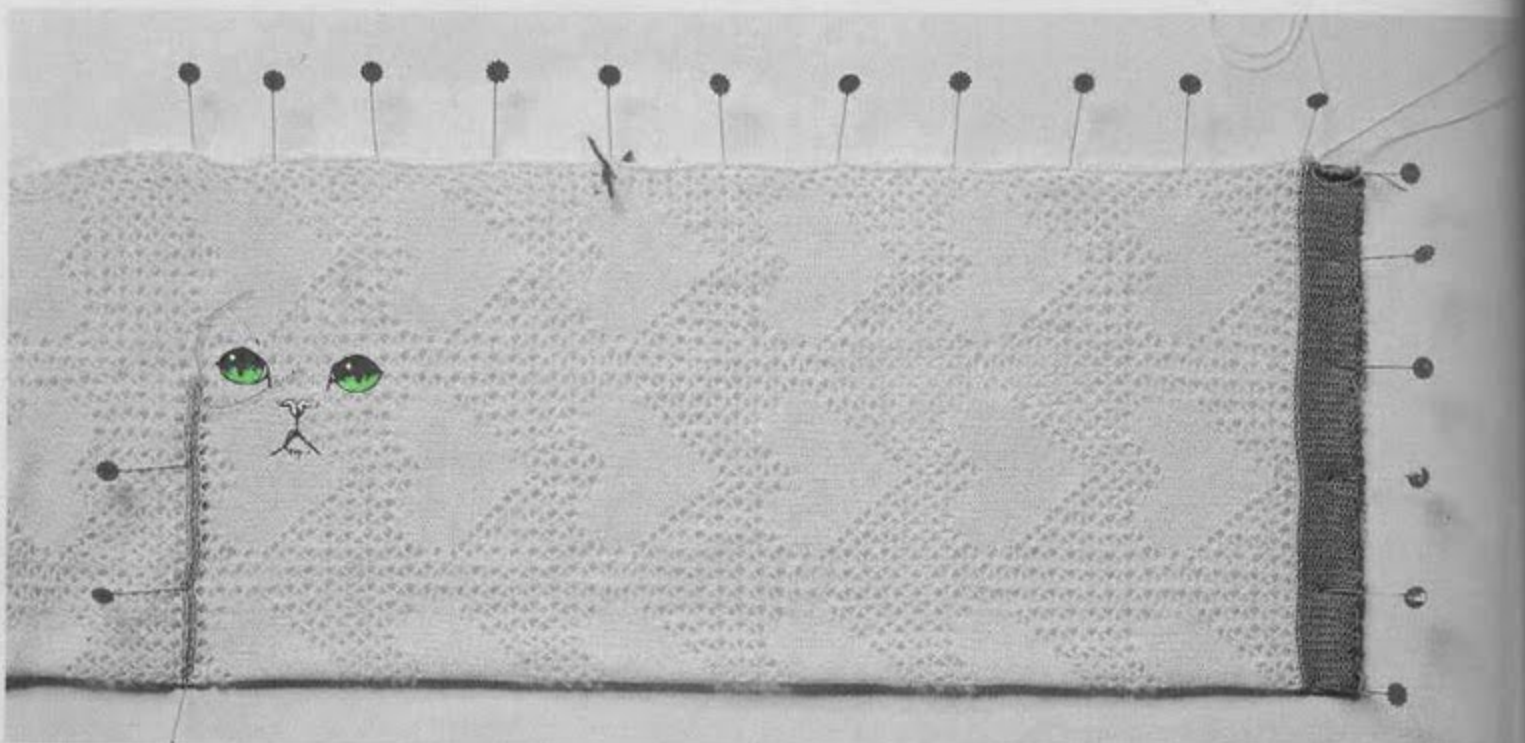
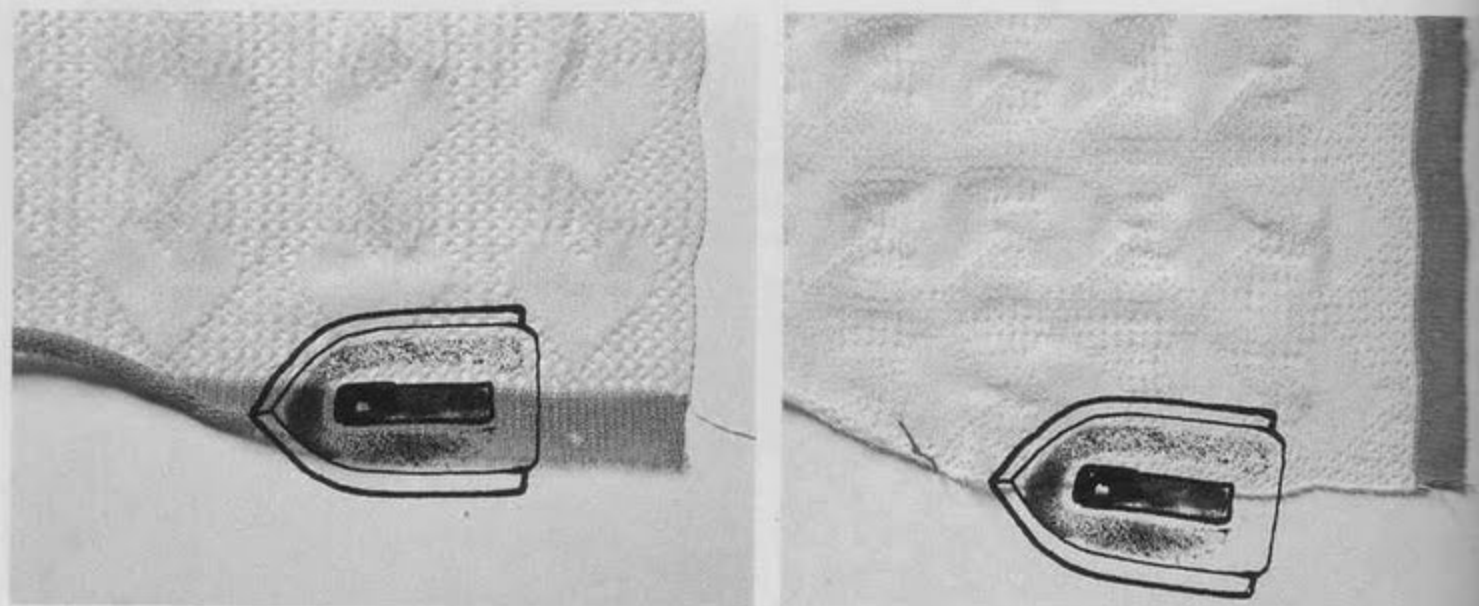
アイロンかけ I

1捨て編の部分にかけます

編み始めと編み終わりは表目側に丸まっていますので、左手で押えながら表目側からかけます。

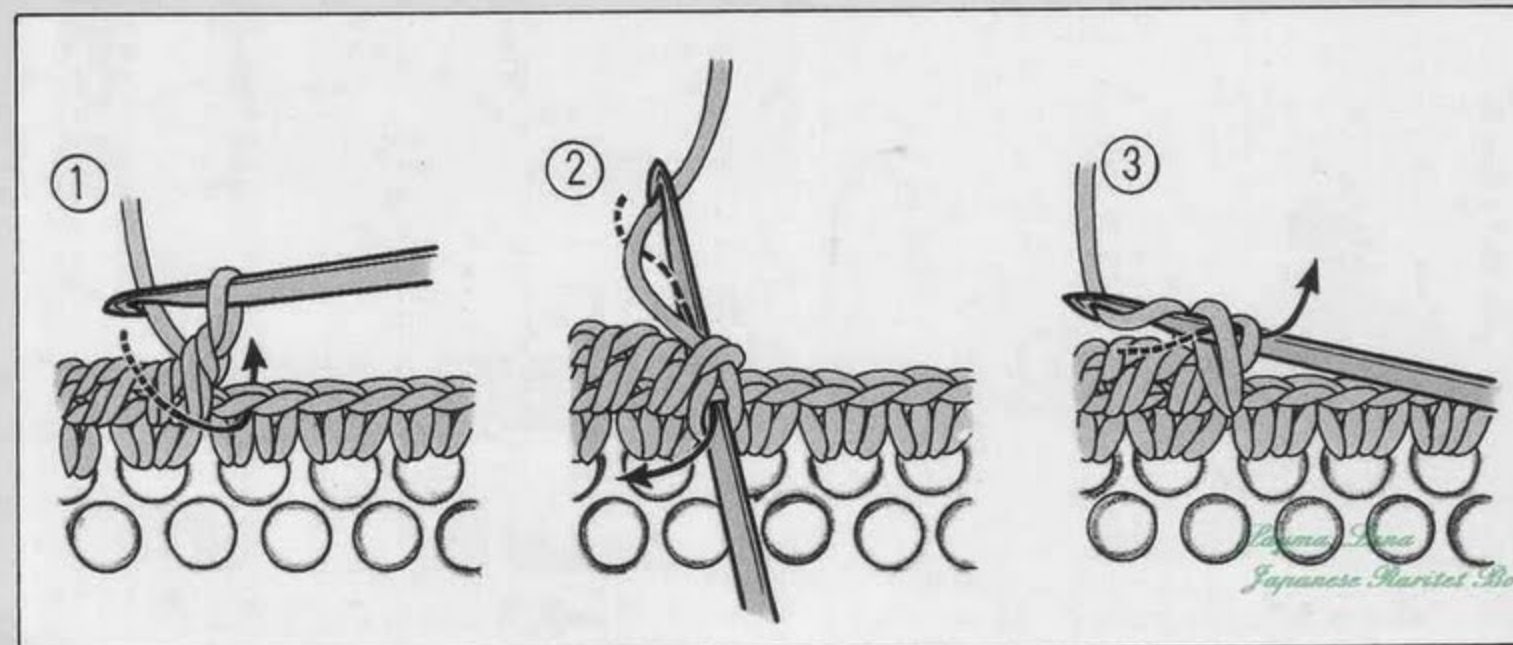
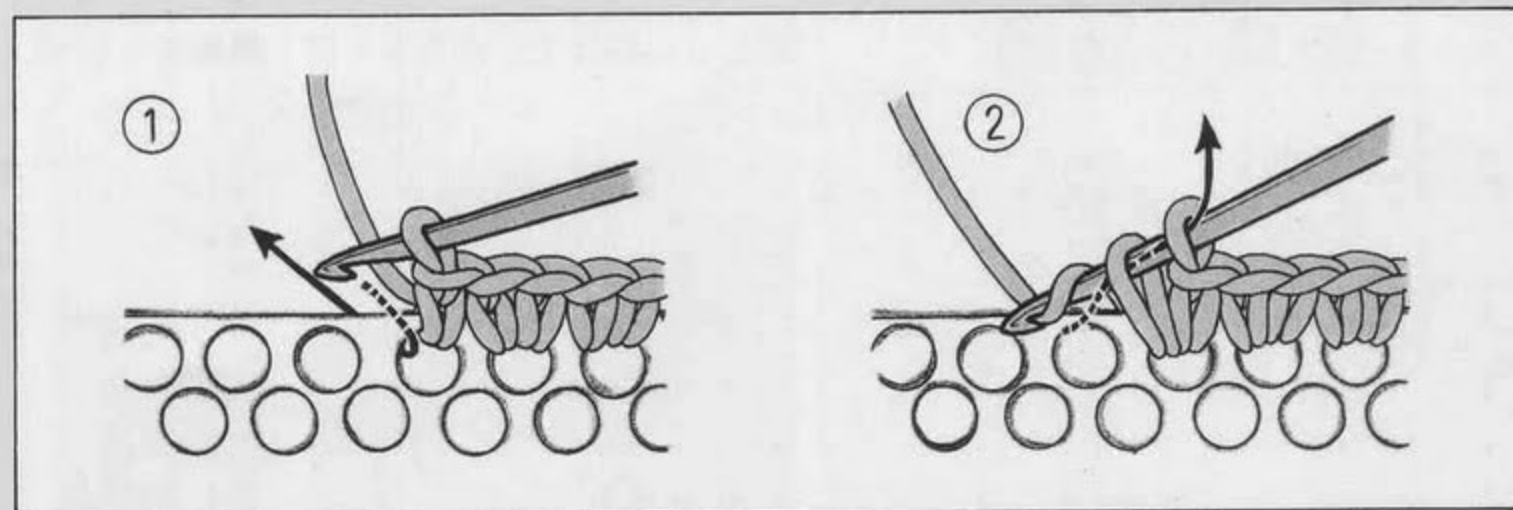
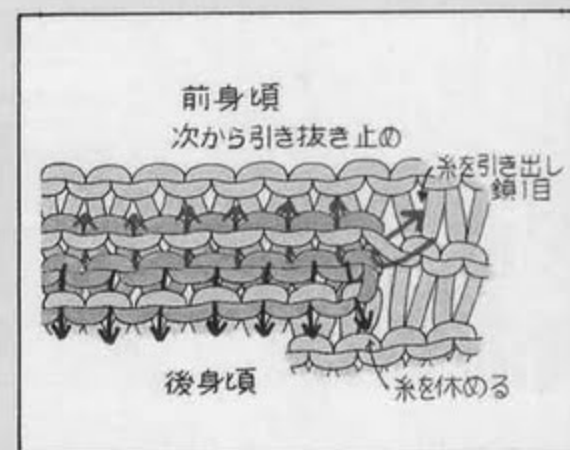
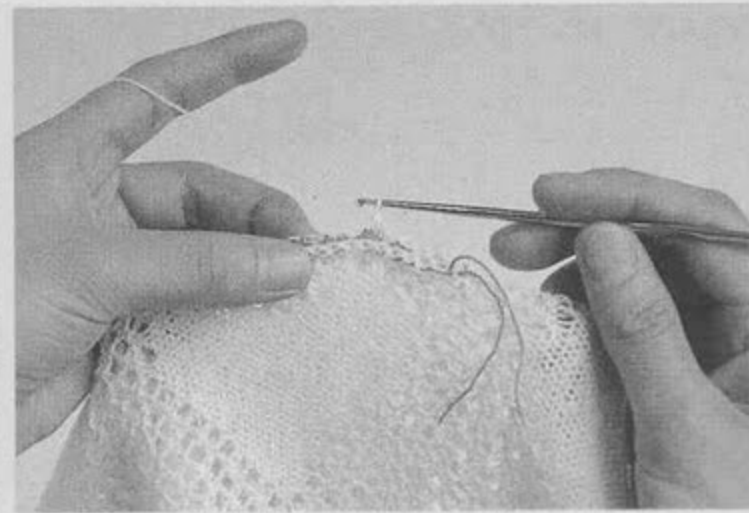
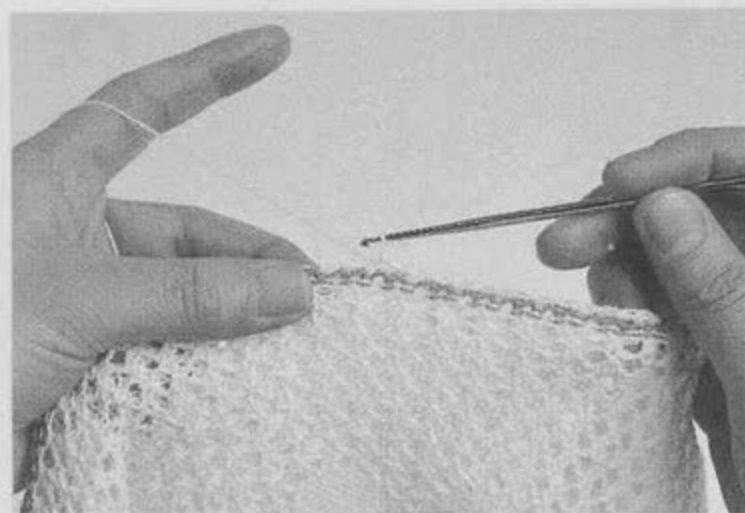
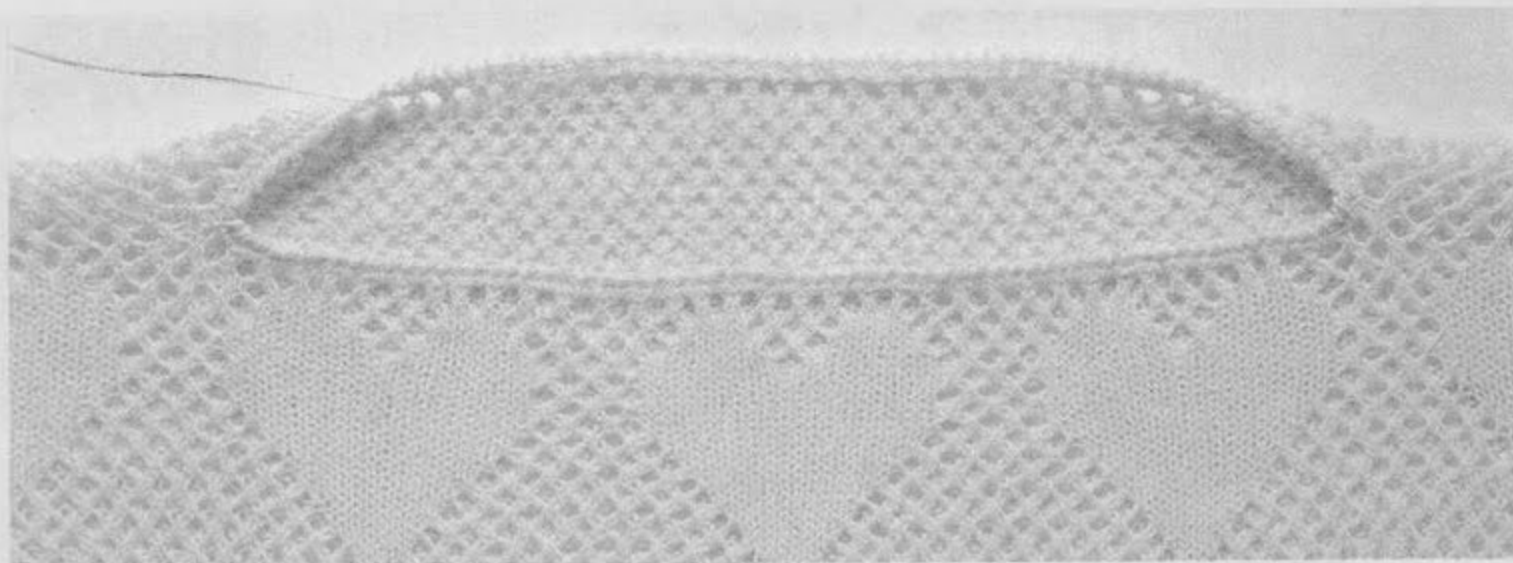
2編み地の両端にかけます

両端は裏目側に丸まっていますから、裏目側からかけます。重りをかけたために伸びていますから、左手でいせこみながらかけ、伸び過ぎないように注意します。

アクリル80%の糸ですから、スチームアイロンの温度を低く、化繊目盛りに合わせて
くかけます。

3全体にかけます

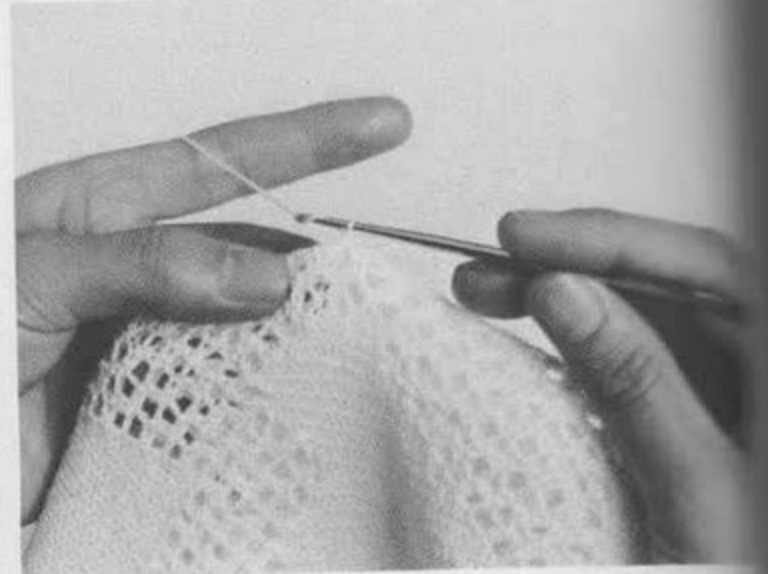
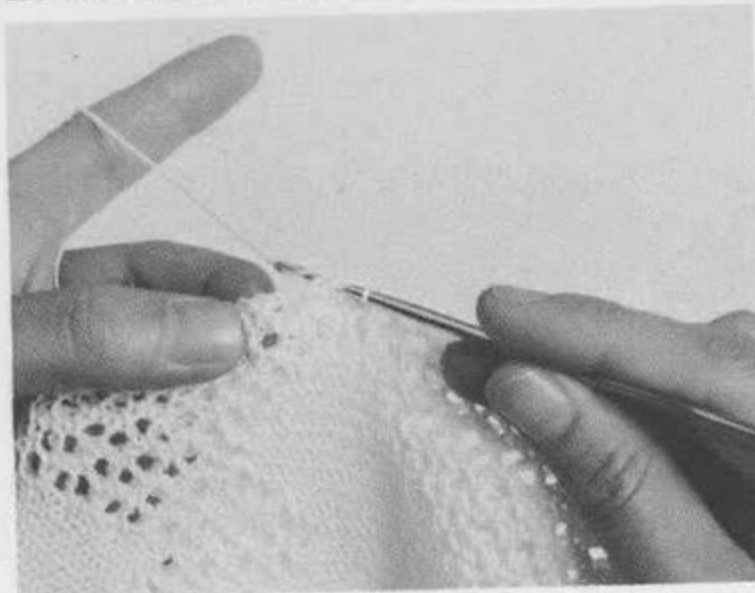
① 中表に合わせて縦2つに折り、寸法に合わせて5cm位の間隔でピン打ちをします。

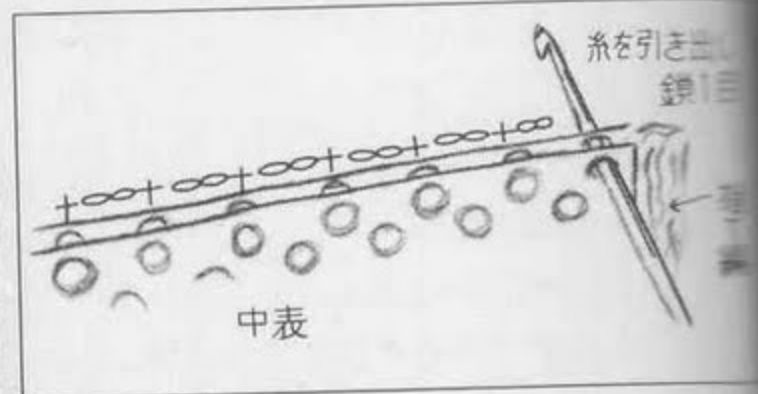
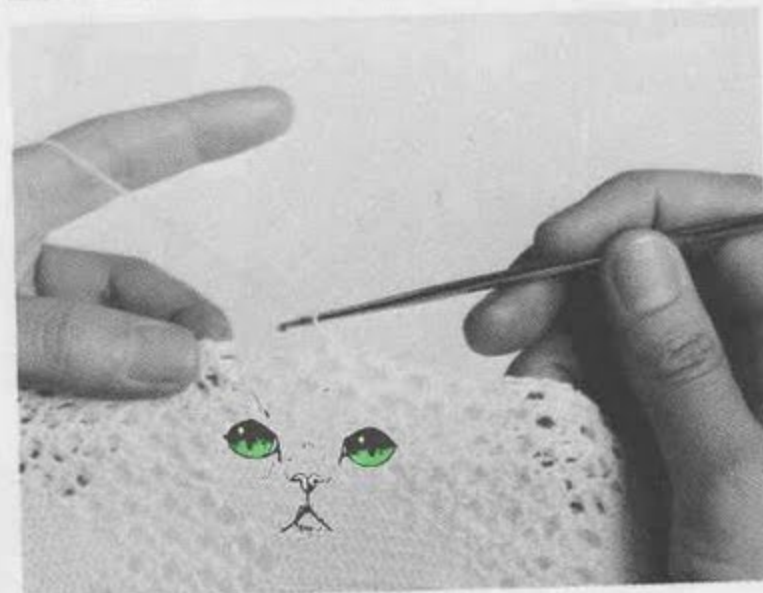
② 輪になっている中心の折り山を避けて平均にアイロンをかけます。すぐにピンを取らずに、うちわなどを使って温度を下げ、さめてからはずすのがきれいに仕上げるコツです。

③ 編み地を広げ、中心の折り山の部分にかけて編み目を整えます。

脇とじ

メッシュの穴を利用した、最も簡単に出来る鎖とじです。スピーディーに、しかもきれいに仕上がります。身頃を中表にして重ねると、メッシュ編の穴の位置がそろいます。

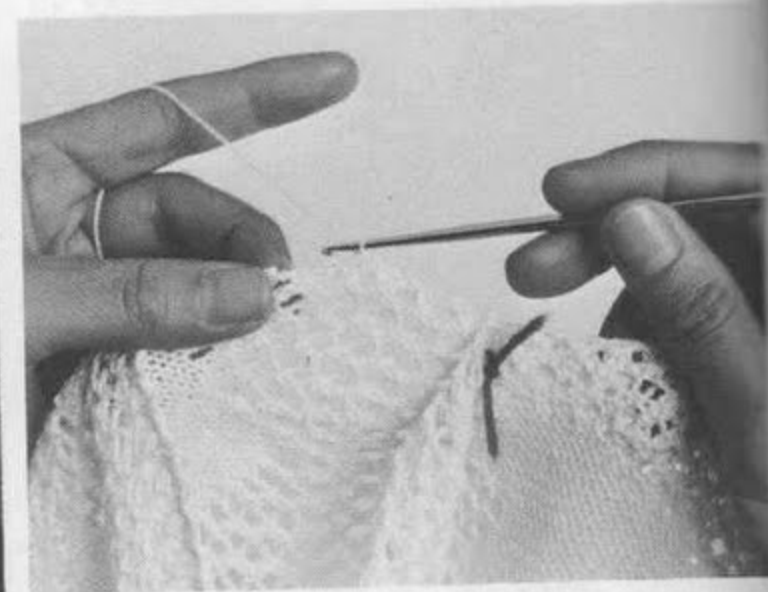
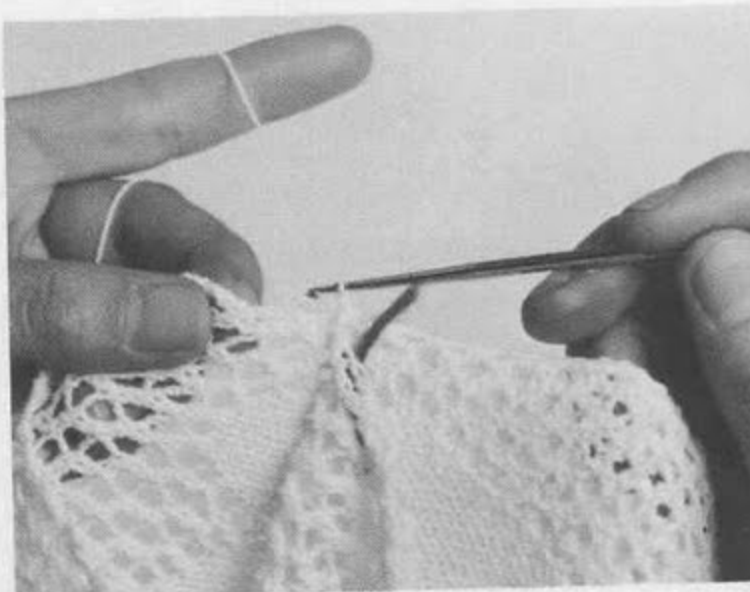
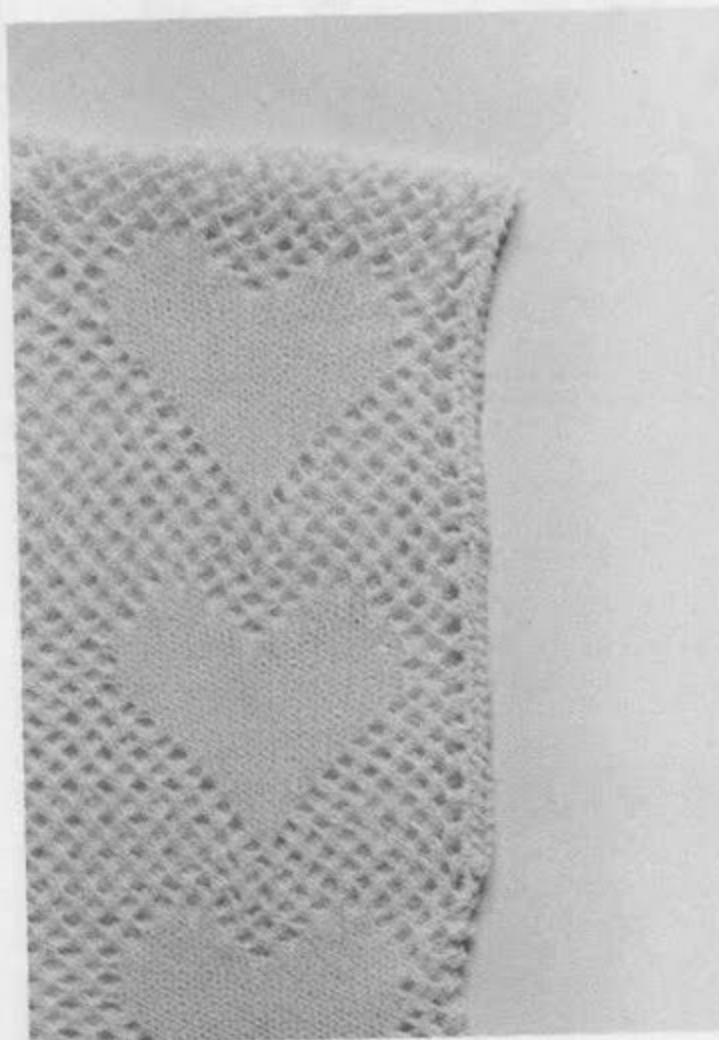
1細編1目

裾を右にして持ち、メッシュ編の一番外側の穴に針を入れて糸を引き出し、最初だけは鎖1目編みます。次の穴からは細編1目を編みます。

2鎖2目

かぎ針を抜くとき、プチプチという位きつめに編みます。

1～2を糸印まで繰り返します。

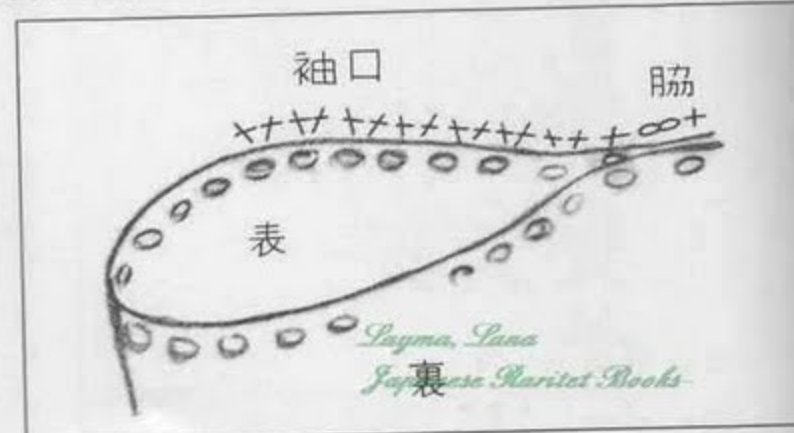
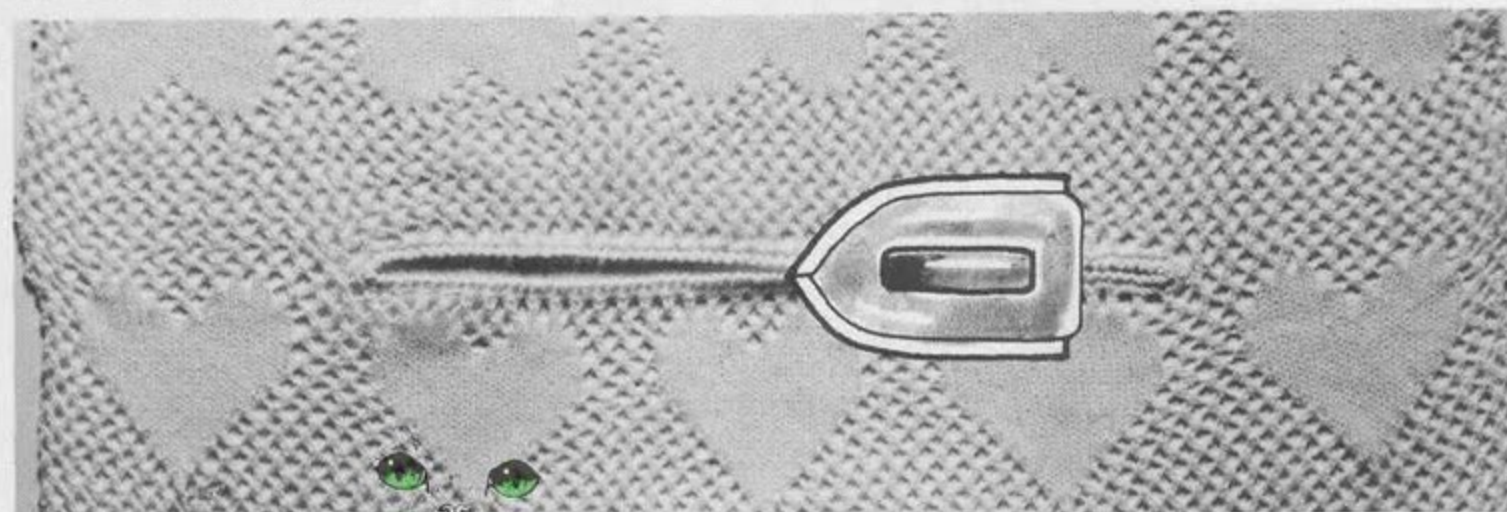
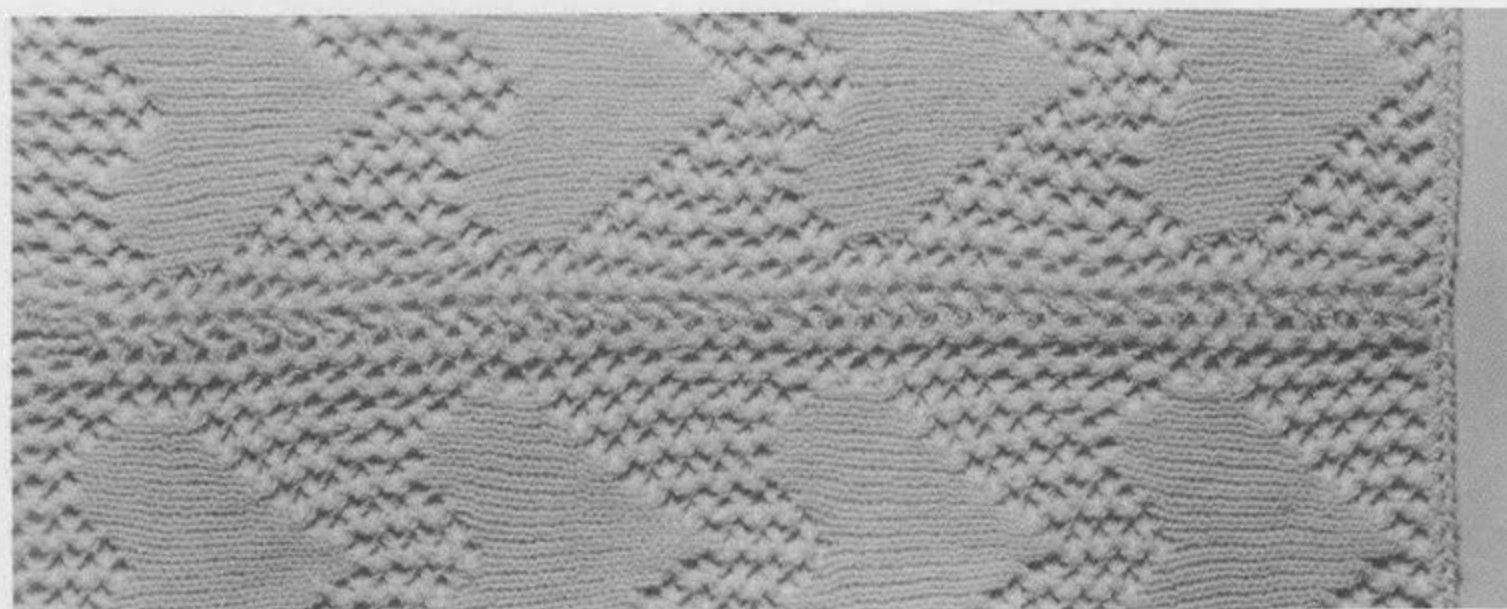
袖口の縁編

脇とじに続けて、衿あきと同じ縁編をします。

▲

1細編1段

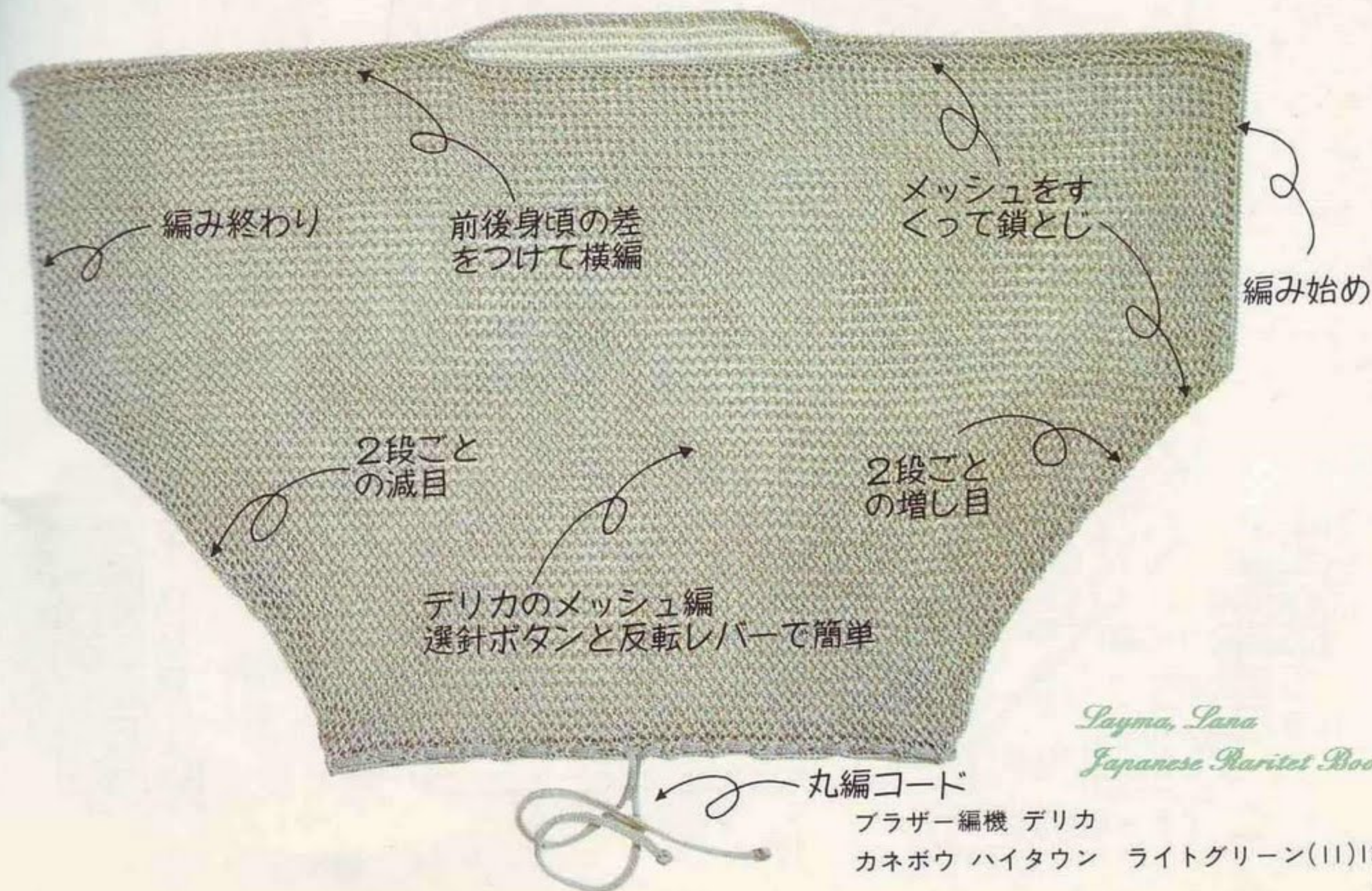
脇とじの最後の細編が終わったら、続けて向こう側の袖口の穴に細編2目ずつを編み入れて1周します。

2バック細編1段

※27頁の衿あきを参照してください。

18
19

19

バッドウイングのブラウス。メッシュ編の網目は正方形、角度が同じなら編み方向が変わっても増減目は同じです。

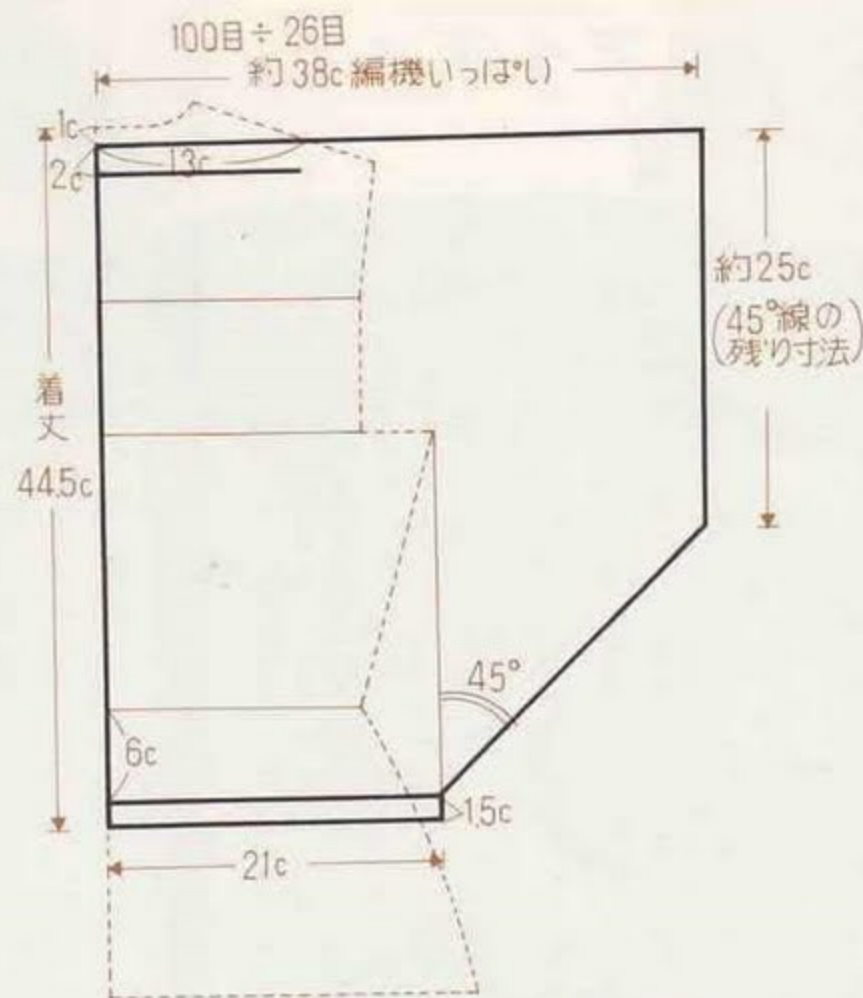
作品のポイントとアイディア
しのワンウェイニット
ブラザー編機 パリエ
カネボウ サマーベル ダークグリーン(320)130g
黒の細いゴムテープ75cm
衿あきは前後差をつけて
細編と
バック細編
1段ずつ
丸編コード
メッシュをす
くって鎖とじ
パリエ・パンチカード
No.17のメッシュ編
前は2段ごとの増し目
後は2段ごとの減目
●バッドウイングとは、「こうもりの翼」という意味で、ドルマンスリーブの一種です。
編み終わり
前後身頃の差
をつけて横編
メッシュをす
くって鎖とじ
編み始め
2段ごと
の減目
2段ごと
の増し目
デリカのメッシュ編
選針ボタンと反転レバーで簡単
Layma, Lana
Japanese Raritet Books
丸編コード
ブラザー編機 デリカ
カネボウ ハイタウン ライトグリーン(11)130g
31

18 製　図

① 着丈は、背丈よりブラウジング分を伸ばした程度にします。（6 cm）

② ストレートネック13cmを肩線上にとって水平線を引き、そのまま横に伸ばしてゆき丈をとります。ゆき丈は編機半分の目数 100 目で出来上がる幅38cmにします。

③ 身幅から垂線を下ろして裾線を引き、縁編1.5cmをとって長方形を描きます。

④ 裾で、垂線から45°とって斜線を引き、ゆき丈から垂線をおろして結びます。交点を境に、垂線が袖口、斜線が袖下になります。

⑤ 実際のネックライン13cmを、2 cm前寄りにとり直します。

編み方図

出来上がり寸法　18＝…ゆき丈38cm。19＝丈… 41cm。

ゲージ　18、19とも… cm平方26目×52段（… 1目2段が正方形）

(メリヤスダブル)
16段 3c
(109目)
減目
(−45目)
右と同じ
(−45目)
2-1-45
17c (90段)
減目
27c (140段)
後身頃
26c (69目)
別糸で2段編む
23c (120段)
前身頃
(199目)
199目−109目＝90目
90÷2＝45目
2-1-45 段目回
17c (90段)
(+45目)
右と同じ
(+45目)
増し目
増し目
42c (109目)
16段 3c
(メリヤスダブル)

ひも＝4目の丸編コード
80c×2＝160c

19 製図

① 横編ですから、伸び分を考えて着丈は短めにとります。（5cm）
② 18と同要領で肩線を引き、編み地丈と同じ41cmをゆき丈にします。
③ 直角に袖口21cmをとり、身幅直下の21cmと結びますと、20cm平方の対角線45°が描けます。
④ 肩線を2cm下げて引き直し、袖口線まで延長します。

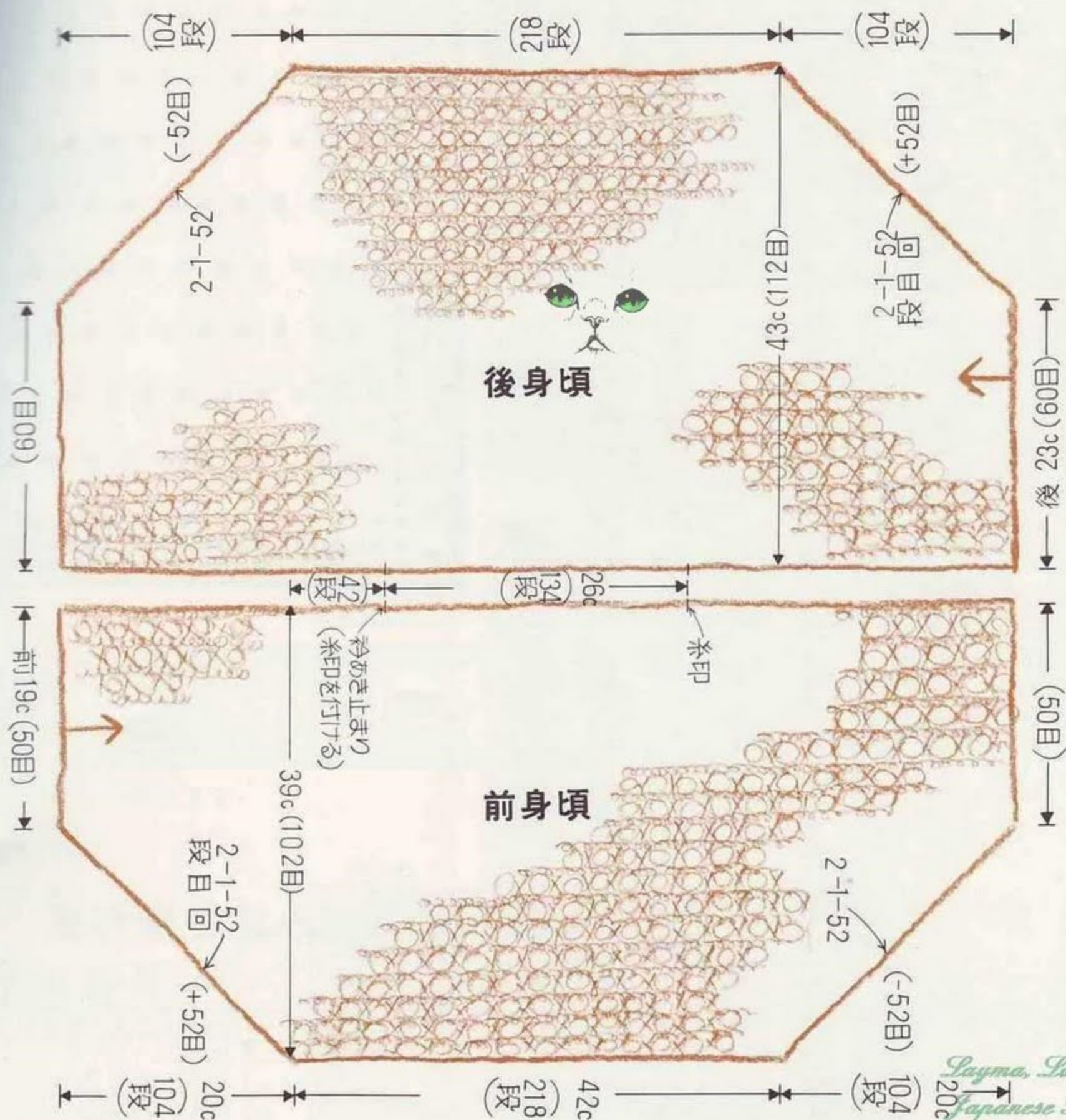
後身頃

前身頃

ひも＝5目の丸編コード 150c

18の編み地とパンチカード

19の編み地と操作表

順序	地糸口の糸	編目ダイヤル	キャリジ チェンジレバー	カムボタン					チェンジレバー	カム切替ツマミ	スレドボタン	パターンセンター 1	2	3	4	5	6	7	8	反転レバー	スライドダイヤル	選針切替レバー	配色糸	Lキャリジの方向	Kキャリジの方向
2	〃	〃	〃			〃			〃	〃	〃									反	〃	〃		→	⊂
1	[illegible]	5	1						1	ひ	ひ		2		4		6		8	正	1	△		←	⊂

18の作品　前身頃を編みます

1 メリヤスダブルの縁編を編みます

① 109目作り目し、メリヤス編16段を編みます。

② 編出し板をはずして、1段めのシンカーループを3本のうつし針で重ねてかけます。

③ 編み出し板を平均にかけます。

2 袖下の増し目をします

① 2段編みます。

② パンチカードは、増減目の都合で両端の針が出るようにするため、スタート[illegible]にセットします。

③ 両端の1目を1本のうつし針で外側の針に移し、Lキャリジの操作をします。Lキャリジの操作を先にしますと端目が落ちますので、必ず寄せ目を先にしてください。

④ 2段ごとに増し目を繰り返して199目（編機いっぱい）になるまで編みますが、ダブルになったメリヤス編に細い棒を通すと、平均におもりがかかり、メッシュ編がスムーズに編めます。

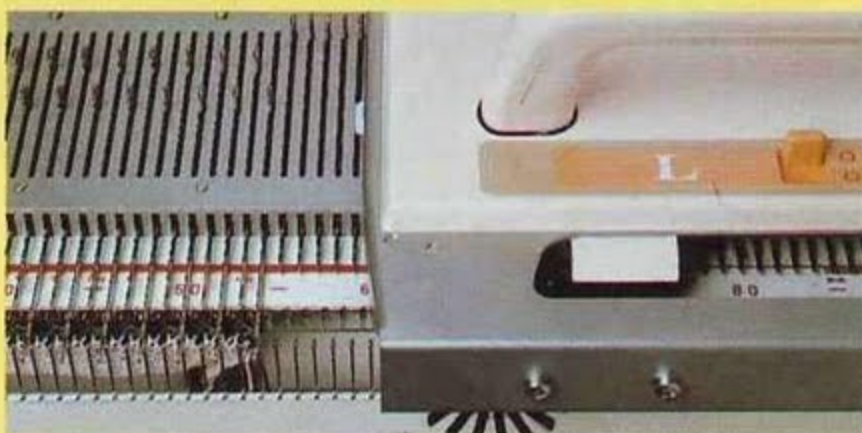
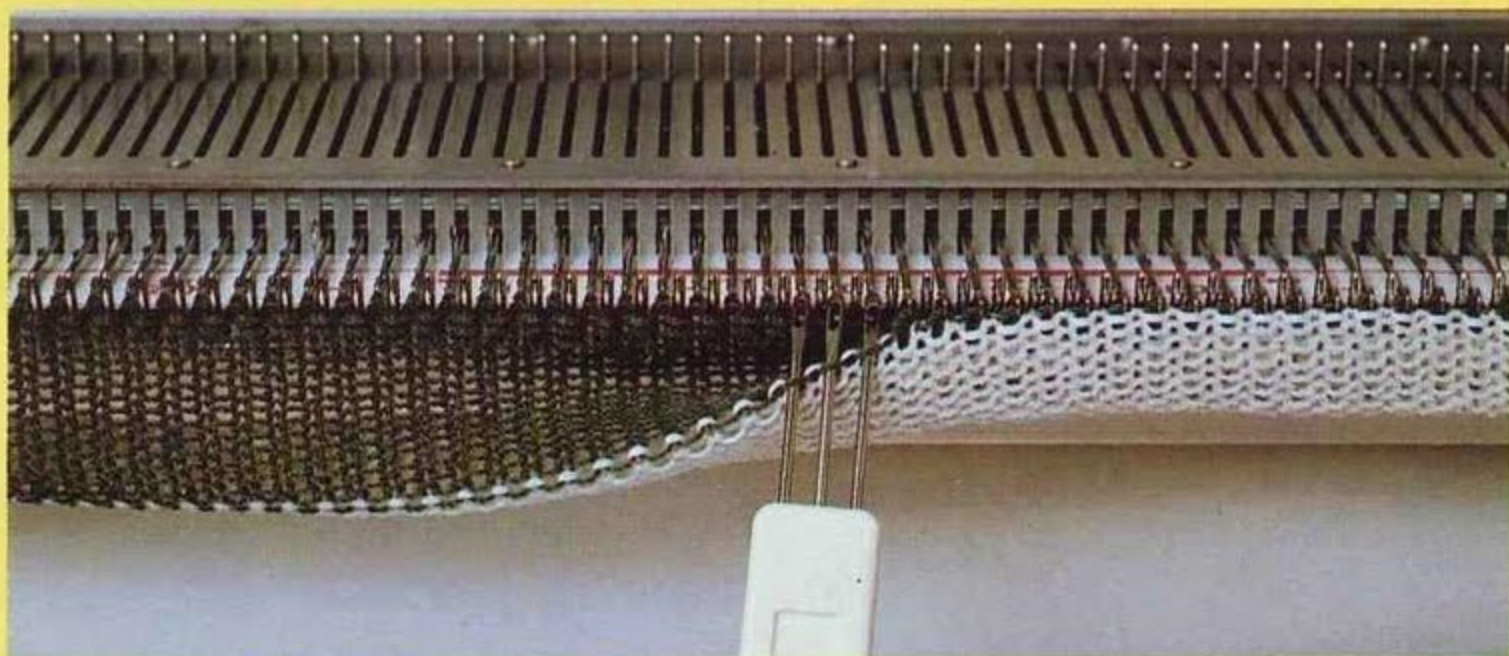
左寄せ目

右寄せ目

3 袖口丈を増減なく編みます

衿あきまでの120段を、メッシュ編にします。

4 衿あきを作ります

中央69目を別糸で2段編みます。

後身頃を編みます

1 袖口丈を増減なく編みます

140段をメッシュ編にします。

2 袖下の減目をします

① 2段編みます。

② 両端目を1本のうつし針で内側の針に移します。左側は左上2目1度、右側は右上2目1度になります。

③ Lキャリジを操作します。

①～③を繰り返して、作り目と同じ109目にします。最後はメッシュの穴をあけないでおきます。

左減目

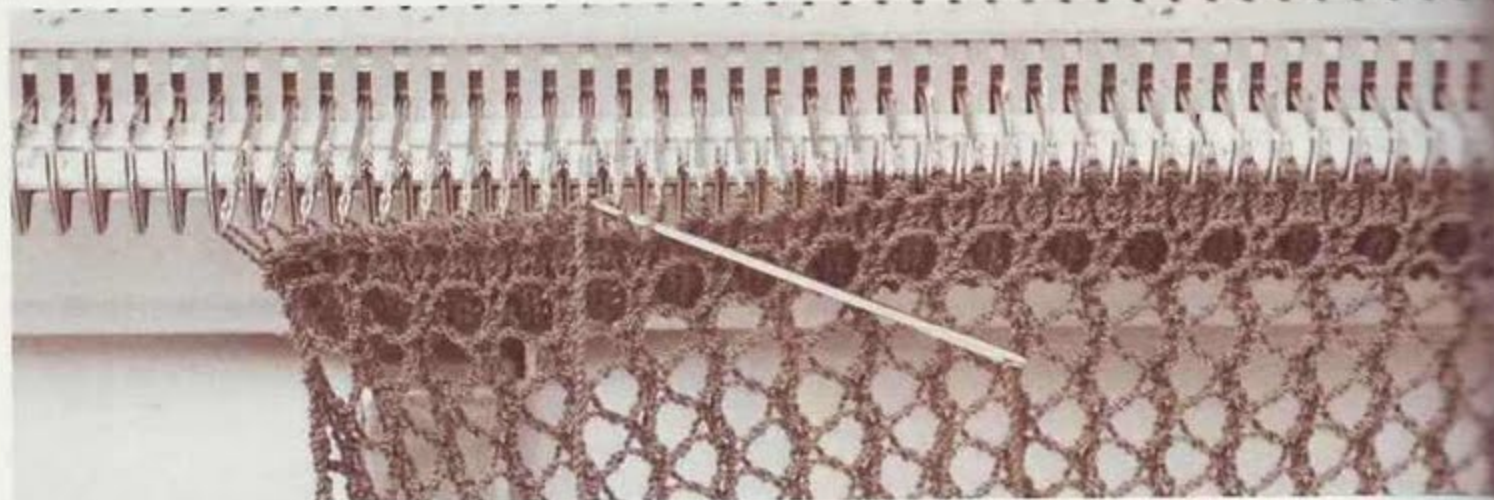
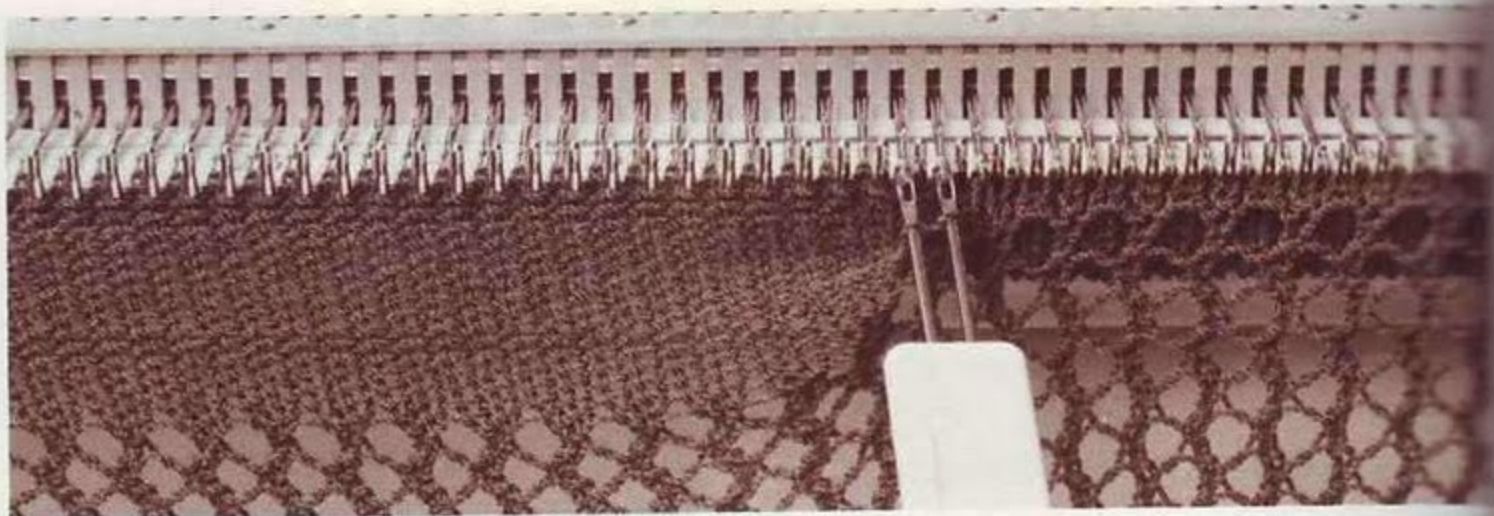
右減目

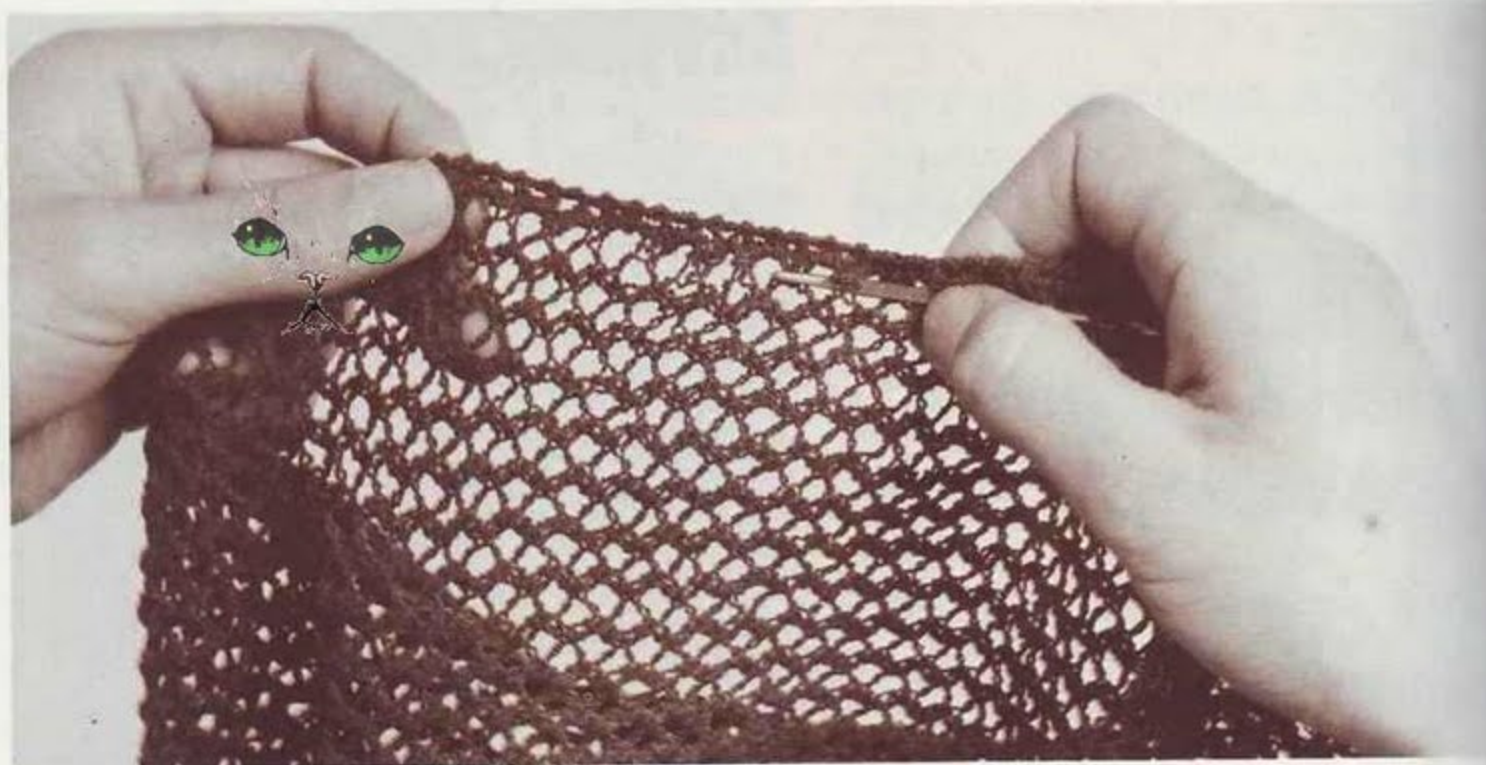
3裾の縁編を編みます

① メリヤス編16段を編みます。

② 1段めのシンカループを重ねてかけます。

③ 1段編んで、糸を編み幅の2.5倍残して切り、左から巻き止めにします。

④ 編機からはずします。

★袖口にコードを通します

4目の丸編コードを極太毛糸用のとじ針で、メッシュの穴を利用して袖口に通します。コードの端は、下で結べるようにします。

★裾にゴムテープを通します

伸び止めを兼ねて、ゆるめにゴムテープを通します。

丸編コードの作り方

① 編目ダイヤルを0に合わせます。

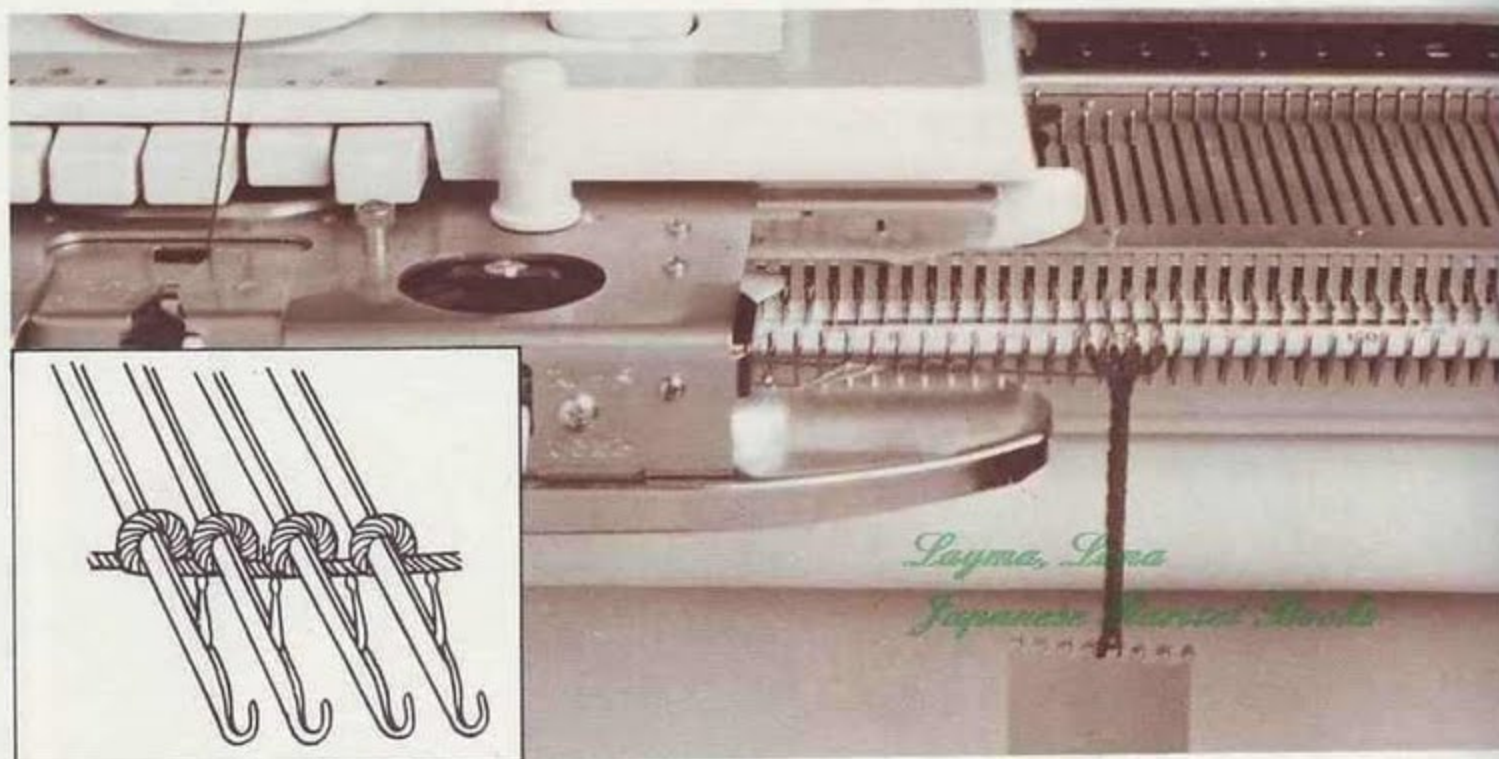
② カムボタンの〈すべり左〉を押します。

③ 針4目をB位置に出し、巻き目の作り目をします。

④ 重りをかけて、キャリジを往復させます。

⑤ 必要寸法を編み、編み始め、終わりとも糸端をループに通して締めます。

この方法で3～6目の丸編コードが出来ます。

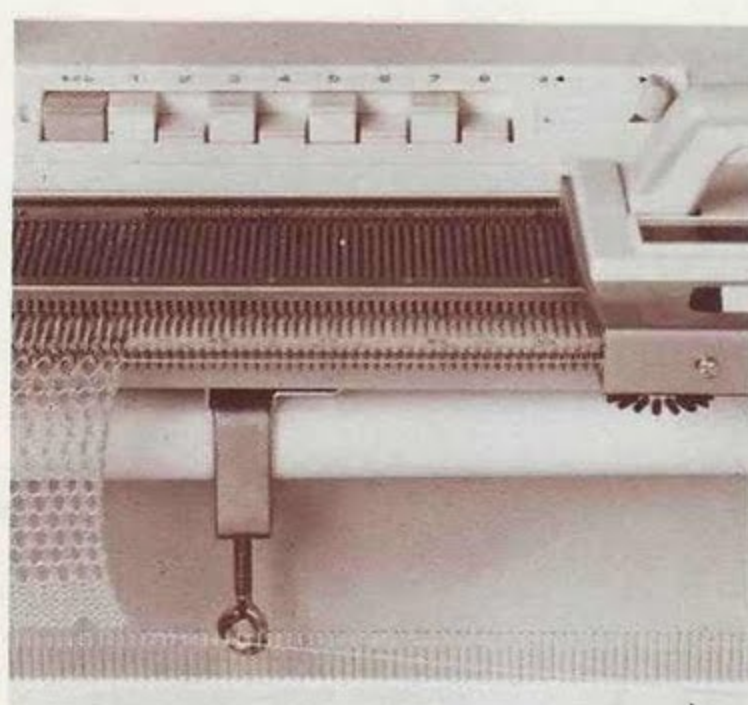
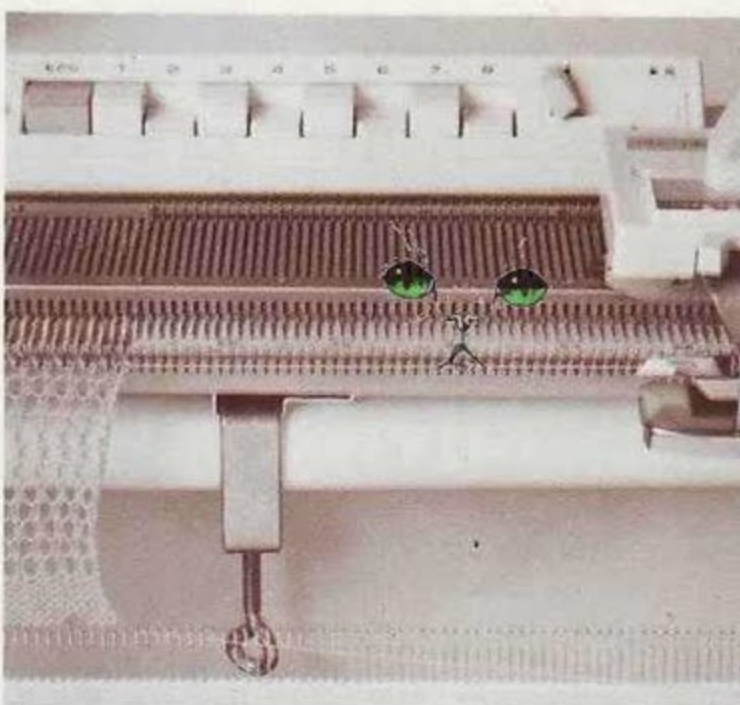
同じものが2本必要な場合は、2本分を続けて編み、あとで2等分します。段数など数える必要はありません。

19の作品　前身頃を編みます

前後身頃は別に編みますが、前後差4cmの作り目が10目違うだけで、編み方は全く同じです。

1作り目をします

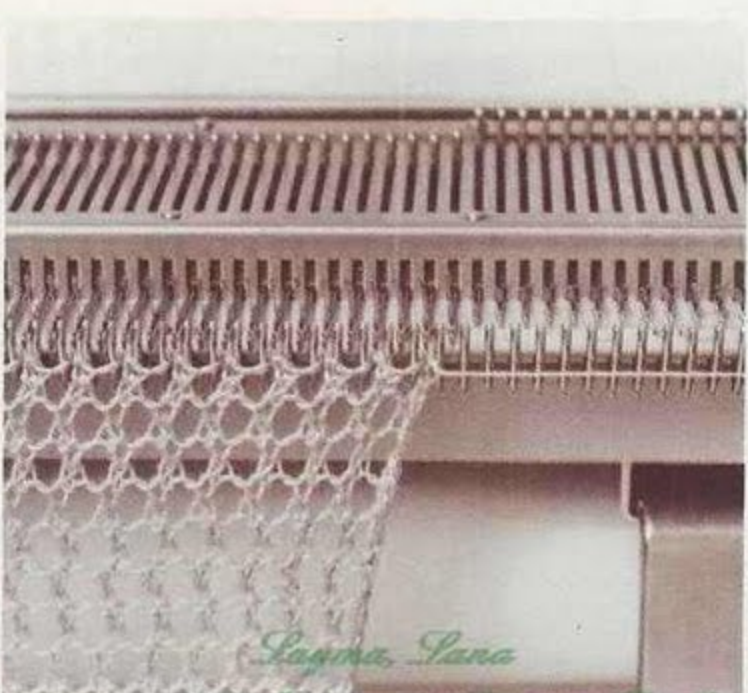
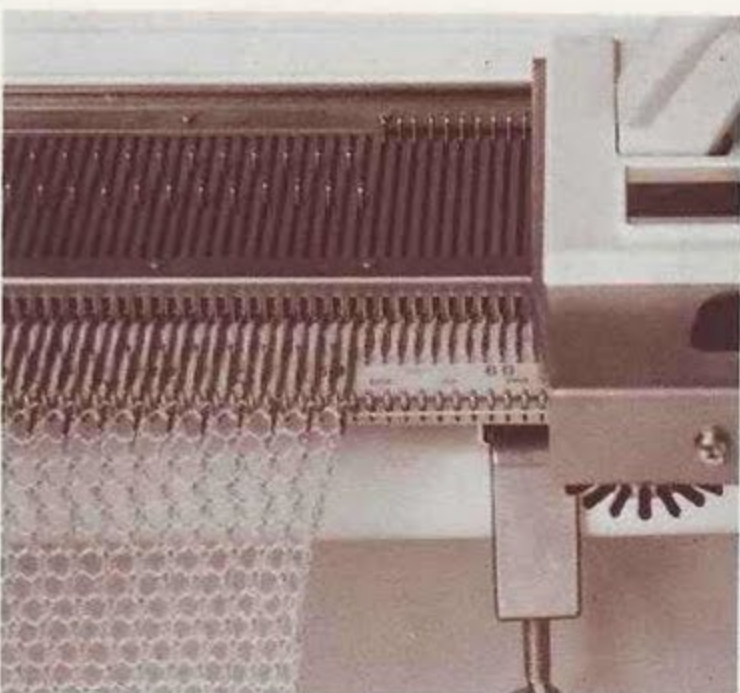
① 反転レバーを〈正〉に合わせます。
② 選針ボタンの2、4、6、8を押します。
③ 増減目は右側だけですから、袖口50目を編機の左寄りで作り目をしますが、針をB位置まで出したら、左側は端から1本あけ、右側は端目が選針されるように位置を決めます。

2袖下の増し目をします

2段編み18と同様に、1本のうつし針で外側に寄せ目をしてからLキャリジ操作をします。
2段ごとに反転レバーを〈反正〉にして増し目を繰り返し、102目になるまで編みます。

3脇幅丈を増減なく編みます

減目までの218段を増減なくメッシュ編にしますが、衿あき止まりには糸印を付けます。

4袖下の減目をします

① メッシュ編が左上2目1度の場合は18と同様に、1本のうつし針で内側の針に移してから、Lキャリジ操作をします。減目は中、右、左の順に3目1度になっています。
② メッシュ編が右上2目1度の場合は、選針してすぐにLキャリジ操作をします。右端は針がB位置に残っていますので、A位置まで下げます。

5捨て編をしてはずします

★裾にコードを通します

5目の丸編コードを18の袖口と同要領で裾に通し、前中心で結ぶようにします。

20

直線編で形作った丸ヨークブラウス。
伸縮性のあるメッシュ編の特長がいかされています。

作品のポイントとアイディア

メリヤス編ダブル、
巻き止めの始末

鎖とじ縫製

アイロン仕上げで作る
直線編の丸ヨーク

細編と
バック細編
1段ずつ

2段ごとの
減目

鎖とじ縫製

デリカのメッシュ編
選針ボタンと反転レバーで簡単に

メリヤスダブル、ゴムを通します

with plain skirt + chanel jacket

準備するもの

ブラザー編機 デリカ
カネボウ サマーベル　ライラック色(302)85ｇ　　白の細いゴムテープ75cm

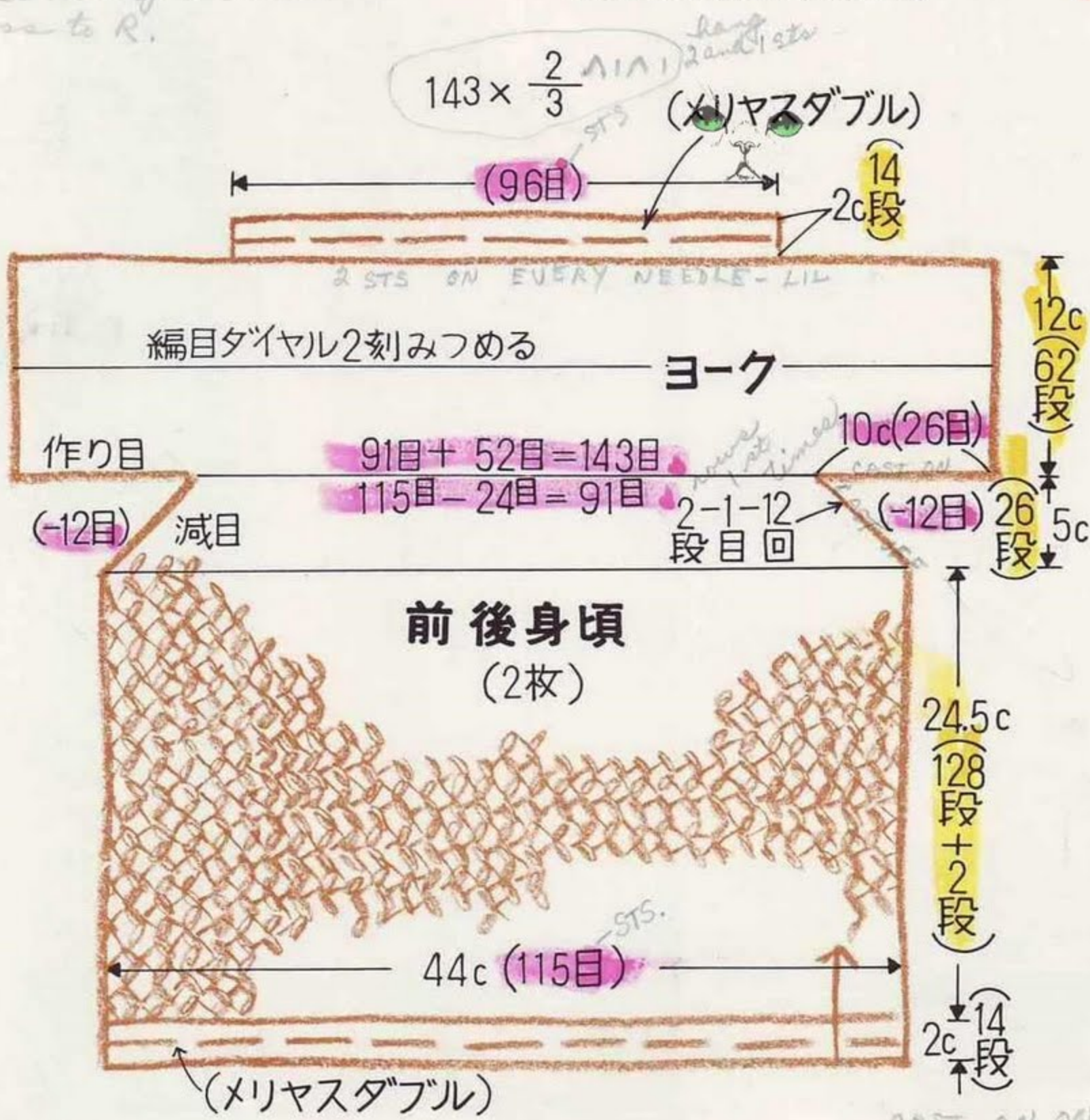
製　図

① W.Lからブラウジング分７cmを伸ばして着丈をとり、裾の縁編１cmを下にしるします。
② B.Lでゆるみ１cmを加え、脇線を直下します。
③ B.Lから45°の斜線を引き、５cmの位置で10cmの水平線を引きます。この斜線と水平線が袖ぐり線になりますので、腕の大きい人は11〜12cmの水平線にします。
④ 水平線の端で直上し、S.Pを通る水平線を背中心に結びます。直上線12cmはヨーク丈で、これが肩線になります。

編み方図

出来上がり寸法　胸囲88cm、丈43.5cm
ゲージ　メッシュ編10cm平方26目×52段
（編み目比２…１目２段が正方形）

下記の技法はそれぞれの頁を参照してください

- **メリヤスダブル**　35頁「メリヤスダブルの縁編を編みます」
- **メッシュ編**　37頁「前身頃を編みます」
- **袖ぐりの減目**　37頁「袖下の減目をします」
- **衿ぐりのメリヤスダブル**　36頁「衿の縁編を編みます」
- **脇とじ・肩とじ**（細編1目、鎖1〜2目の鎖とじ）28頁「脇とじ」の要領
- **袖ぐりの縁編**　27頁「衿あきの縁編」、28頁「袖口の縁編」

5 ヨークを増減なく編みます

① 143目でヨーク丈62段を編みますが、丈の半分位を編んだら目ダイヤルを２きざみつめます。
② 捨て編をしてはずします。

Layma, Lana
Japanese Raritet Books

BROTHER – TEN 3.2 VEVEEN — 7½ sts=1"
about 12 R = 1"

make sleeve shape on 1st knit row, make waste yarn pieces about 12 rows to hang on for cap sleeve then e wrap on right side knit to L hang waste and e wrap & knit across to R.

Add 1 st each side on bed so that when weaving shoulder & side seam it shows 3 sts as in pattern

CAST ON ON WASTE
1 CM AT 3.1 TENS = 6 rows
1 ROW AT 6 TENS

身頃を編みます

1 裾の縁編を編みます

作り目は115目、奇数です。反転レバー〈正〉の選針で、両側2本めの針が選針されるようにします。メリヤス編14段を編んでダブルにします。

4 ヨークの作り目をします

① 編機にかかっている91目の針をE位置に出します。
② 減目の右側で26目の針をB位置に出します。
③ Kキャリジの引返しレバーを〈引返し〉に合わせます。
④ 糸口に別糸を通して1段編みますと、B位置に出した26目の針に糸がかかります（捨て編の1段め）。
⑤ かかった糸の上に抜き糸をピンと張って乗せ、抜き糸が動かないように両端を一緒に引っ張りながら4～5段編み、抜き糸を引き抜きます。捨て編は10～15段編みます。
⑥ 右側の26目もE位置に出し、同要領で左側袖口の作り目をします。

◄ 5 は40頁にあります

6 衿の縁編を編みます

① ヨークの143目を$\frac{2}{3}$の目数に減目します。つまり、針に2目と1目を交互にかけます。96目になります。
② 編目ダイヤルを2目盛りゆるめて1段編み、2～14段はヨーク後半の目盛りで編みます。
③ 1段めのゆるいシンカループを拾ってダブルにし、1段編んで巻き止めにします。同じものを2枚編みます。

★ヨークにアイロンをかけます

① 衿のメリヤスダブルに、太めの糸を通して形よく衿ぐりを整え、両端をピンで固定します。
② 衿もとによったヨークのしわを手のひらでたたいて落ち着かせ、袖口の作り目のところは伸し、アイロンをかけます。

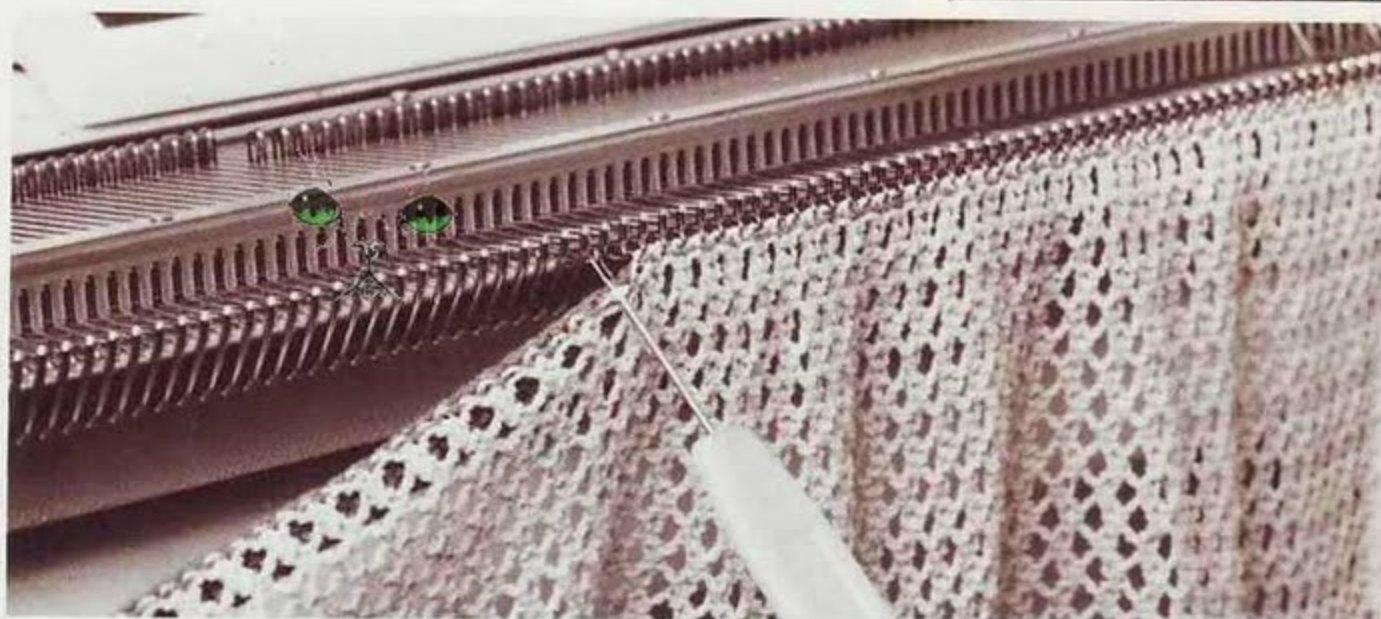
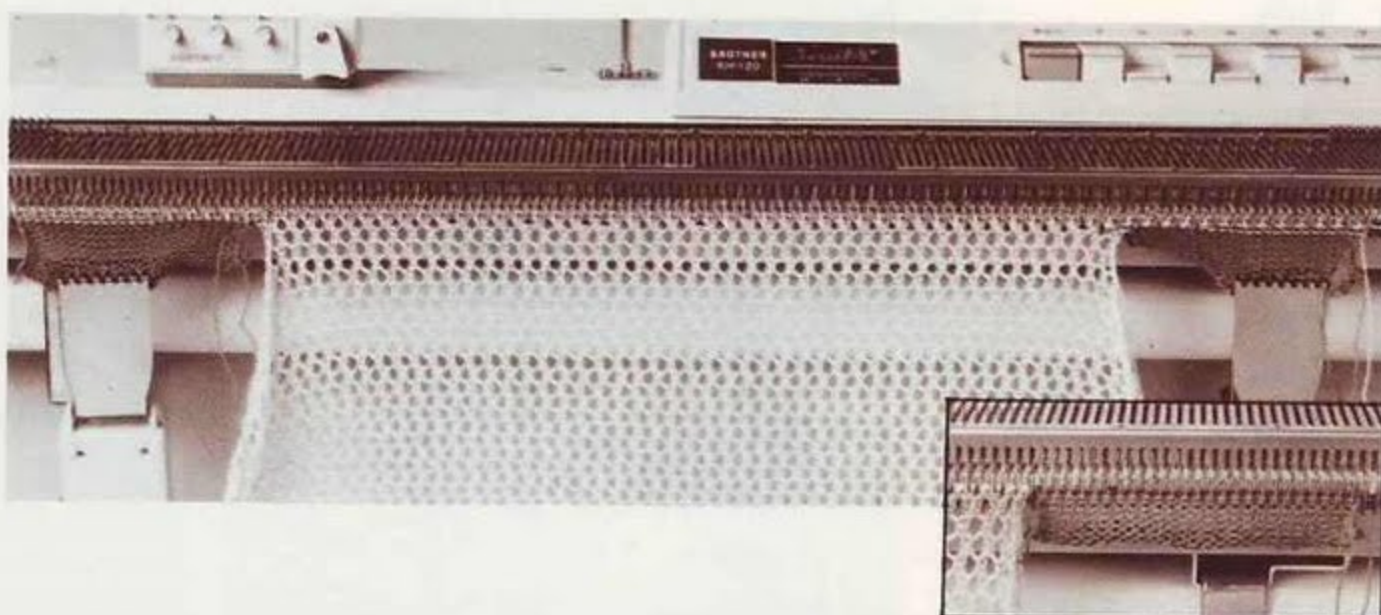
メッシュの穴は衿もとでは小さく、袖口では大きくなり、直線に編んだヨークが丸くなります。

★裾にゴムテープを通します

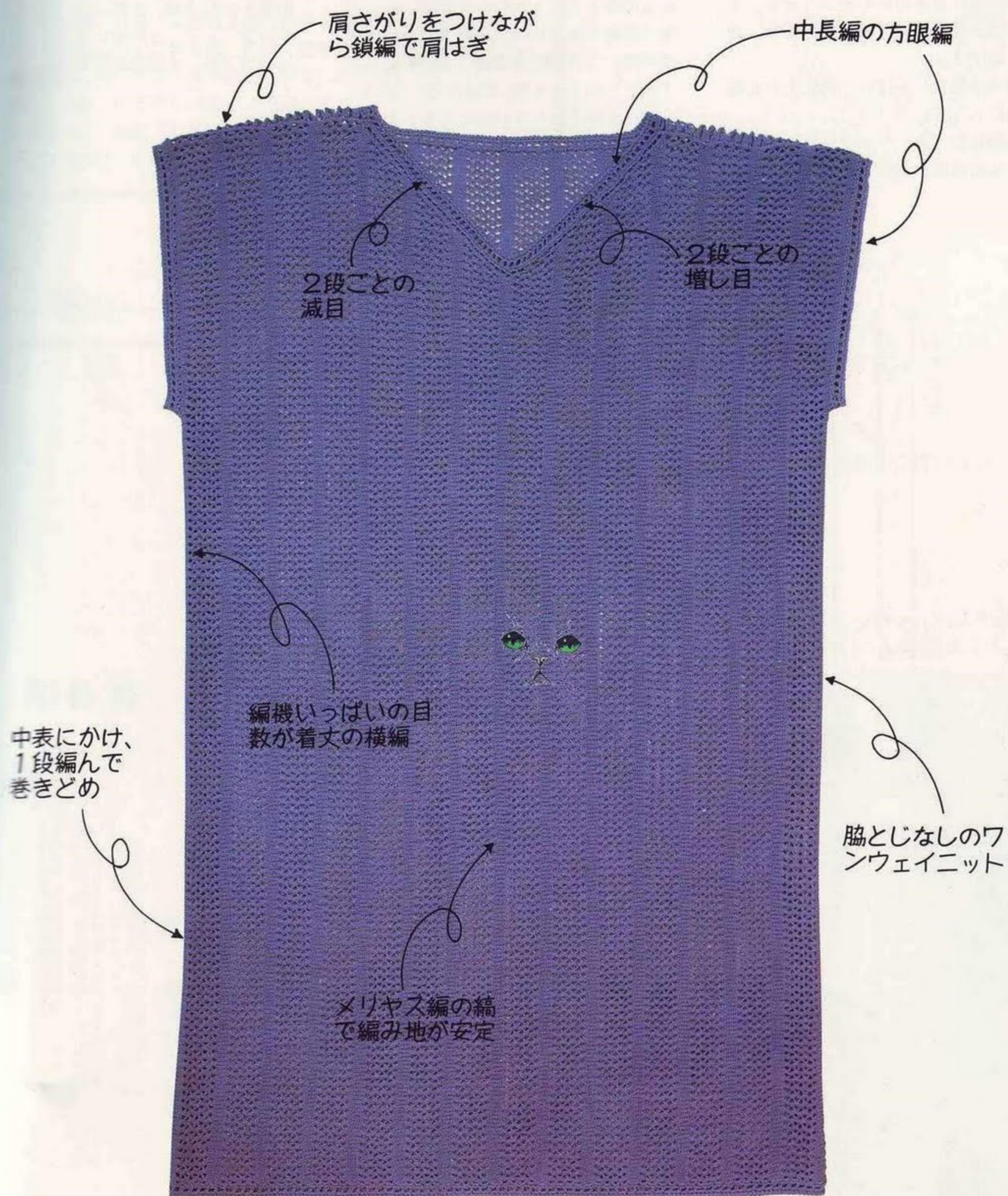
2 脇丈を増減なく編みます

2段編み、以後は反転レバー〈正反〉を繰り返してメッシュ編にします。袖ぐり減目の都合で、脇丈は4の倍数＋2段に調整しますので、128段＋2段の130段を編みます。

3 袖ぐりの減目

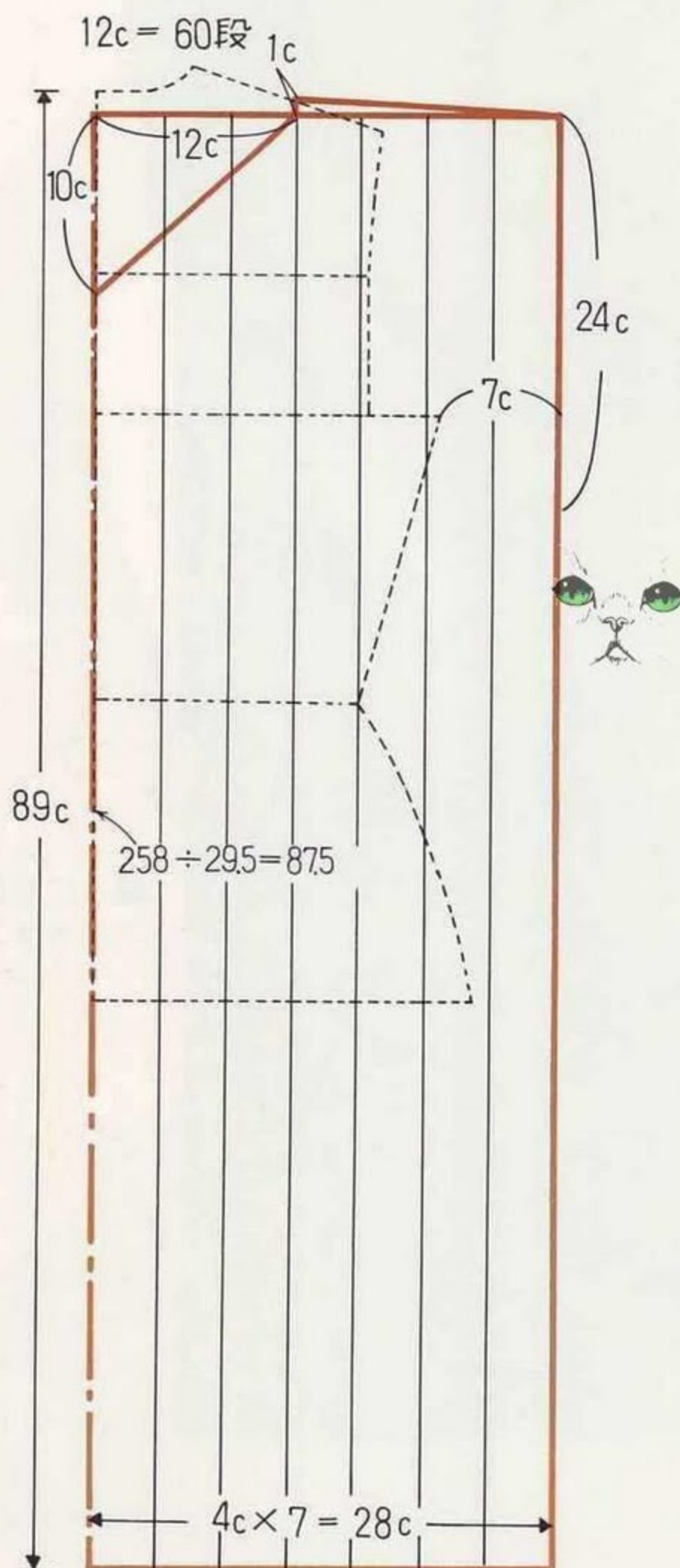
両端目を2段ごとに1目ずつ内側に重ねて、91目になるまで減目します。

アイロンをかける前

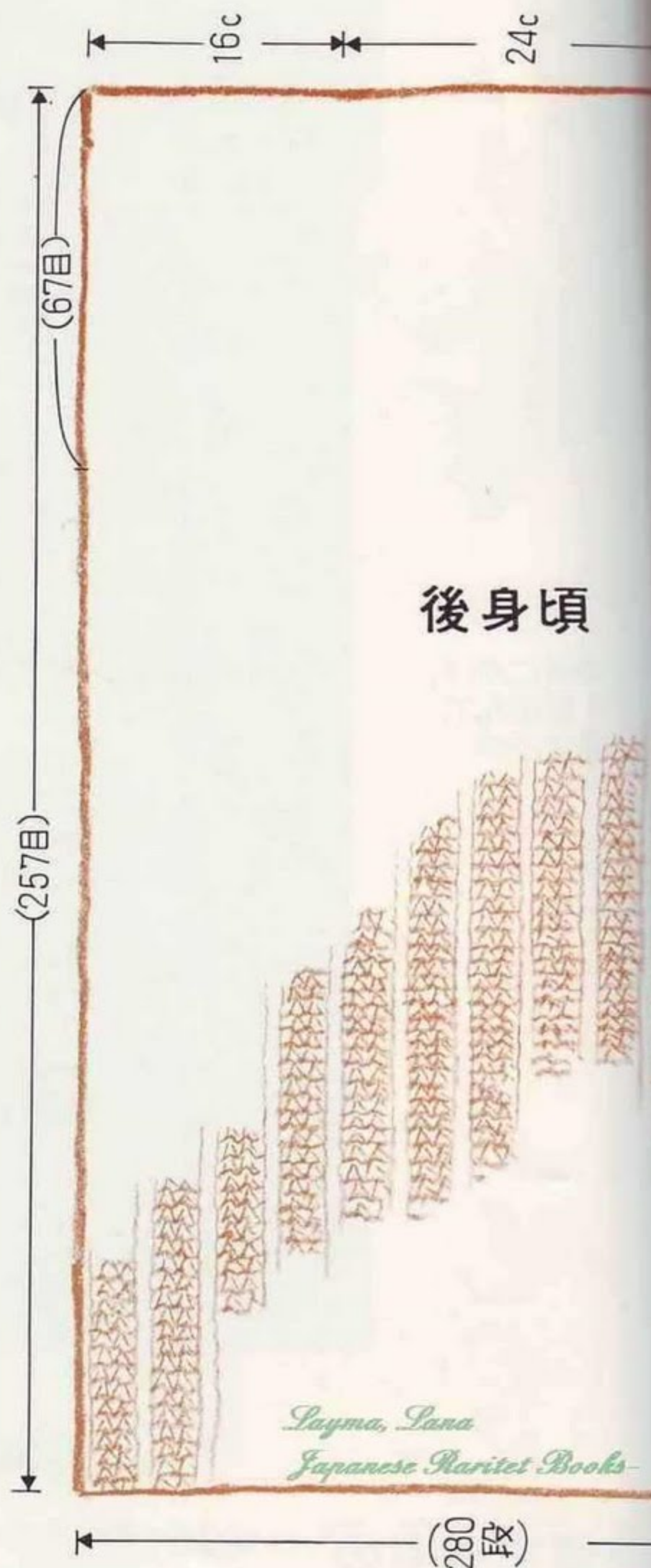
編機いっぱいの目数を着丈に、ワンウェイで編んだシャジュブル。
鎖編で簡単に肩下がりを作ります。

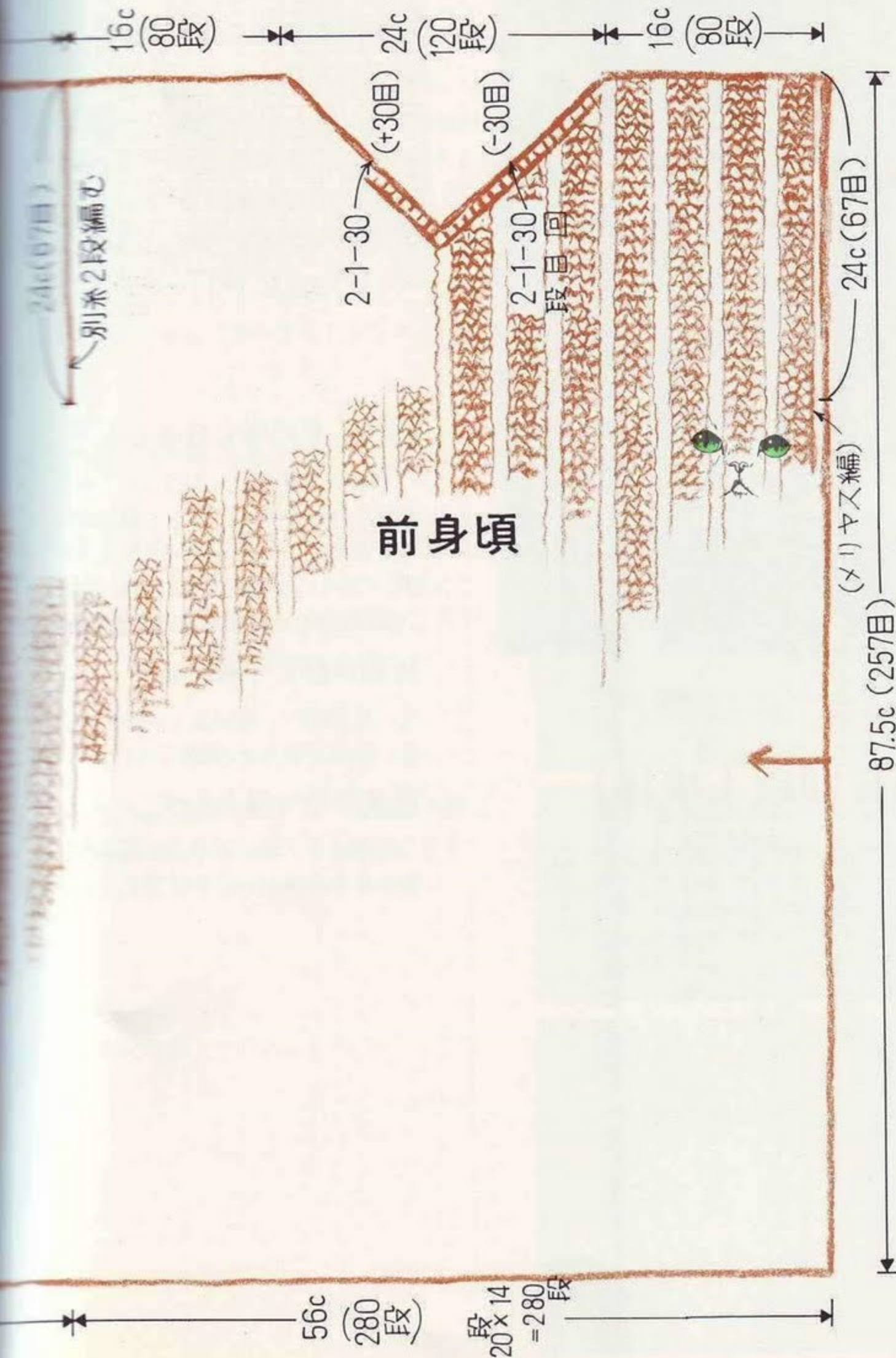
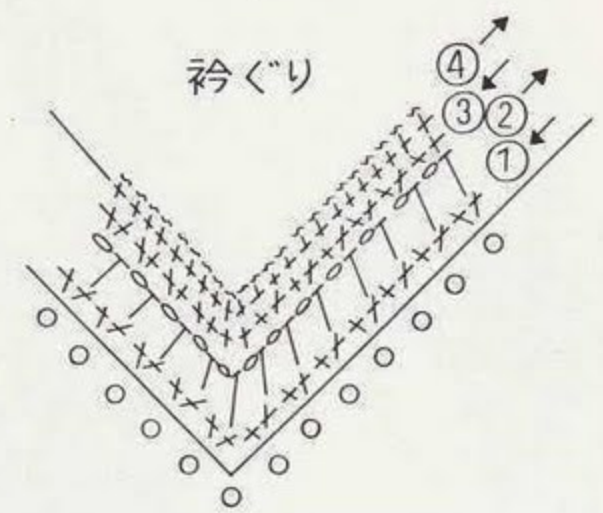
作品のポイントとアイディア

準備するもの

ブラザー編機 デリカ
カネボウ サマーベル あいねずみ(368)215ｇ

製　図

① 肩線上に背中心から12cmをとり、1cm下がった位置に水平線を引きます。後衿ぐり線です。
② 着丈は編機いっぱいで出来上がる幅87.5cmにします。
③ 身幅はH寸法、ブラウジング分も含めて4cmの倍数28cmにします。その結果、B.Lのゆるみは7cmになります。
④ 前衿下がり10cm（衿あき12cmは3模様60段、この60段を2段ごとの増減目にすると　60÷2＝30　で30目　30÷29.5＝1.02…2捨3入して10cmになる）をしして、後衿ぐりと斜線を引きます。

編み方図

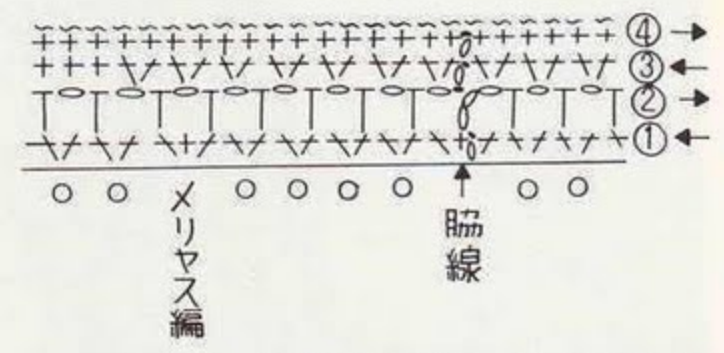
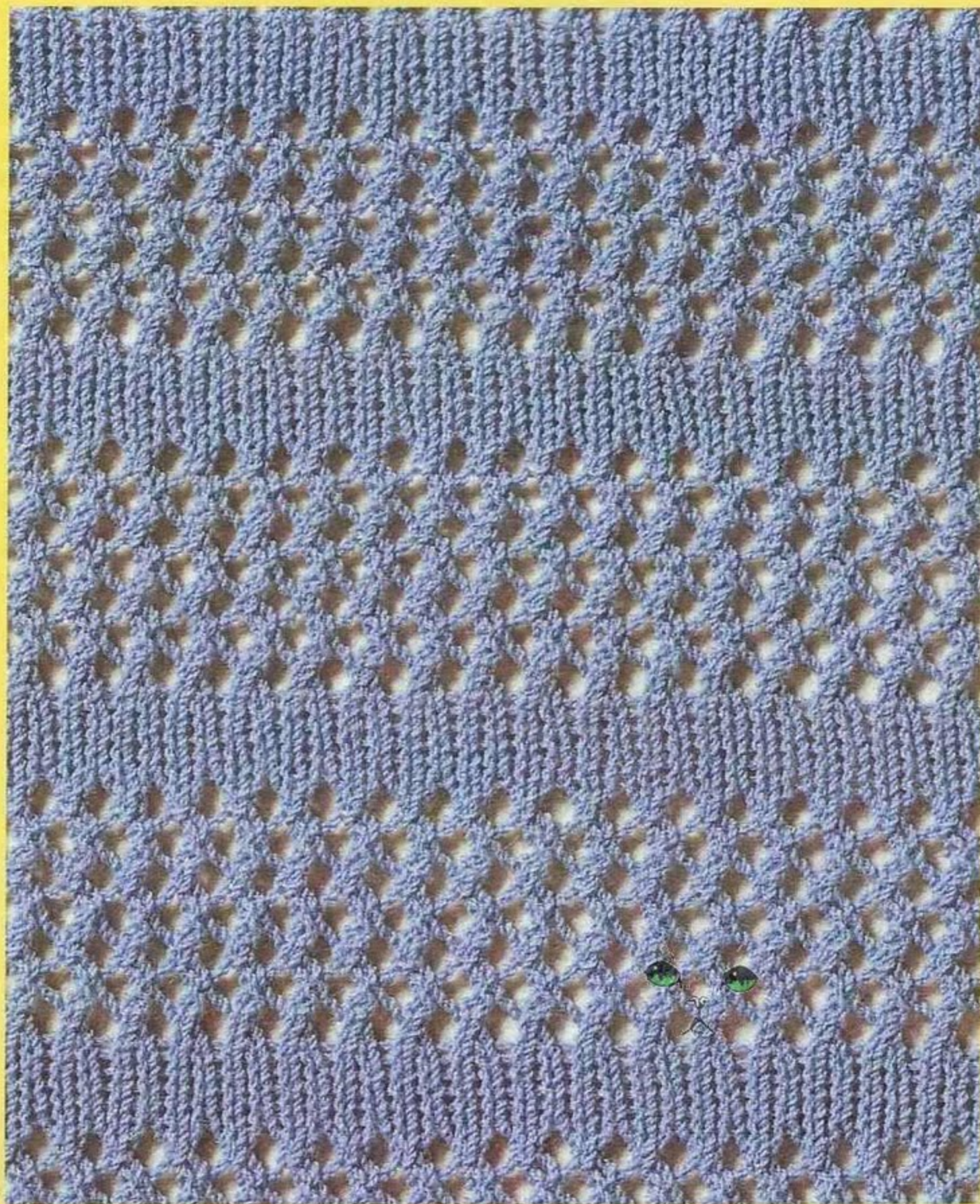
出来上がり寸法　身幅56cm、丈87.5
ゲージ　メッシュの中にメリヤス　cmが29.5目、1模様20段が4cm。

下記の技法はそれぞれの頁を参照してください

- 作り目　22頁「作り目をします」
- メッシュ編　37頁「前身頃を編みます」
- 衿ぐり減目の右上2目1度　37頁「袖下の減目をします」
- 衿ぐり増し目　35頁「袖下の増し目をします③」
- 袖口　24頁「衿あきを別糸で2段編みます」
- 丸編コード　36頁「丸編コードの作り方」
- アイロンかけ　26頁「アイロンかけ I」、29頁「アイロンかけ II」

縁編

裾・袖口

メッシュ編の部分は必ず穴に針を入れる

16c (80段)
24c (120段)
16c (80段)
(+30目)
(-30目)
2-1-30
2-1-30 段目回
24c(67目)
別糸2段編む
24c(67目)
(メリヤス編)
87.5c(257目)

前身頃

56c (280段)
20段×14 =280段

ウエストをブラウジングさせた
ミセス向きの着こなし

※＝Lキャリジ操作による減目

3衿ぐりの増し目をします

右端の1目を、1本のうつし針で外側の針に移します。メッシュ編の部分は、増し目をしたあとLキャリジ操作をします。

257目になるまで繰り返します。

4袖口線まで編みます

① 模様編で、増減なく80段編みます。
② 袖口分67目を、別糸で2段編みます。

5後身頃を編みます

模様編で、増減なく280段編み、捨て編をして編機からはずします。

（2目20段 1 模様）

前後身頃を編みます

前身頃から編みます

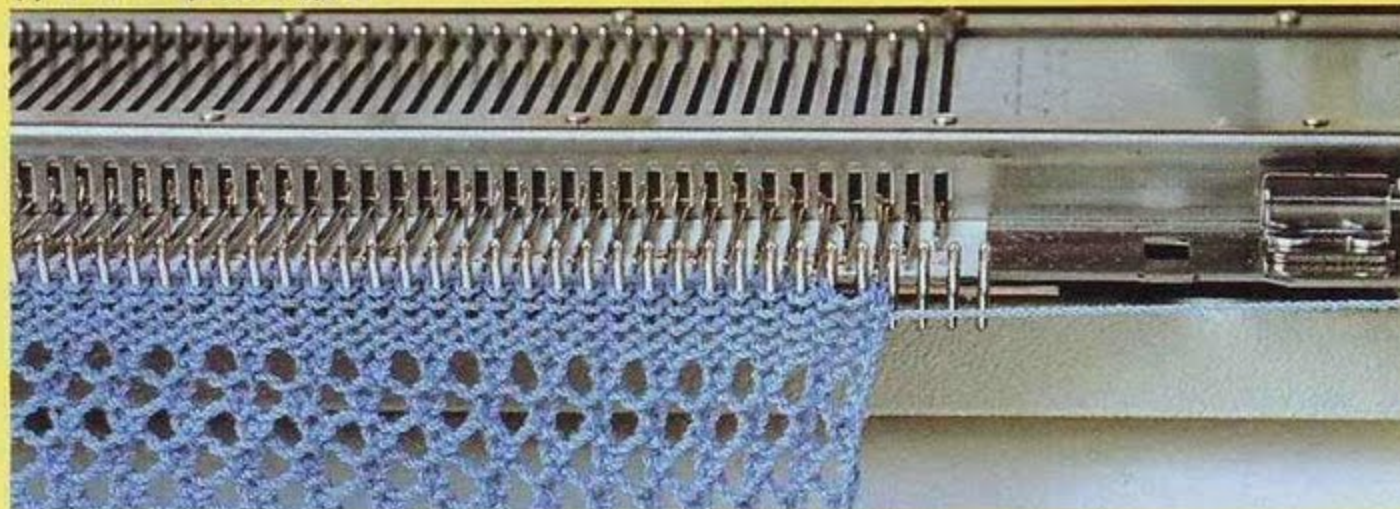
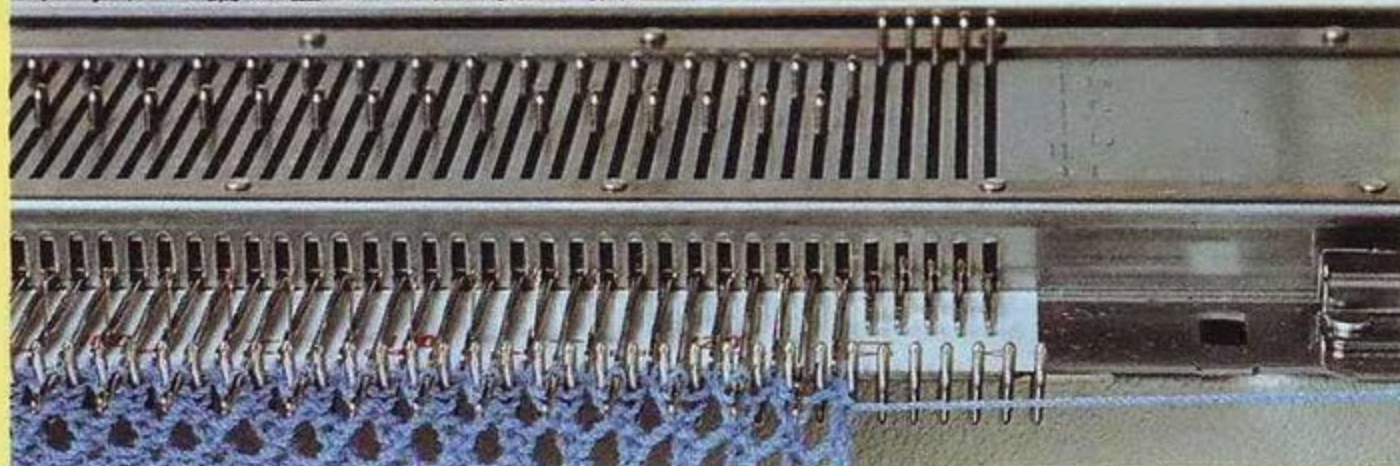
作り目は257目、奇数です。右脇線から編みます。最初はメリヤス編8段の½ 4段を編んでから「メッシュ編7回(14段)、メリヤス編2段」を繰り返し、80段編みます。

衿ぐりの減目をします

2段編んで（メリヤス編の6段め）、右端目の目を1本のうつし針で左の目に重ねて2目1度をします。

次から2段ごとに減目をしますが、メッシュ編の左上2目1度の場合は、①の要領で減目してからLキャリジ操作をします。3の目が2目1度になります。反転レバー〈反〉の右上2目1度の場合は、選針してLキャリジ操作をすると、自動的に減目が出来ますから、右端のカムをA位置に下げるだけです。

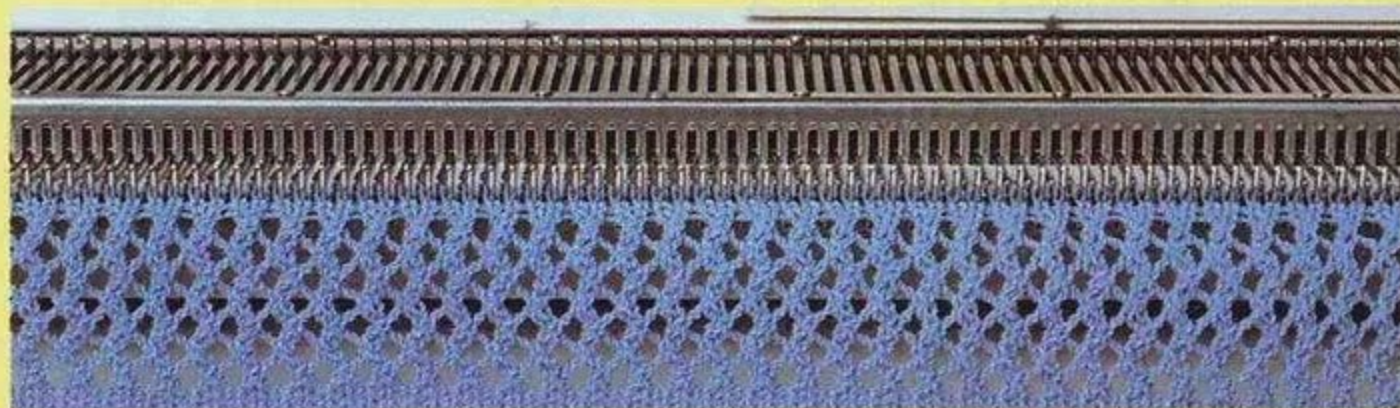
段まで繰り返して編みますと227目になります。

衿ぐり　最初の減目

メッシュ編が左上2目1度の場合

◀3～5は46頁にあります

はぎをします

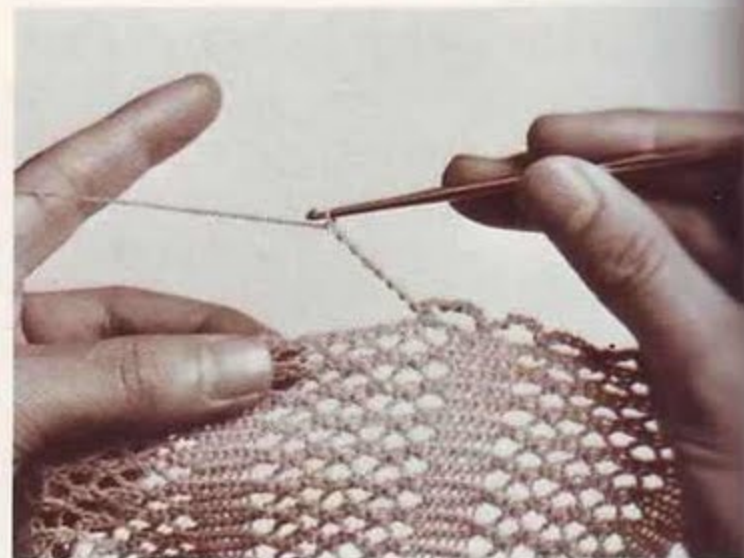
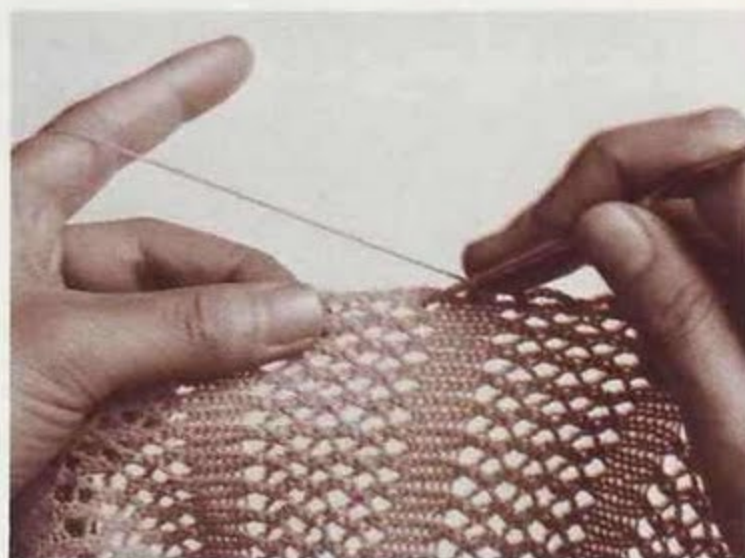
前身頃の脇(編み始め)を、表側を手前にして編機にかけ、抜き糸を抜いて捨て編をはずします。

後身頃の脇(編み終わり)を、裏側を手前にして編機に重ねてかけ、捨て編をほどきます。前後身頃の2枚が中表に重なります。

1段編んで巻き止めにします。

肩下がりを編みます

鎖目の数を変えることによって、なだらかな肩下がりを付けることが出来ます。

1 細編 I 目、鎖 3 目

① 前後身頃の袖口を続けて、引き抜き止めをします。
② 後身頃の袖口側角に糸を付け、1目内側をすくって細編1目を編みます。
③ 鎖3目を編みます。
④ ②、③を4回繰り返しますが、2回めからの細編は、メッシュ編の穴に針を入れて細編をします。

2 細編 I 目、鎖 5 ～ 9 目

鎖を5目に増して5回、7目に増して5回、9目に増して6回繰り返し、衿あき止まりの位置に細編1目を編みます。

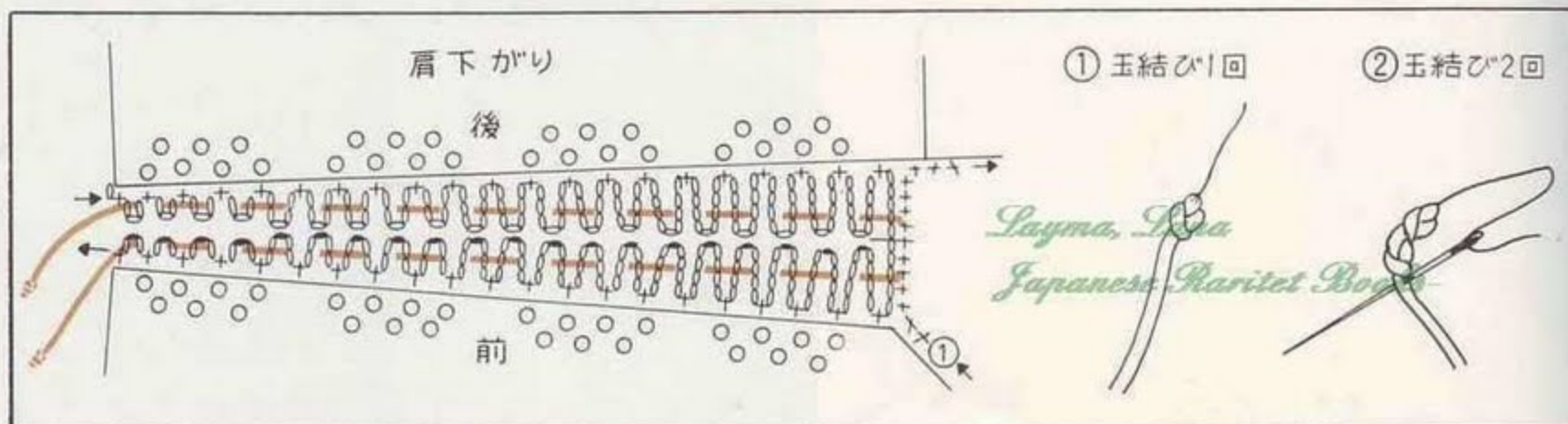
3 つなぎ方

① 鎖10目を編んで前身頃の衿あき止まりに細編1目を編みます。
② 鎖4目を編んで針をはずし、向かい側のループに針を入れてはずした目を引き抜き、鎖4目を編んで細編1目を編みます。
③ ②の要領で、引き抜きを含めた鎖の数を向かい側の鎖と同数にしてつなぎます。
④ 細編1目で終わります。

反対側も同要領で編みます。

★丸編コードを肩下がりに通します

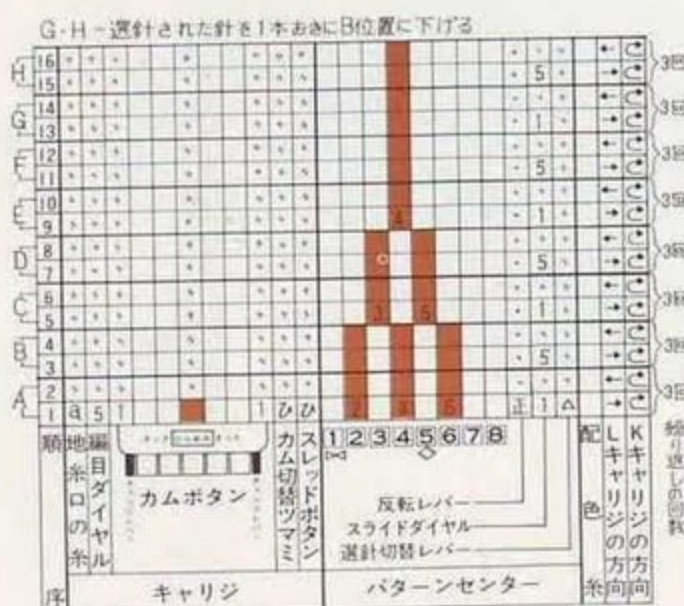
3目の丸編コード140cmを2つに切り、肩下がりのネットに通します。両端は、玉結びにしたあと糸端の始末をします。玉結びを2個続けて結ぶと、しゃか結びと同じ感じに出来ます。

丸編コード 140 cmをそのままH位置に通し、ブラウジングさせて着ると、変わった雰囲気が楽しめます。

デリカによる模様編のバリエーション

1 たけのこ

スライドダイヤルが2のときはLキャリジを左から入れ、3のときは右から操作します。繰り返しの回数は好みで変更できます。

2 市松

スライドダイヤルが、模様ごとに1と5の操作の繰り返しになります。

3 小花ダイヤ

2段ごとに選針ボタンを押し替え、1柄終わったところでスライドダイヤルを操作します。

22
縞合わせが美しいレーシーなブラウス。
2段ごとの減目をもとにした簡単なラグランスリーブです。

作品のポイントとアイディア

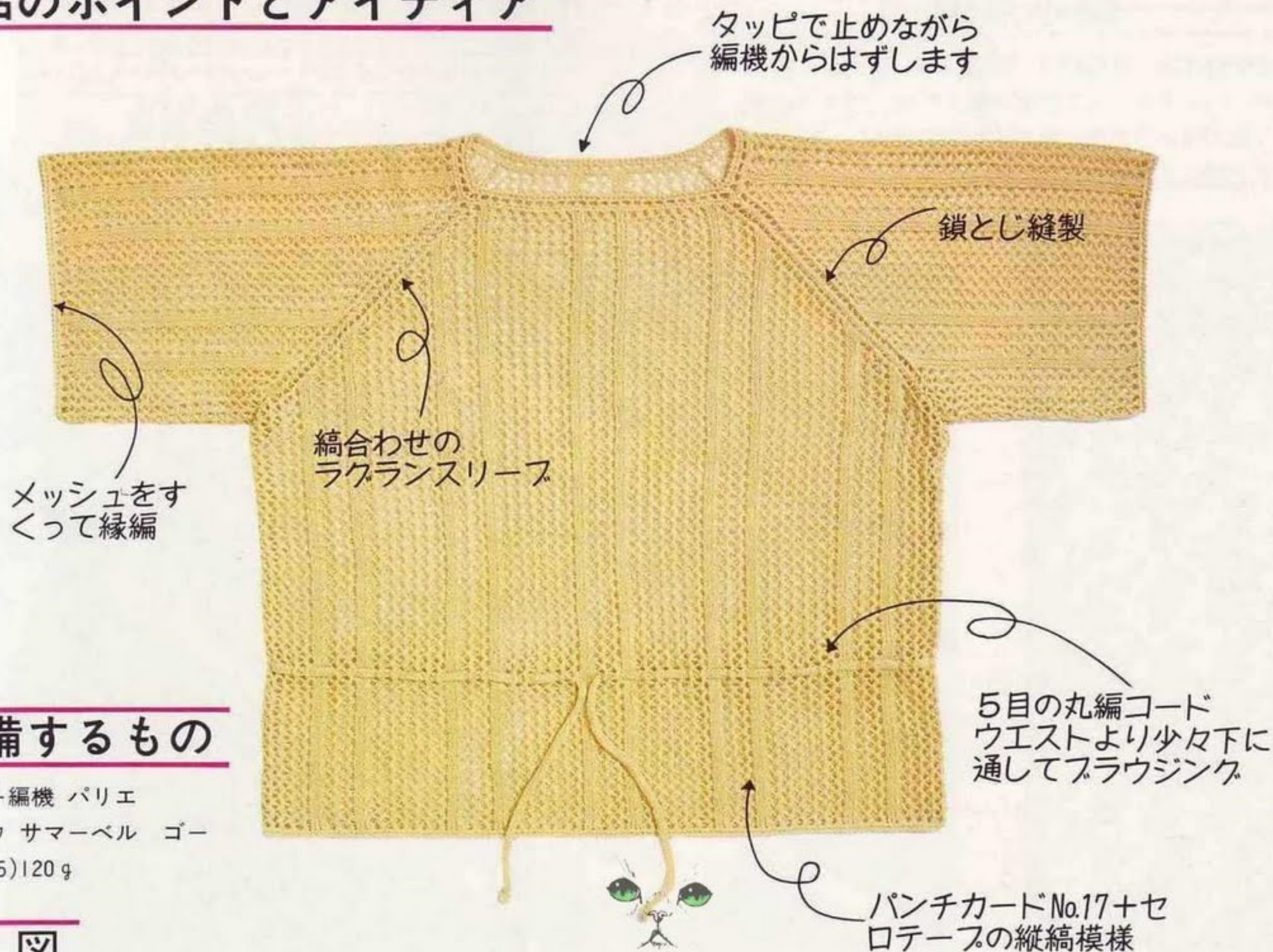
タッピで止めながら
編機からはずします

鎖とじ縫製

メッシュをす
くって縁編

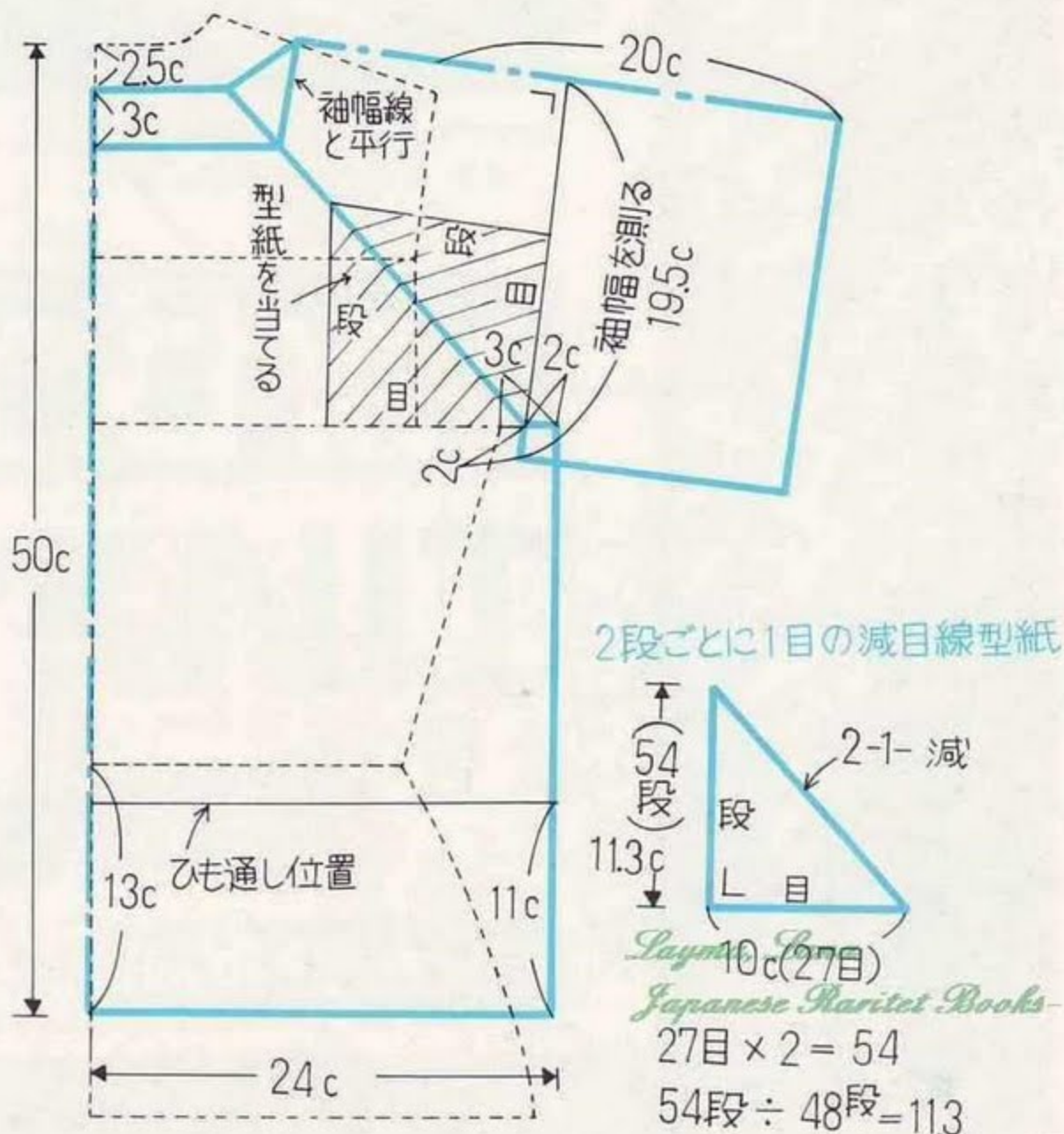
縞合わせの
ラグランスリーブ

5目の丸編コード
ウエストより少々下に
通してブラウジング

パンチカードNo.17＋セ
ロテープの縦縞模様

準備するもの

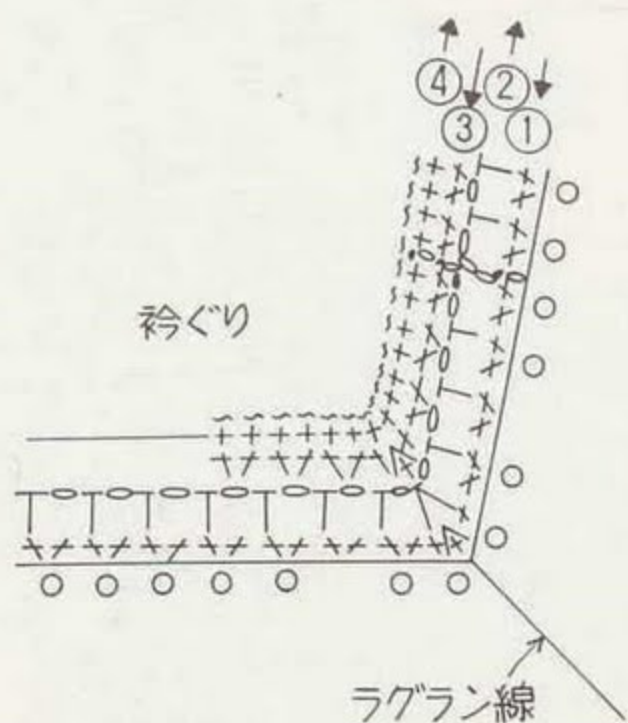
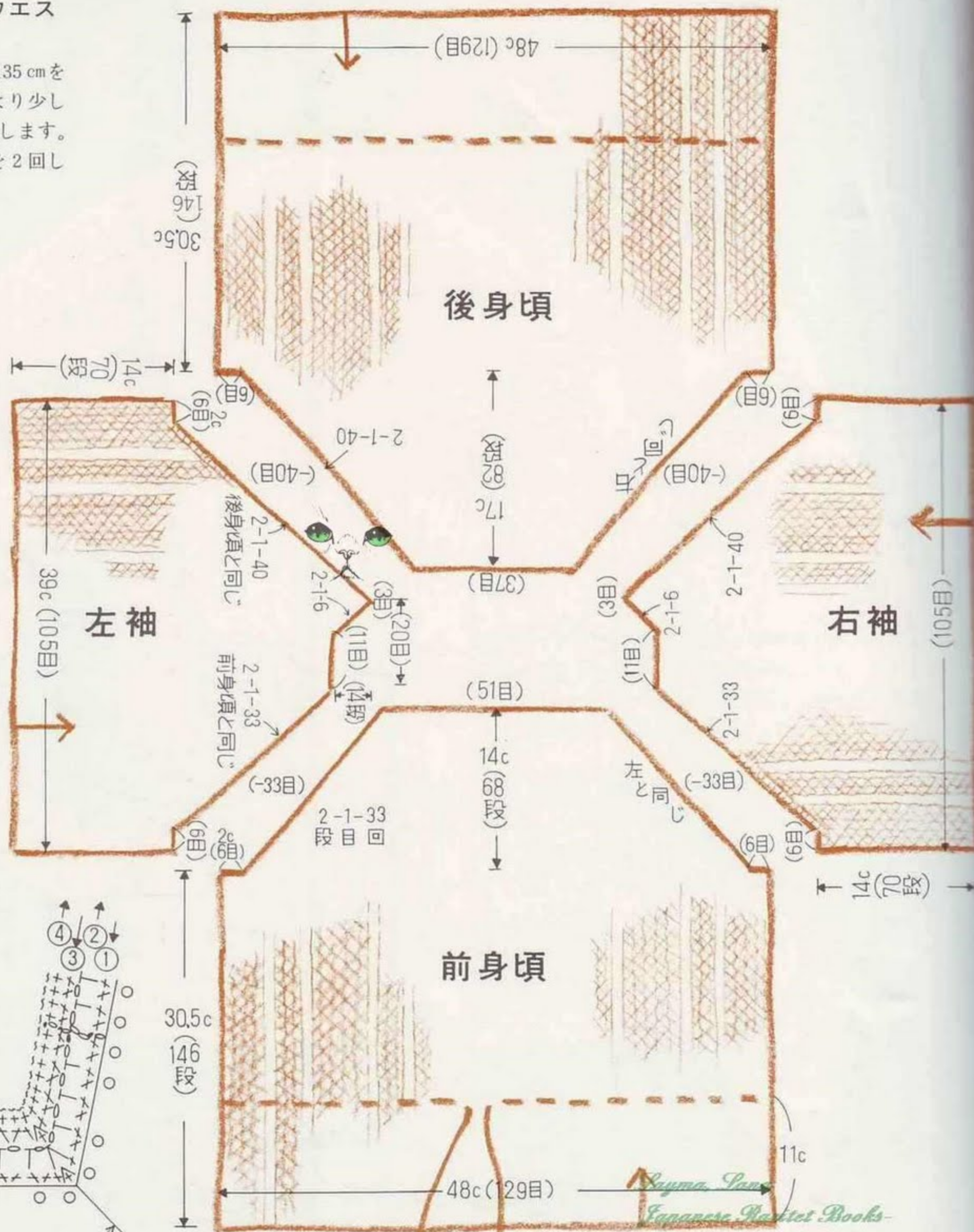
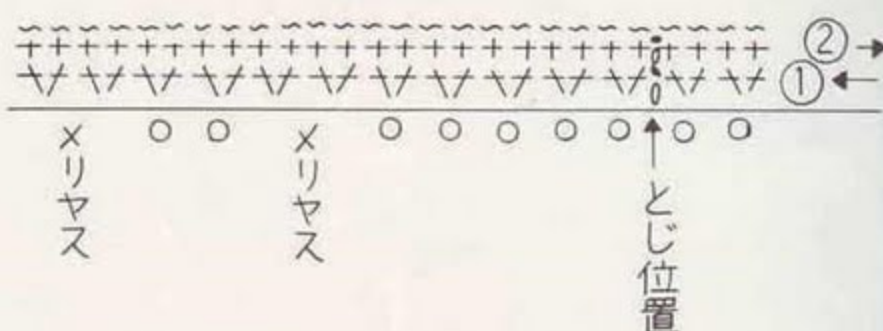
ブラザー編機 パリエ
カネボウ サマーベル ゴールド(325)120ｇ

製　図

① 身頃と袖の縞を合わせるために、等角ラグラン線の型紙を作ります。まず、10cm27目を２段ごとに１目ずつ減目して出来る三角形を、正確に書きます。幅に10cmとり、左側の垂直線に11.3cmとり、斜線で結びます。この斜線をラグラン線にします。
② W.Lから13cm伸ばして着丈をとります。
③ B.Lで３cmのゆるみを入れて脇線を引きます。このゆるみは多過ぎますが、ラグラン線の納まり具合と、レイヤードでも着られる点を考慮に入れてあります。ブラウジングすれば、あまり気になりません。
④ B.Lで脇線から２cm内側に入って①の型紙を当て、ラグラン線を引きます。
⑤ 後衿ぐりは2.5cm、前衿ぐりは更に３cm下げて水平線を引きます。
⑥ 袖側には①の型紙を裏返して当て､袖幅線を引きます。
⑦ 袖幅線に平行に前衿ぐり線を引き、後衿ぐりと結びます。
⑧ 袖幅線に直角に袖中心線を引き、袖丈20cmを延長します。
⑨ 袖幅線上に２cmのくり分を加え袖幅を測ります。19.5cmです。
⑩ 袖口で袖幅と同寸をとり、袖下線を描きます。

編み方図

出来上がり寸法　身幅48cm、丈47.5cm、袖丈20cm。
ゲージ　パンチカード1模様の幅が9cm、10cmが48段。身頃と袖の縞をラグラン線で合わせるために、10cm平方に直すと27目×48段。

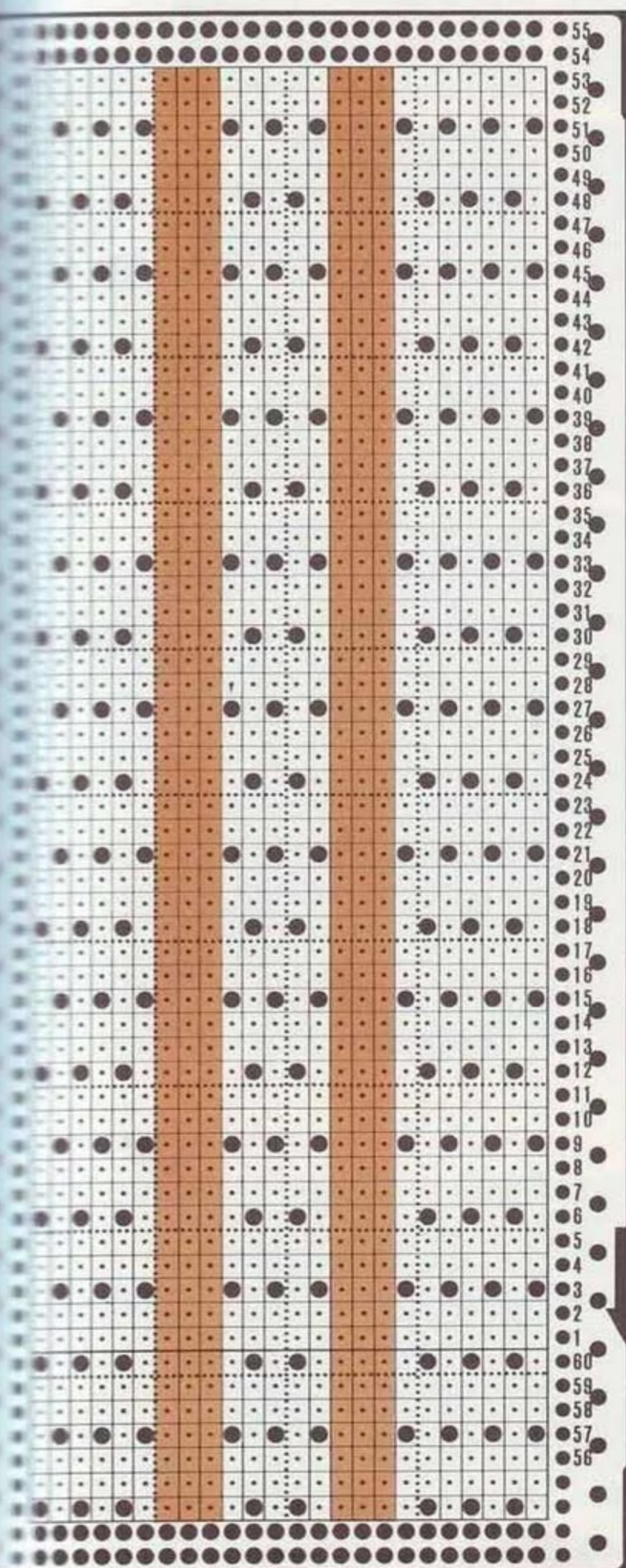
★丸編コードをウエストに通します

5目の丸編コード135cmを編み、ウエスト位置より少し下のメッシュの穴に通します。コードの先は玉結びを2回します。

下記の技法はそれぞれの頁を参照してください

- 作り目　22頁「作り目をします」
- 模様編　23頁「模様編の編み方」
- 脇とじ　28頁「脇とじ」
- ラグラン線のとじ（細編1目、鎖1目の鎖とじ）　28頁「脇とじ」の要領
- 袖口・裾の縁編　27頁「衿ぐりの縁編」
- 丸編コード　36頁「丸編コードの作り方」

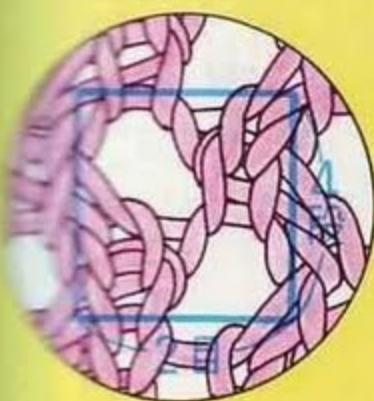
ンチカードの作り方

27Fをお持ちの方は、12mm幅のセロテー左から4と5の穴がかくれるように縦にちり張ります。間を2穴飛ばして、もう張ります。

リーカードに新しくパンチするときは、テープの部分には穴をあけません。

柄入りメッシュのパンチカード
を作りましょう

メッシュ編をベースに考えたレース模様です。メッシュ編の特徴がわかりますと、パンチの難しいレース模様も自由に創作することが出来ます。パンチカードに素敵な柄を創作して、楽しいブラウスを編んでください。

メッシュ編の特徴

メッシュ編は編み目の割合が１：２、つまり１目２段が正方形に近くなります。従って、１模様２目４段は勿論、目数の２倍の段数を編むと正方形に近く仕上がることになります。

このメッシュ編の特徴を生かして作ったのが下絵用です。●印は編み目のかけ目の穴と相似形になっていますので、好きな柄を書き込めば、その柄はほとんど同じ形になって編めます。

フリーカードいっぱいで幅は24目、丈は好みで制限ありませんが、フリーカード１枚では40段編むことが出来ます。フリーカードにはNo.17Ｆのパンチカードと同じように３段ごとに穴をあけますので、

60(フリーカードの段数)÷３＝20（穴をあける段）

１段の穴に対して実際は２段しか編めないので、20×２＝40(段)　となります。

また、正方形の模様を作りたい場合は、編み目の割合が１：２ですから、

24(目)×２＝48(正方形に必要な段数)

$\frac{48}{2}$(穴をあける段数)×３(間隔)＝72(パンチカードの必要な段)

72－60(フリーカード１枚分)＝12

つまり１枚と12段(２枚め)必要になります。初めはカットしたり、２枚つないだりの手間を省いて、カード１枚で出来る柄を入れてみましょう。

メッシュ編パンチカード下絵用

A　B

80 ←カード２枚→

60

←正方形模様→

40 ←カード１枚→

20

▲中心　▲中心

作り方の順序

1 下絵用紙に好きな柄を書きます

何回も使えるように鉛筆で書いてください。このカードの中心(▲)は、奇数ですから中心線の左側のマスになります。AとBでは選針位置が違いますので、入れる柄によって使い分けてください。

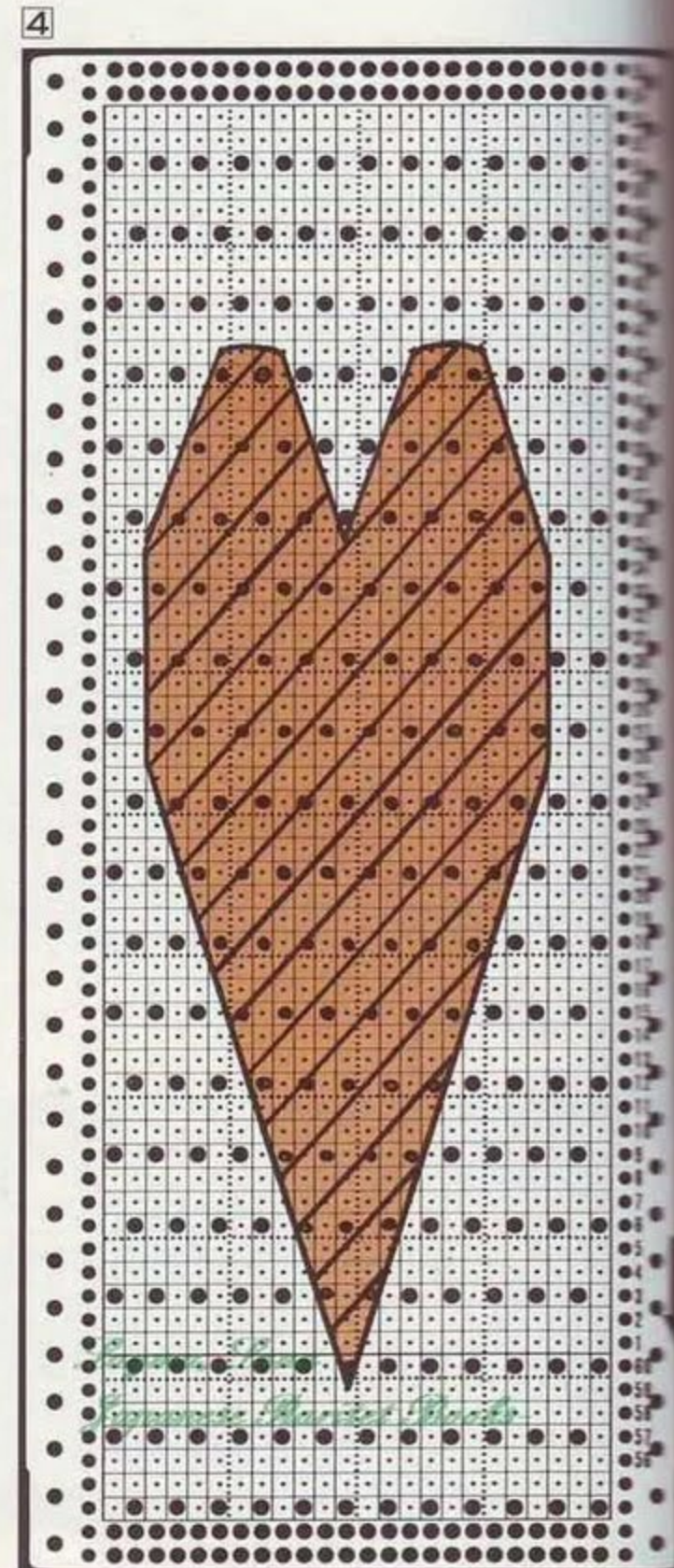
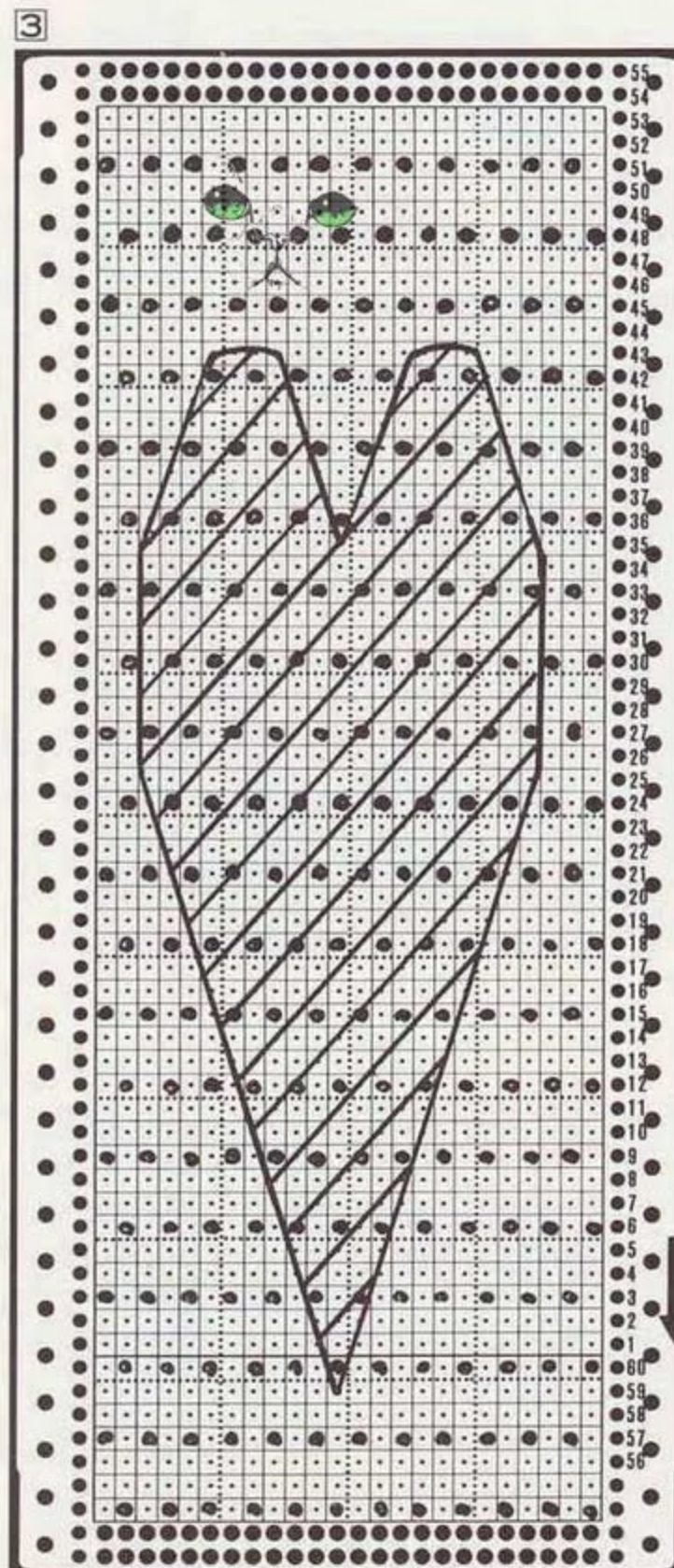
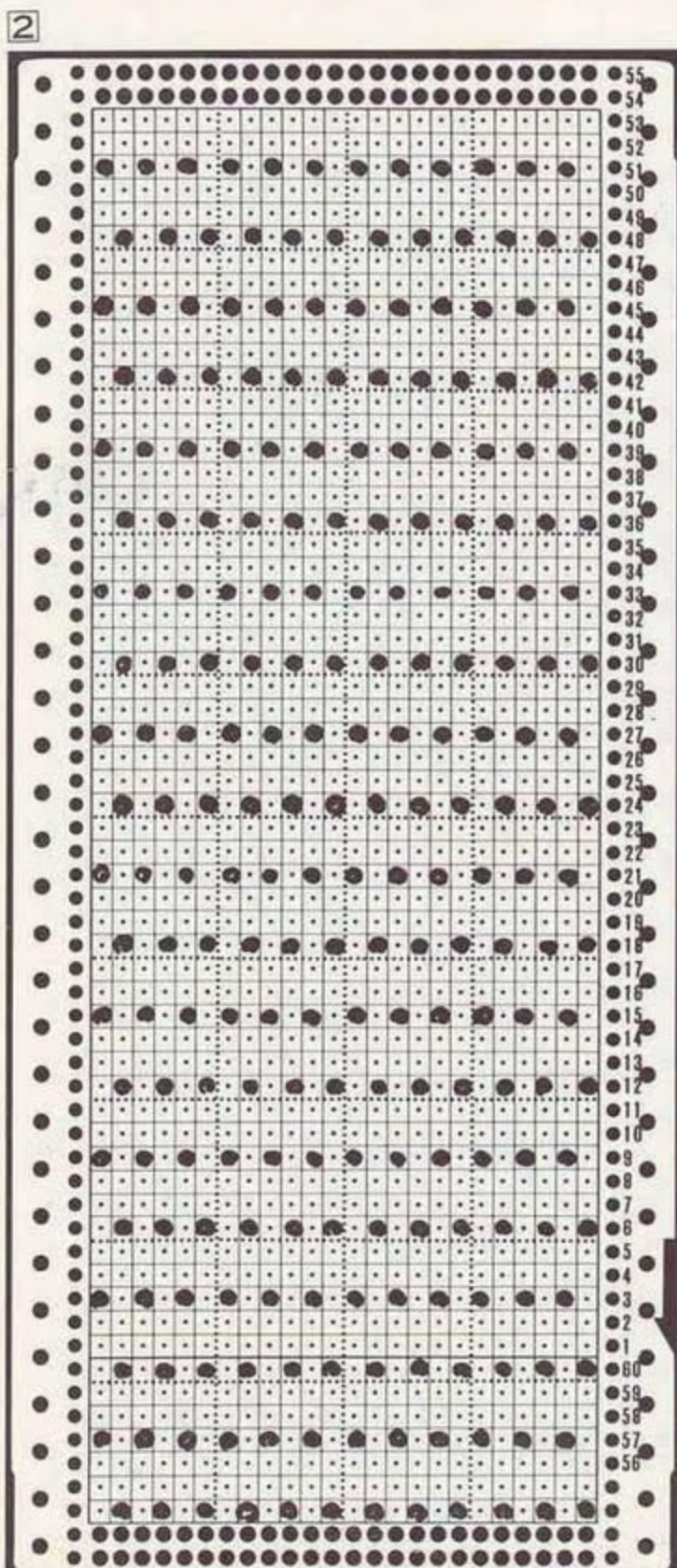
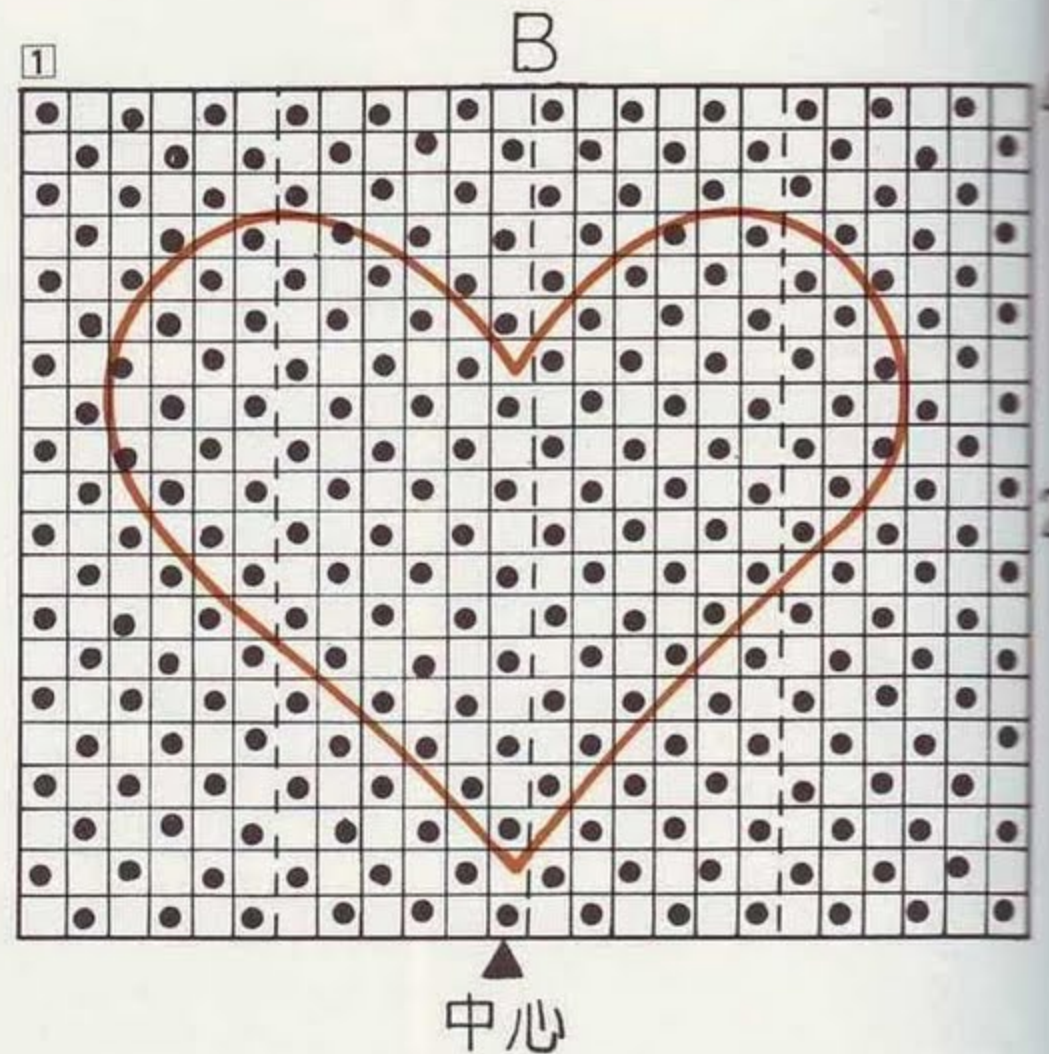
2 フリーカードに印を付けます

ブラザーペンを使って下絵の●印を写しますが、Lキャリジ操作の関係で、3段ごとに印を書き入れます。

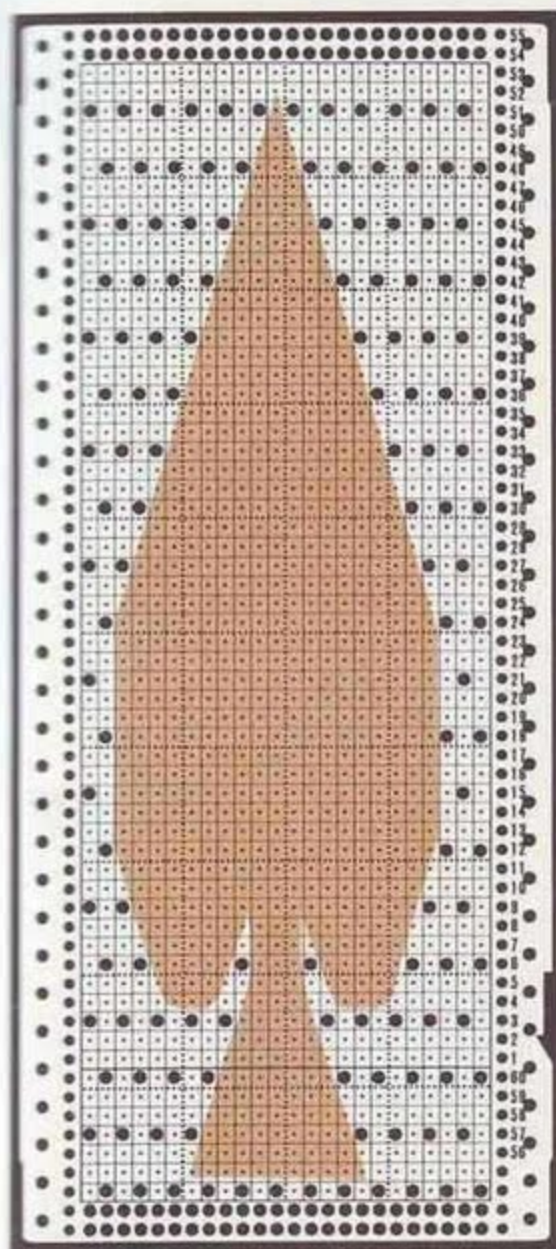
3 下絵に書いた柄を写します

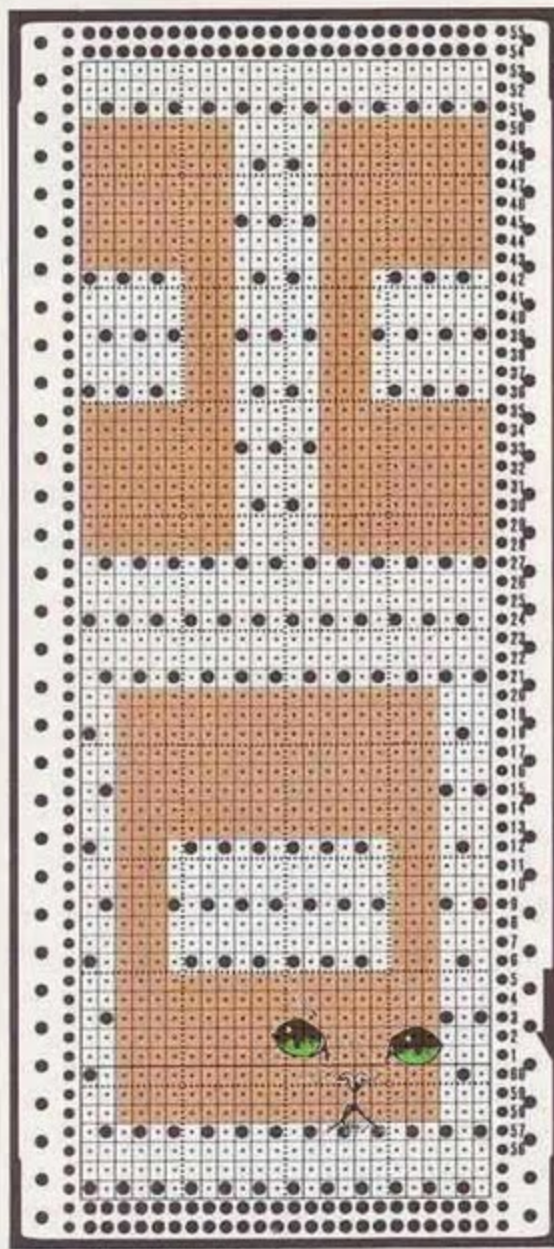
下絵に書いた柄の部分を写しますが、長さが下絵の形の3倍位に伸びますので、下絵の●印をよく数えて間違いのないようにしてください。

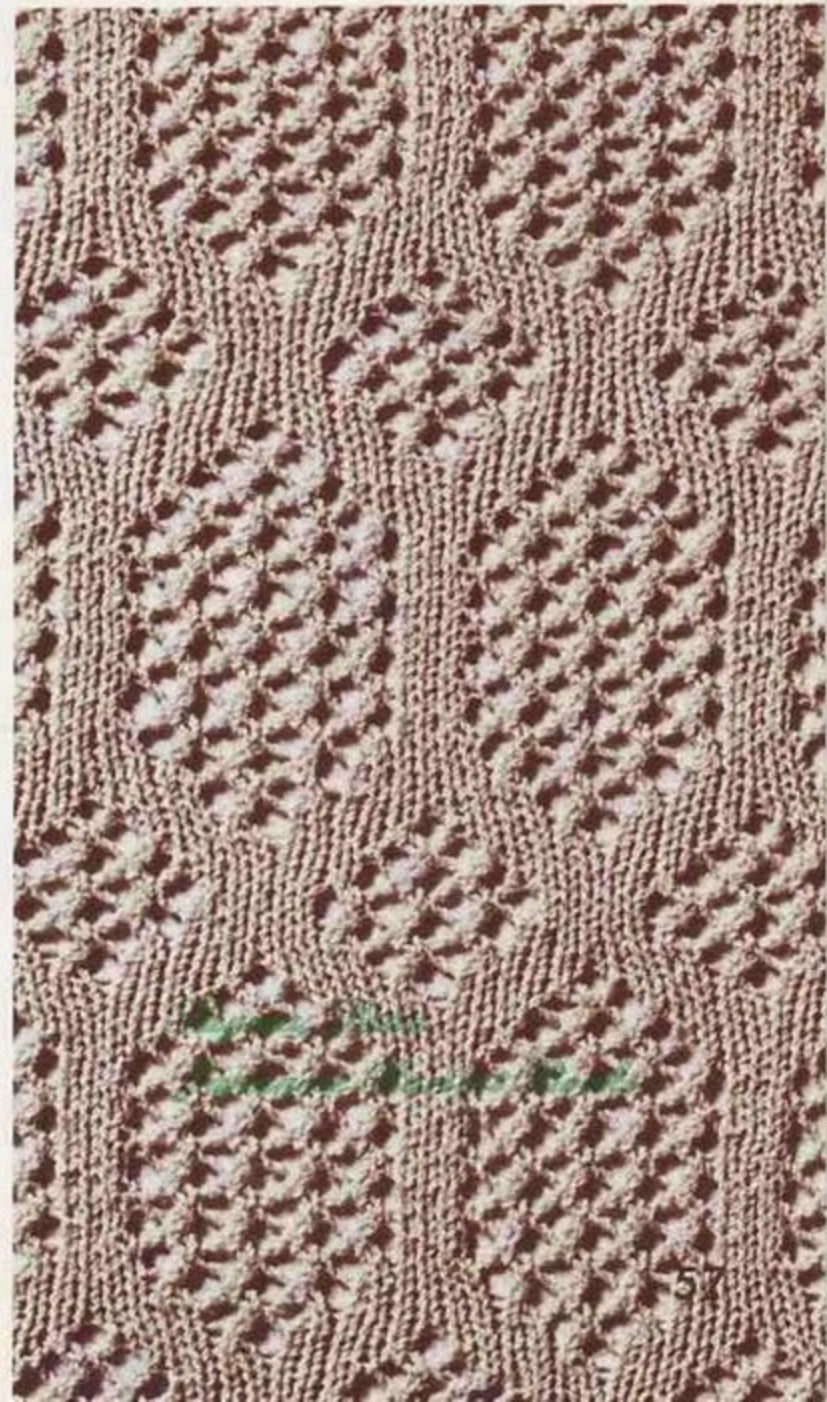
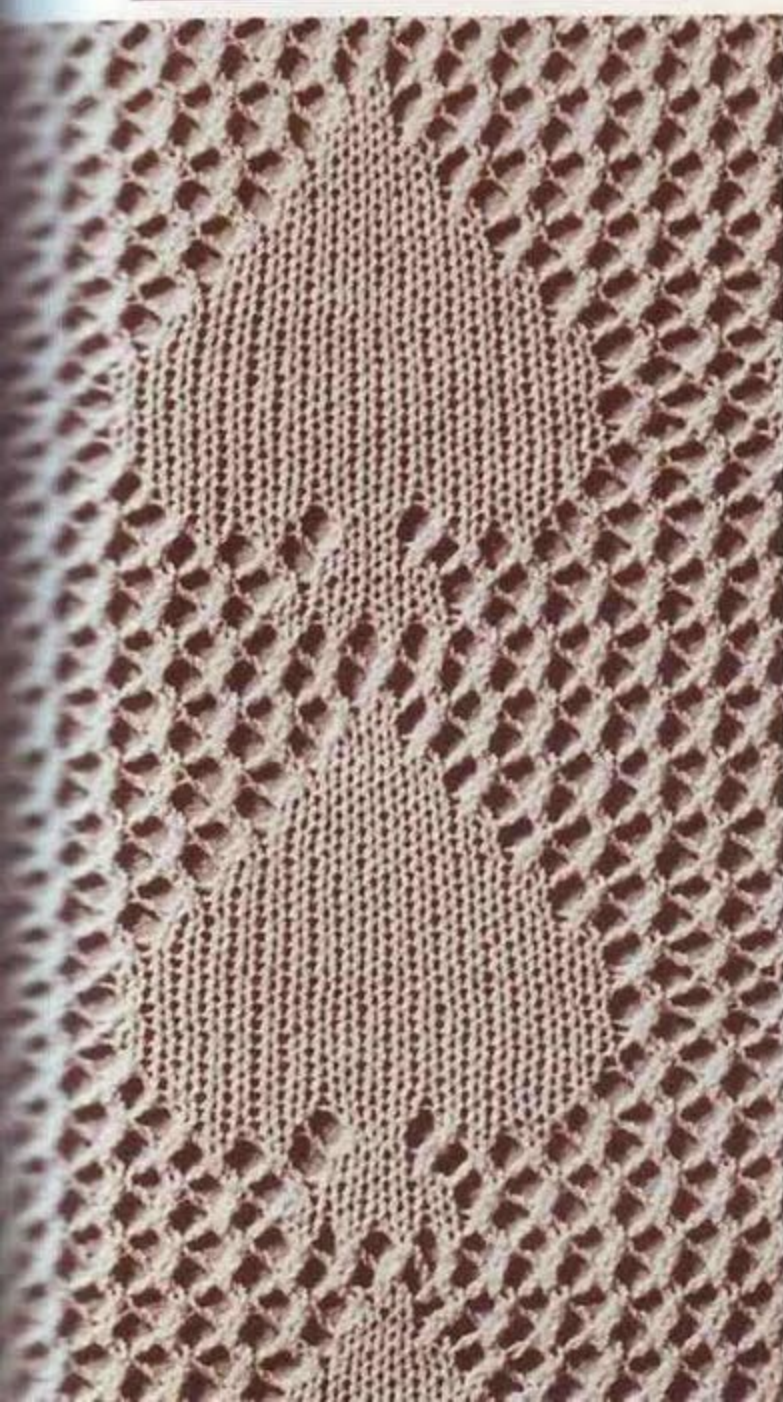
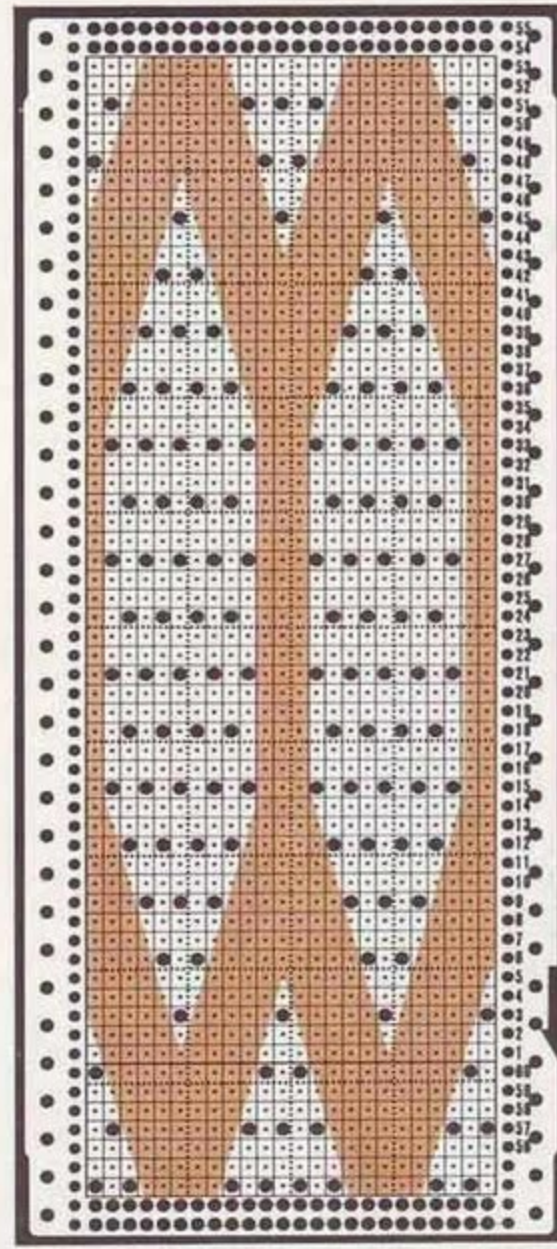
4 メッシュの部分をパンチします

柄の外側にある●印をパンチします。これでカードが出来上がります。

カード１枚で出来る模様編

1スペード

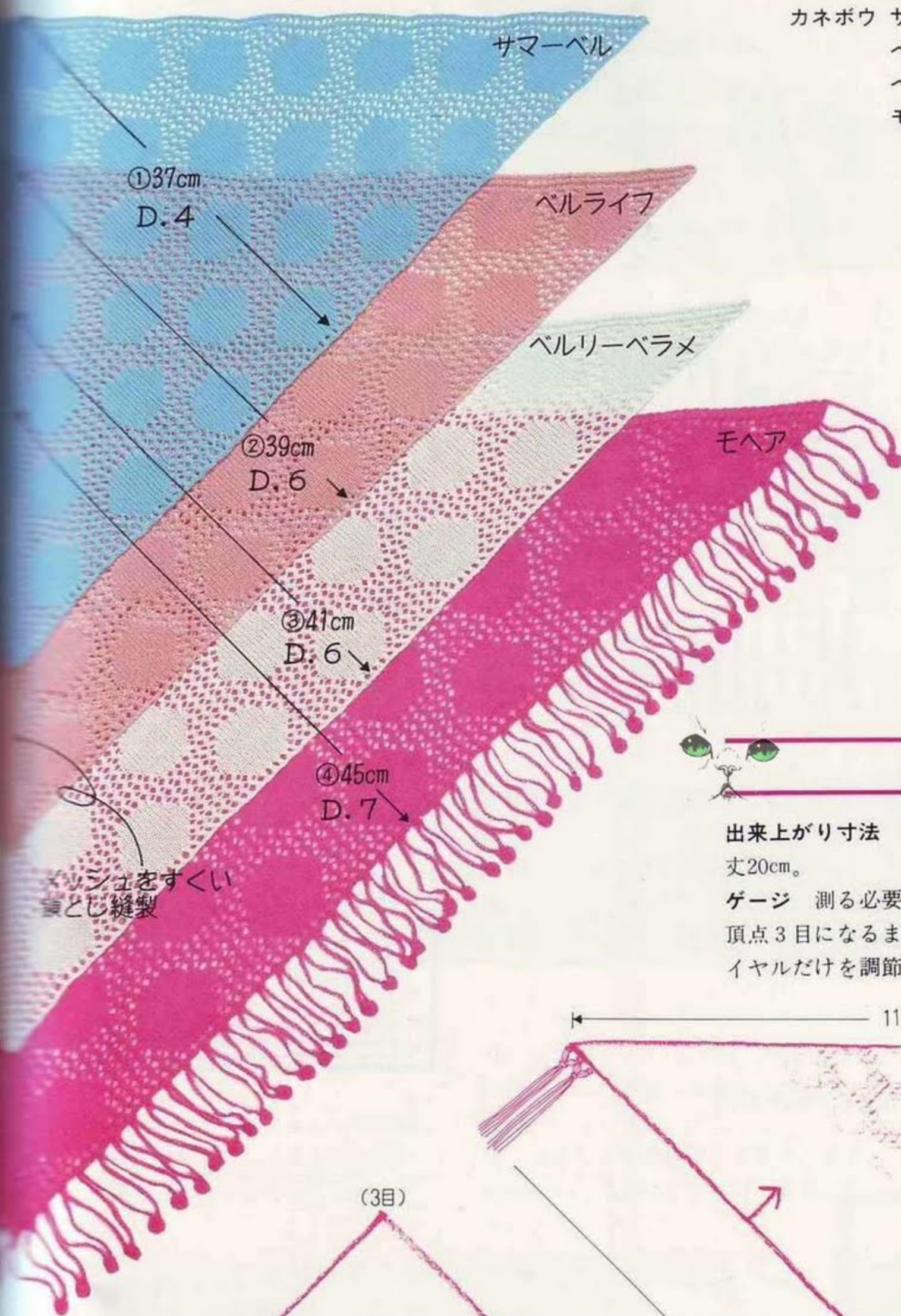
トランプのクラブやダイヤも作ることが出来ます。

2かご目模様

40段の中で模様が交互に２柄入ります。

3亀甲重ね

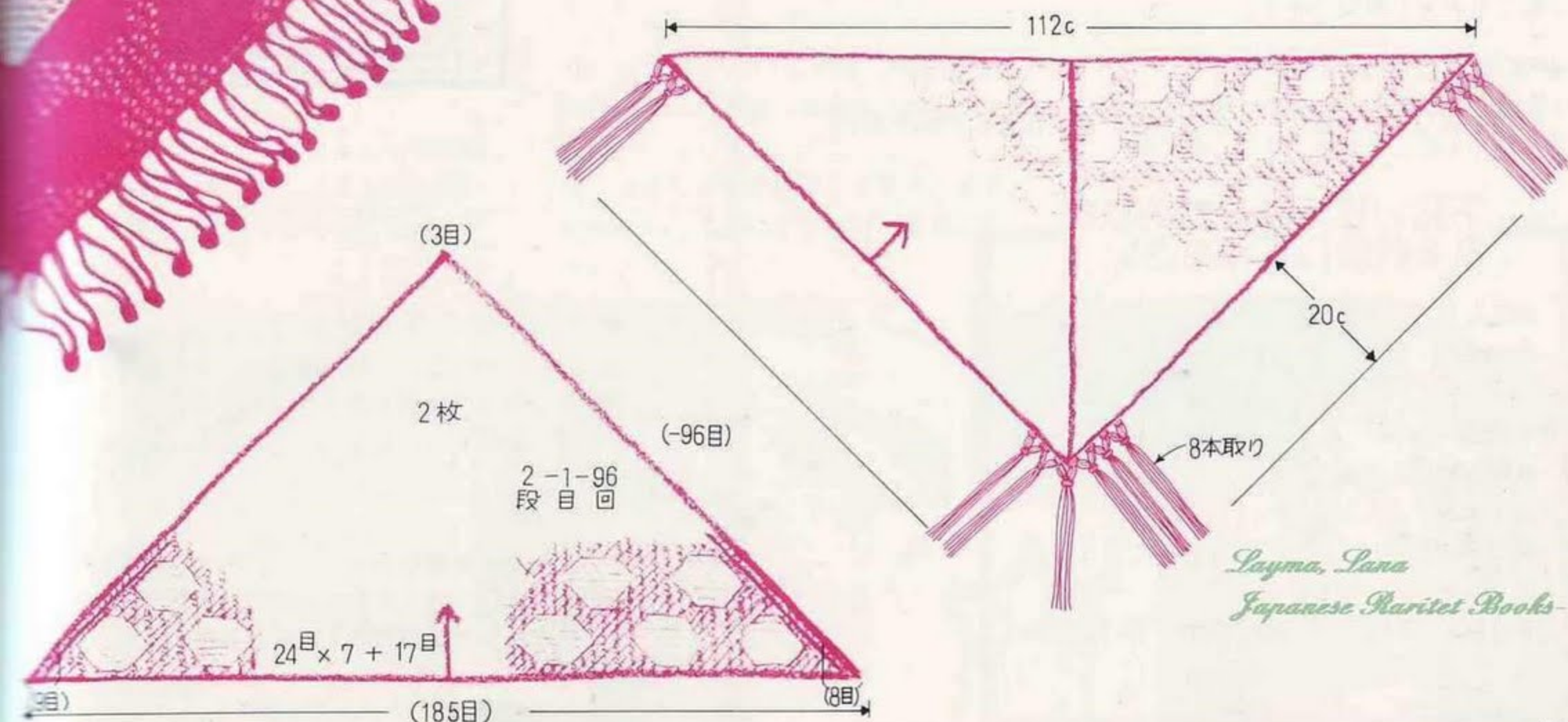
大きな亀甲が重なり合って、小さな亀甲が出来ます。複雑そうでも作り方は簡単です。

23
亀甲模様の三角ストール。同じ目数と段数で
素材を変えた大きさのバリエーションです。

作品のポイントとアイディア

準備するもの

ブラザー編機 パリエ
カネボウ サマーベル アイスブルー(208)75g…①
ベルライフ サーモンピンク(57)120g…②
ベルリーベラメ 白(801)135g…③
モヘア マゼンタ(27)125g…④

編み方図

出来上がり寸法 ベルライフ＝幅 112cm、高さ39cm、フリンジ丈20cm。

ゲージ 測る必要はありません。柄を合わせるための作り目、頂点３目になるまでの段数も決まってしまいますので、編目ダイヤルだけを調節してください。

1パンチカードを作ります

2段ごとの減目で出来る二等辺三角形の斜辺で、模様がくずれないよう、正方形の中に納まる模様(48段で終わる)にします。

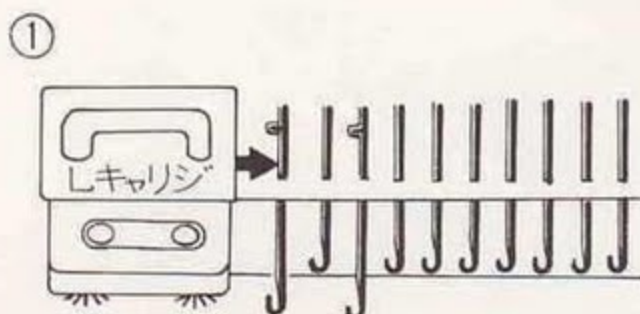
2作り目をします

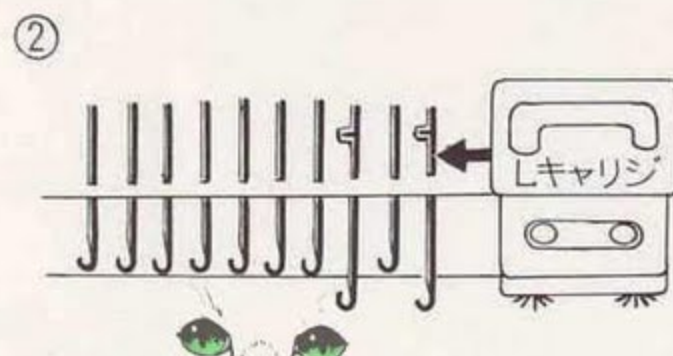
減目にメリヤス編の柄がかからないようにするため、1模様24目の倍数に右側8目、左側9目を加えます。従って、編機いっぱいの中で編める目数185目を作り目します。

3両端の減目をします

22ラグランスリーブと同様に、3本の中心1本を切ったうつし針で重ね目をしますが、うつし針の減目のほかに、Lキャリジで減目する方法があります。

① 2段編んで、左側の端目と3の目の針をD位置まで出してLキャリジを右へ動かします。端目と3の目は右の目に重なって左上2目1度になり、自動的に減目されます。他の目はパンチカードどおりに選針されます。

①

② Lキャリジを左へ動かします。選針された目は全部左の目に重なって右上2目1度になり、端目も自動的に減目されます。左右端のから針をA位置に下げます。

②

③ 2段編み、Lキャリジを右へ動かします。

④ 右側の端目と3の目の針をD位置まで出して、Lキャリジを左へ動かします。

端目と3の目は左の目に重なって右上2目1度になり、自動的に減目されます。他の目はパンチカードどおりに選針されます。

⑤ Lキャリジを右へ動かします。選針された目は全部右の目に重なって左上2目1度になり、端目も自動的に減目されます。左右端のから針をA位置に下げます。

①~⑤を繰り返して5目になるまで編み、最後は両端目を減目して3目にし、糸端を通してしぼります。

同じものを2枚編みます。

★アイロンかけ

両側の減目の線が直角に交わるようにピン打ちしてかけます。

下記の技法はそれぞれの頁を参照してください

●**作り目** 22頁「作り目をします」
●**模様編** 55頁「柄入りメッシュのパンチカードを作りましょう」、23頁「模様編の編み方」
●**減目** 54頁「ラグラン線の減目」
●**編み始めの止め** 27頁「引き抜き止めをします」
●**アイロンかけ** 26頁「アイロンかけⅠ」、29頁「アイロンかけⅡ」
●**とじ**(細編1目、鎖1目の鎖とじ) 28頁「脇とじ」の要領

★プレーンフリンジ

ストールの大きさや好みによっても変わりますが、5~8本取りで出来上がりフリンジ丈を10~15cmにします。メッシュの穴1つ~2つおきの間隔で付けます。

① 編み地の裏側からメッシュの穴に針を入れ、2つ折りにしたフリンジをループ状に引き出します。
② 鎖を編む要領でもう1度針にかけ、今度は全部引き出します。

フリンジのいろいろ

機械編の三角ストールにはフリンジをたっぷり付けます。メッシュの編み地は、かけ目の穴を利用して付けられるので、簡単です。

★鎖編フリンジ

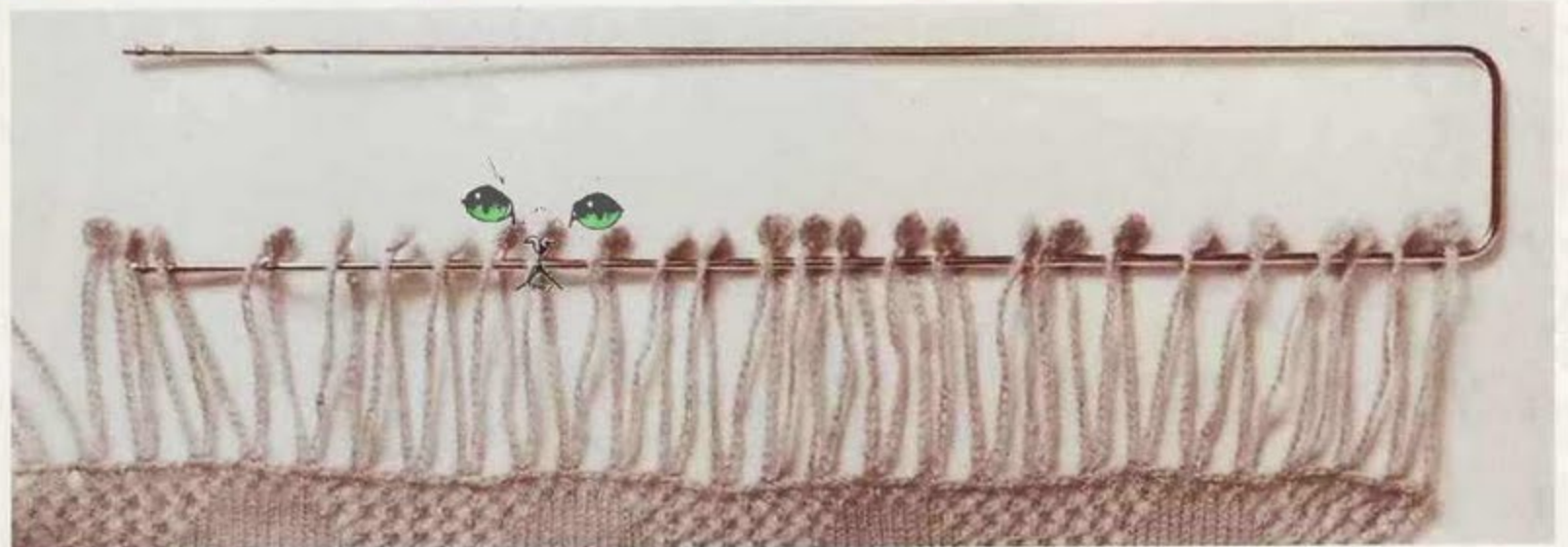
鎖編の先に長編の玉を付けた編みふさです。

①メッシュの穴に細編1目
④鎖3目

②鎖23目
⑤長編の根元に引き抜いて鎖20目

③鎖4目もどり、裏山をすくって長編2目
⑥次のメッシュの穴に細編1目

①～⑥を繰り返します。

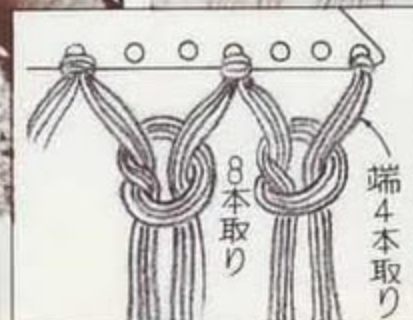
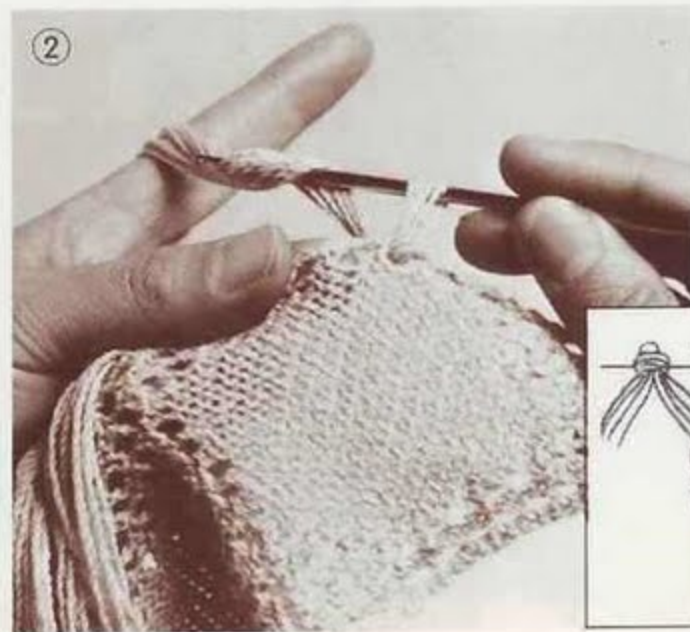
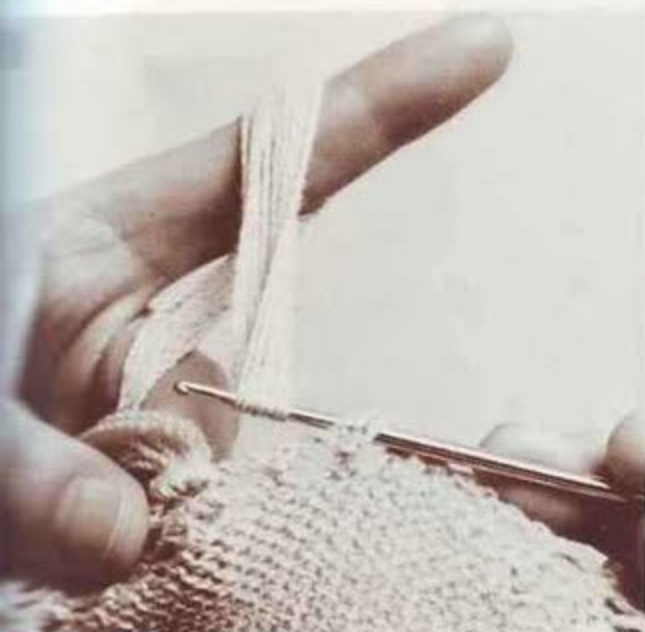
鎖の輪の中に補助レールを通してアイロンをかけ、熱がさめてから抜き取りますと、きれいにそろいます。

★ノットフリンジ(2回結び)

プレーンフリンジと同じく6～8本取りで、出来上がりフリンジ丈を20cm位にします。間隔はメッシュの穴2つおきが適当です。

① プレーンフリンジの①～②をします。両端は半分の本数（8本取りの場合は4本取り）にします。

② フリンジを手前にして平らに置き、10cm位のところにピンを打って固定します。

③ フリンジを半分に分け、隣のフリンジに結び付けますが、左手の親指で巻いた糸の向こう側を押えて位置を決めます。

※アイロンをかけて目の粗いくしでそろえ、はさみで切りそろえます。

24

スライドダイヤルで簡単に編めるグラデーション模様のツーピース。
自然のゲージ調整で美しいシルエットが出ます。

作品のポイントとアイディア

■段階的にレースの部分を変化させて作る、グラデーション模様。スライドダイヤルを利用すると、やさしく編めます。

■裾、ネックに近く、レースの量を次第に多くすると、メリヤス編でも裾幅、肩幅が自然に広くなります。

■ストレートネックは、止めてから２段編んだ別糸を抜きますので、細い糸でも目を落としたり、ほつれたりする心配がありません。

■スカート編み地のウエスト寸法はフリーサイズですから、ベルト寸法を決める時に自分の寸法に合わせてタックの数、寸法が調整できます。普通サイズなら全目を$\frac{1}{2}$に減らすとウエスト寸法になります。

■アクリル素材はアイロンがきくので、見返し始末がいりません。細編２段で手早く、軽く仕上がります。

製　図

① ⑰のブラウスと同要領で描きますが、着丈は短くします。

② 130段の模様を上の方に入れますので、目安としてSLから下に6.5cmの案内線を入れておきます。

③ スカートは編機いっぱいの目数をゲージに置きかえて、$\frac{74cm}{2}$の長方形を描きます。

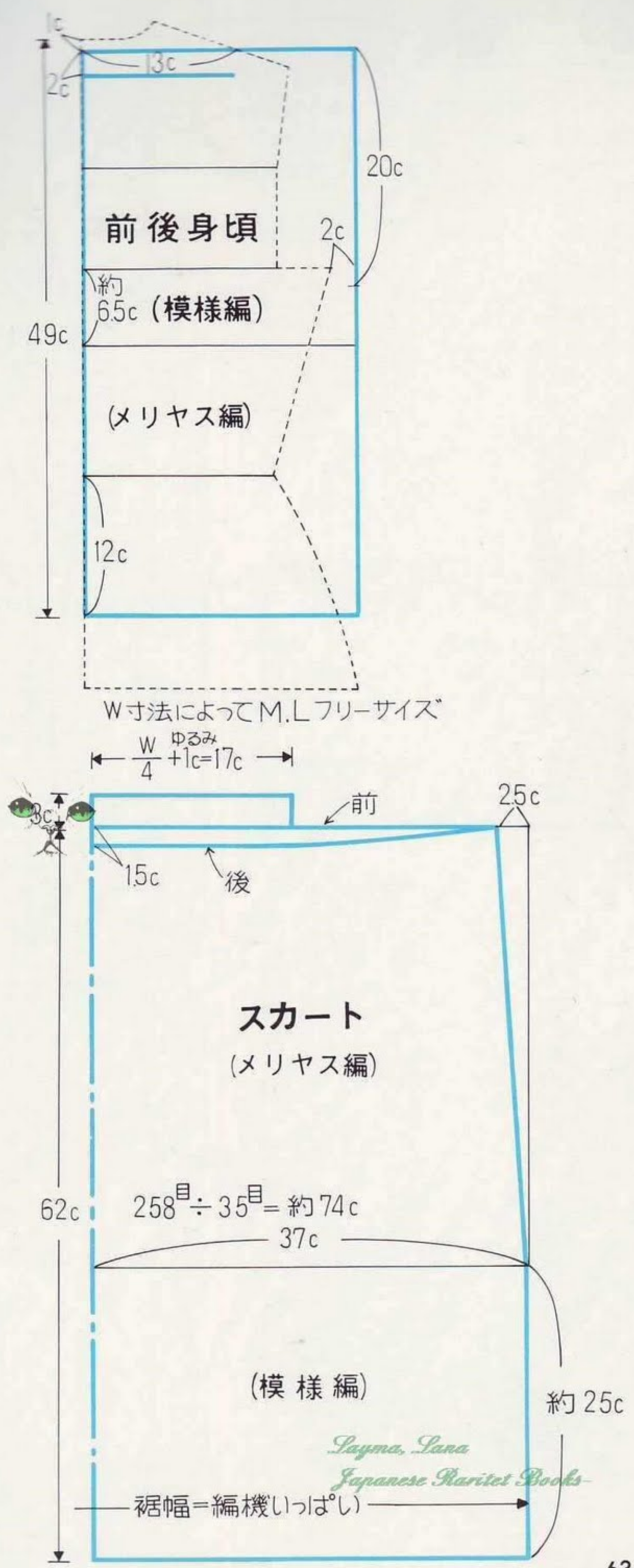
④ 模様編130段の約25cmを裾からとり、目安として案内線を入れておきます。

⑤ 裾の広がりを考えて、メリヤス編の部分は脇で2.5cmカットします。

⑥ 中心線上端から1.5cmとり、脇線と自然なカーブで結びます。後のW線になります。

⑦ ベルトは$\frac{W}{4}$＋1cmを中心からとり、3cm丈の長方形を描きます。

準備するもの

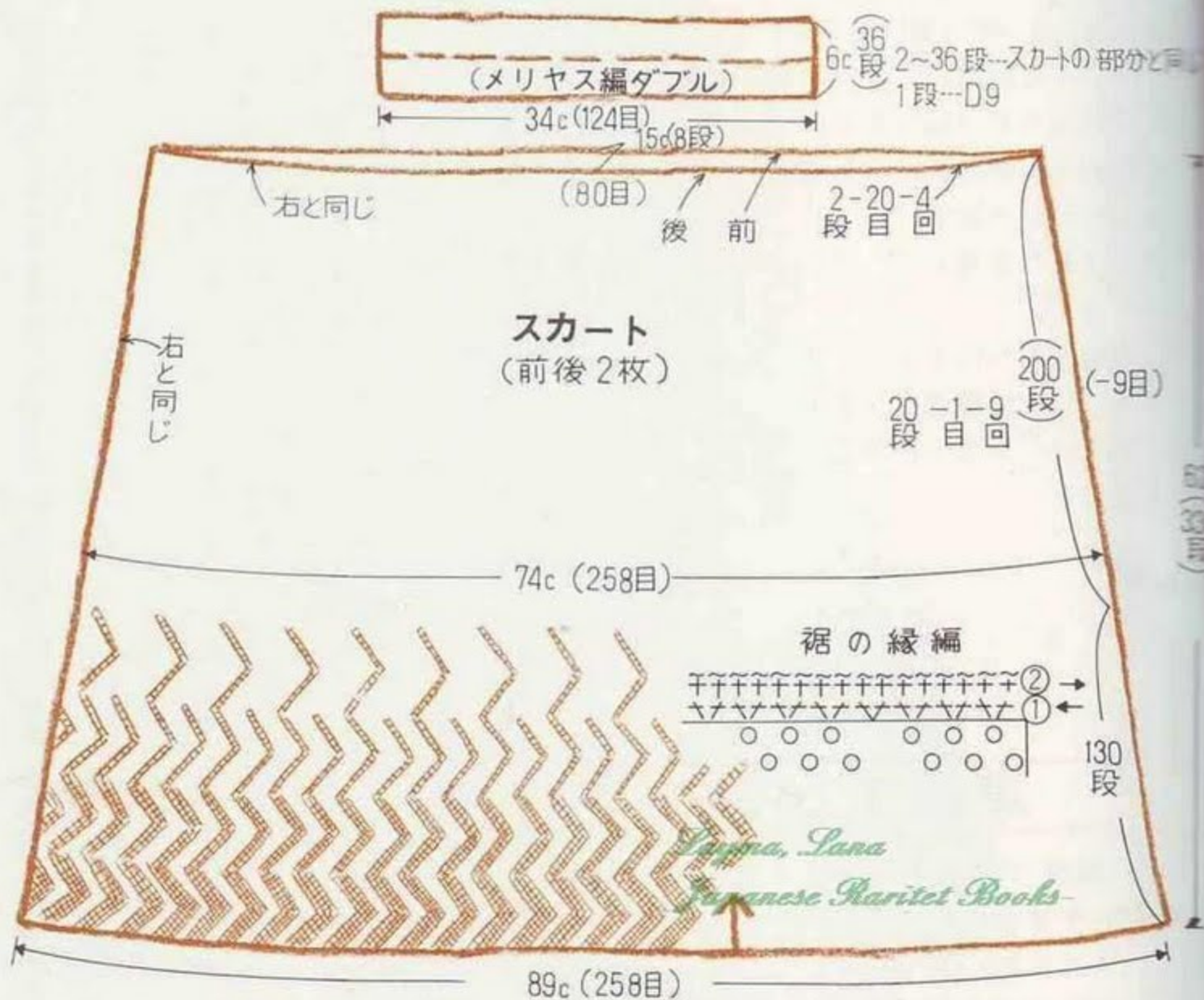
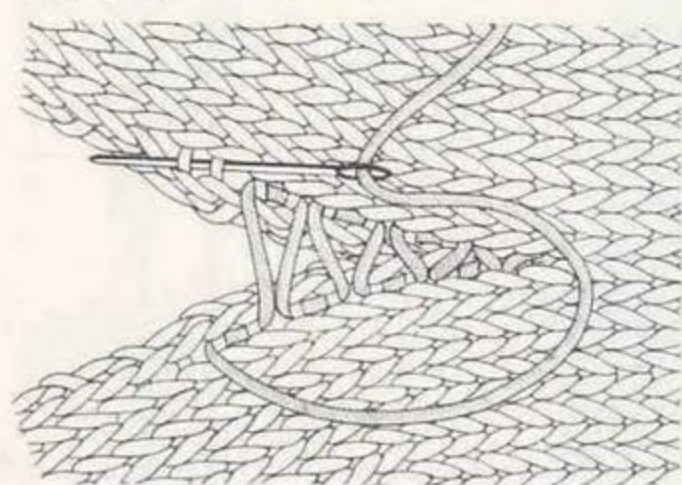
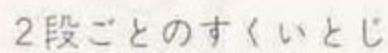
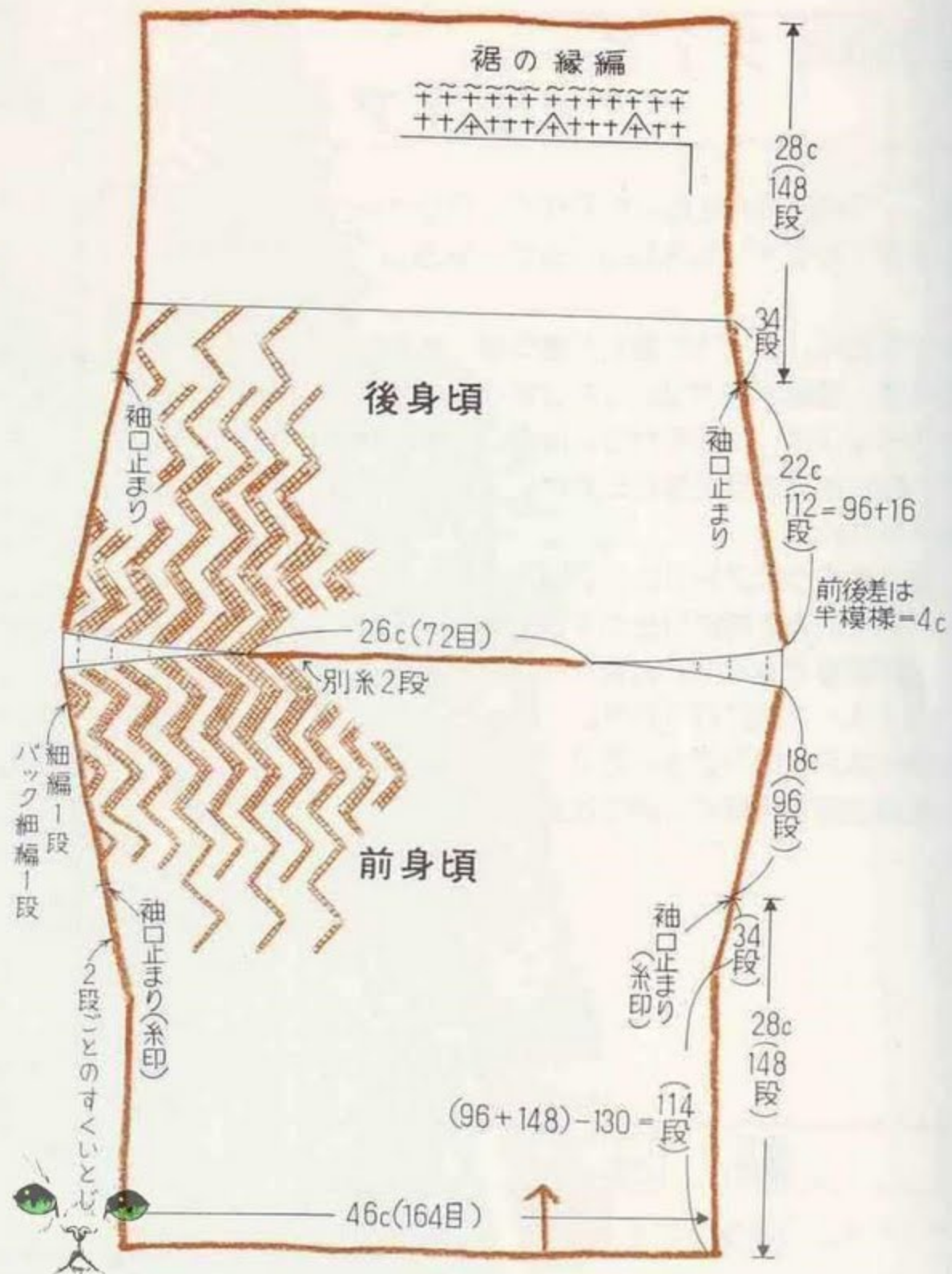
ブラザー編機　デリカ　(編目ダイヤル５～６)
カネボウ　サマーベル　アイスブルー(208)　ブラウス…125g、スカート…260g
3cm幅のゴムベルト64cm

編み方図

出来上がり寸法　身幅46cm、ブラウス丈48cm、スカート裾幅89cm、スカート丈（ベルト下）62cm。胴囲はベルトの目数調整だけで変更出来ます。

ゲージ　メリヤス編10cm平方35目×53段。

ブラウスは上の方、スカートは下の方に模様を入れますので、肩線やスカートの裾幅は、製図の幅より15～20%広くなります。

下記の技法はそれぞれの頁を参照してください

- ●ブラウスの製図　20頁「製図」の要領
- ●作り目　22頁「作り目をします」
- ●衿あき　24頁「衿あきを別糸で2段編みます」
- ●ウエストベルト　41頁「衿の縁編を編みます②、③」の要領

メリヤス編は約74c　模様編はメリヤス編より約15～20%幅が広くなる

2段ごとのすくいとじ

★脇の減目の仕方
★ウエストのタックのとり方 }73頁

25

編み地の変化で幅を調整したエンパイアドレス。
模様の切り替え方にアイディアがあります。

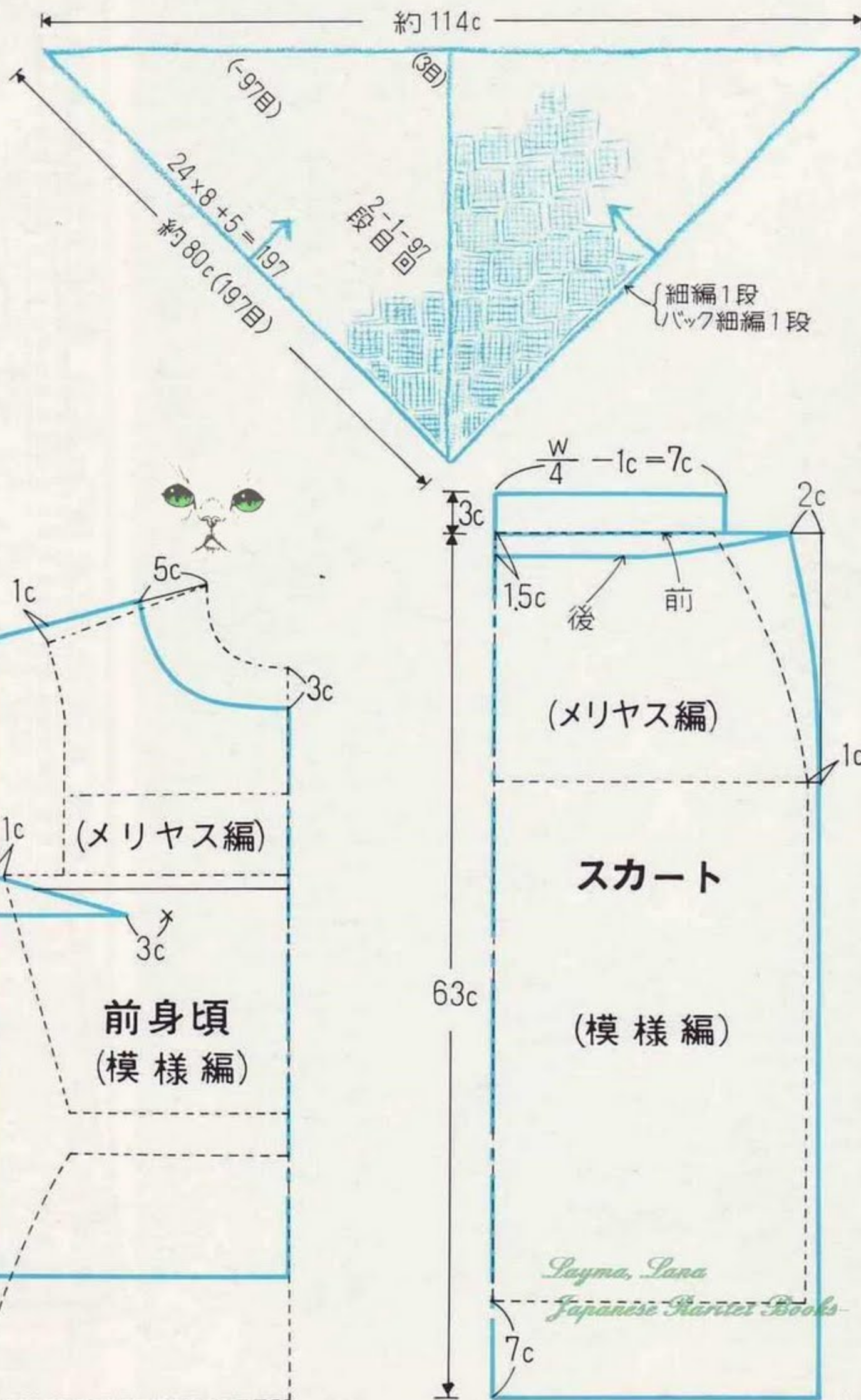
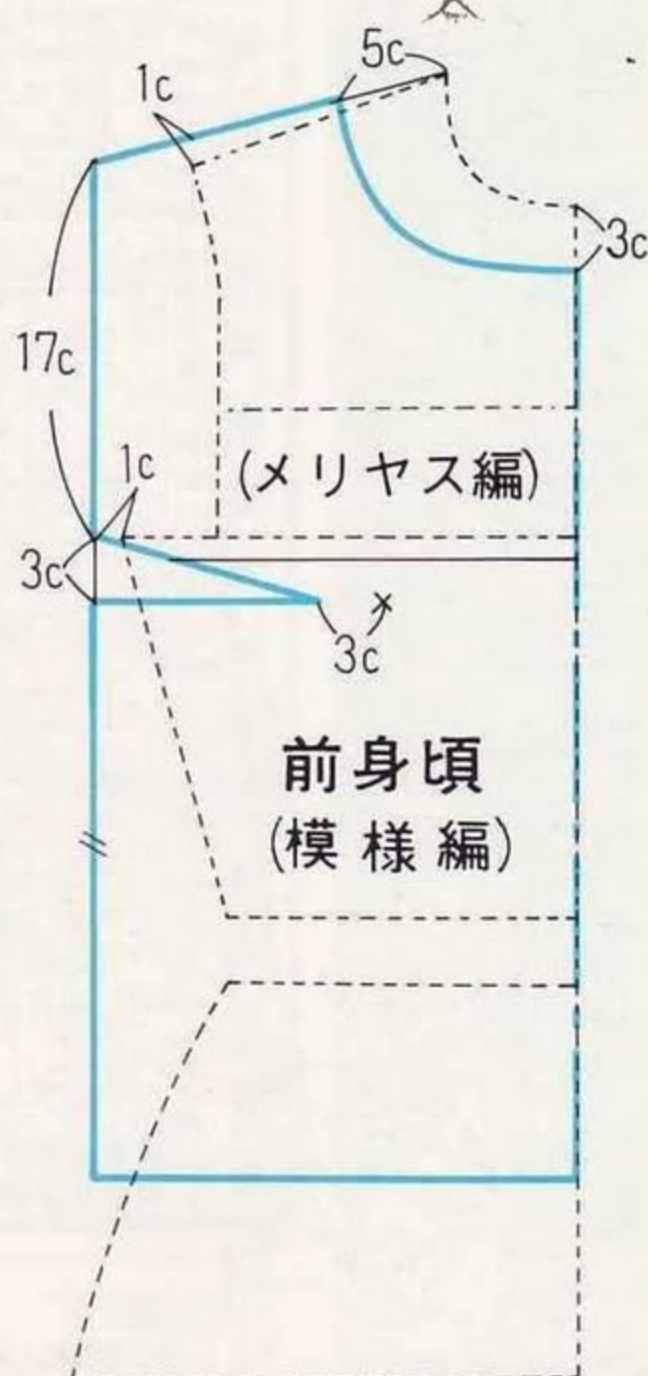
作品のポイントとアイディア

●レース模様の自然な広がりを、フレアに利用したツーピース。メッシュ編はメリヤス編に対して15〜20%広がります。
●模様は1段で方向の違う重ね目をした□□く模様。パンチカードは左上2目1度の菱形と右上2目1度の菱形のメッシュの組み合わせです。
●模様とメリヤス編の切り替え部分では、一旦選針して、メリヤス目だけを指でもどしながら編みます。
●メッシュ編の部分はかぎ針縫製、メリヤス編は2段ごとのすくいとじでスピーディーにまとめます。
●アクリル素材は、見返し始末は不要です。簡単に細編の縁を付け、アイロンで落ち着かせます。

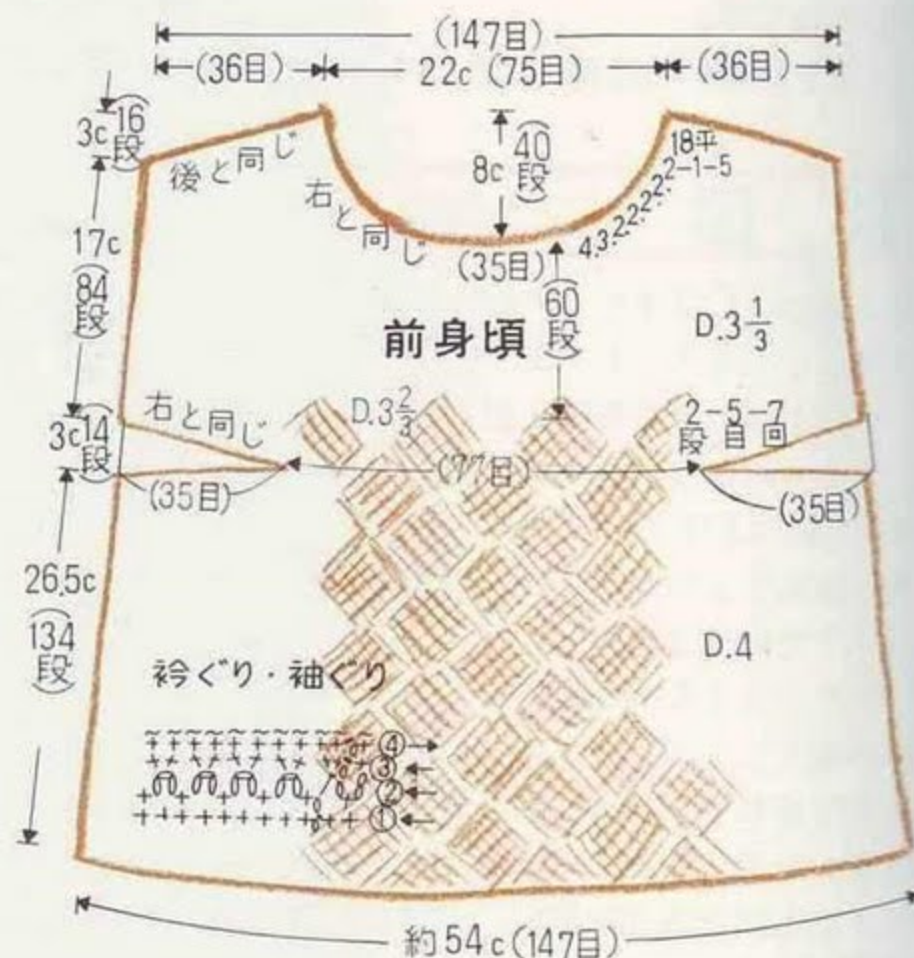
準備するもの

ブラザー編機 パリエ
カネボウ サマーベル 藤色に紺のからみ(392)ブラウス…110g、スカート…190g、スカーフ…60g
3cm幅のゴムベルト64cm

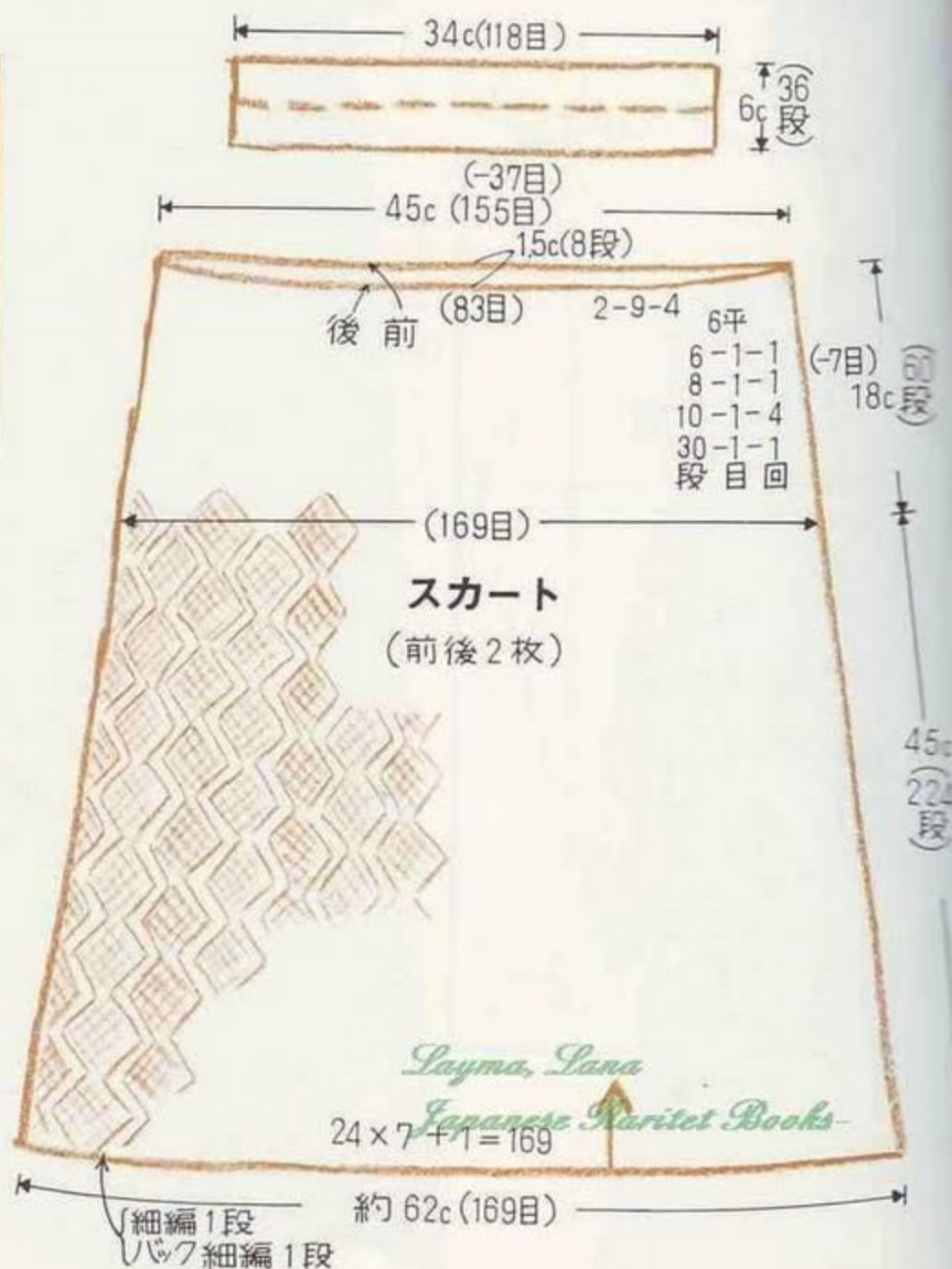
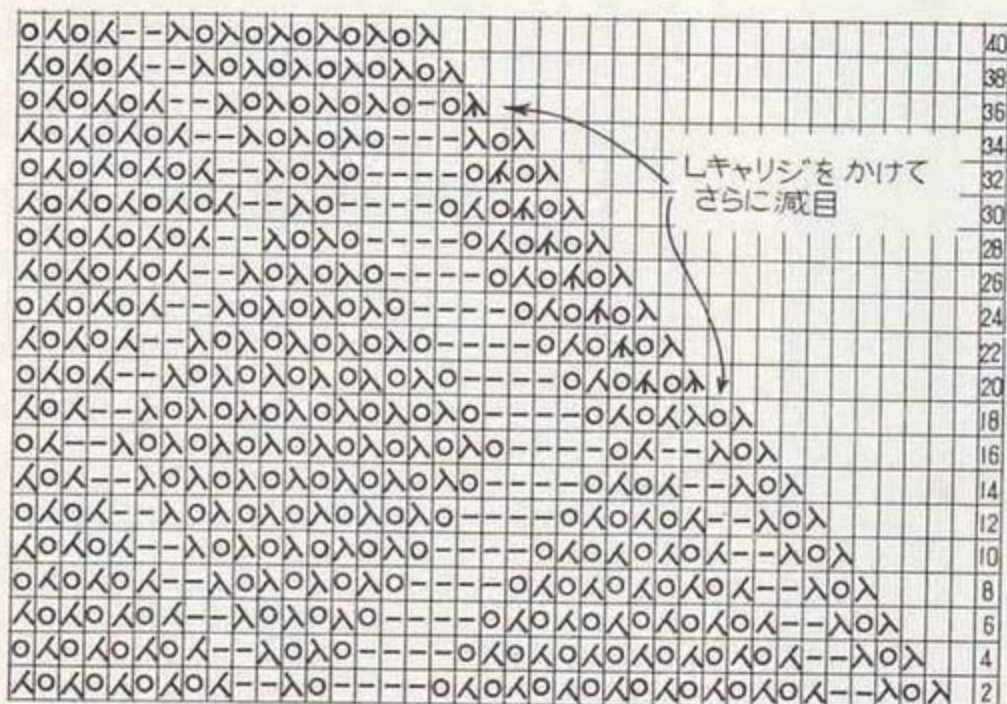
製図 (ブラウス)

着丈は短めにしてスモック風にします。W.Lから10cm伸ばして着丈をとります。
S.Pから1cm上げて肩線を引きます。
B.Lで1cmのゆるみを入れて着丈と直角に結び、袖口丈18cmに印を付けます。
衿ぐりはN.Pから5cm、後中心で2cmを下げ、自然なカーブで結びます。
B.Lから上に1.5cmの案内線を入れ、模様切り替えの目安とします。
前身頃は袖口丈を17cmにしてサイドダーツをとり、後脇丈と同寸法をとって着丈を決めます。
脇から後身頃と同寸法の位置に、模様切り替えの案内線を引きます。

編み方図

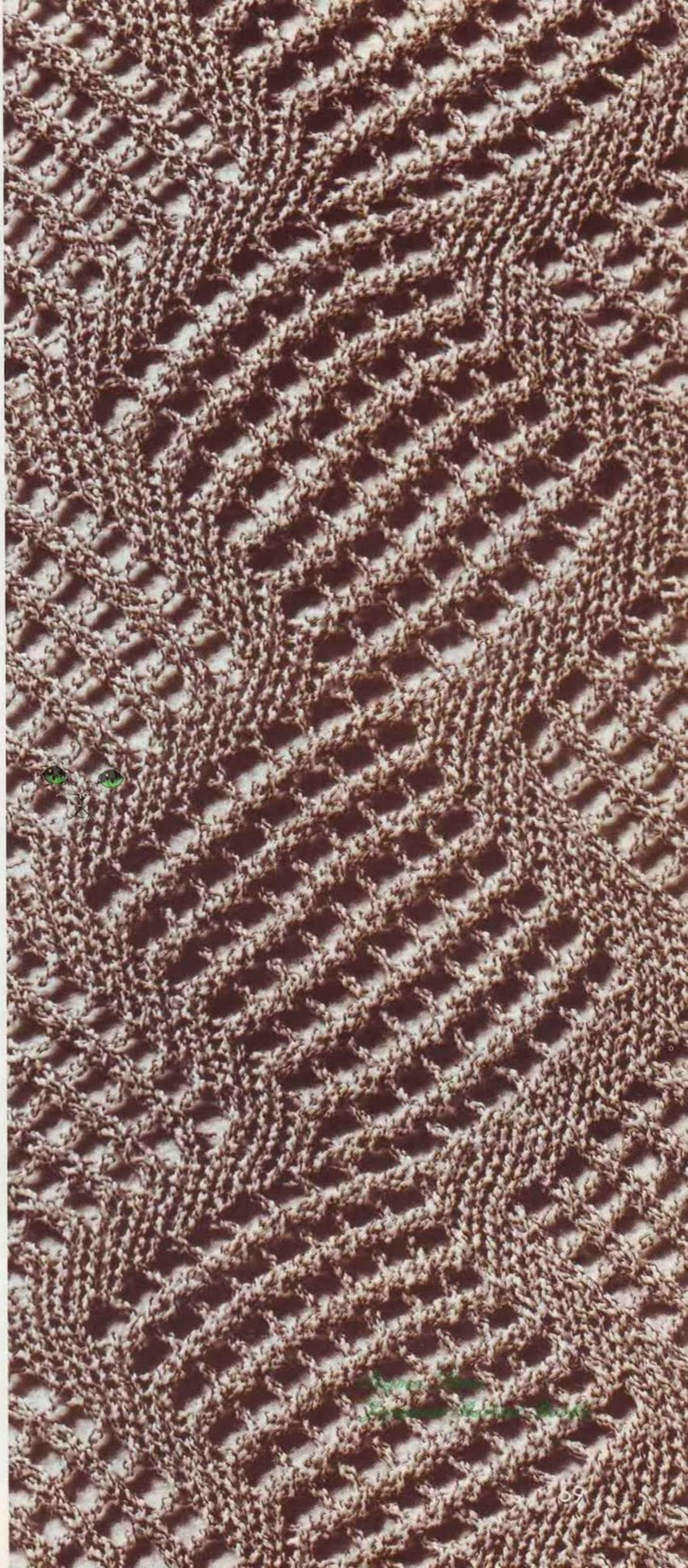
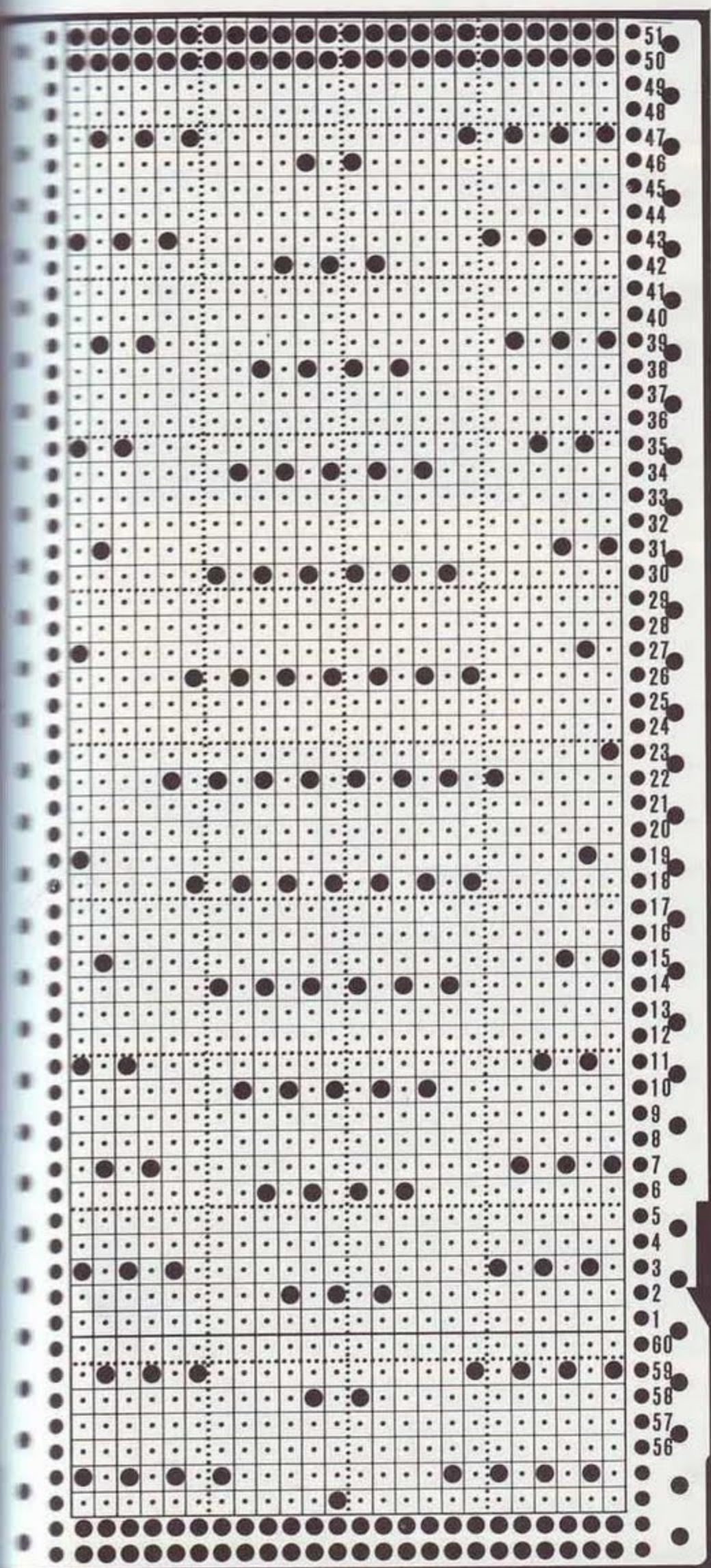
出来上がり寸法　身幅48cm、ブラウス丈47.5cm、胴囲68cm、スカート丈（ベルト下）63cm、スカーフ幅114cm、丈57cm。
ゲージ　メリヤス編10cm平方34目×50段。模様編はメリヤス編より編目ダイヤルを2きざみゆるめて編む。

身幅、スカート幅の目数は、メリヤスゲージで出し、模様の倍数に合わせます。
身幅　3.4×44＝150目になりますが、
　24×6＋3＝147目にします。
スカート幅　3.4×48＝163目になりますが、
　24×7＋1＝169目にします。
ブラウス、スカートの裾幅とも、裾の広がりをフリーサイズにして基き...

下記の技法はそれぞれの頁を参照してください

- ●**作り目**　22頁「作り目をします」
- ●**スカートの脇の減目**　72頁「脇の減目をします」の要領
- ●**ウエストベルト**　41頁「衿の縁編を編みます②、③」の要領
- ●**裾の縁編**　27頁「衿あきの縁編」
- ●**肩はぎ**　47頁「脇はぎをします」
- ●**脇とじ**　28頁「脇とじ」

スカーフの減目の仕方

パンチカードの作り方

中央のダイヤと、両側の穴が1段ずれていますので、注意してパンチします。1模様の終わり50と51に、つなぐための穴をあけて余分を切り取ります。

編み方は、「Kキャリジで2段編み、Lキャリジ4回(2往復) 操作」の繰り返しです。編目ダイヤルをメリヤス編より2きざみゆるめて編みます。

模様編を山型に消す方法

ブラウスは５模様、スカートは８模様まで編みます。

① ２段編んでＬキャリジを操作すると、菱形の山１本と８本が交互に選針されます。

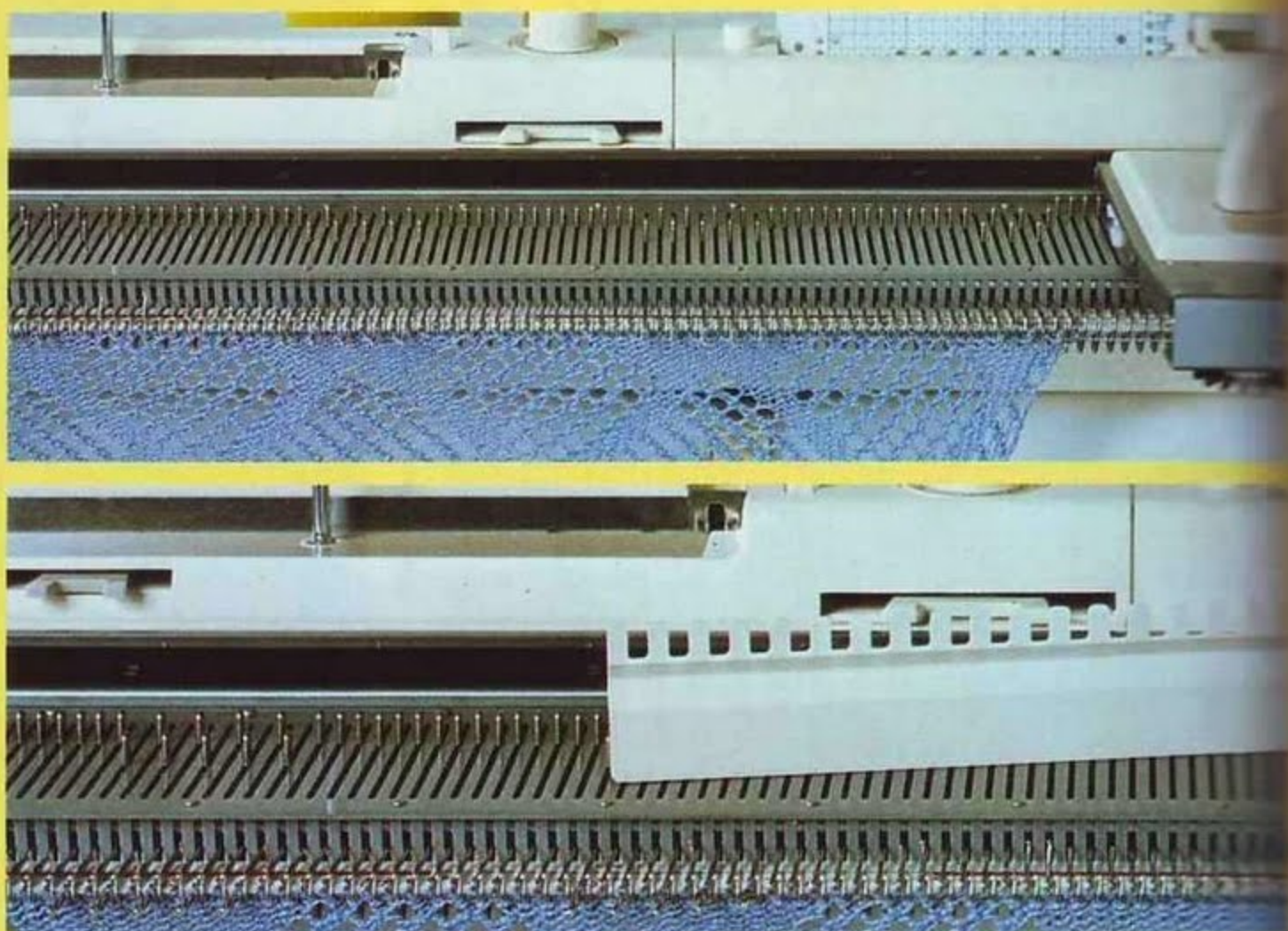
② 編目ダイヤルを１きざみつめます。

③ 続けて２段編み、Ｌキャリジを右へ動かしますと、２本選針されます。この針は全部Ｂ位置にもどします。

④ Ｌキャリジを３回操作します。１柄おきに７つずつ穴があきます。

⑤ ③〜④の要領で繰り返しますと、Ｂ位置にもどす針は３、４、５……８と多くなり、レース模様の穴は逆に少なくなります。穴がなくなるまで繰り返します。

Ｂ位置に針をもどすときは、模様板を使うと早く出来ます。

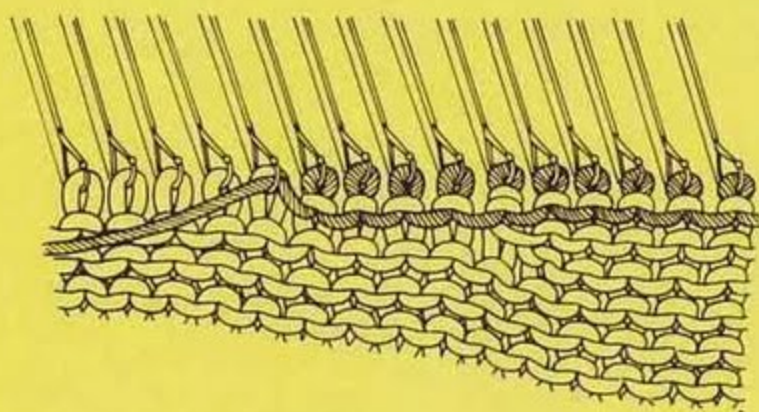
⑥ 編目ダイヤルを、更に１きざみつめてメリヤス編に移ります。

サイドダーツの入れ方

左右で１段ずれます。

① 模様編で、脇丈134段を編みます。

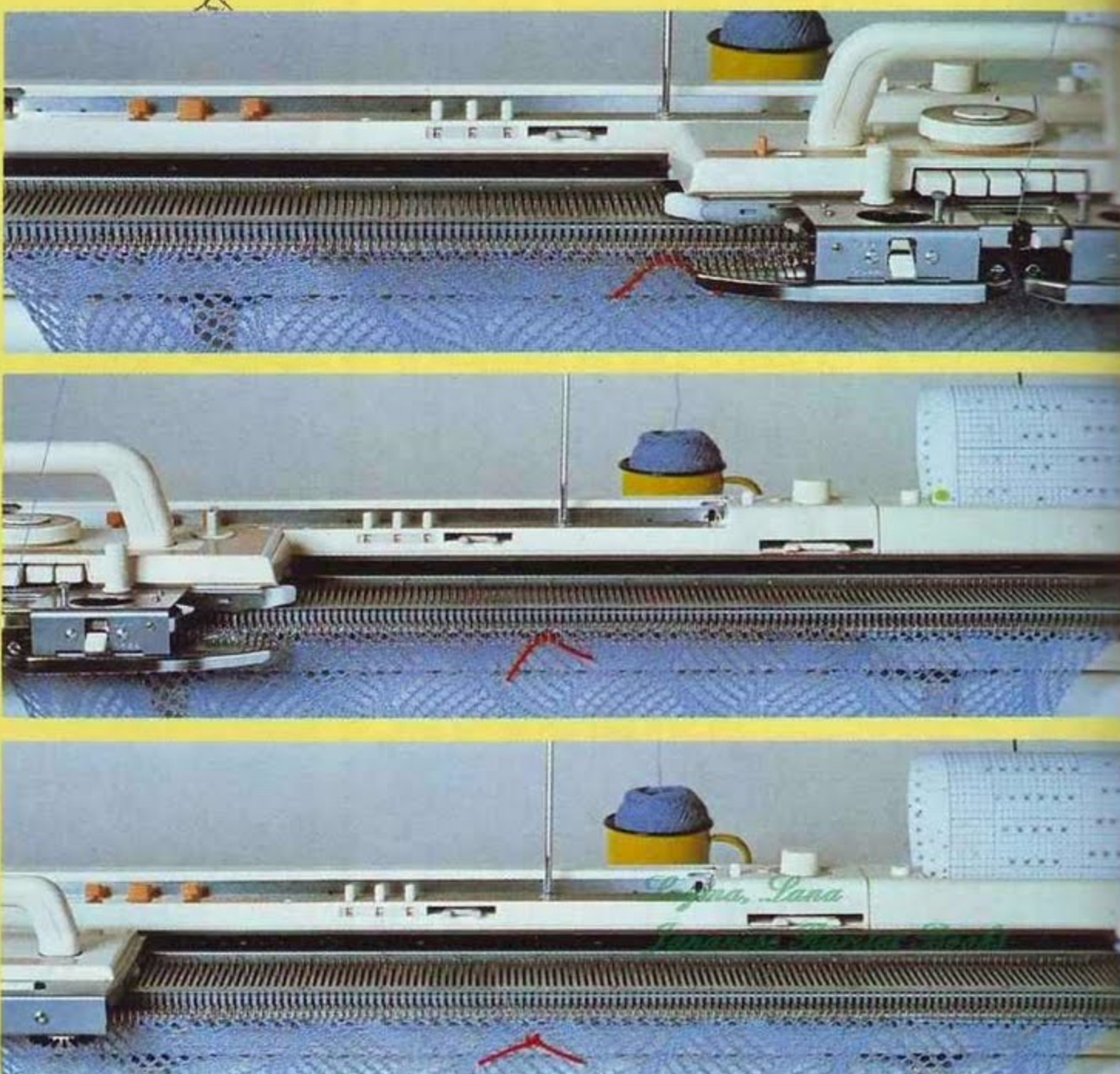
② カムボタンの〈すべり左右〉を押します。

③ Ｌキャリジ操作をします。

④ 右ダーツ35目、中央77目の針をＥ位置に出して１段編み、糸端を左の針のフックにはさみます。

⑤ 中央の77目の針をＥ位置に出して編みもどり、糸端を右の針のフックにはさみます。

⑥ Ｌキャリジ操作をしますが、⑤で編まなかった両サイドの35目と、その隣１目ずつは選針された針をその都度Ｂ位置にもどし、穴があかないようにします。

⑦ 次からダーツを５目ずつ増して、④〜⑥の要領で繰り返します。

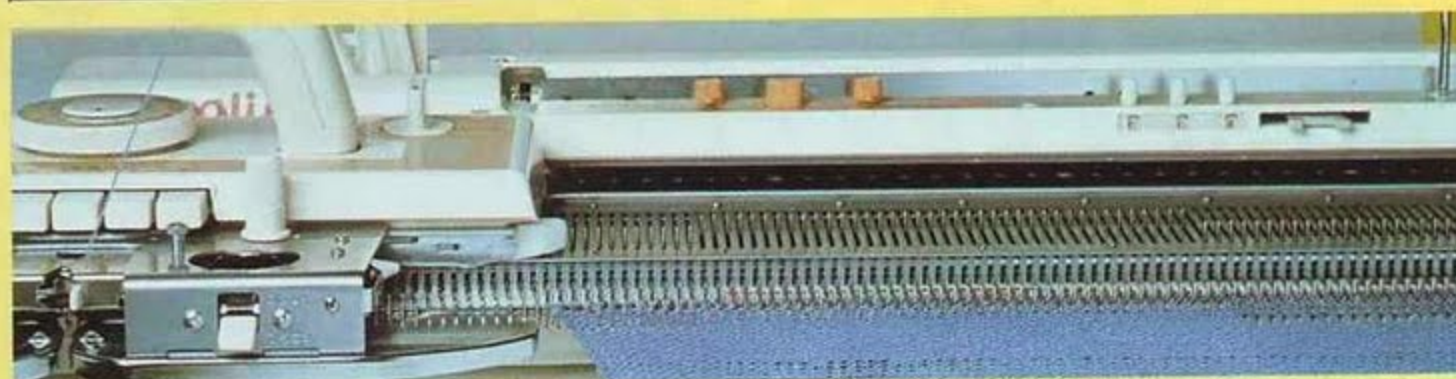
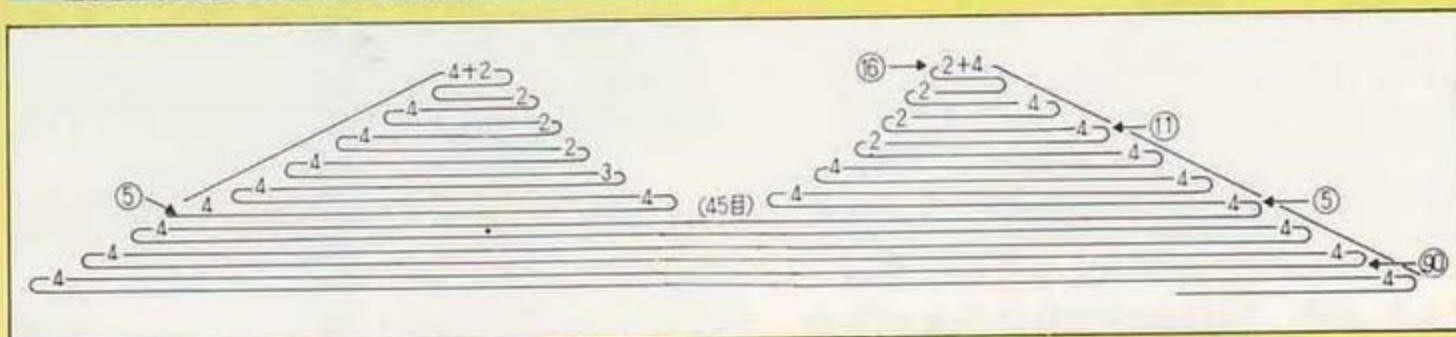
模様編を消していくのは後身頃と同様です。

後衿ぐりと肩下がりの引き返し編

肩下がりの途中から衿ぐりを始めます。

① 袖口丈90段を編み、ここで右側4目をほどきます。4目の針をE位置に出し、糸端を左側の針に下からかけます。
② 引返しレバーを〈引返し〉に合わせます。
③ 4段までは左右で4目ずつ編み残しの引き返し編をします。

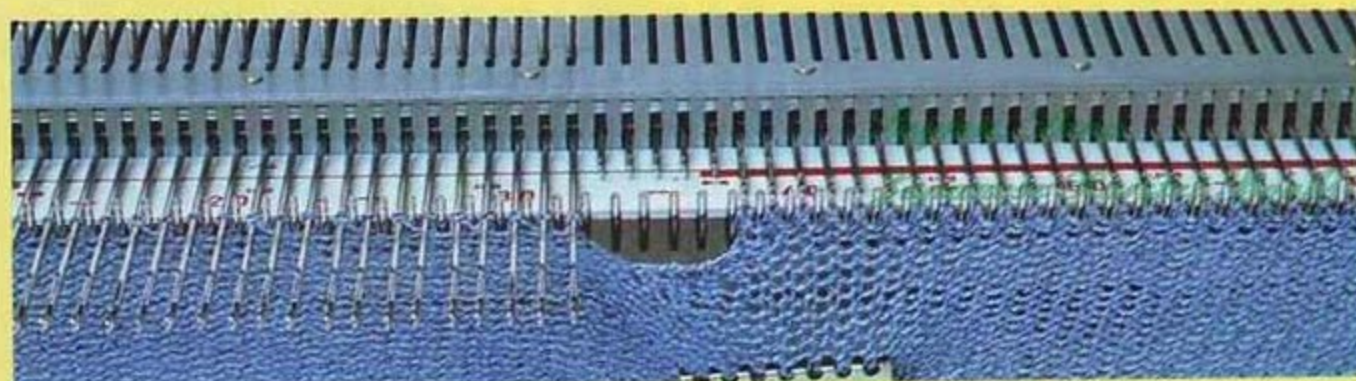
④ 中央45目と、その左側の針全部をE位置に出し、衿ぐりと肩下がりの引き返し編を交互に15段まで編みます。
⑤ E位置に出してある肩の32目の針をD位置まで下げ、残っている6目と一緒に1段編みます。

⑥ Kキャリジを左側に移して、左側の24～のの針(39目)をD位置に下げます。
⑦ 右側と同要領で15段まで引き返し編をします。
⑧ 残っている6目と、肩の20目の針をD位置まで下げて1段編みます。

⑨ 肩、衿ぐりとも、それぞれに捨て編をしてはずします。

前衿ぐりの引き返し編と減目

サイドダーツが終わったら、60段編みます。

① 引返しレバーを〈引返し〉に合わせます。
② 衿ぐり中心の35目と、その左側の針全部をE位置に出します。
③ 1段編んで、休めてある右端の針に下から糸をかけ、編みもどります。
④ 次から2段ごとに、衿ぐり側を4、3、2、2、2、2と針を出して、③の要領で引き返し編にします。

⑤ 引き返し編はそのままにして、2段ごとに5回、2本のうつし針を使って1目肩側に移します。衿ぐり側2の目が左上2目1度になります。引き返し編と段差が出来ますので、目が浮かないように減目の際に重りをかけます。
⑥ Kキャリジを左に移して19～74の針をD位置まで下げ、右側と同要領で編みます。

アイロンのかけ方

① 編機からはずしたときは、クシャクシャになっていますから、26頁の要領で周りにアイロンをかけます。

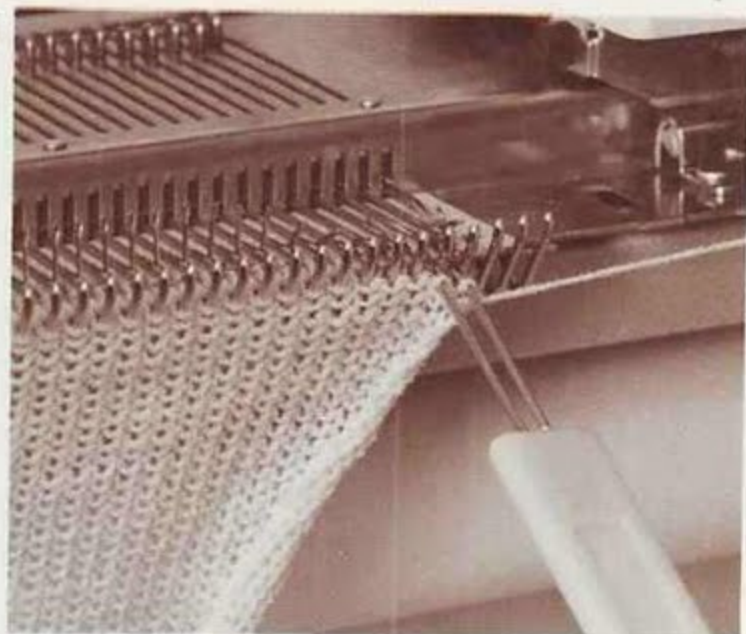
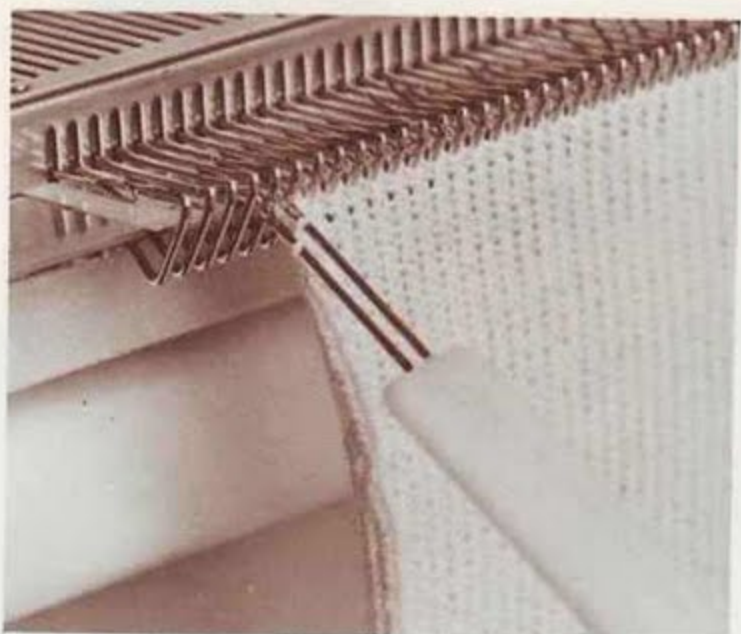
② 中表に合わせて縦2つに折り、寸法に合わせて肩から袖口止まりまでをピン打ちします。模様編の部分は着丈の位置だけを合わせて、レース模様がきれいに見える状態にかけてください。

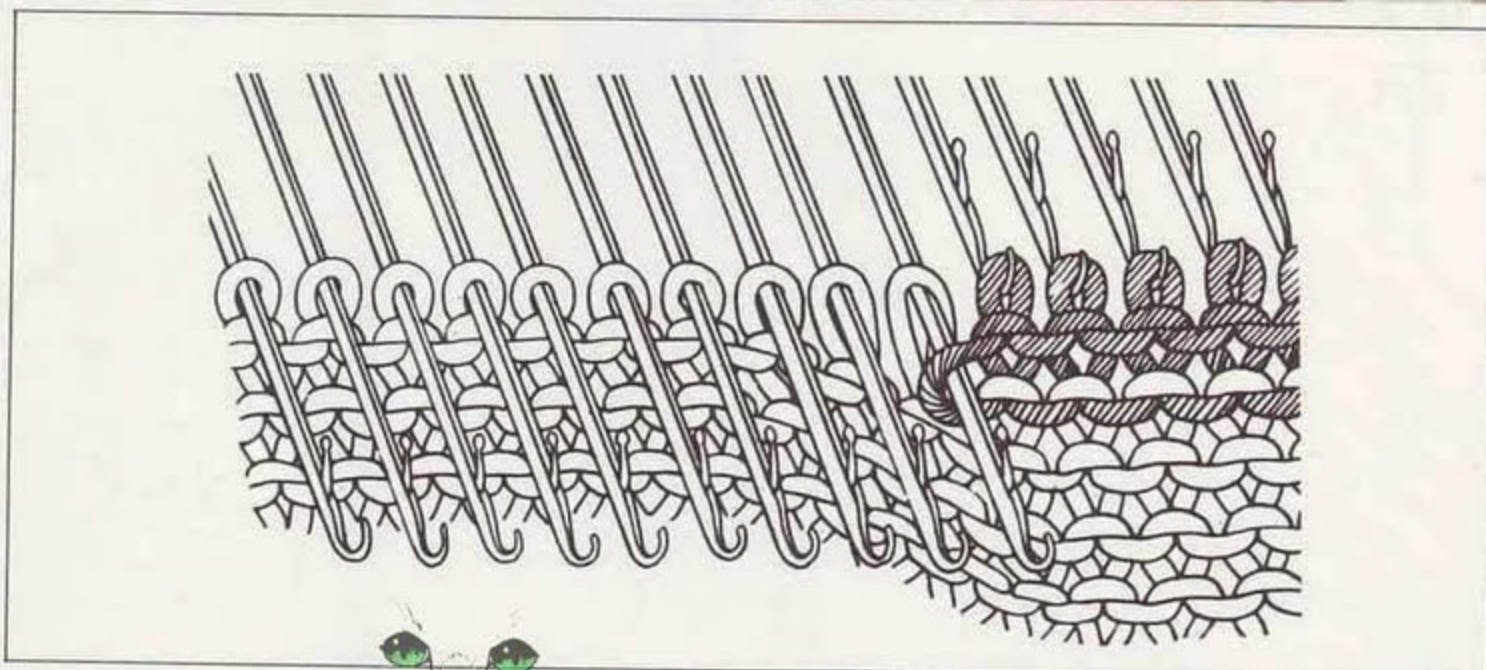
③ うちわなどで温度を下げてからピンをはずし、広げて表から中心の部分にかけます。

24の作品

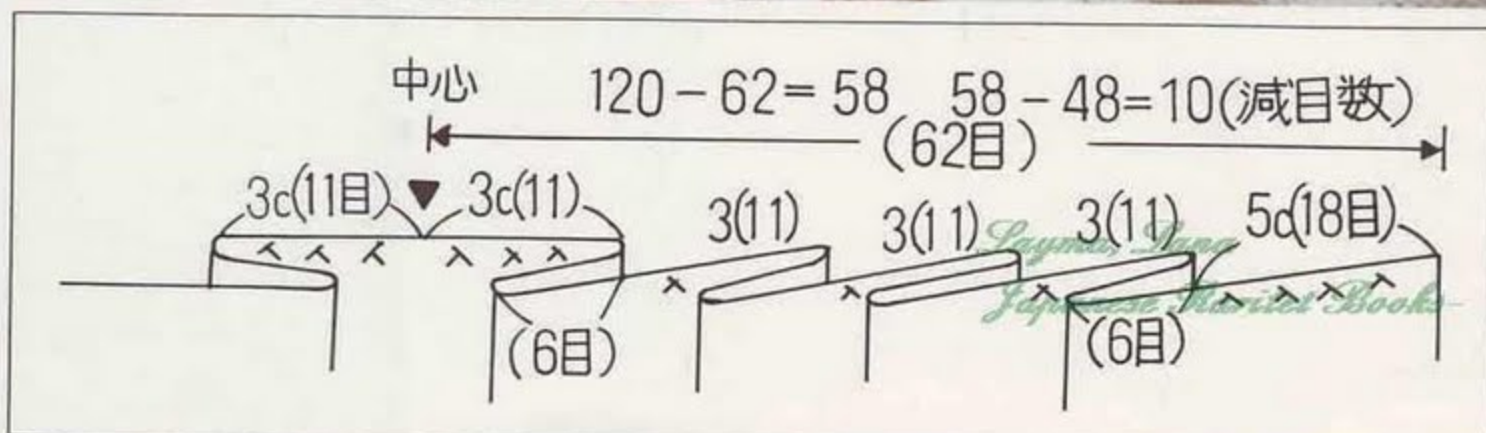
★脇の減目をします

スカート裾側の模様編が終わったら、メリヤス編に移り、脇の減目をします。

20段ごとに、2本のうつし針を使って2目を内側に寄せます。3の目に2の目が重なります。端のから針をA位置に下げます。

★後下がりを引き返し編にします

① チェンジレバーを左右とも〈引返し〉にします。
② 中央80目と左側80目の針をE位置に出します。
③ 1段編んでE位置に出した端の針に下から糸をかけ、そのまま編みもどります。
④ 次の20目をE位置まで出し、③の要領で2段編みます。
④をあと3回繰り返します。左側はE位置に出した針をD位置まで下げ、キャリジを左から入れて同要領で編みます。

★ウエストタックをとります

で6目のタックを4つとります。1目ずつ編機にかけると10目余りますので、10カ所で2目1度の減目をします。
① タックのたたみ方の関係で、中心から右側にかけていきます。中央11目をかける間に右上2目1度を3回します。
② かげの部分6目×2を重ねてかけます。この6目分は3枚重なっています。
③ 次の11目をかけるとき、5目めを右上2目1度にします。
タックが4つになるまで②〜③を繰り返します。
最後の18目の間では右上2目1度を5回します。
中心から左側は2目1度を左上にし、右側と同要領でかけます。

中心
120－62＝58　58－48＝10(減目数)
(62目)
3c(11目)　3c(11)　3(11)　3(11)　3(11)　5c(18目)
(6目)　(6目)

のポイントとアイディア

重ね目が1段で左右にわかれる山路模様です。
操作は毎回2往復（4回）です。普通のメッシュ
4回の繰り返し。
との切り替え線で模様を山型に残す時は、一旦選
でメリヤス編の位置にもどしながら編みます。
中心に向って2目1度をする模様を連続すると、編
にスカラップ状になります。
山を引き返し編にし、身頃袖ぐりと重ねて機械は

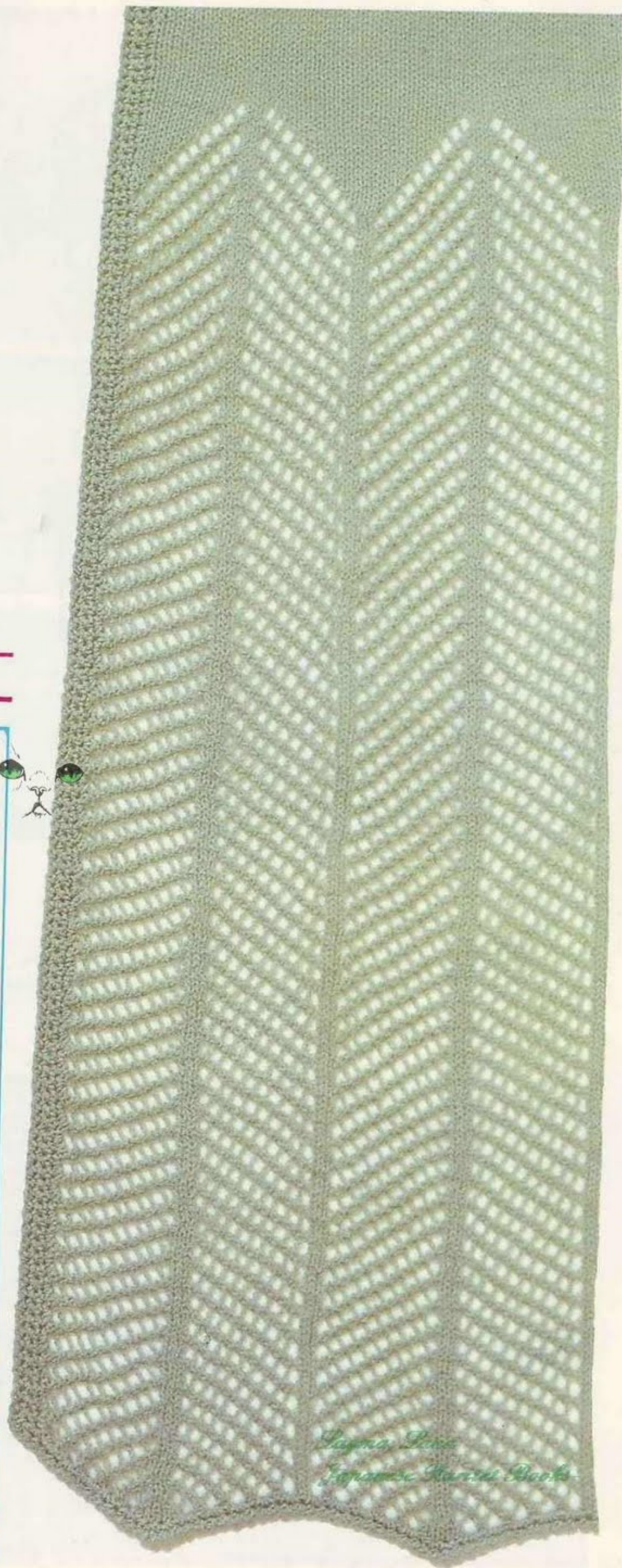
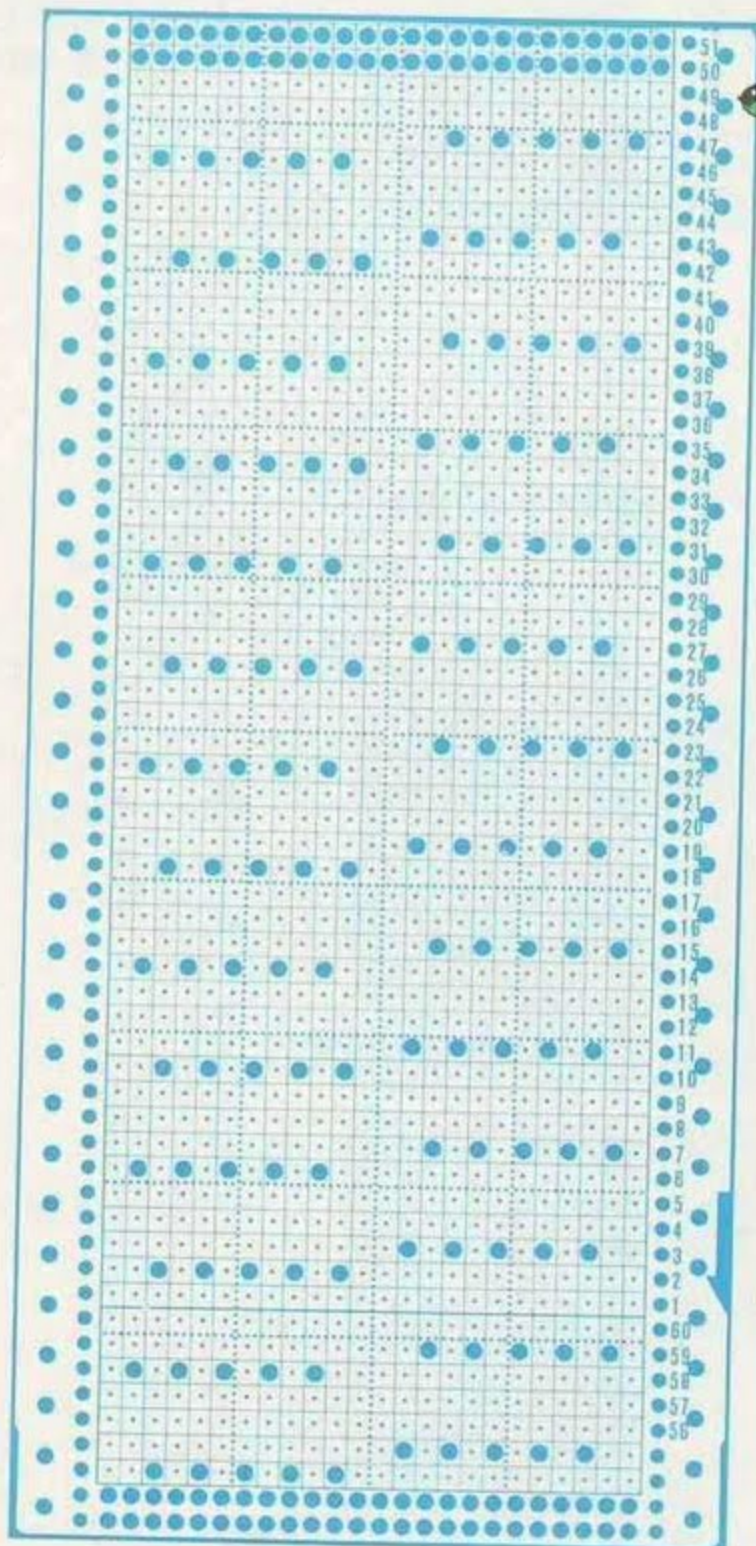
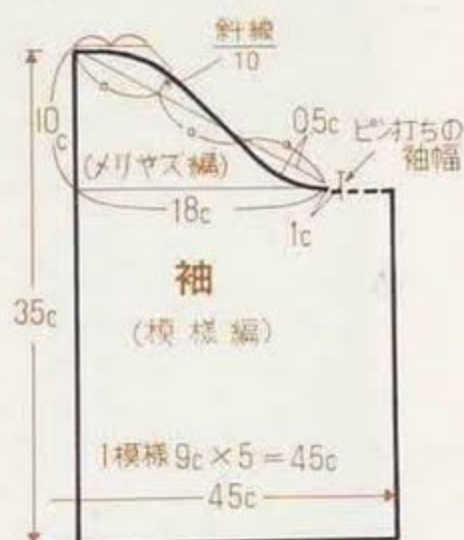
準備するもの

パリエ
サマーベル　裏葉色(321)180ｇ

パンチカードの作り方

の中心から、
の左右が逆に
です。従って、
が1段ずれて

は25のツーピ
と同じ、Lキャリ
操作です。4段
チカードは8段)
ですから、フリ
ードいっぱいにパ
しなくても、エン
スに出来る程度で
ードを切ります。

製　図

前後差は衿ぐりだけの製図です。　①　着丈をH.Lにとります。

②　フレアを出すため、身幅は模様の倍数で決めます。6模様入れると約54cmになりますので、裾で27cm($\frac{54}{2}$)をとり、脇線を直下します。

③　B.Lで2cmの位置に印を付け、これをピン打ちをするときの身幅とします。

④　S.Pで、伸び分0.5cmをカットします。

⑤　後衿ぐりはN.Pで1cmオフさせ、衿下がりを0.5cm下げて自然なカーブを描きます。

⑥　前衿ぐりは更に10cm下げて、N.Pとカーブで結び、前端線を…cmを直下します。

⑦　B.Lから3cm上にとり、模様切り替え線の目安にします。

⑧　袖は、5模様入れて袖口幅を約45cmにし、輪郭線を描きます。袖山は製図上では10cmになりますが、フレアの関係で実際は…出来上がります。

編み方図

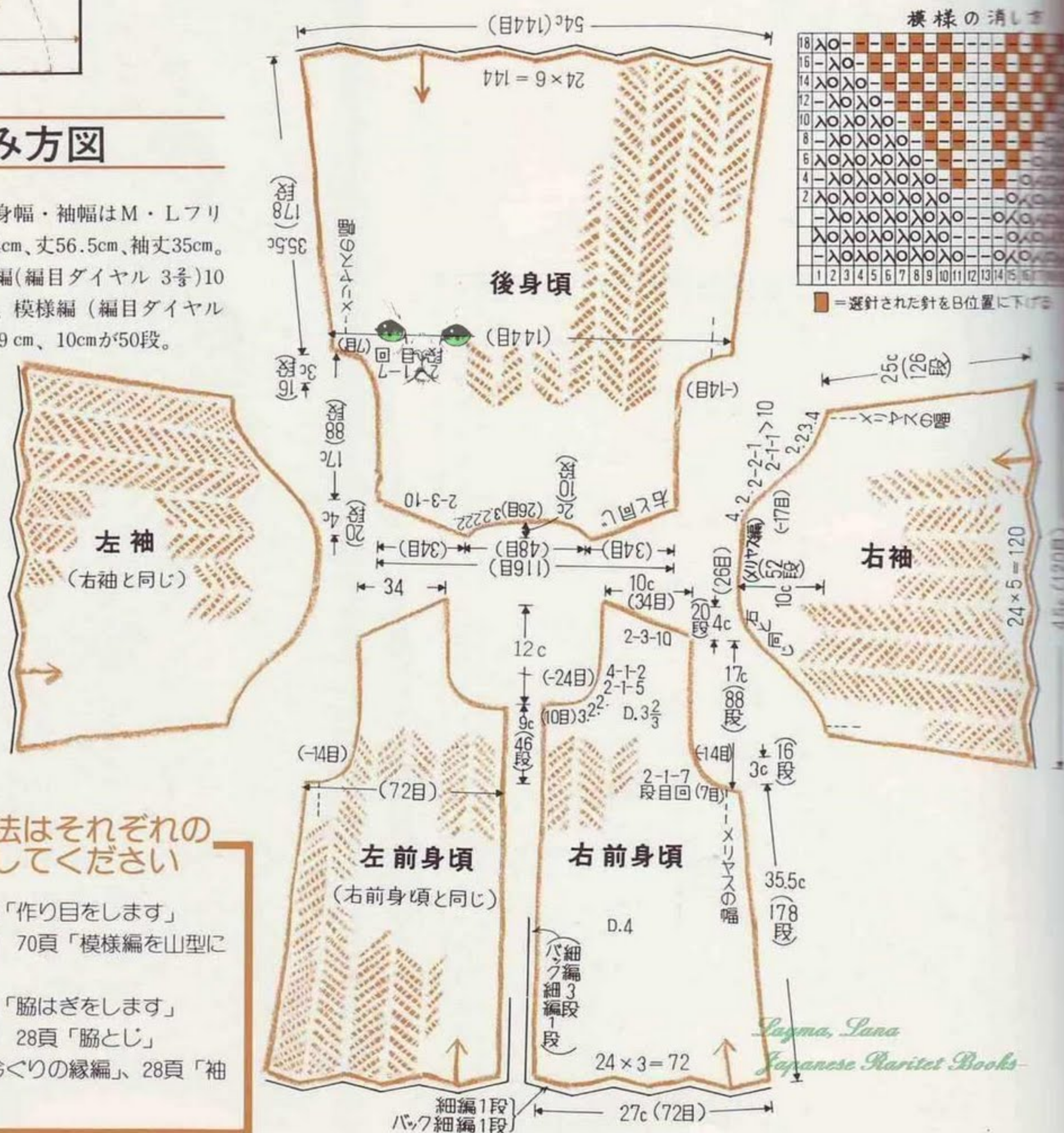
出来上がり寸法　身幅・袖幅はM・Lフリーサイズ、背肩幅34cm、丈56.5cm、袖丈35cm。

ゲージ　メリヤス編(編目ダイヤル 3$\frac{2}{3}$)10cm平方34目×52段、模様編（編目ダイヤル4）1模様24目が9cm、10cmが50段。

後身頃　24×6＝144　54c(144目)　35.5c(178段)　(144目)　3c(16段)　17c(88段)　4c(20段)　2c(10段)　(34目)(48目)(34目)　(116目)

左袖（右袖と同じ）　右袖　24×5＝120　25c(126段)　10c(52段)

左前身頃（右前身頃と同じ）　(72目)　右前身頃　D.4　24×3＝72　27c(72目)　細編1段 バック細編1段

模様の消し方　■＝選針された針をB位置に下げる

下記の技法はそれぞれの頁を参照してください

●作り目　22頁「作り目をします」

●模様の消し方　70頁「模様編を山型に消す方法」

●肩はぎ　47頁「脇はぎをします」

●脇、袖下とじ　28頁「脇とじ」

●縁編　27頁「衿ぐりの縁編」、28頁「袖口の縁編」

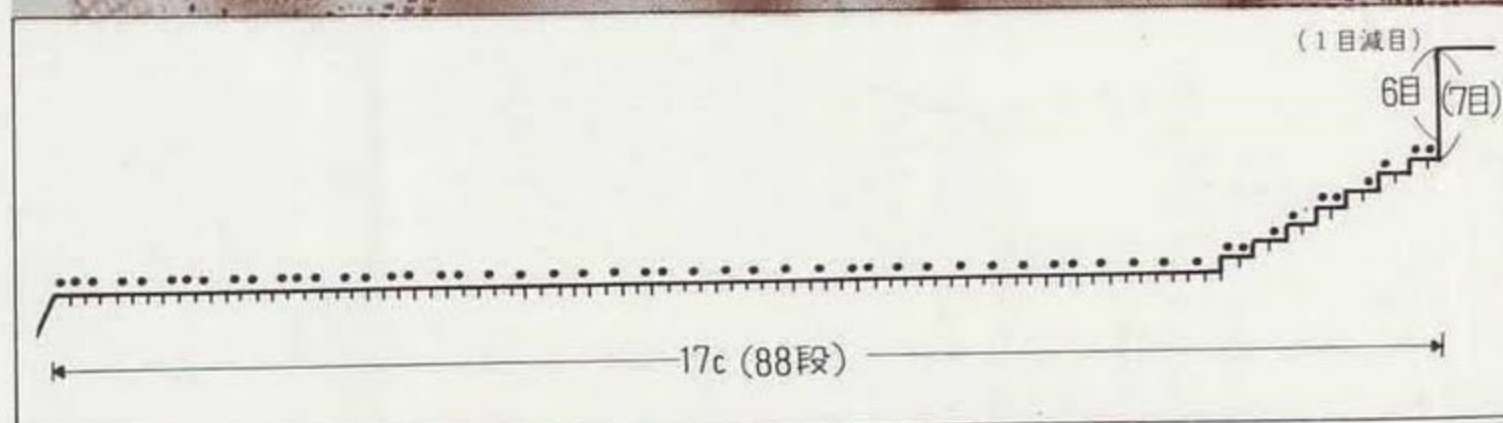
袖付けの仕方

袖山曲線は、全部を２段ごとの引き返し編にして、目が拾いやすいようにします。模様編とメリヤス編のゲージの差で、袖幅は36cm位になります。

1 袖を編機にかけます

① 袖の表側を手前にして捨て編を手前側に倒し、１目ずつ編機にかけます。
② 捨て編をといて、引き返し編のダブリ目が落ちていないか確かめてベラ抜けさせます。
③ 目が浮かないように重りをかけます。

2 身頃を重ねてかけます

① 身頃の裏側を手前にして、端目の向こう側半目をすくって、フックにかけます。拾い目の割合は下の図を参照してください。袖と身頃が中表になります。
② 袖をフック越しして、針から落とします。

3 2、3段編みます

共糸で、糸端が左になるよう２、３段編み、糸端を袖幅の2.5倍位残して切ります。

4 巻き止めをします

糸端をとじ針に通して巻き止めをし、編機からはずします。

27

60プリーツのスカート。6枚はぎでも軽い仕上がりです。針抜き技法で短時間に編め、ひだはぴったり決まります。裾は引き抜き止め1段。

作品のポイントとアイディア

- 編機いっぱいの目数で10プリーツ、15cm幅が編めます。
- 折り山を除き、全体を1·1の針抜きで編みます。６枚はぎですが、最初に針をセットすれば、あとは間に捨て編を入れながら、キャリジを左右に動かすだけで編み上がります。
- 編み地を上下に強く引っ張るとプリーツがきれいにたためます。
- 裾は１段めのシンカループを引き抜き止めするだけです。
- アクリル素材のプリーツは洗濯をしてもくずれません。

準備するもの

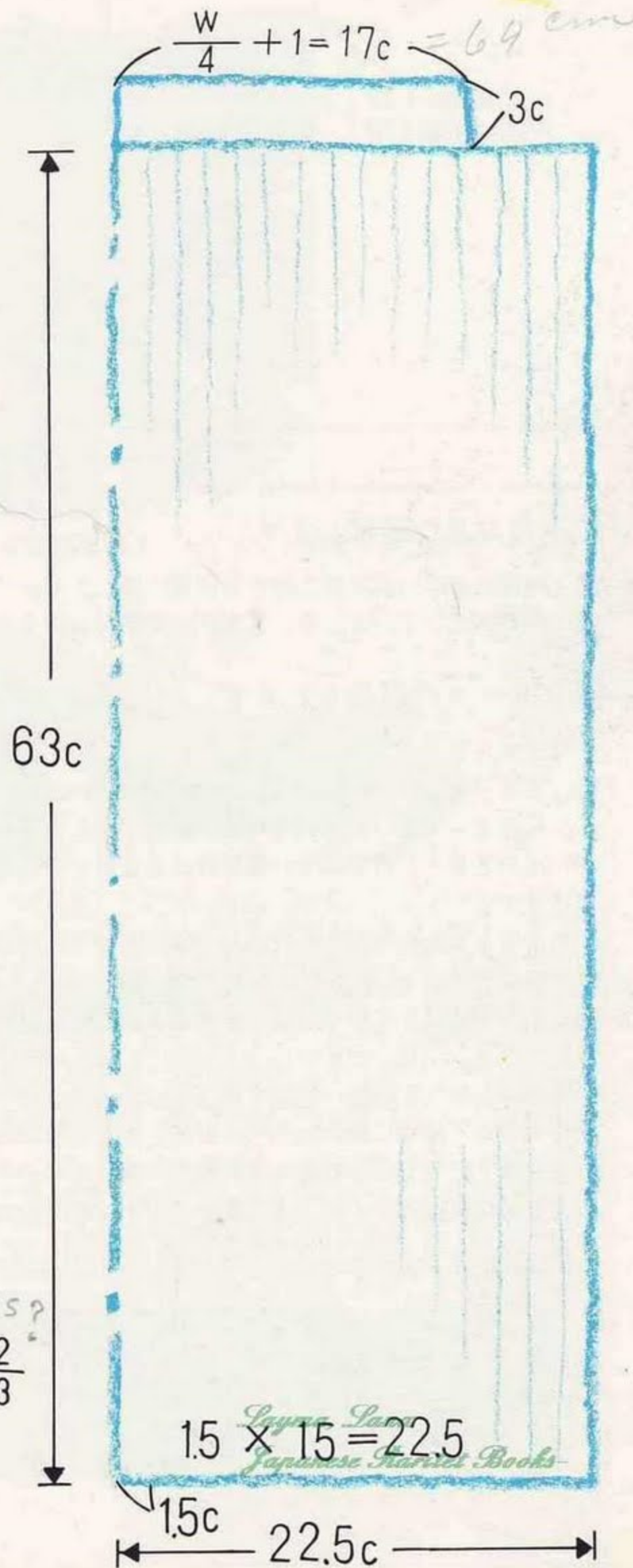
ブラザー編機 デリカ （編目ダイヤル0－2）
カネボウ サマーベル 生成りに紺のからみ(391) スカート… 325 g、スカーフ… 60 g

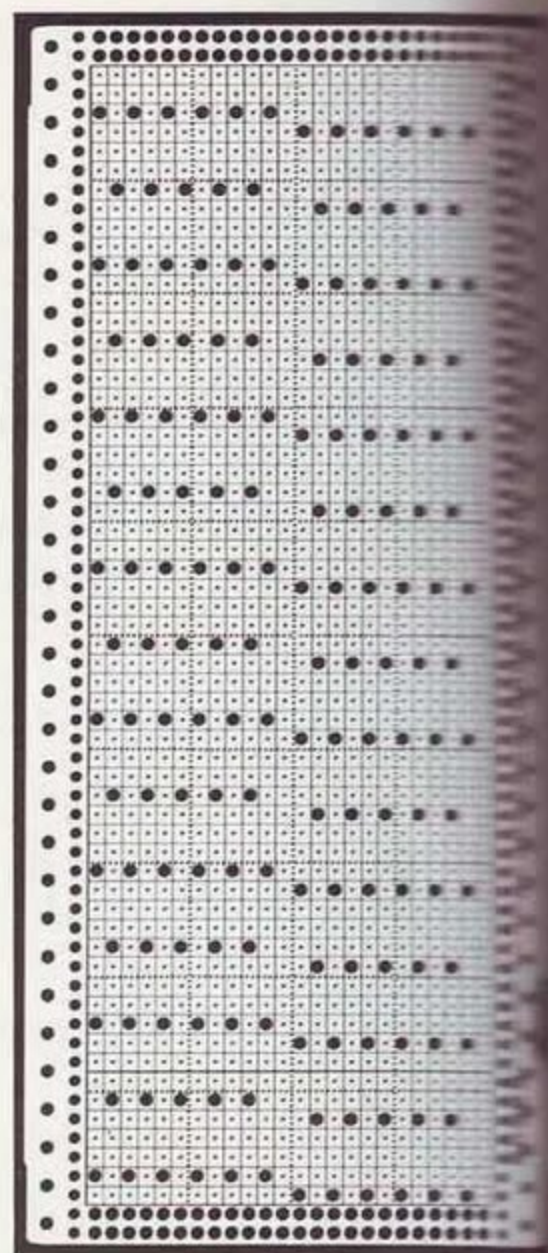
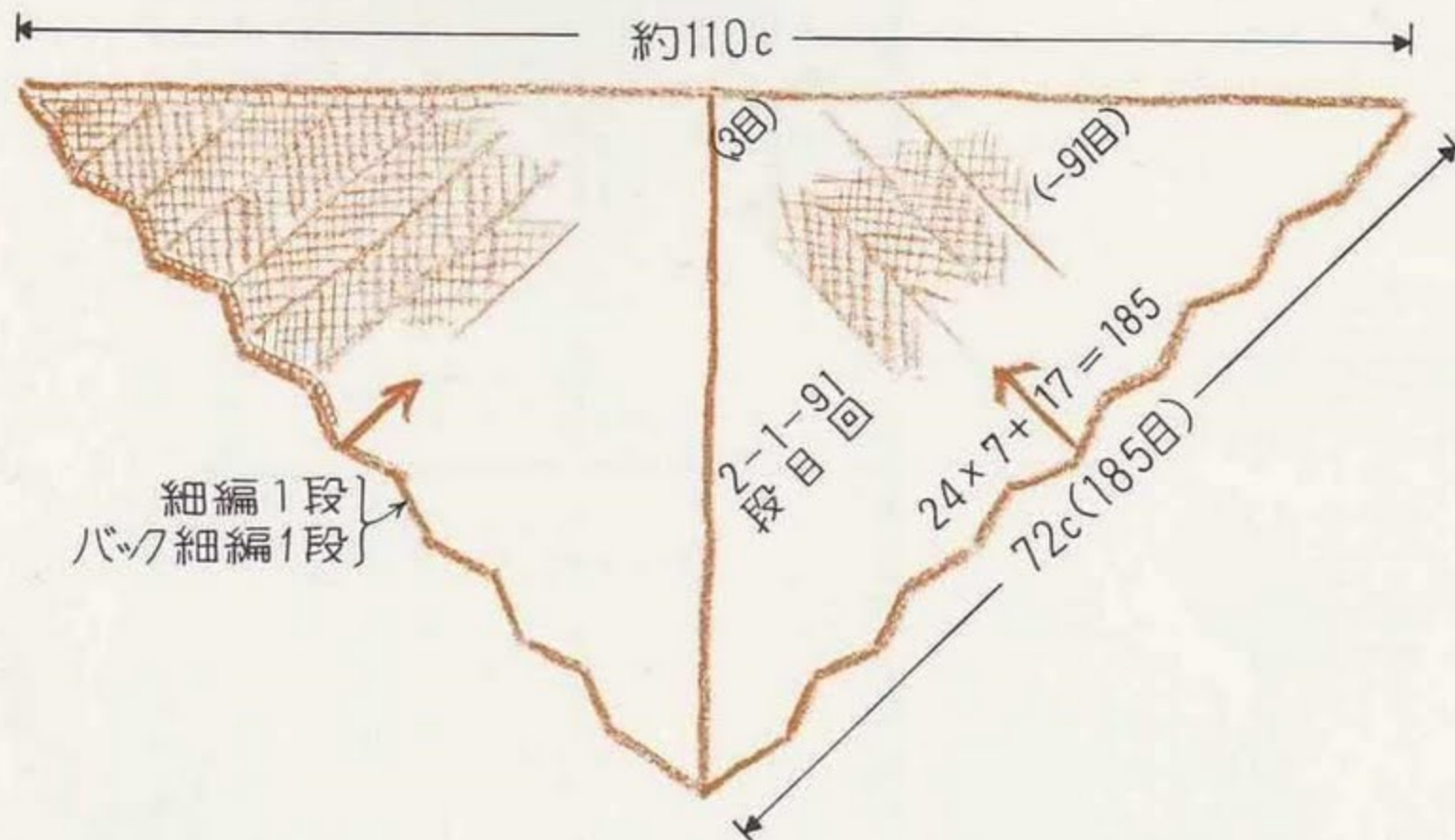
製図・編み方図

出来上がり寸法 胴囲68cm、腰囲90cm、スカート丈(ベルト下)63cm、スカーフ幅110cm、丈55cm。

ゲージ １目針抜きによるメリヤス編のプリーツ258目が15cm、10cmが40段前後。

下記の技法はそれぞれの頁を参照してください

- ●ウエストベルト 41頁「衿の縁編を編みます②、③」の要領、54頁「タッピで引き抜き止めをします」
- ●スカーフ 58頁「亀甲模様の三角ストール」

スカーフ

26の模様編と非常によく似ていますが、パンチの位置が違います。

スカートの作り目

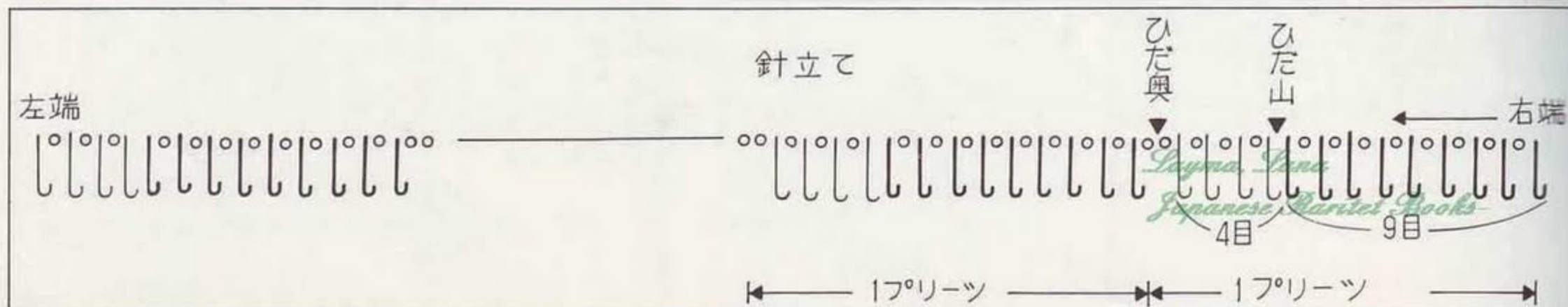
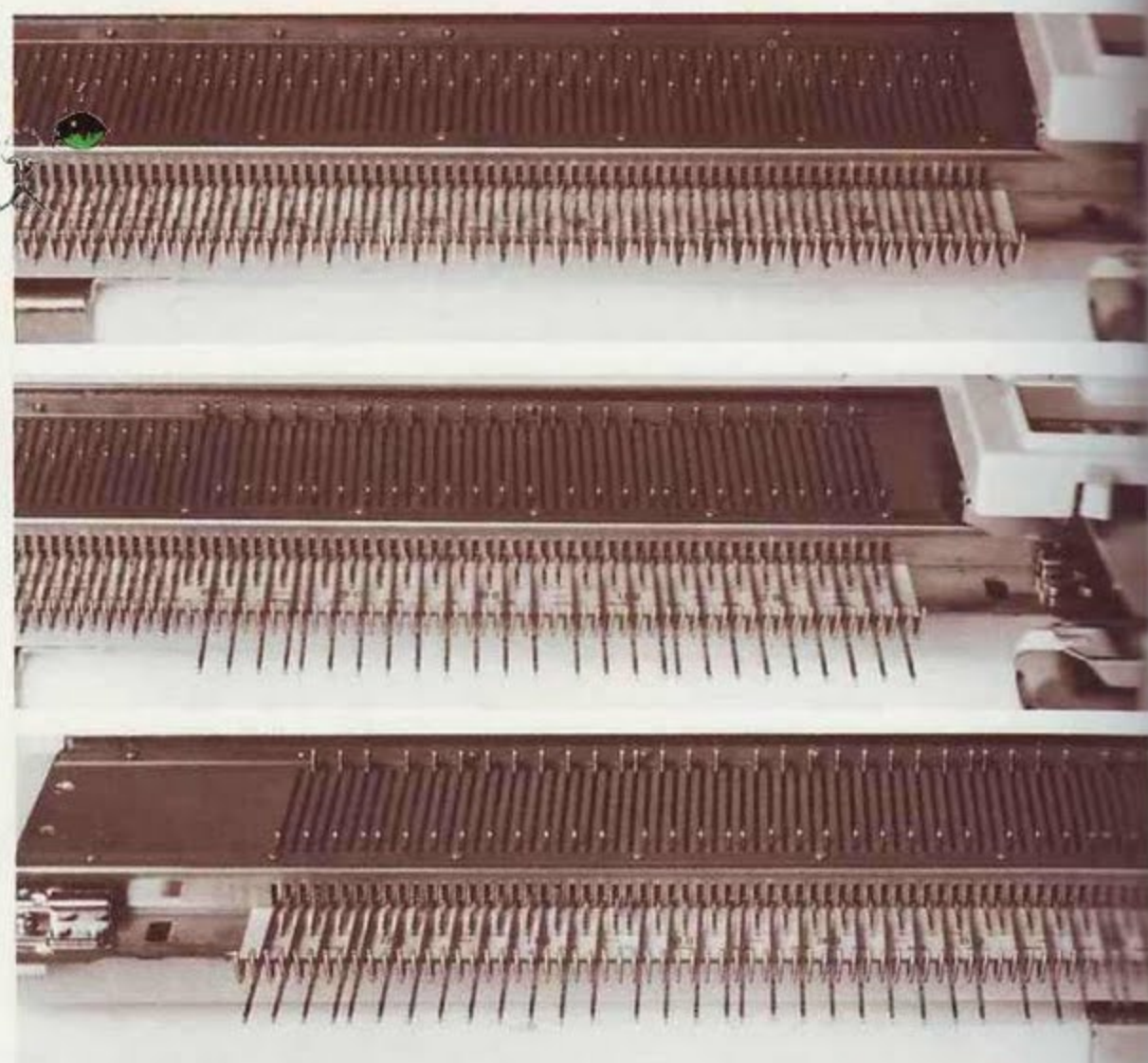
1 1目おきに選針します

① 編機いっぱい258目の針をB位置に出します。
② 選針ボタン1、3、5、7を押して選針します。

2 プリーツの選針をします

右側から始めます。
① まず、B位置に出ている針9本をE位置まで出します。
② 続けてA位置にある針4本をE位置に出します。
③ 次の2本と、右側のE位置以外にある針をA位置まで下げます。

2本並んで出た位置がひだ山、2本並んで下げた位置がひだ奥になります。これで1プリーツの選針が出来ました。
④ ①〜③を繰り返して選針しますと、10プリーツ出来ます。

両側にとじ代がほしいのですが、そのために1プリーツ少なくなるとM寸に編み上がりません。とじ位置は陰ひだになりますので、表ひだ幅には影響ありませんし、かえってとじ代はない方が、仕上げアイロンがかけやすくなります。

針立て

左端　ひだ奥　ひだ山　右端

4目　9目

1プリーツ　1プリーツ

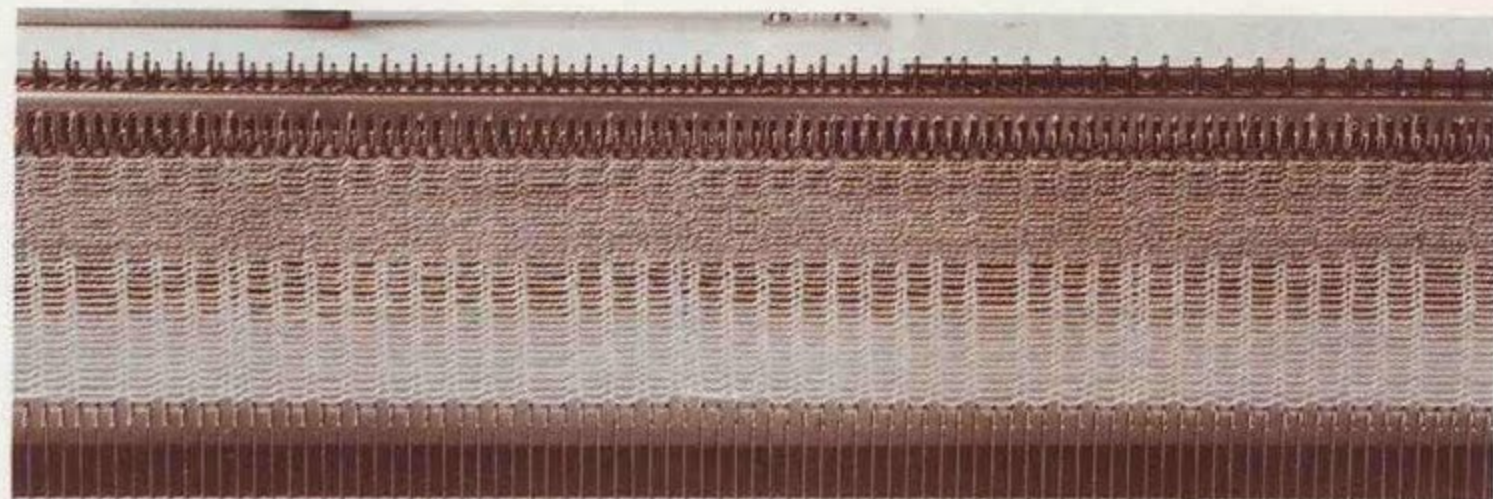
編み方

1枚めを編みます

① ダイヤルを1号に合わせます。
アイロンをかけやすくするために同じレベルの色違いの糸で、捨て編を編みます。
② 糸に替え、メリヤス編でスカート丈分を編みます。
アイロン仕上げがしにくいので、抜きはしません。

2～6枚を編みます

① 1枚めが終わったら、捨て編10～15段編みます。
② 糸に替え、2枚めを編みます。
③ ①～②を繰り返して6枚めまで編み、捨て編10段位編んで編機からはずします。
メリヤス編ですから自然にスピードが出て、その振動で抜き針が出て来て編め場合もあります。ときどき編み地を確かめてください。

プリーツスカートはアイロンかけが重要なポイントです。スカート丈がきれいに入る、大きなアイロン台を用意します。

アイロンかけ I

1 編み地を引っ張ります

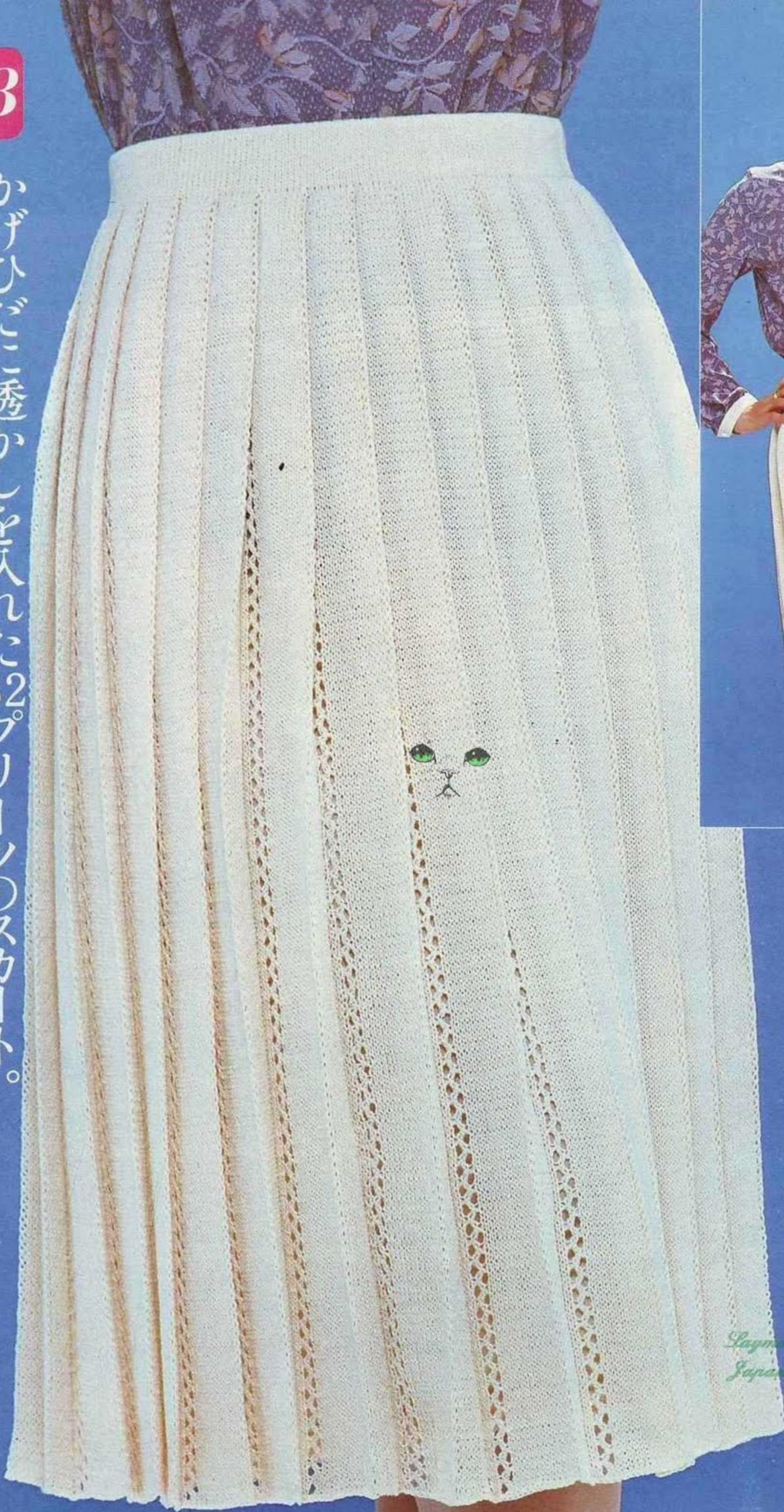
① 編み始めの捨て編と2枚めとの間の捨て編を両手に持って持ち、パンパンと音が出る位引っ張ります。
② 2枚め、3枚めと同様に引っ張って、6枚全部を伸ばします。

2 ピン打ちをします

編み始めを右にして、裏側を出します。
① 製図用紙にスカート丈をとります。
② 向こう側を5cm間隔位にピン打ちします。
③ 表ひだ、陰ひだがはっきりしているので、捨て編も一緒にたたみながら、裾線を水平にそろえてプリーツ1本1本にピン打ちをします。
④ 2枚めとの間も同様にピン打ちし、手のひらでトントンたたくと10本のプリーツが落ち着きます。
間が狭くてアイロンが入りにくいので、手前側はピン打ちをしません。
⑤ アイロンの目盛りを化繊に合わせ、押えるようにかけます。手前側はかけにくいので、無理にかける必要はありません。
⑥ ②～⑤を繰り返して6枚全部にかけます。

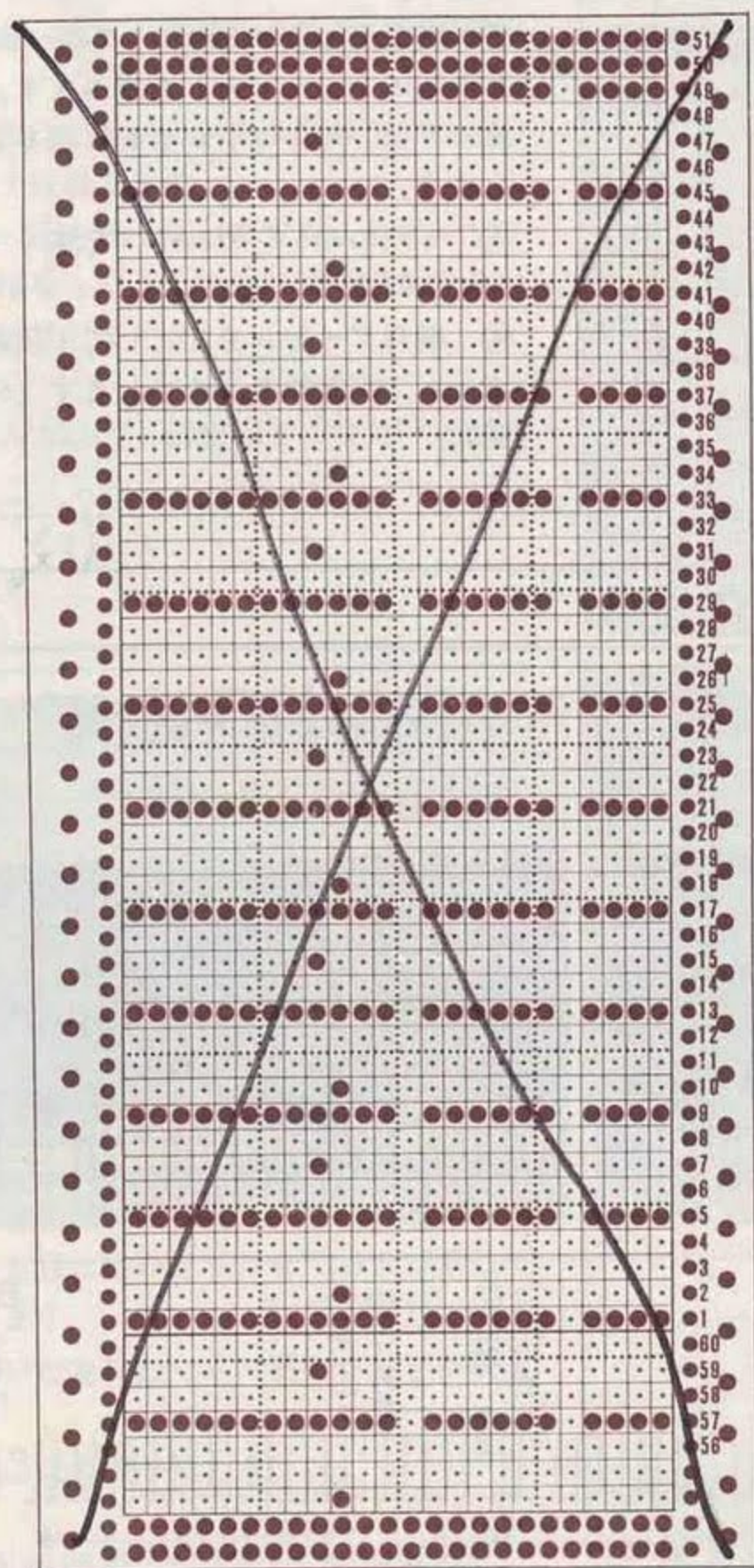
86頁に続く

28

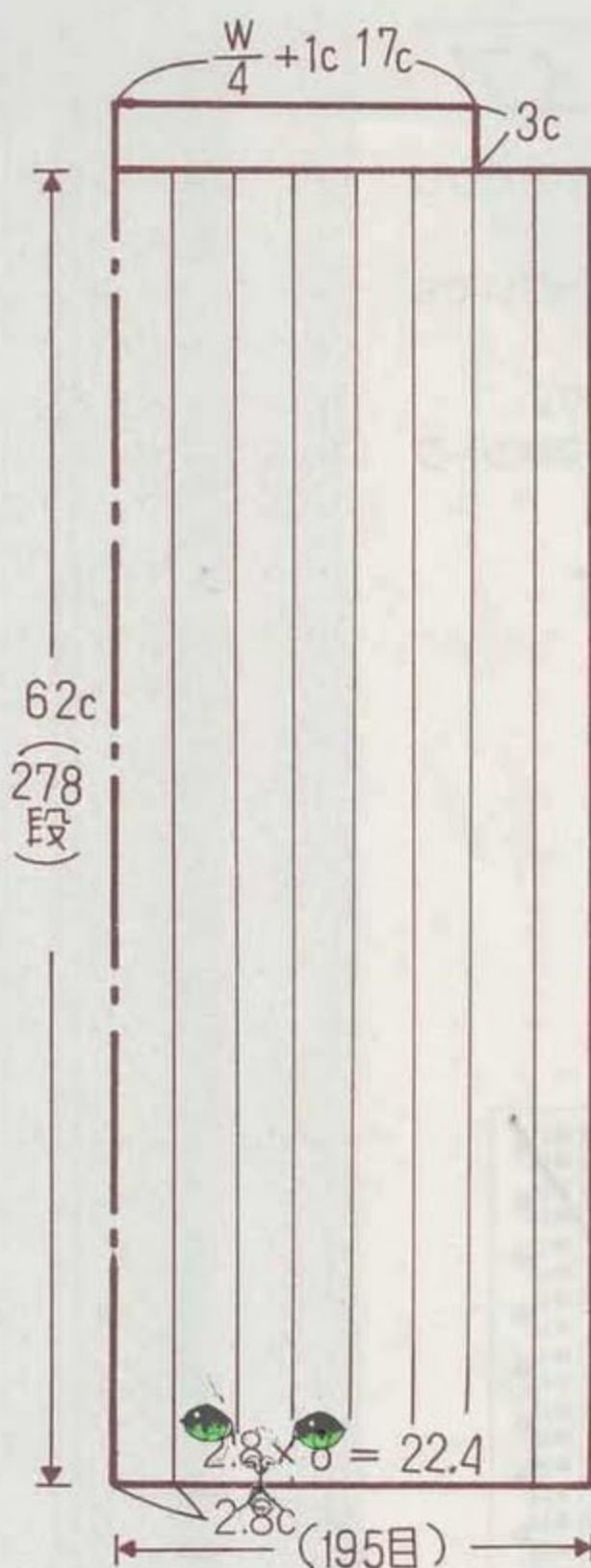
かげひだに透かしを入れた32プリーツのスカート。ひだ山はすべり目、ひだ奥は針抜きで編んだ4枚はぎです。

作品のポイントとアイディア

- パンチカードとカムボタン操作で自動的に編める柄入りプリーツスカートです。
- パンチカード１枚分24目がワンプリーツ、編機いっぱいで８プリーツ編めます。
- 間に捨て編を入れながら４枚続けて手早く編めます。
- アクリル素材ですから、アイロンをかけるとパーマネントプリーツになります。
- 洗濯してもノーアイロンで着られて大変便利です。

準備するもの

ブラザー編機 パリエ （編目ダイヤル４前後）
カネボウ サマーベル アイボリー(380)310ｇ
３cm幅のゴムベルト66cm

製図、編み方図

出来上がり寸法　胴囲68cm、腰囲90cm、丈（ベルト下）62cm。
ゲージ　プリーツ 195 目が22.4cm、10cmが44段前後。

※プリーツの表ひだ幅は10目で約2.8cm。1模様24目の範囲内で表ひだと陰ひだを変えることは無理ですから、スカート幅はひだ数を増減して決めます。L寸の場合は4枚と不足分を5枚めで補い、S寸の場合は出来上がり90cmから広い分だけひだ数を減らします。

下記の技法はそれぞれの頁を参照してください

●**裾の止め、脇とじ**　86頁「裾の止め、脇とじ」
●**アイロンかけ**　81頁「アイロンかけⅠ」、87頁「アイロンかけⅡ」
●**ウエストベルト**　41頁「衿の縁編を編みます②、③」の要領、54頁「タッピで引き抜き止めをします」

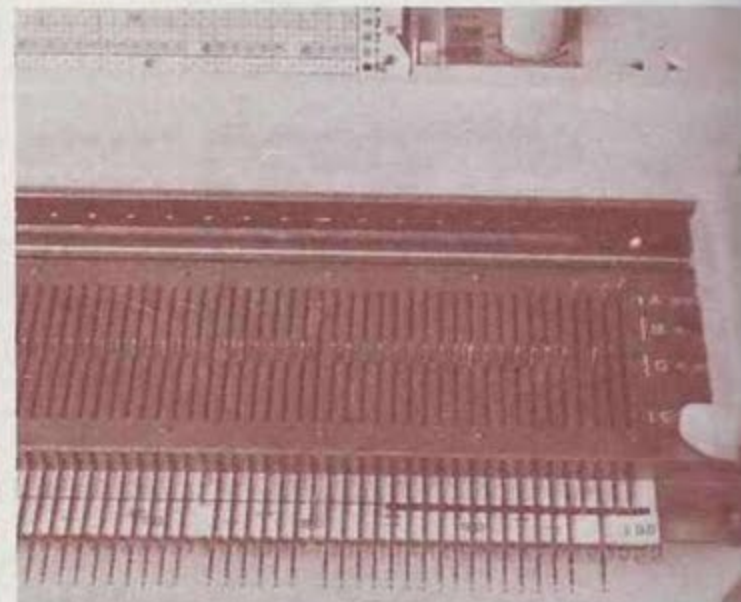
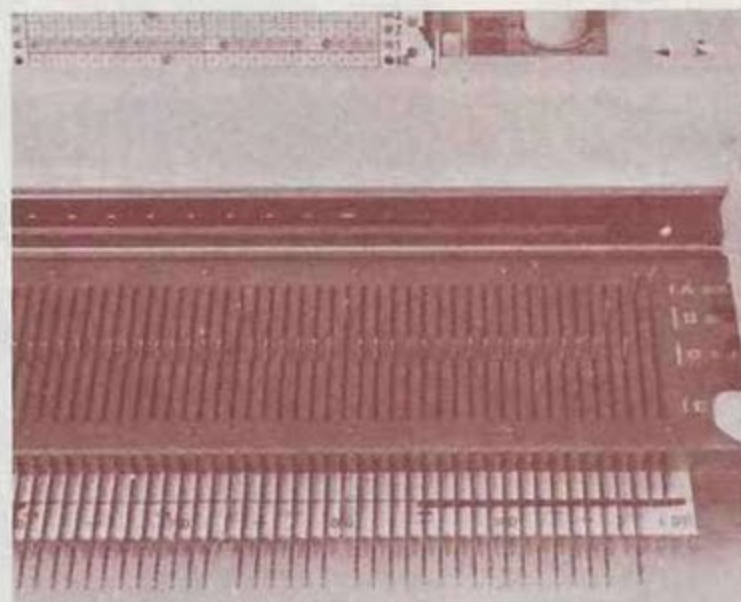
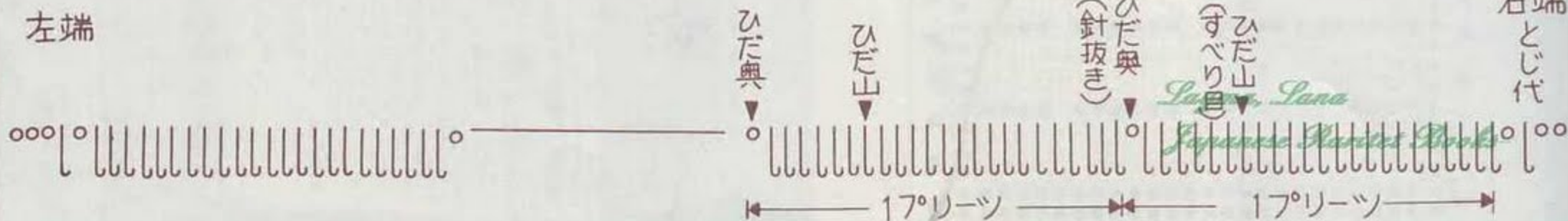
2ベルトを編みます

① 編目ダイヤルを10に合わせて1段編みます。
② 編目ダイヤルを3にして34〜38段（ベルト幅の2倍…6cm）を編みます。編み終わりは、キャリジが右側に来るようにします。
③ 1段めのシンカループをすくって重ねてかけます。
④ 編目ダイヤルを10にして1段編み、タッピで引き抜き止めをします（54頁参照）。

プリーツの針立て

① 編機いっぱい200目の針をB位置に出し、右端2本、左端3本はA位置にもどします。
② パンチカードを60に合わせ、Lキャリジを操作します。
③ 1模様24目のうちに選針されない針が2本あるので、向かって左の針をA位置に下げます。これがひだ奥の針抜きになります。両端とも2本めが針抜きになります。端目はとじ代です。

左端　ひだ奥　ひだ山　ひだ奥（針抜き）　ひだ山（すべり目）　右端とじ代

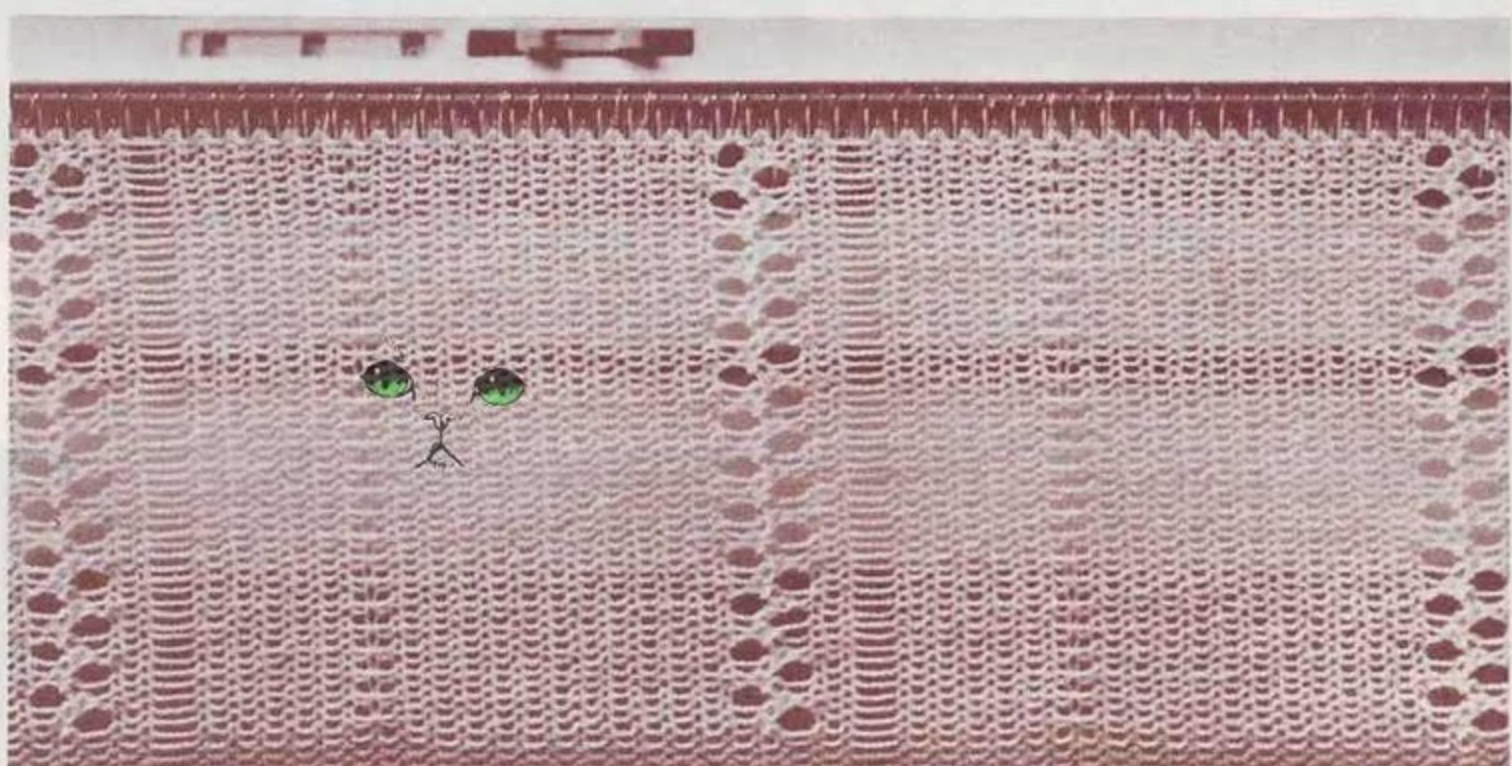
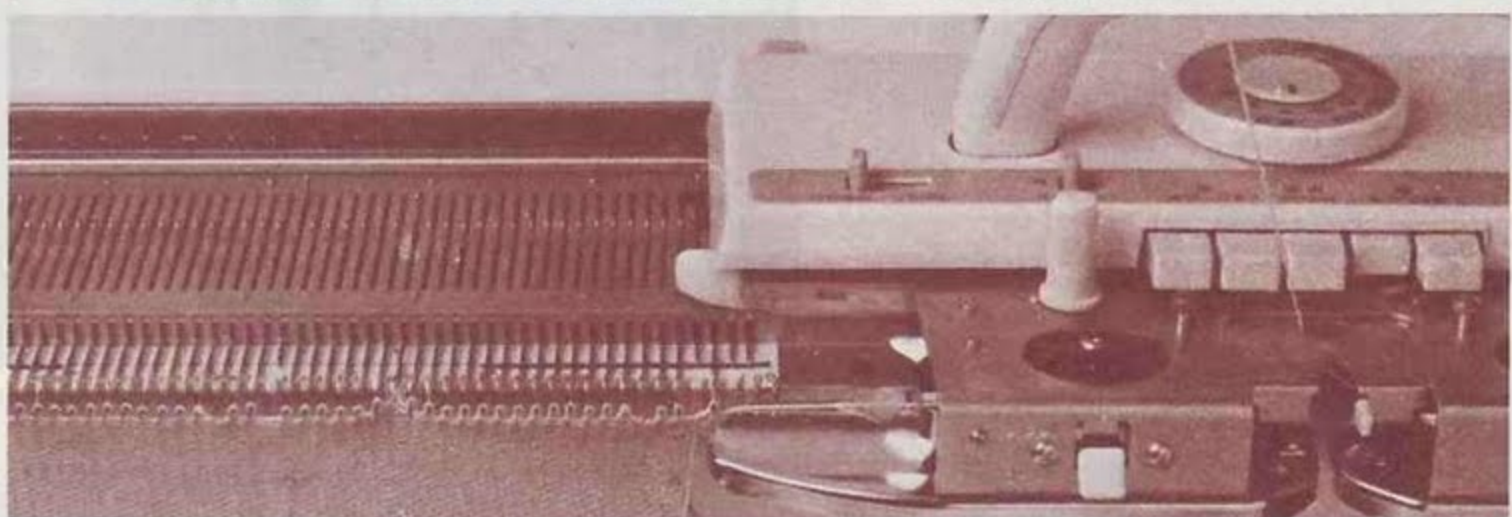
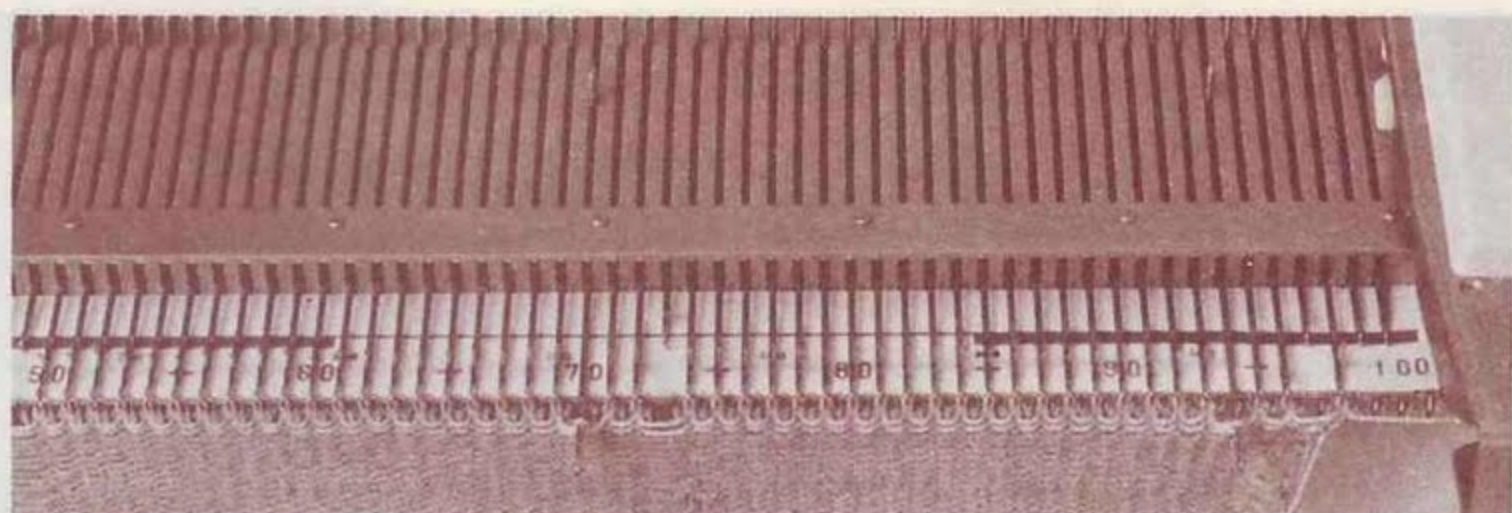
←1プリーツ→←1プリーツ→

模様編の編み方

① 2段編みます。

② カムボタンの〈すべり左〉を押します。
③ パンチカードを1、ストップレバーを〈とまる〉に合わせます。
④ Lキャリジを右へ動かし、ストップレバーを〈まわる〉にして左へもどします。更に1往復します。

⑤ カムボタンの〈すべり左〉が押されているか、もう一度確かめてから2段編みます。
⑥ 次はLキャリジを4回操作(2往復)して2段編みます。

④~⑥を繰り返しますが、Lキャリジ操作はゆっくり、キャリジを浮かさないよう注意します。

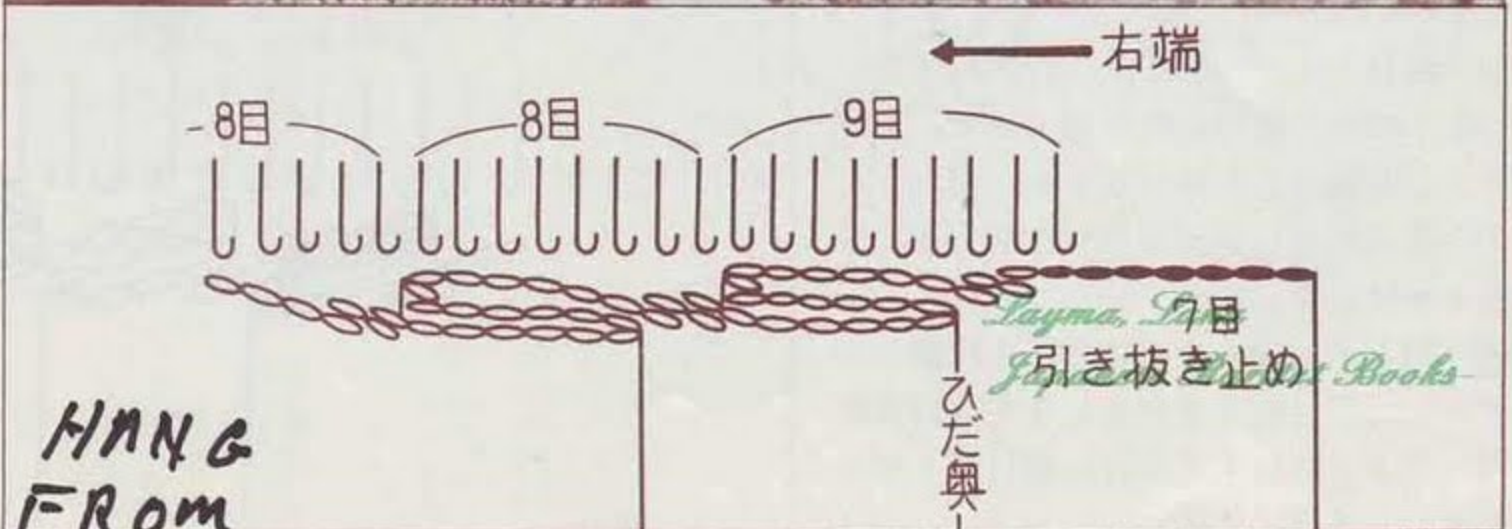
※編み方は27と同要領で4枚続けて編みます。

ベルトの付け方

1プリーツをたたんでかけます

① 右端7目を引き抜き止めにし、7目めと次の目を1目ずつ編機にかけます。
② 2本めの針にもう1目を重ねてかけ、次に1目をかけます。
③ その目に②と同様に重ね目をし、続けて1目ずつ6目をかけます。
③ 次のひだ山の目と陰ひだの最初の目を重ねてかけ(全部で3目かかる)、③の残り5目に陰ひだ5目を1目ずつ重ねてかけます。
④ ひだ奥をたたんで更に6目をかけます。

②~④を繰り返します。

2の説明は84頁にあります

27の作品

裾の止め、脇とじ

1 引き抜き止めをします

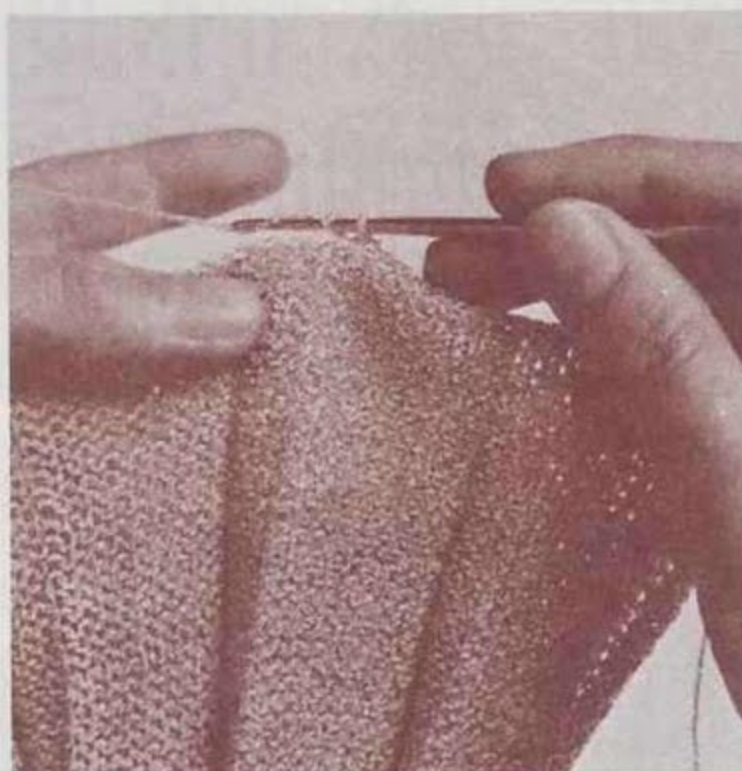
裏を手前にして裾側を上に持ち、1段めのシンカループを1目ずつすくって、普通よりきつめに引き抜きます。糸端は、脇とじが出来る位残して切ります。

2 裾を左右に引き伸ばします

引き抜き止めの両端を両手で持ち、静かに左右に引っ張ります。

3 の説明は87頁にあります

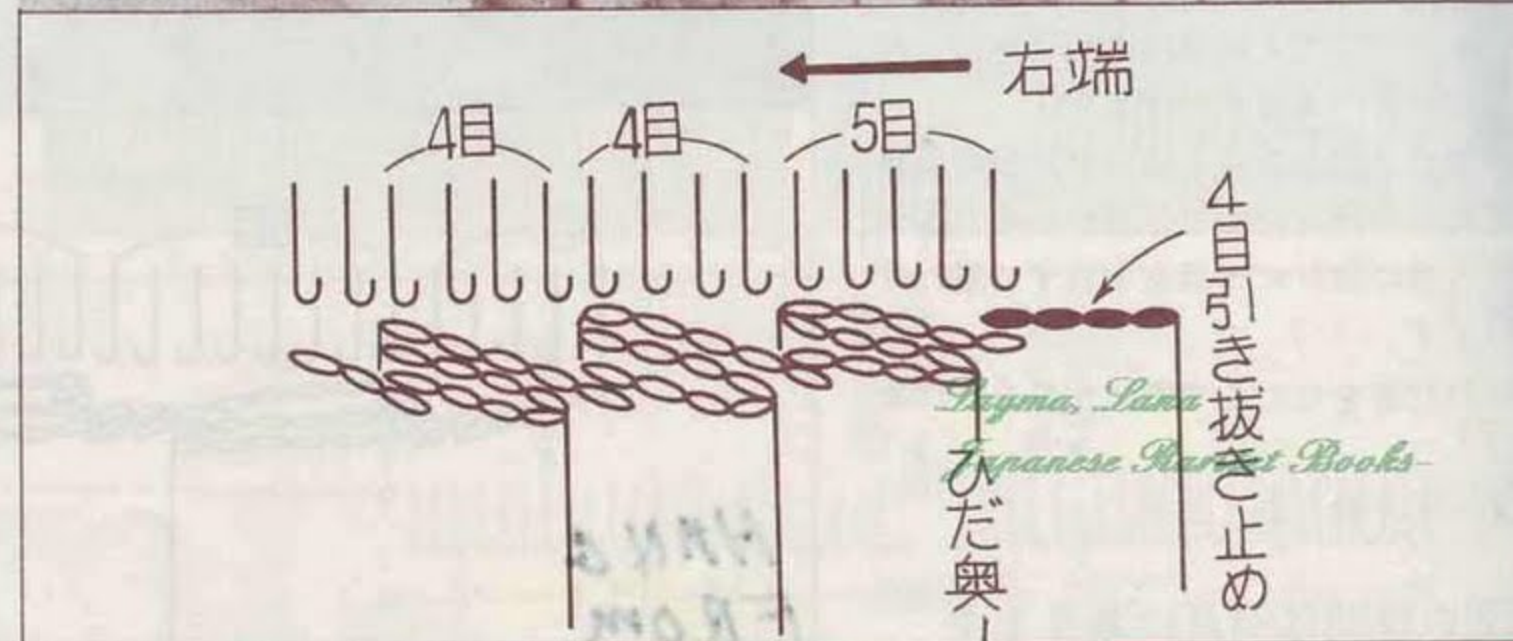
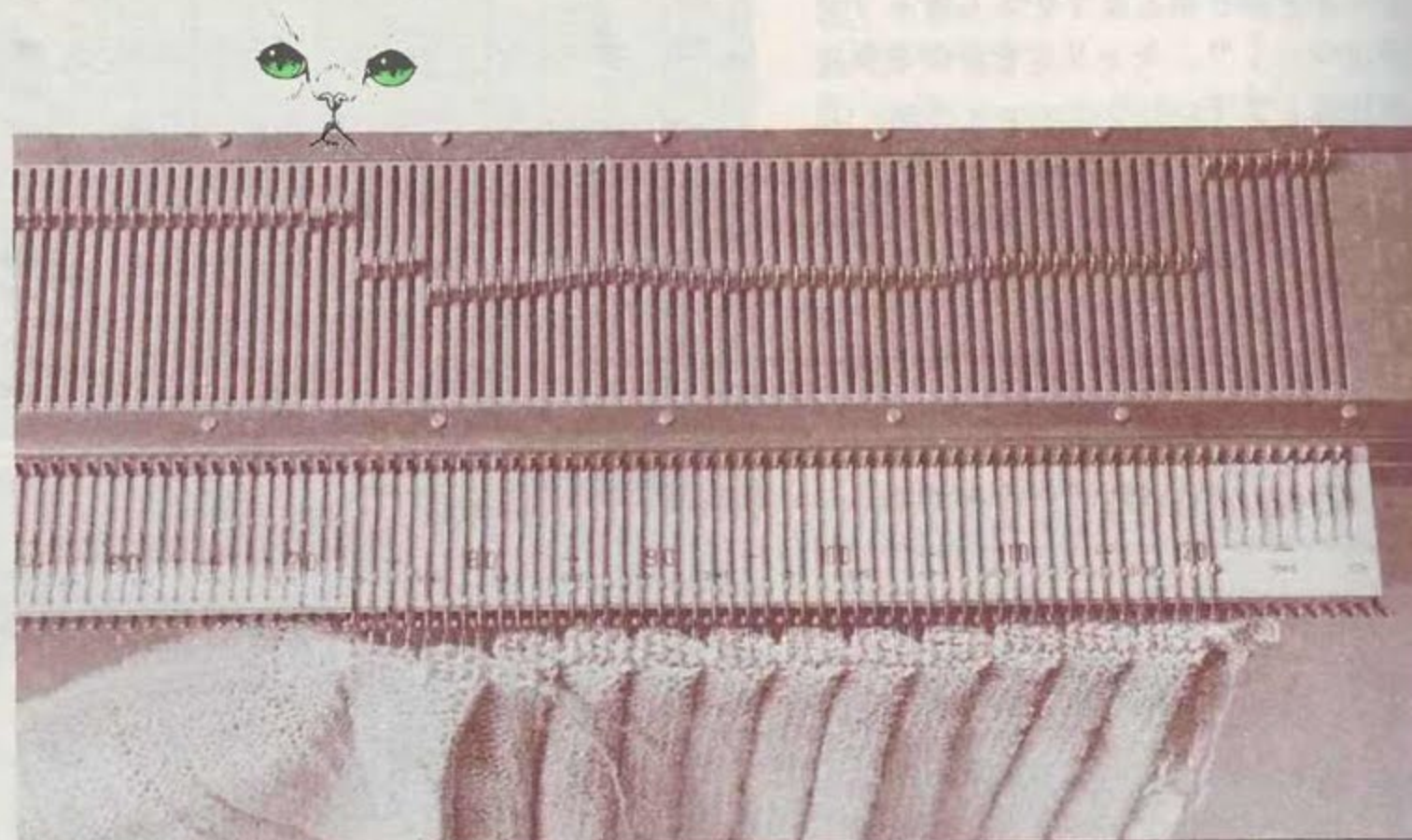
4 脇とじ

裾から2段ごとのすくいとじで、6枚の5カ所をとじ合わせます。とじ糸はつれないよう、よく糸こきをします。

ベルトの付け方

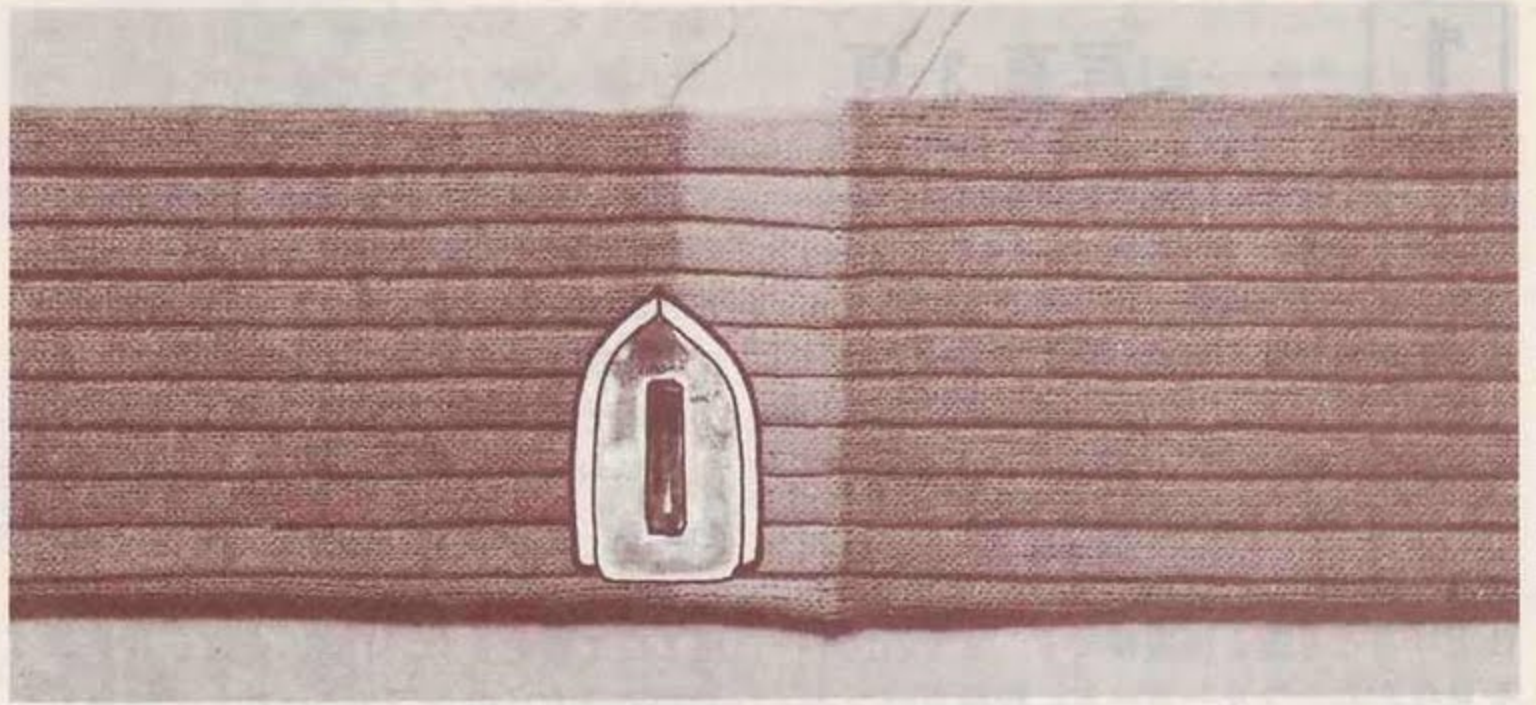
1 プリーツをたたんでかけます

① 右端4目を引き抜き止めにし、4目めを編機にかけます。
② 次の目を同じ針に重ねてかけ、続けて1目ずつ4目をかけます。ひだ山のかたい目1目までかかります。
③ ②の4目に、陰ひだ4目を1目ずつ重ねてかけます。
④ ひだ奥をたたんで更に4目かけます。
②~④を繰り返します。

2 ベルトを編みます

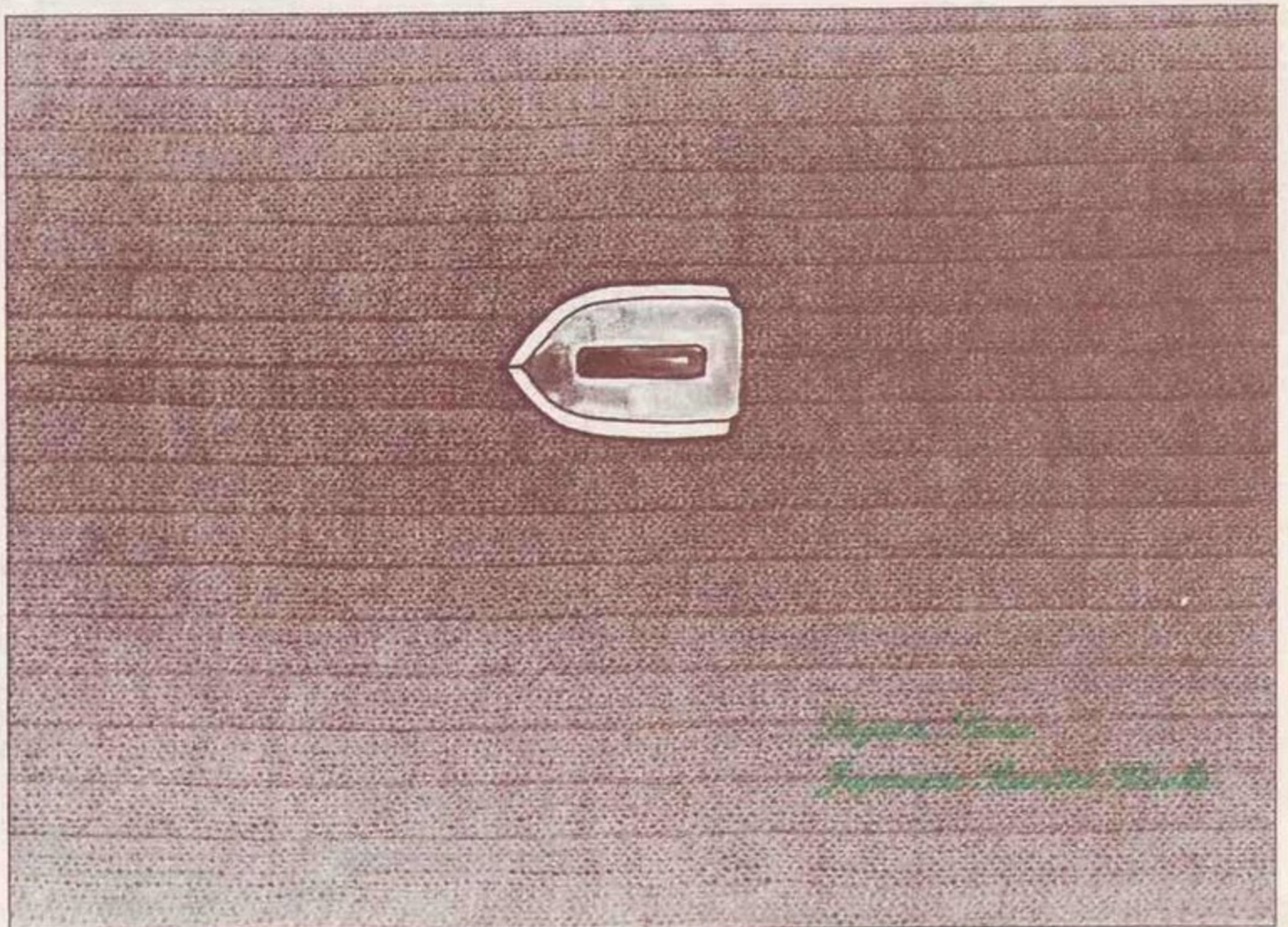
① 編目ダイヤルを10に合わせて1段編みます。
② 編目ダイヤルを4~5に合わせて、ベルト幅の2倍の段数を編みます。キャリジが右側のとき終わります。
③ 1段めのシンカループをすくって重ねてかけます。
④ 編目ダイヤルを10にして1段編み、タッピで引き抜き止めをします（54頁参照)。巻き止めにする場合は編目ダイヤルを6にします。

アイロンかけII

3捨て編をはずします

① もう一度プリーツをたたみ、表側から引き抜き止めにアイロンをかけます。
② アイロンの熱がさめたら捨て編を1本切って抜き、残りをといて6枚に分けます。

1裏からかけます

脇とじが手前側にくるように置き、たたんだ状態でとじ位置だけを押えます。

2表からかけます

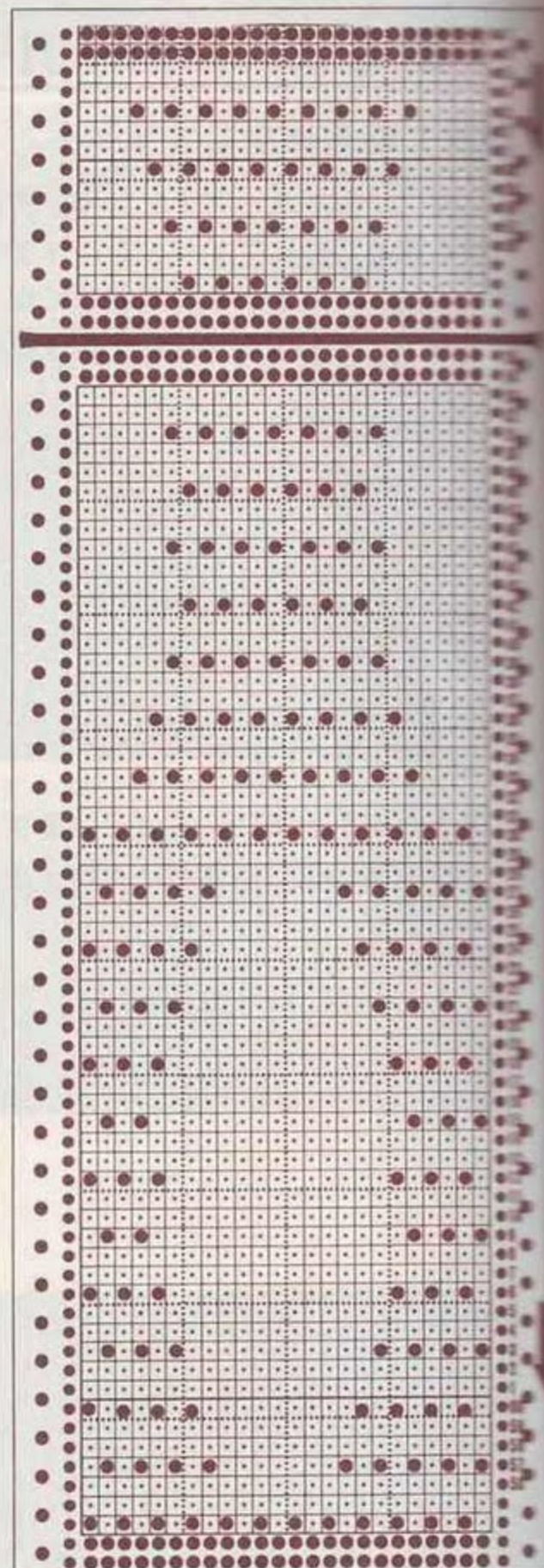
プリーツをきれいにたたみ、とじ位置を押えます。

1 ——写真 3 頁

材料 カネボウ　サマーベル　クリーム色(206)170ｇ。

用具 ブラザー編機　バリエ。

出来上がり寸法 身幅63cm、丈47cm、袖丈29cm。

ゲージ 1模様24目が約9cm、54段が10cm。

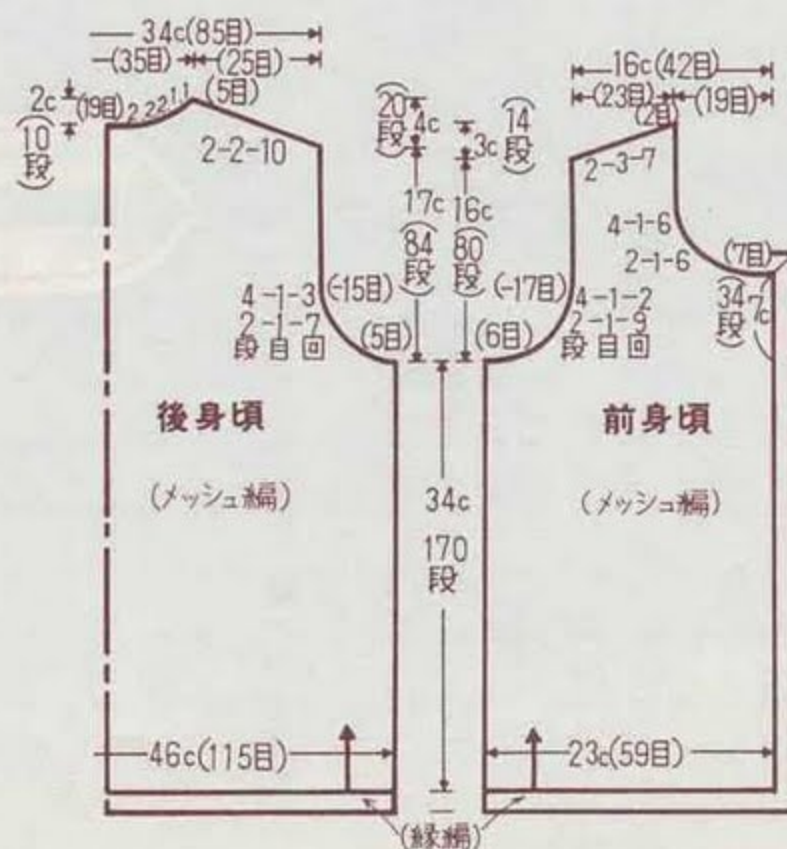
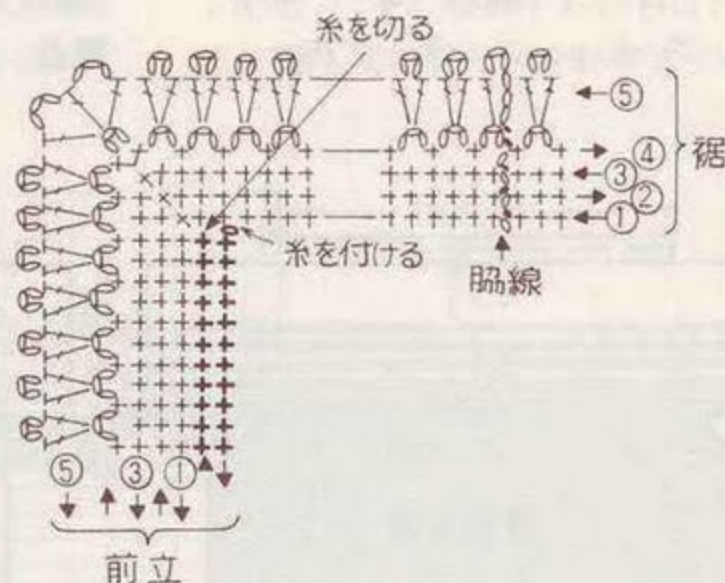
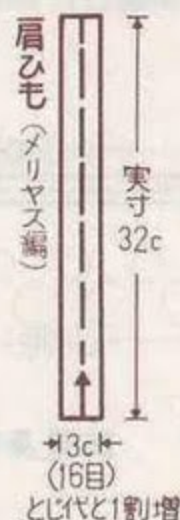
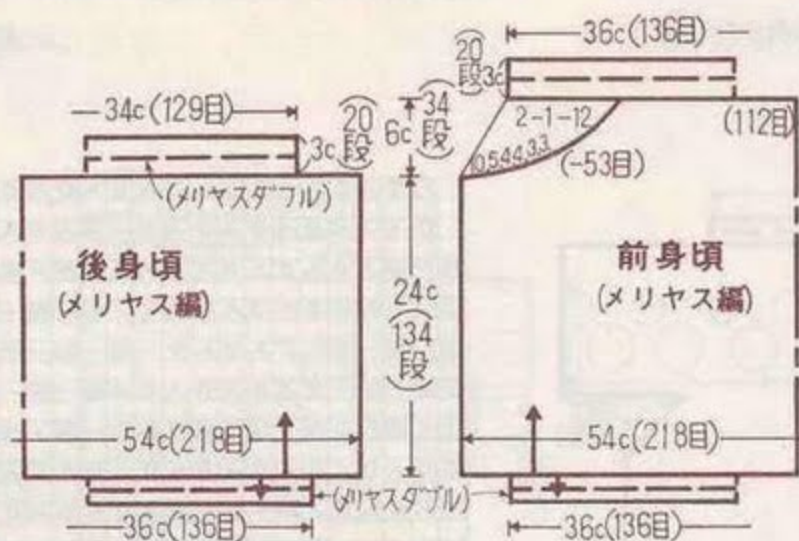
要点 ㉒の作品の応用ですから、編み方、仕上げ方とも㉒と同要領です。まず右図を見ながら、フリーカードに模様をパンチし、編機にセットして編み始めます。前後身頃と袖（左右向き合わせ）を編みましたら、アイロンをかけて仕上げに入ります。脇、ラグラン線はすべて中表に合わせてメッシュの穴を束にすくって鎖とじ縫製をします。衿の縁編は、衿回りの引き抜き止めの目を全部細編2目1度に編んでギャザーを寄せ、その上に細編2段、バック細編1段を編みます。袖口と裾は、メッシュの穴を束にすくって1つの穴に2目ずつ細編を編み、バック細編1段で整えます。4目の丸編コードを約180cm丈に編み、2つに切って両端を結び、袖口の端のメッシュに通して結びます。

2 ——写真 4 頁

材料 カネボウ　ウェディングベル　サーモンピンク(3)**カーディガン**…135ｇ、**タンクトップ**…80ｇ。丸ボタン2個。

用具 ブラザー編機　デリカ。

出来上がり寸法 **カーディガン**…身幅46cm、丈56.5cm、袖幅33cm、袖丈54.5cm。**タンクトップ**…身幅54cm。

ゲージ メッシュ編10cm平方25目×50段(編目ダイヤル2⅓)、メリヤス編10cm平方40目×56段(編目ダイヤル5)。

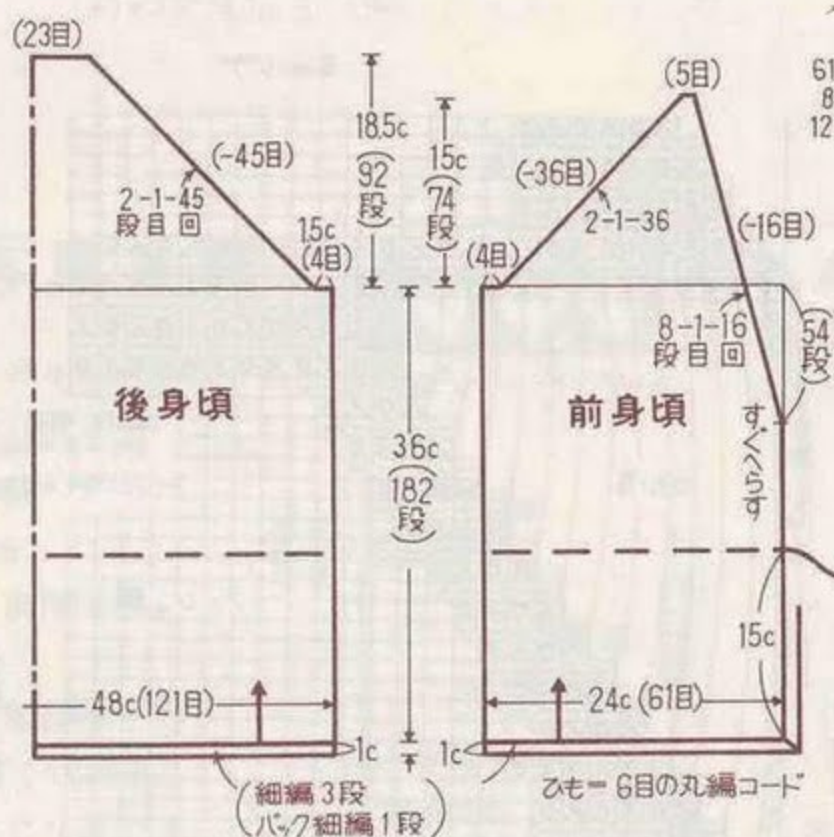
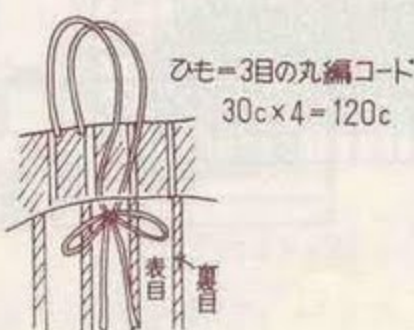
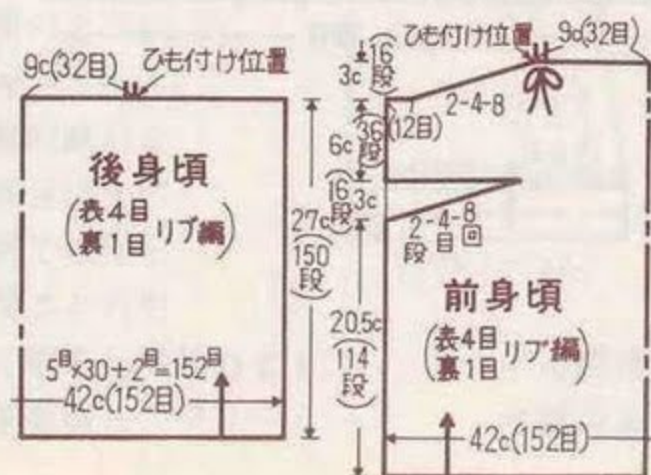
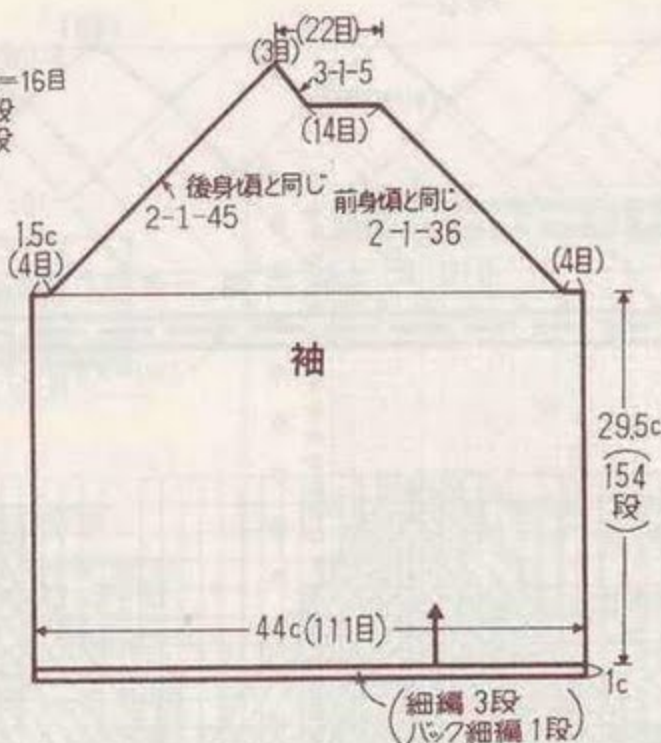
要点 カーディガンは⑲の作品と同じ操作(選針ボタンを押し、反転レバー<正反>の操り返し)のメッシュ編です。袖ぐり、衿ぐりの曲線は引き返し編をしない減目です。トリミングのかぎ針編が編みやす

いように減目してください。袖山曲線と袖口は、70頁の要領でカムボタンの<すべり左右>を押して引き返し編にしますが、かけた針の隣まで模様を入れるようにします。タンクトップはメリヤス編で、ダーツ分は２段ごとの引き返し編と減目で編みます。身頃の縁編は細編３段と長編の小さなフリル飾りです。袖口は編み始め側を引き抜き止めするときに、両端の10目位ずつは１目、他は全部２目１度にしてカフス幅に縮め、細編６段を編み、後袖の方にループ(94頁10参照)前袖にボタンを付けます。脇と袖下は鎖とじ、肩は中表にかけて１段編み、巻きはぎにします。袖付けは脇と同要領でメッシュを束にすくって細編で付けます。

3 ——写真５頁

材料　カネボウ　サマーベル　カーディガン…白(201)170ｇ、タンクトップ…紺(235)65ｇ。

用具　ブラザー編機　パリエ・デリカ。

出来上がり寸法　カーディガン…身幅48cm、丈55.5cm、袖幅44cm、袖丈49cm。タンクトップ…胸囲84cm。

ゲージ　メッシュ編10cm平方25目×50段(編目ダイヤル４)、リブ編10cm平方36目×55段(編目ダイヤル５)。

要点　カーディガンはパリエで編みます。18と同じパンチカードNo.17のメッシュです。ラグラン線の減目は22の作品と同要領。ウエスト位置に通すひもベルトは６目の丸編コード(36頁参照)を130cm位編みます。

タンクトップはデリカで編みます。肩ひもは３目の丸編コードを120cm位編み、２本に切って１本ずつ図のように後身頃から前身頃に渡します。通す位置はメリヤス編の両端の編み終わりの段の目です。このようにすると、長さが自由に調節出来て便利です。

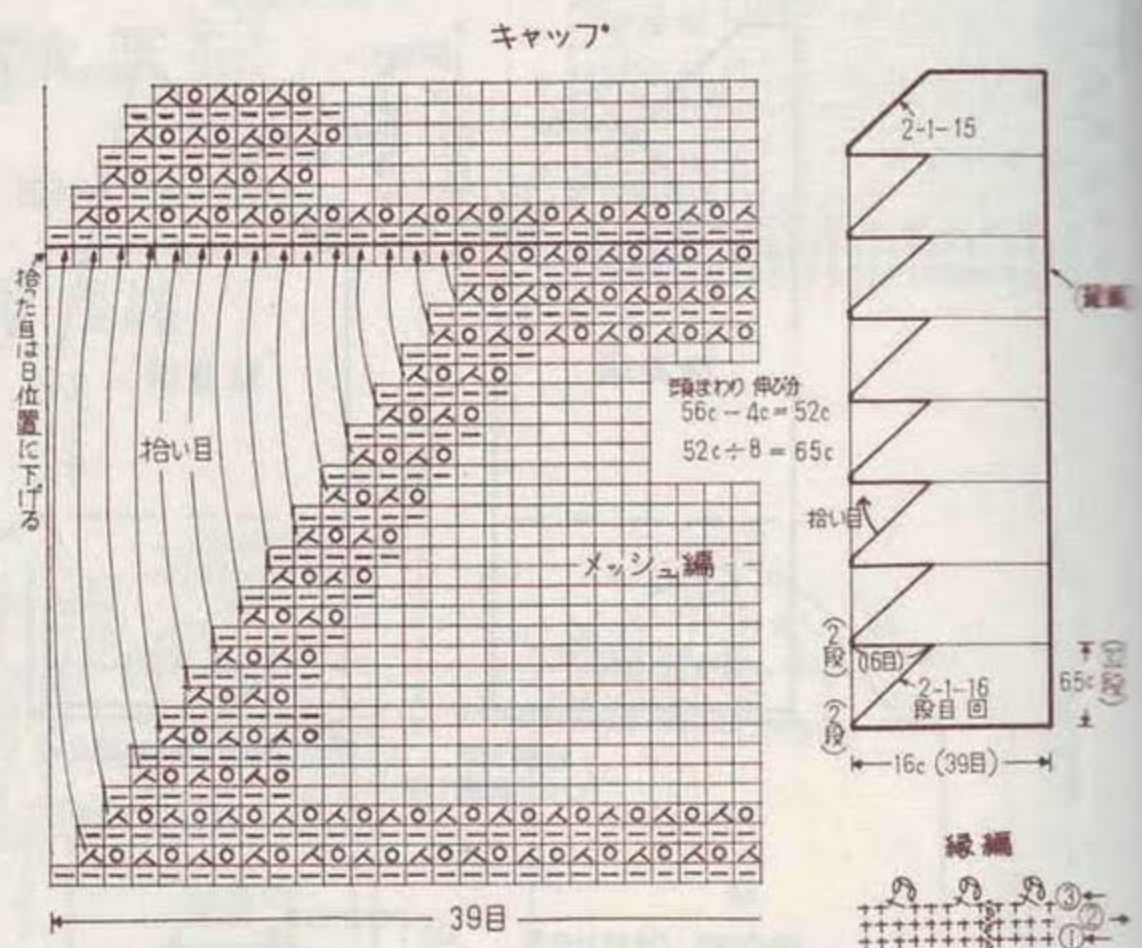
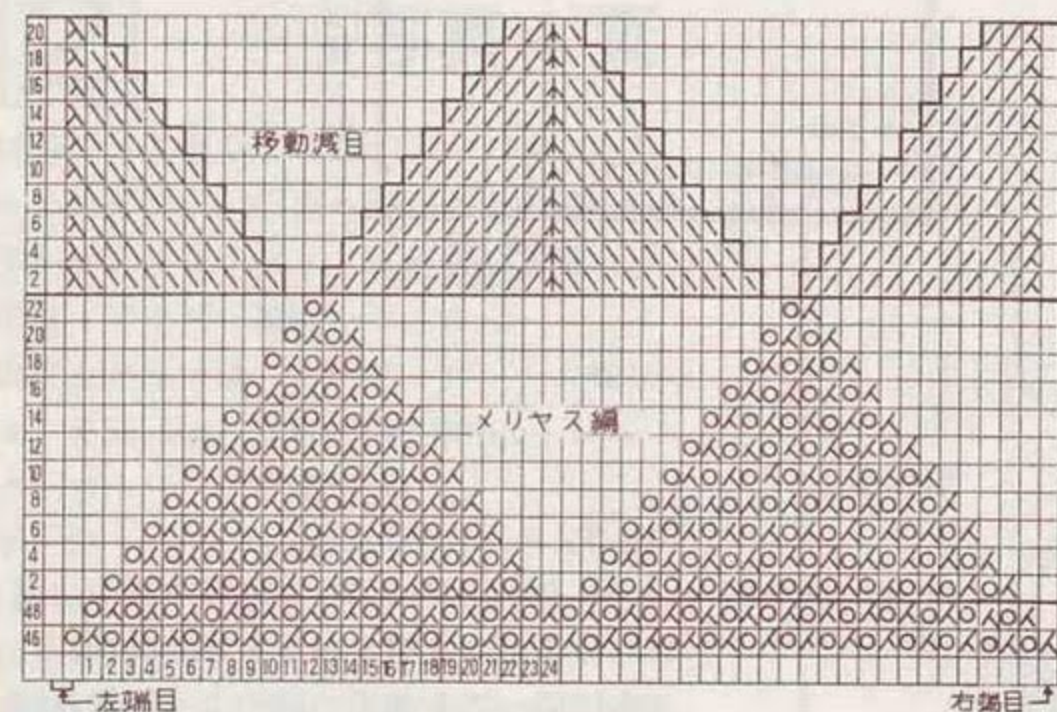
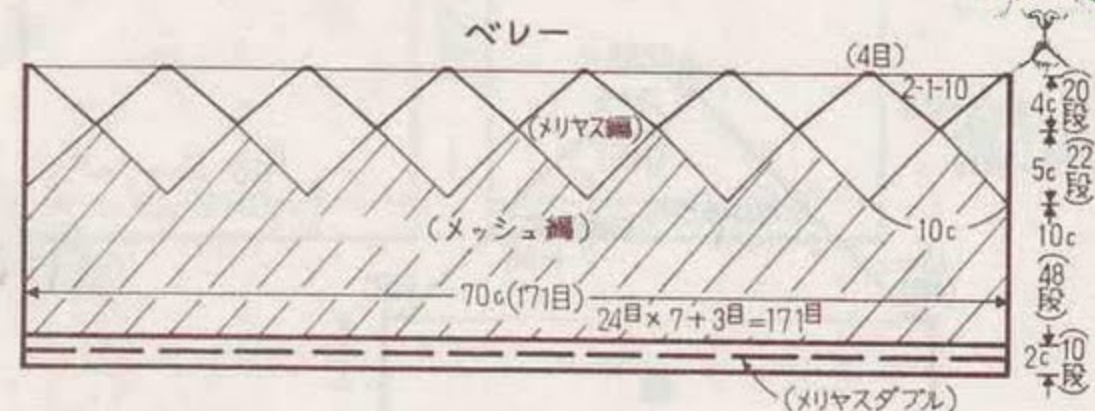
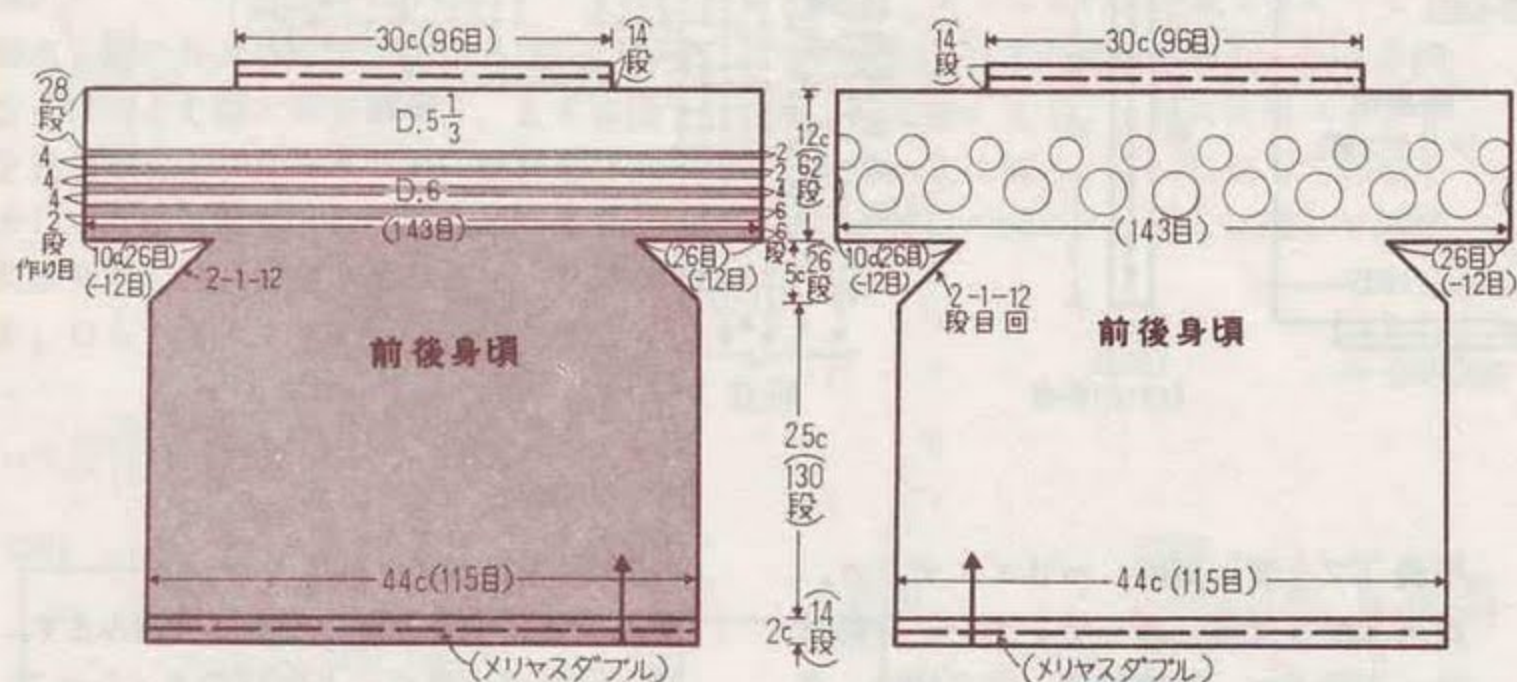
4・5 ——写真6頁

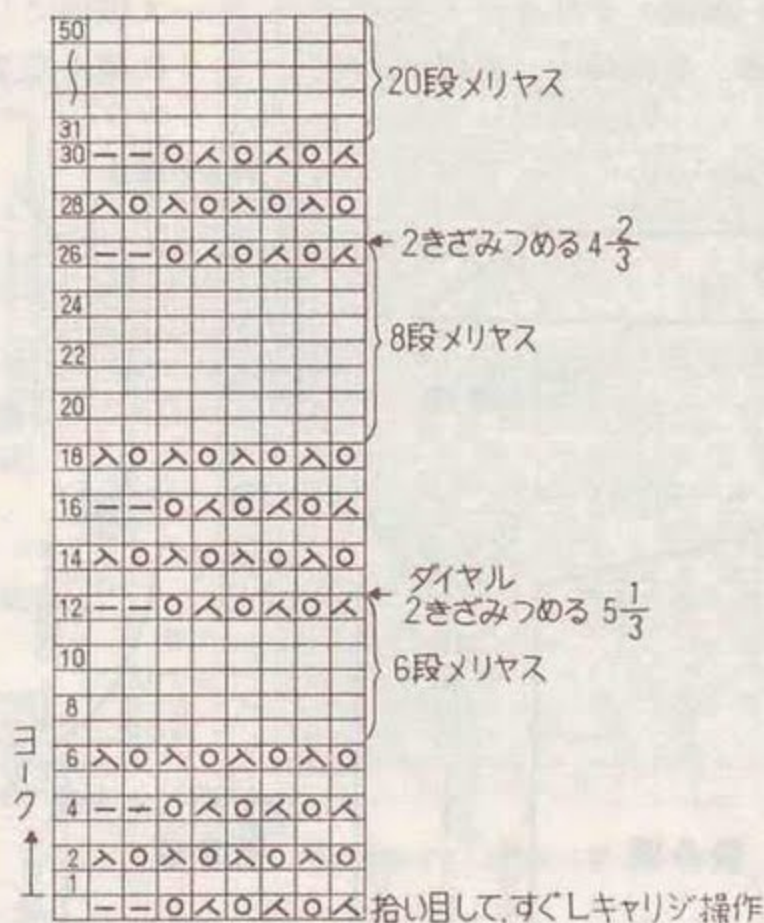
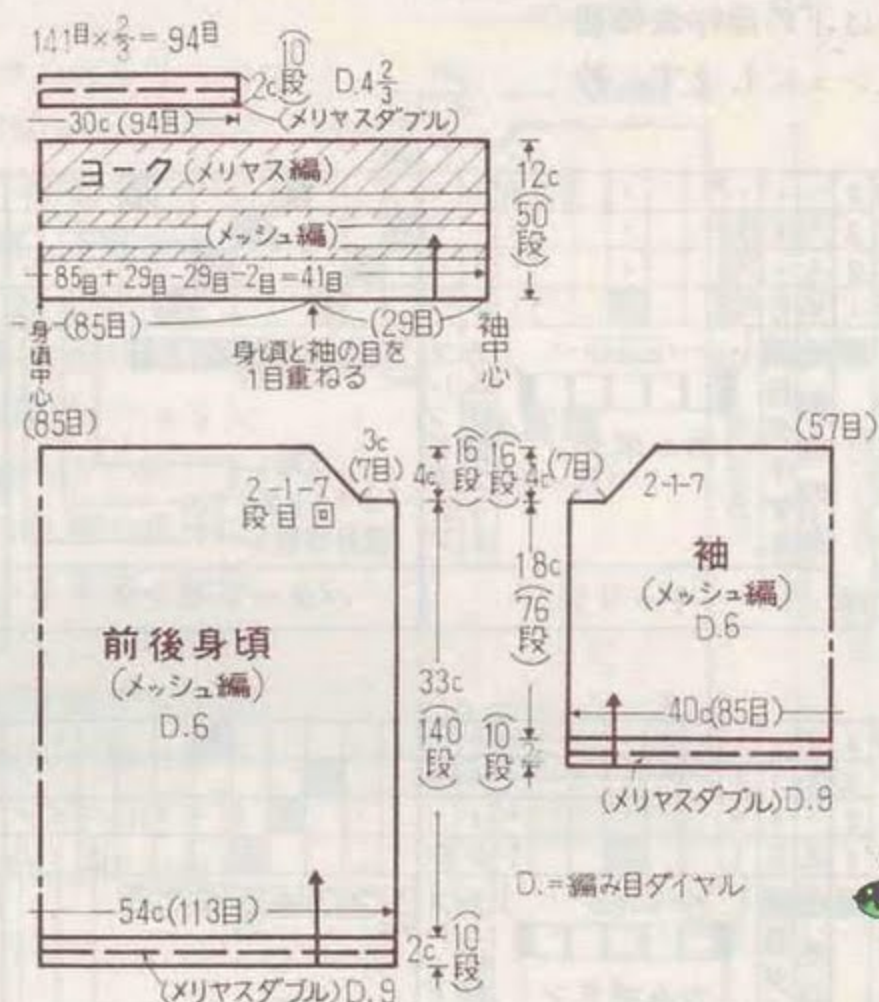
材料　カネボウ　サマーベル　4のブラウス…若草色(327)80g、白(201)10g。5のブラウス…黄(379)90g。カネボウ　ベルリーベ　白(1)　4のベレー…40g、5のキャップ…20g。ゴムテープ75cm。

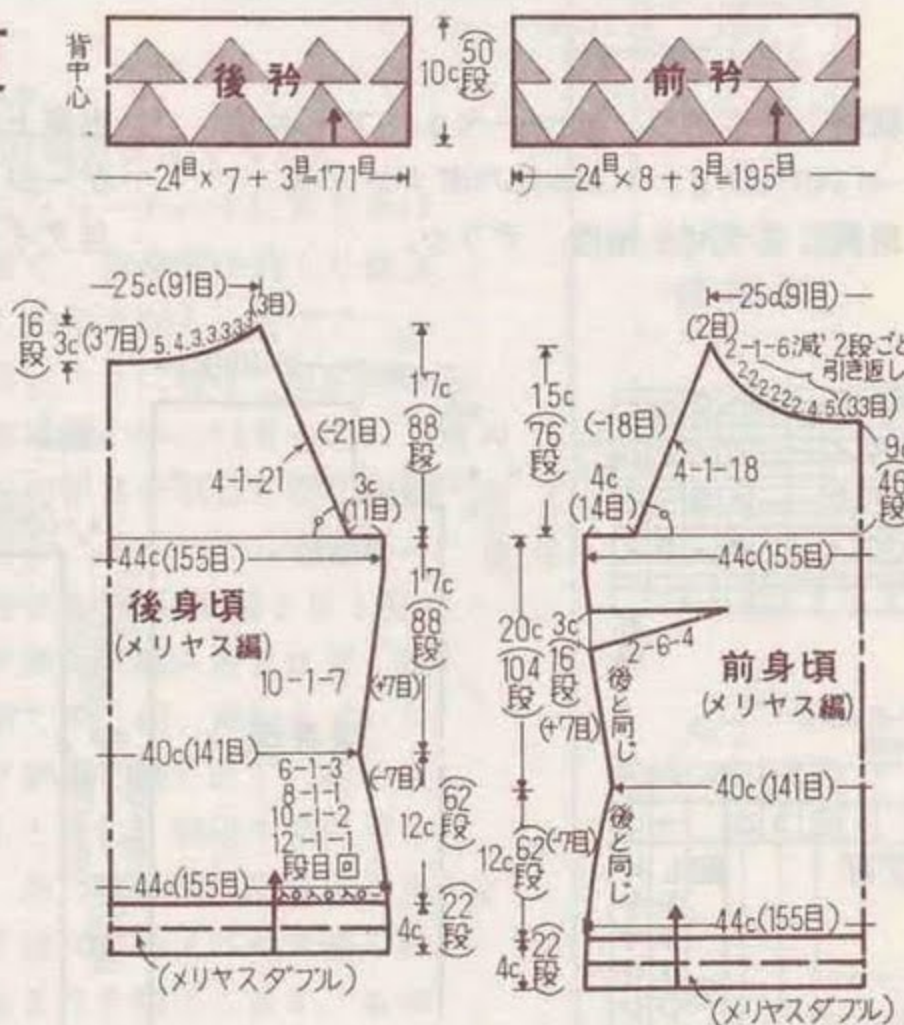
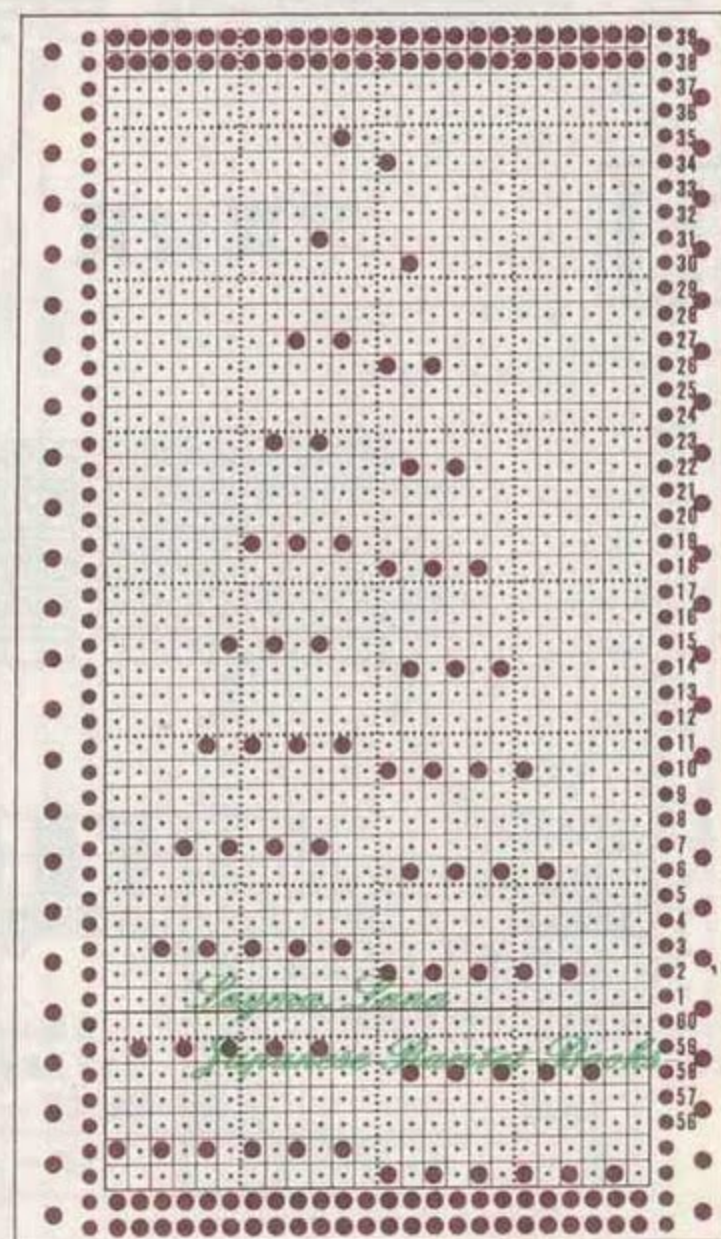
用具　ブラザー編機　デリカ。

出来上がり寸法　胸囲88cm、丈44cm。

ゲージ　メッシュ編10cm平方26目×52段(編目ダイヤル6)。

要点　2点とも20の作品の応用です。38頁からを参照してお編みください。4はヨークを配色縞、5は水玉の柄入りメッシュにしたものです。帽子はそれぞれ図を参照して編みます。

6 ―写真7頁

材料　カネボウ　ベルリーベ　空色(36) 190g。
用具　ブラザー編機　パリエ。
出来上がり寸法　身幅54cm、ヨーク丈12cm、袖丈23cm。
ゲージ　メッシュ編10cm平方21目×42段（編目ダイヤル6）。
要点　裾、袖口をそれぞれメリヤスダブルにし、パンチカードNo.17でヨーク線まで編みます。ヨークは両方の袖も続けて（袖山線で前後に分ける）前後を別々に記号図のようにメリヤスの縞を入れて編み、肩線ではぎます（2段ごとのすくいとじ）。⅔に減目するときは、1目おきに2目1度に針に目をかけます。

7 ―写真8頁

材料　カネボウ　サマーベル　ローズピンク(305)135g。
用具　ブラザー編機　デリカ・パリエ。
出来上がり寸法　胸囲88cm、丈48cm。
ゲージ　メリヤス編10cm平方35目×51段（編目ダイヤル5⅓）。
要点　前後身頃はデリカでメリヤス編にします。裾をダブルにしましたら、図のようにメッシュ1段を編み、次から普通に編みます。脇の減目と増し目、袖ぐりの減目はすべて、両端の1目内側で操作します。衿ぐりは2段ごとの引き返し編にし、捨て編をして休めます。衿はパンチカードを参照し、フリーカードに間違えないように穴をあけ、パリエで編みます。前後2枚を編みましたら、

身頃衿ぐりの目数に合わせて2目1度の減目(ギャザーを寄せる)をし、その上に身頃の目を重ねてかけます。トリミング幅の2倍(16段)を編みましたら、ダブルにして1段編み、巻き止めします。とじはすべて2段のすくいとじ、袖ぐりは細編1段、バック細編1段のトリミングで整えます。

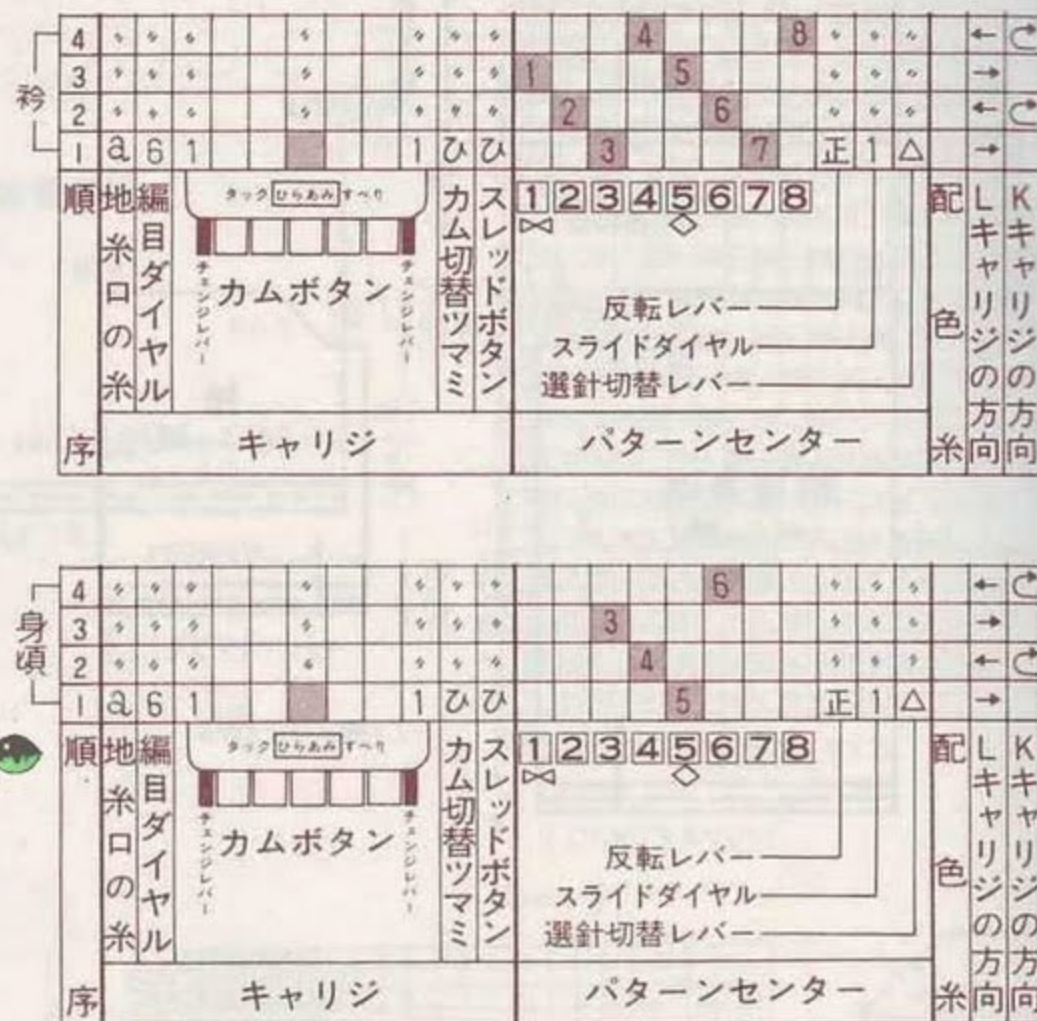
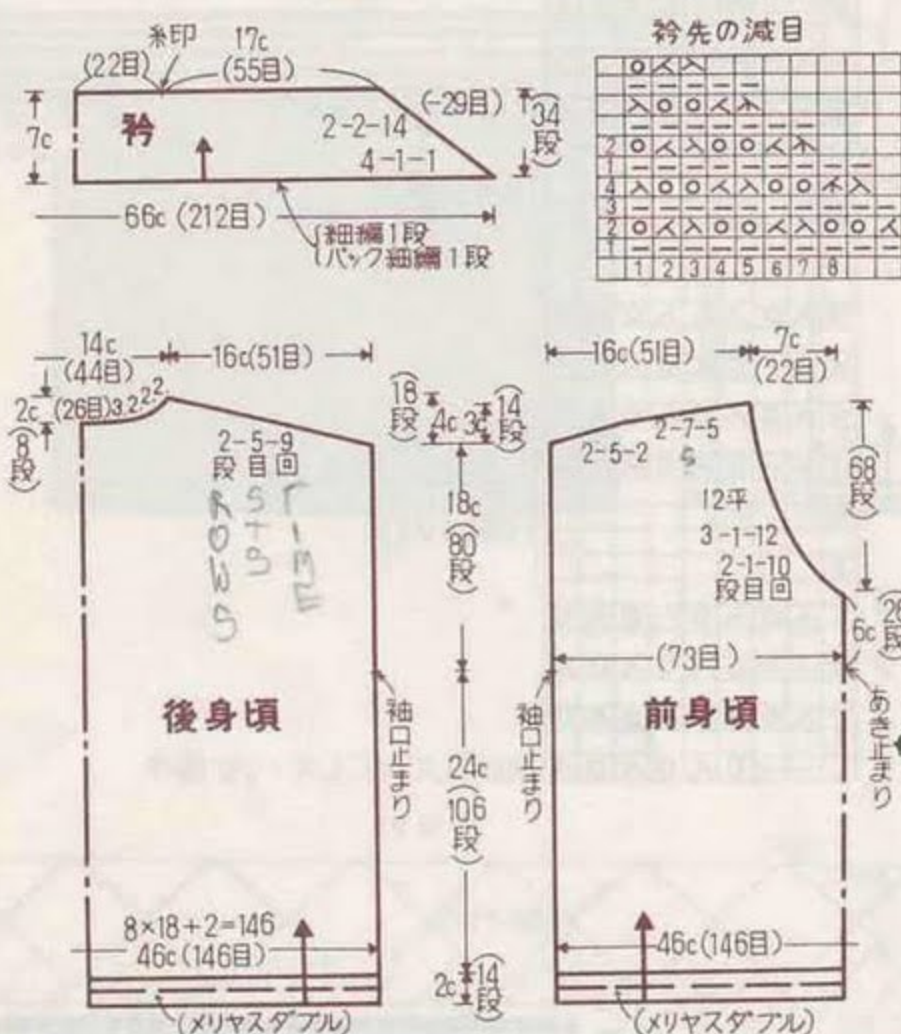
8 ——写真9頁

材料 カネボウ サマーベル 白(201) 100g。直径1.2cmの白ボタン1個。

用具 ブラザー編機 デリカ。

出来上がり寸法 身幅46cm、丈47cm。

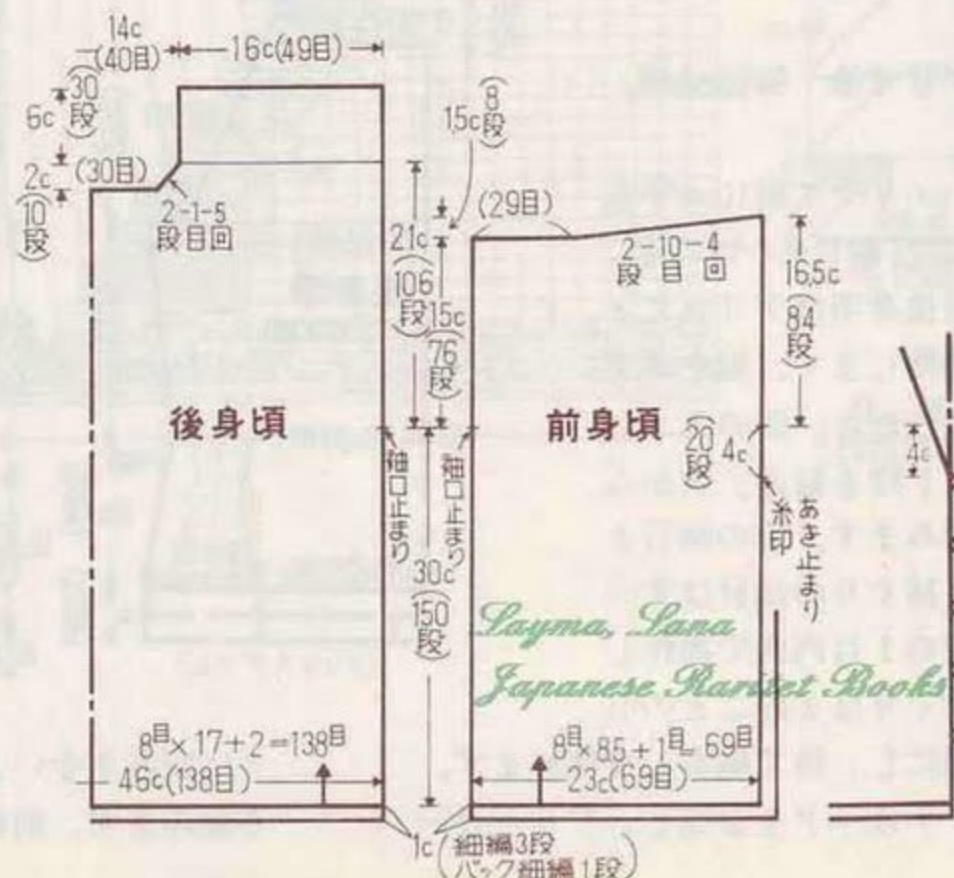
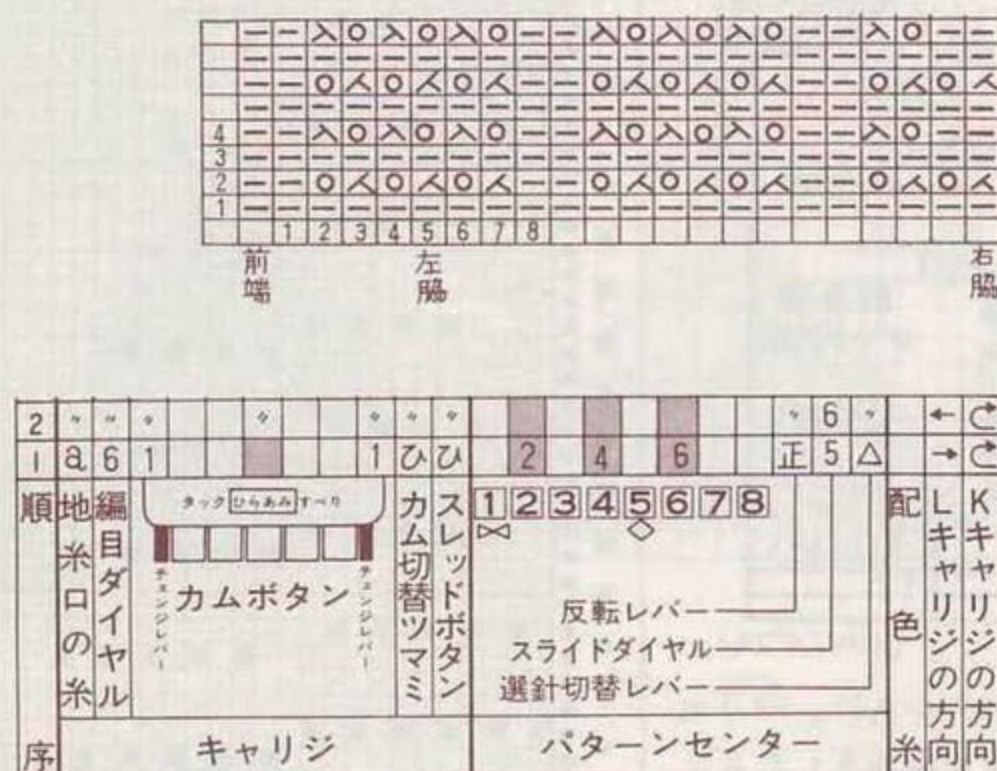
ゲージ 模様編10cm平方31目×44段(編目ダイヤル5〜6)、2目メッシュ編32目×46段(編目ダイヤル4)。

要点 前後身頃は裾をダブルにして2段編んだら上の操作表を参照して縦縞のレース模様にします。衿は下の操作表の通りに編んで2目のメッシュにします。衿付けは26の作品(77頁)の袖付けの要領で身頃表手前に拾い目(背中心から衿付けどまりまで)、その上に衿を表手前に拾い目してかけ、3段編んで巻きとめします。

11 ——写真12頁

材料 カネボウ サマーベル アイボリー(349)120g。1.2cm角のボタン5個。

用具 ブラザー編機 デリカ。

出来上がり寸法 身幅46cm、丈52cm。

ゲージ 模様編10cm平方30目×50段(編目ダイヤル6⅓)。

要点　メリヤス縦縞の模様編は操作表を見ながらスライドダイヤルを操作して編みますが、前後身頃の脇の目は記号図に示した状態になるよう針立てをします。前身頃のヨーク線は、脇側29目を平らにして打ち合わせ側に図のように引き返し編をします。いったん編機からはずし、編み地の表側を手前にして平らな29目はそのまま、引き返し編の部分は全目2目1度に縮めてギャザーを寄せ、その上に後身頃のヨーク線の目を重ね（前後身頃は中表に合わさる）、1段編んで巻きどめします。前中心、裾、衿ぐりの縁の拾い目は細編で、段の部分は1目おきに1目ずつ、目の部分はメッシュに2目ずつです。袖口は段からの拾い目ですが、裾と同要領にし、同段数を編みます。ボタンループは上前の縁編の裏側（2段め）に94頁の要領で作ります。ボタンを下前の1段めに付けます。

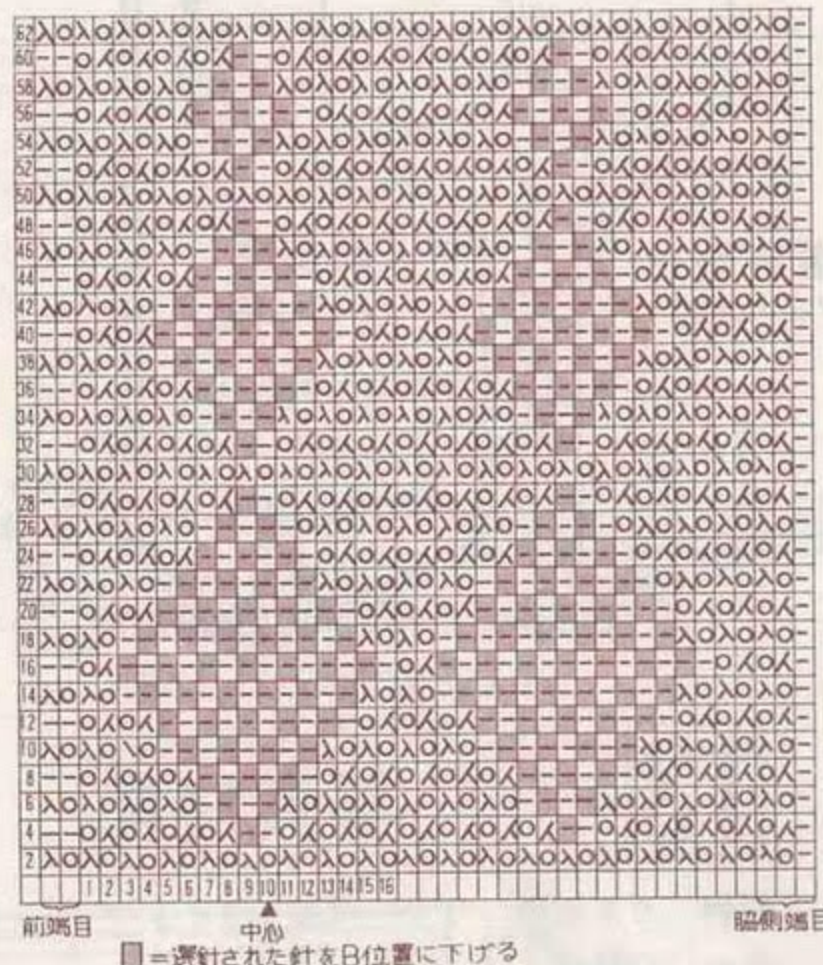
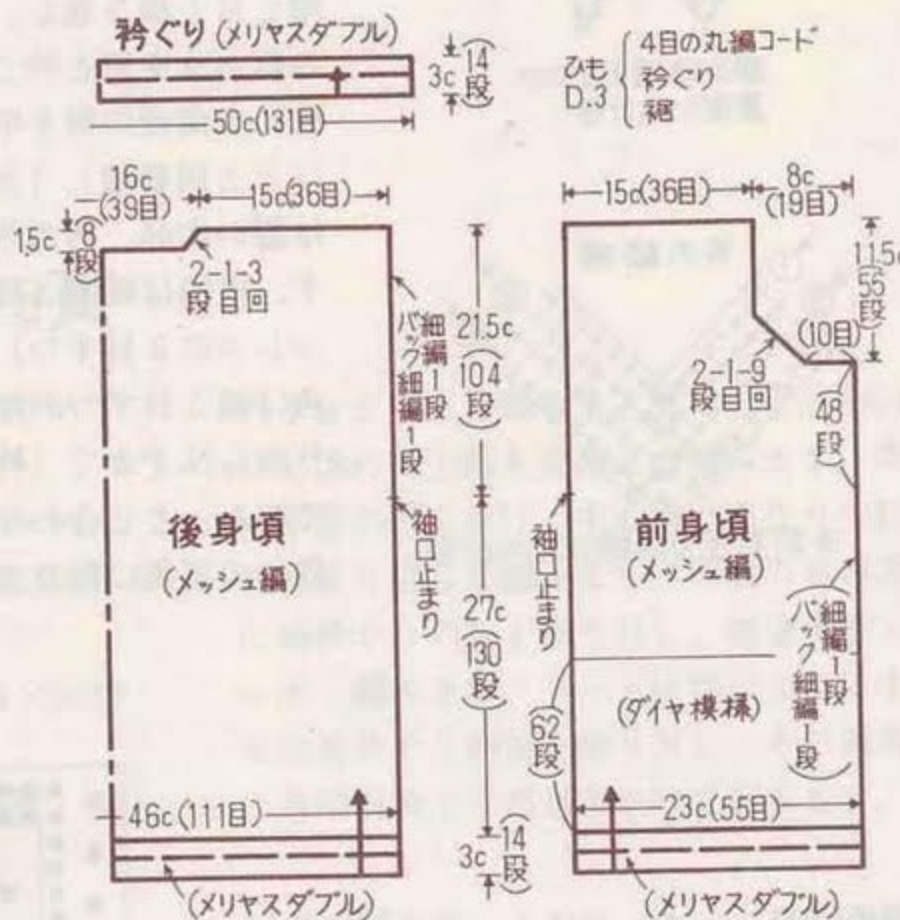
9 — 写真10頁

材料　カネボウ　ベルリーベ　ベージュ(16)160ｇ。

用具　ブラザー編機　パリエ。

出来上がり寸法　身幅46cm、丈50cm。

ゲージ　メッシュ編10cm平方[illegible]目×48段(編目ダイヤル５)。

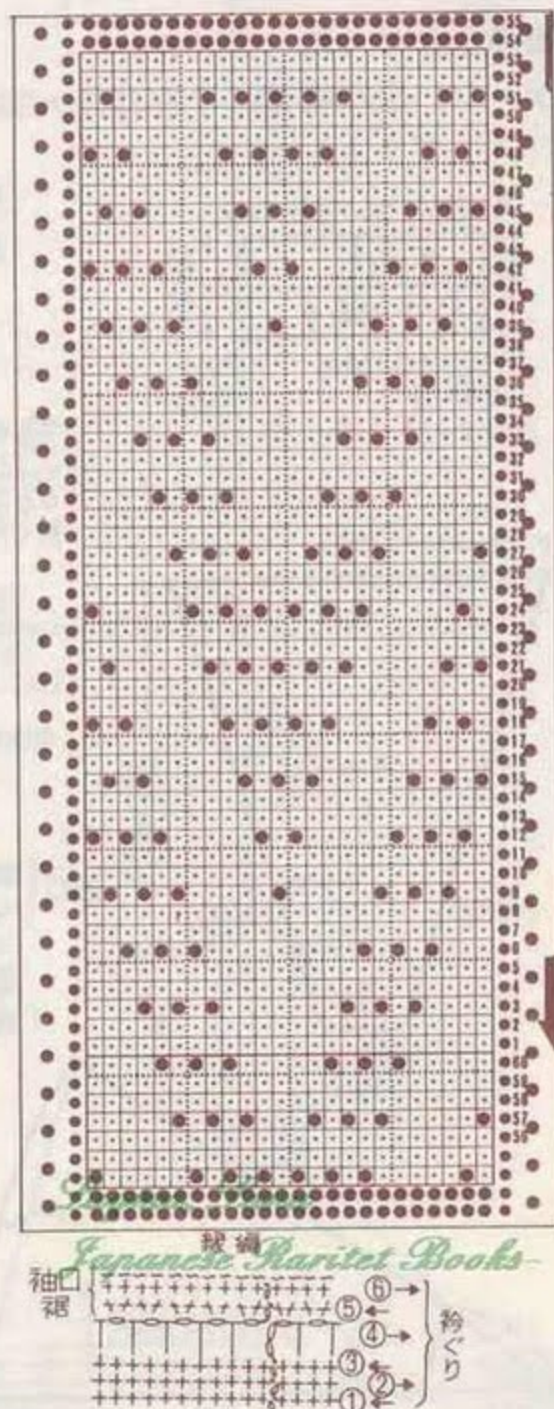
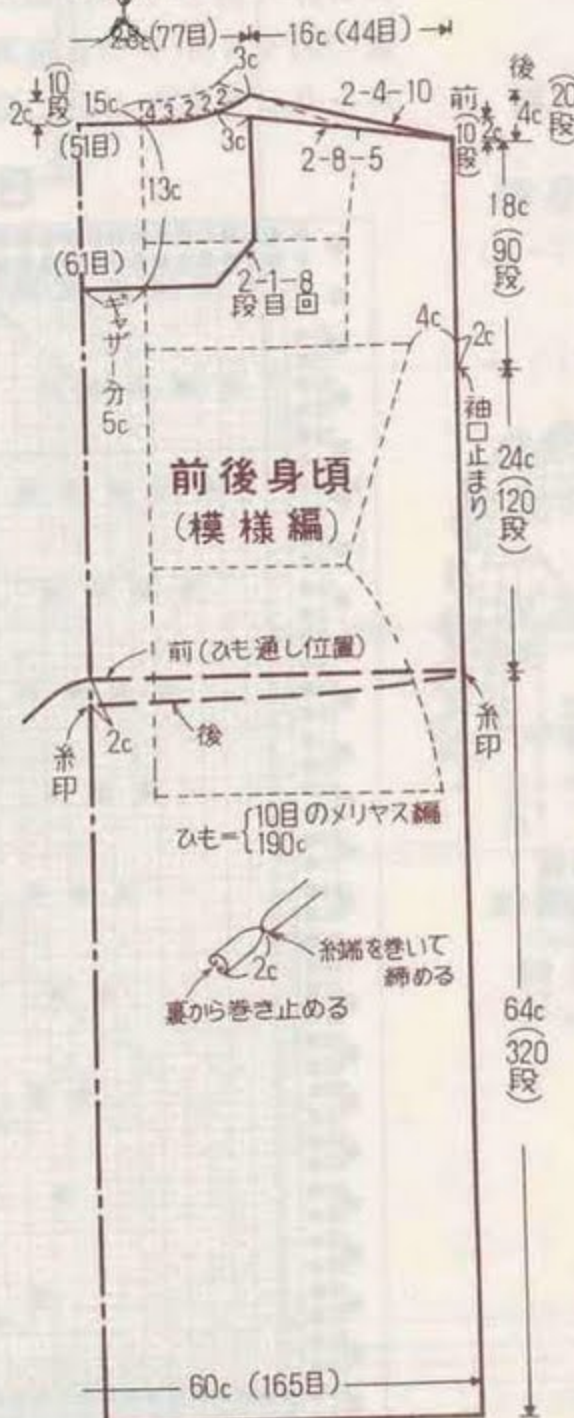
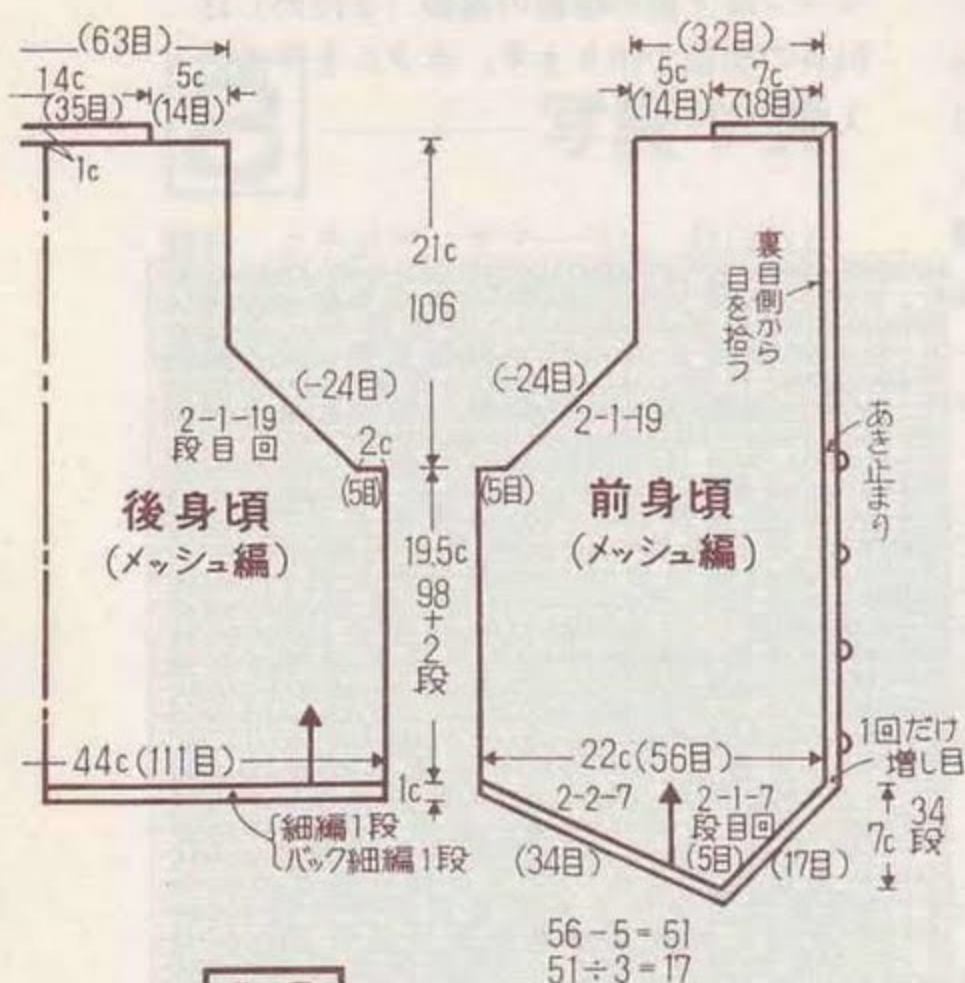
要点　パンチカードのNo.17を使い、前身頃には裾の部分にダイヤ模様を入れます。記号図を参照しながら、柄の部分は選針された針を指でＢ位置に戻します。▲印が編み地の中心で、ダイヤの中心は１目左にずれていることに注意してください。

12 — 写真13頁

材料　カネボウ　サマーベル　青磁色(315)285ｇ。

用具　ブラザー編機　パリエ。

出来上がり寸法　身幅60cm、丈110cm。

ゲージ　模様編10cm平方27目×50段(編目ダイヤル４)。

要点　右のパンチカードのとおりにフリーカードに穴をあけて編機にセットし、後身頃はS.Pまで、前身頃は衿ぐり線までまっすぐ編みます。面積が広いものですから、途中でベルト通し、袖口止まりの糸印を忘れないように付けておきます。後身頃の肩さがりと衿ぐりの編み方は㉕の作品71頁をごらんください。前身頃の衿ぐりは、中央の平ら分61目を捨て編してから、左右の丸み分を斜線に減目し、あとはまっすぐ編みます。縁編をするときギャザーを寄せる(全目細編２目１度)と、美しい曲線になります。肩は中表１段編み巻きはぎ、脇はメッシュに針を入れて鎖とじ縫製です。裾、袖口もメッシュに細編２目ずつ編み入れ、バック細編で整えます。衿の縁編は、１段めの細編の拾い目をするときに、前後中央の平らな部分はすべて２目１度にします。あとは縁編の記号図を見て全部で６段編みます。ひもベルトは10目のメリヤス編の両端を裏から巻き止めし、自然のまるまりを利用します。糸印を付けておいた位置にメッシュの穴を利用して通します。後身頃は図のようにカーブさせると、美しいブラウジングになります。

10 ―写真11頁

材料　カネボウ　ベルライフ　ワイン色(51)110ｇ。直径1.2cmの

用具　ブラザー編機　パリエ。

出来上がり寸法　胸囲88cm、丈41.5cm。

ゲージ　メッシュ編10cm平方25目×50段（編目ダイヤル4 2/3）。

※前衿回りは編み方向が逆

要点　パンチカードNo.17を使います。
脇側から39目を作り目し、前中心側の
ごとに引き返し編にし、同時に前側は
増し目を繰り返し、角型にします。
み終わりを肩と衿ぐりに分けて捨て編を
改めて前後の肩を中表に編機にかけ（
はぎと同要領）、1段編み巻き止めをします
は㉒の作品、衿あきと同要領で引き抜き
す。縁編は細編3段、バック細編1段（
ッシュに2目ずつ）ですが、図のように
角は鎖3目ずつの増し目をします。また
りからN.Pまで（衿の回り）は裏側を見て
て編み、とじ合わせます。ボタンループは
段めの裏側に作ります。

13 ―写真14頁

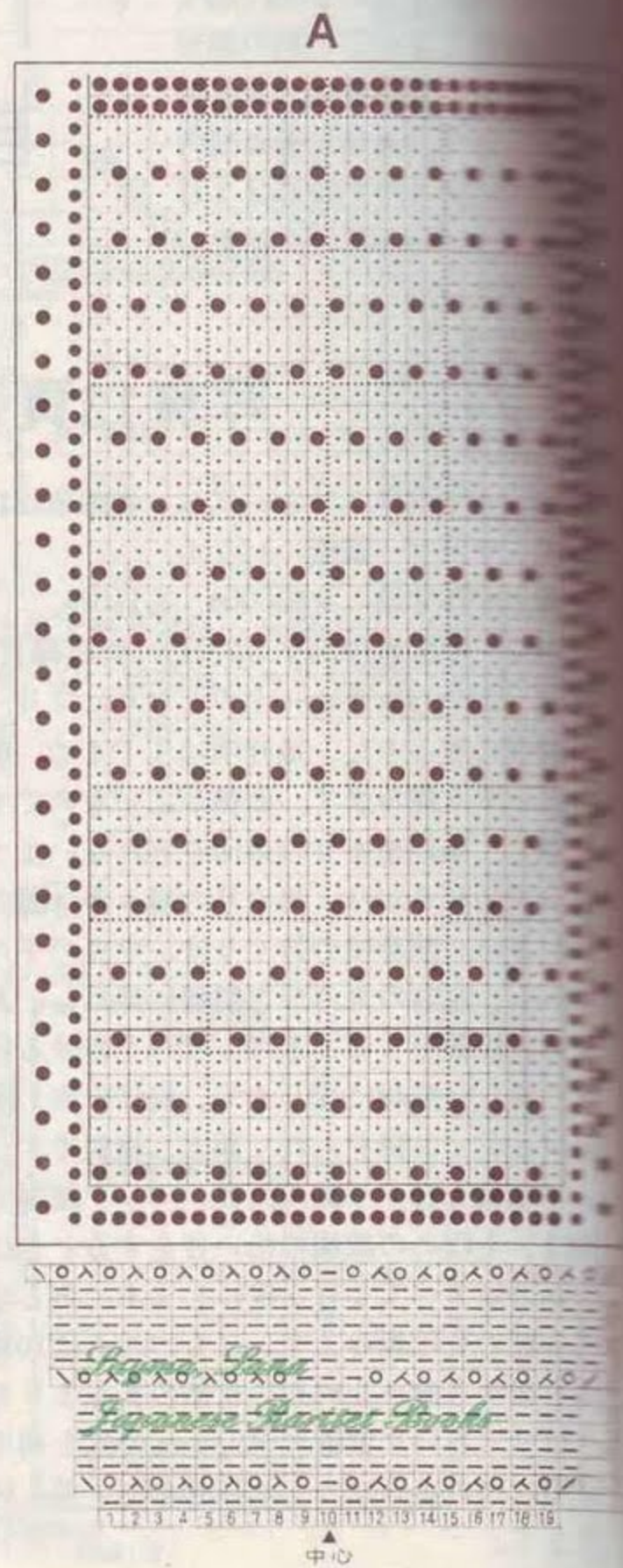
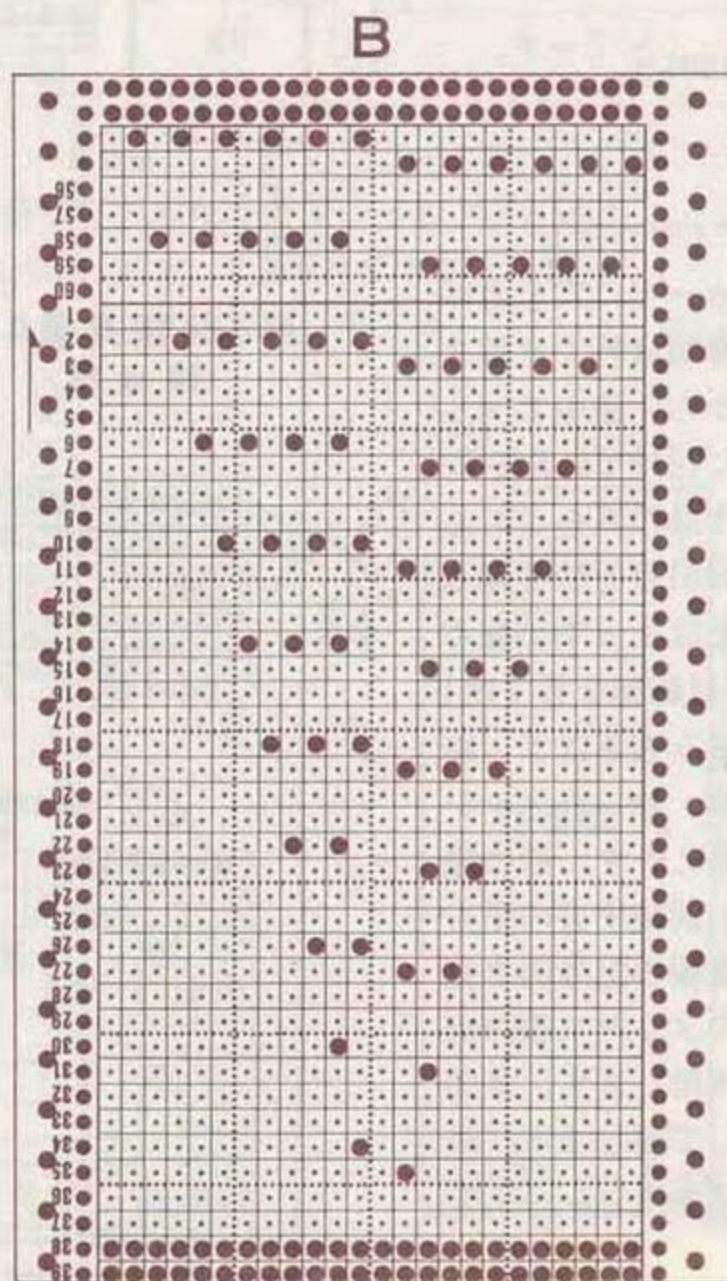
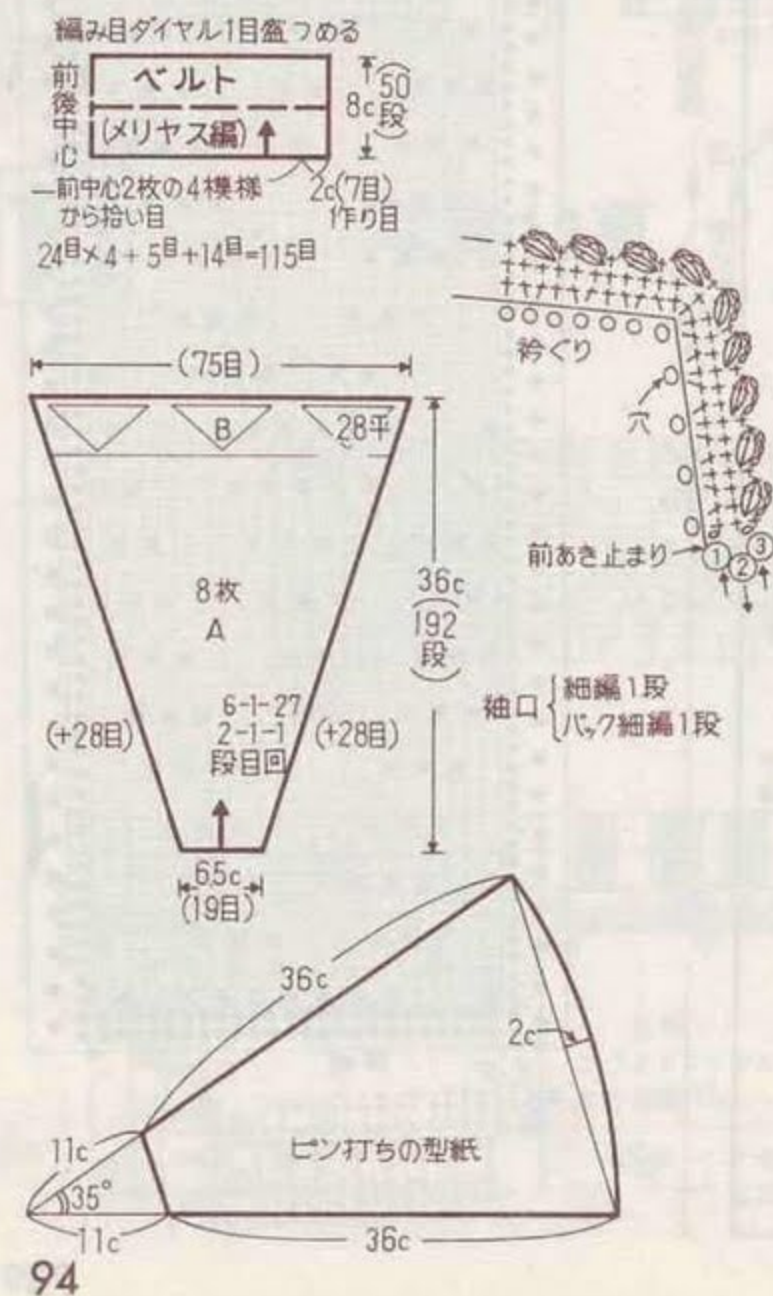
材料　カネボウ　サマーベル　ライトブルー(382)145ｇ。

用具　ブラザー編機　パリエ。

出来上がり寸法　丈40cm。

ゲージ　模様編10cm平方27目×53段（編目ダイヤル4）。

要点　フリーカードにA、B２種の模様をパンチし、Aのカードをセットします。19目作り目して2段編んだら、「両側A位置の針を1本ずつB位置に出します。Lキャリジを左から右に動かし、右半分の

B

固定された針をB位置にもどします。次にキャリジを5回動かしますと、中心から右側が左上2目1度、左側が右上2目1度のレースになって、両側B位置に出した針には、自動的に寄せ目の増し目が出来ます。6段メリヤスを編みます。」以上の操作を繰り返しながら、最後の増し目が終わりましたらカードをBに替えて真っすぐ編みます。

透かしが次第に多くなるので、編み地は自然に広がります。編み地は縦に伸びていますので、型紙に合わせてピン打ちし、アイロンで形を整えます。8枚を鎖とじ縫製しますが、前中心になる1ヵ所は図のようにとじ残して前あきを作ります。

ベルトは図を参照して前後別々に拾い目し、両側にまち分の作り目をしてメリヤスダブルに編みます。袖口は細編1段、バック細編1段で整え、衿ぐり回りは図のように最終段を玉編で飾ります。

Bのカードは7のカードを逆に使います。

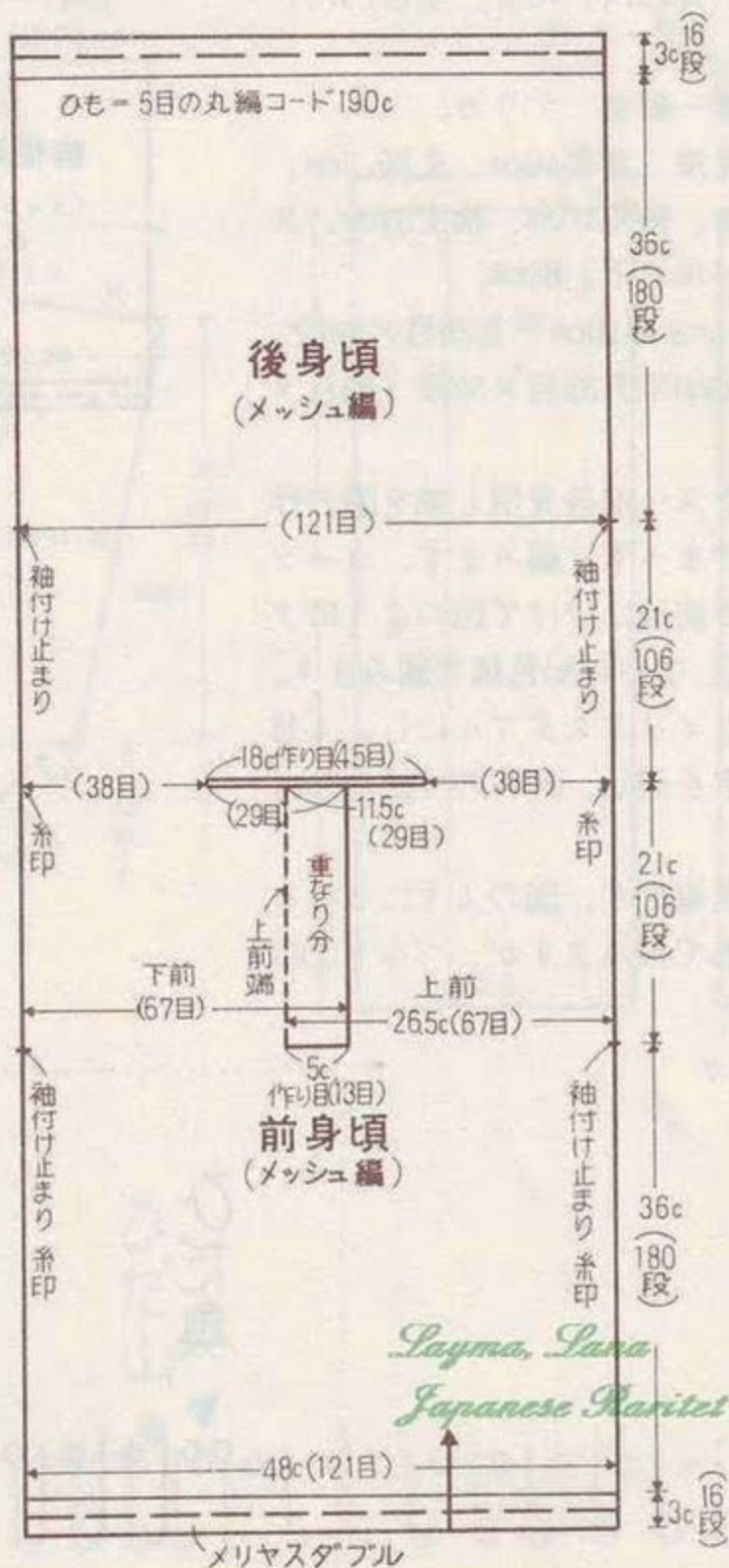
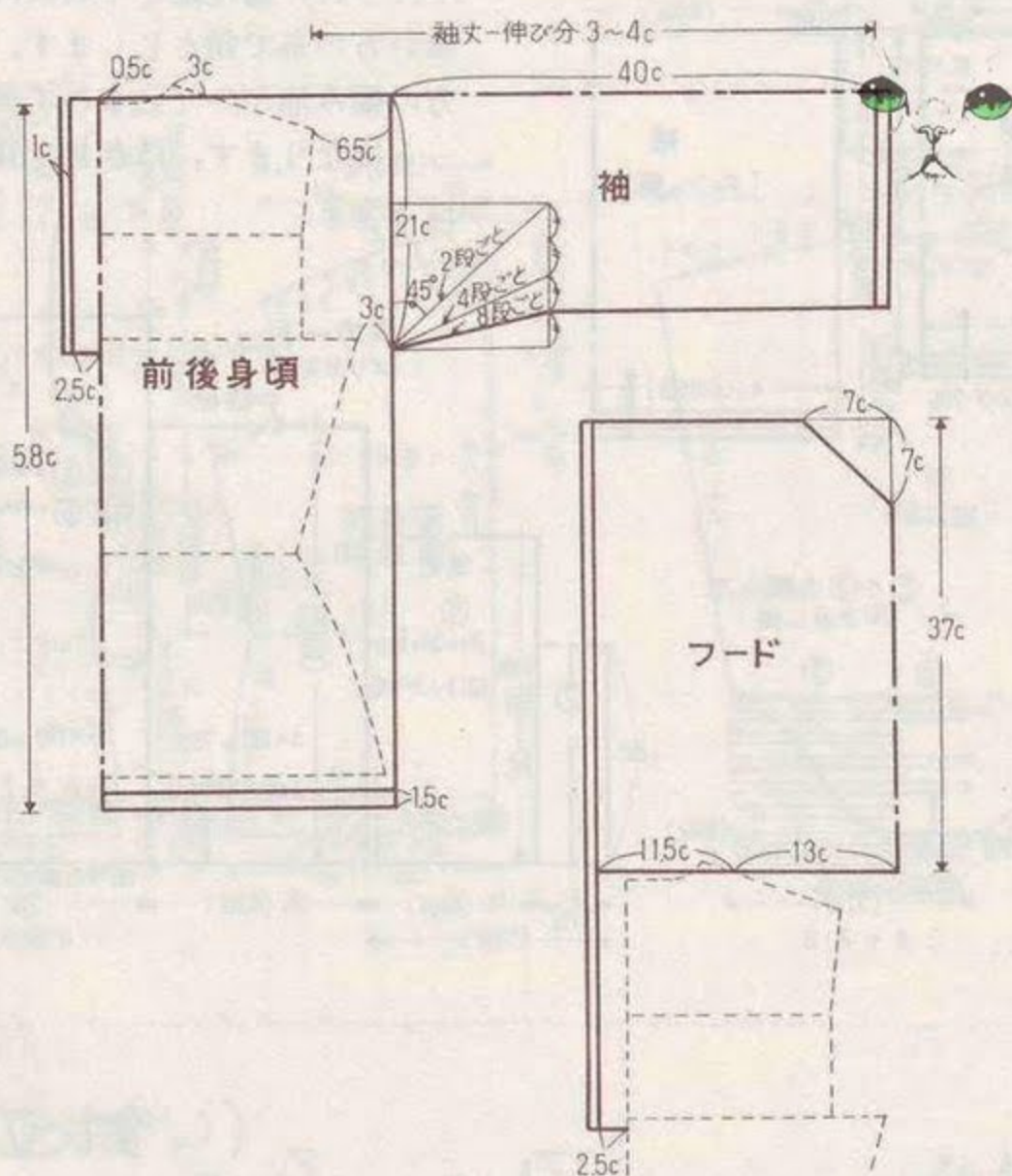
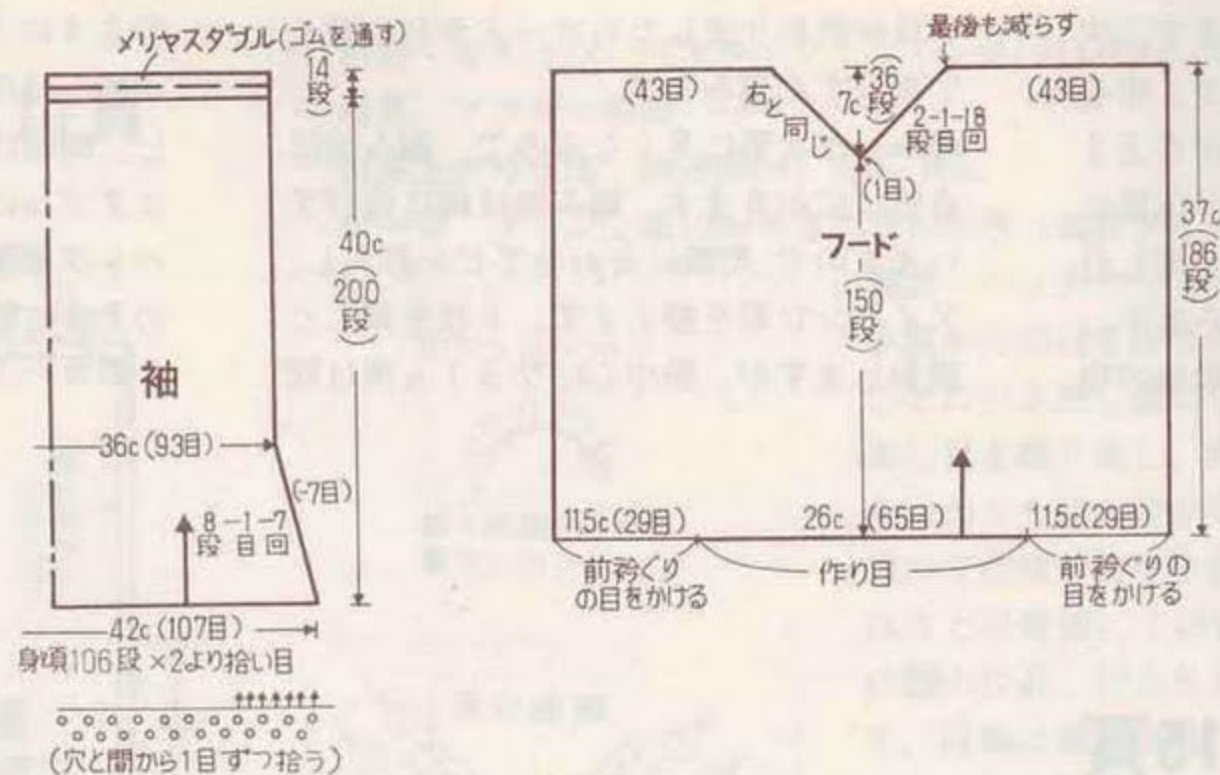
14 ——写真15頁

材料 カネボウ サマーベル うぐいす(318)220g。

用具 ブラザー編機 パリエ。

出来上がり寸法 身幅48cm、丈58.5cm、裄丈41cm。

ゲージ メッシュ編10cm平方25目×50段(編目ダイヤル4)。

要点 パンチカードNo.17を使います。前あき止まりまで編みましたら、下前の54目を休めて上前を肩線まで編みます。次に下前の目をかけ、中心側に重なり分13目を作り目して編みます。両肩の目の間に後衿ぐりの目を作り目し、後身頃をまっすぐ編みます。フードは図のように中央に後衿ぐりの目を作り目し、その両側に身頃前衿ぐりの目をかけて編みます。フードと後衿ぐりの作り目同士をとじ合わせ(フードは2目1度でギャザーを寄せる)ます。袖は身頃から拾い目して編みます。前あきからフードの顔回りを続けて細編1段、バック細編で整えます。丸編コードを裾に通します。

袖・フードの編み方図は次頁

15 ——写真16頁

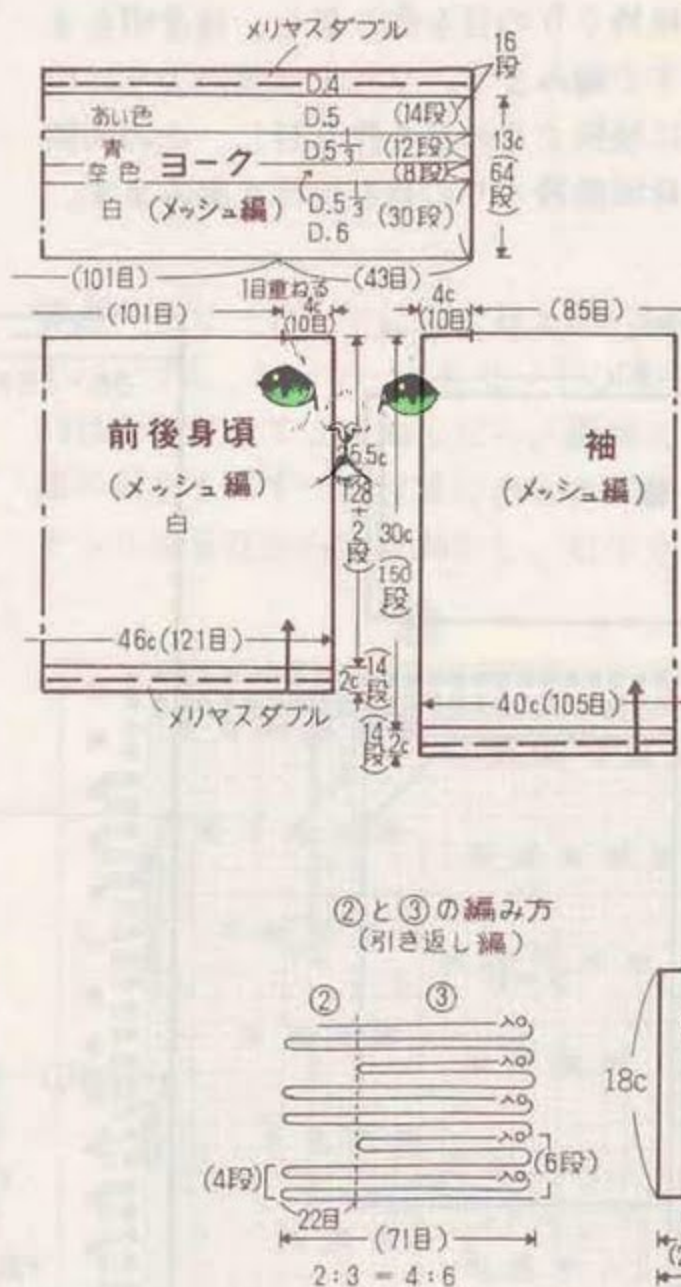
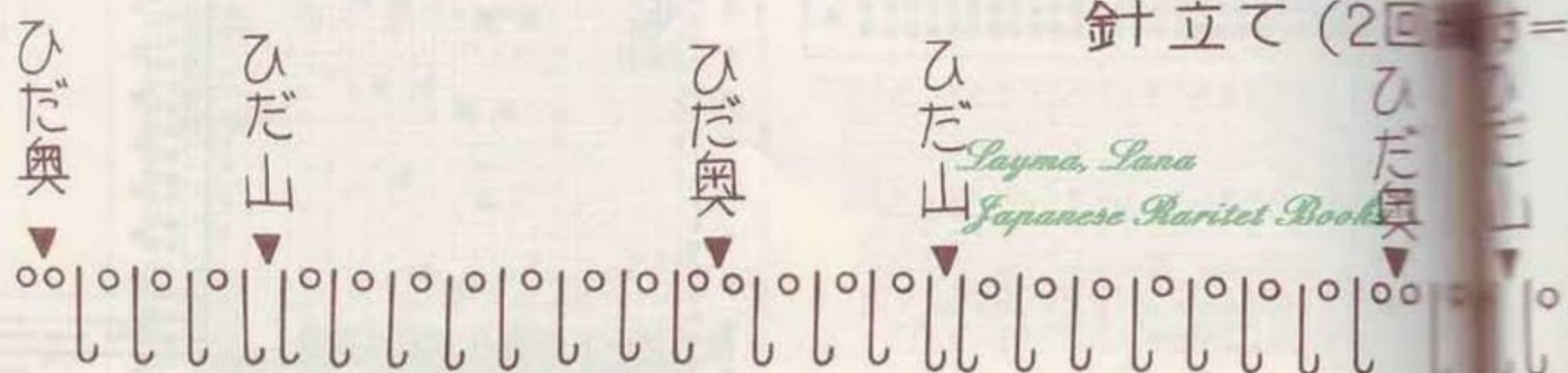
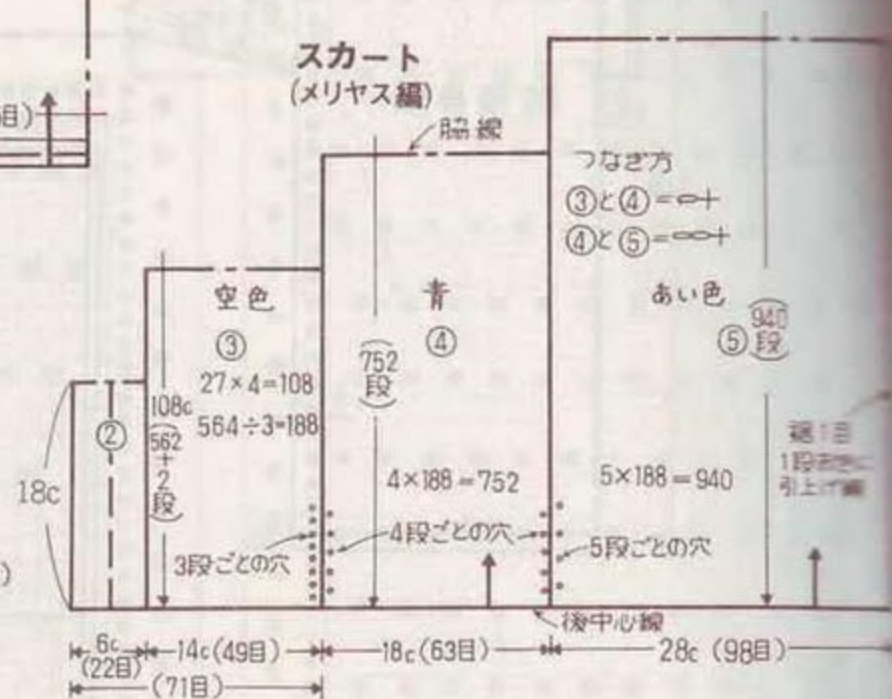
材料 カネボウ サマーベル **ブラウス**…白(201)110ｇ、空色(372)、青(374)、あい色(376) 各10ｇ。**スカート**…あい色(376)135ｇ、青(374) 70ｇ、空色(372) 55ｇ。

用具 ブラザー編機 デリカ。

出来上がり寸法 身幅46cm、丈26.5cm、ヨーク丈13cm、袖幅40cm、袖丈31cm、スカート丈（ベルト下）60cm。

ゲージ メッシュ編10cm平方26目×50段、メリヤス編10cm平方35目×52段（編目ダイヤル6⅓）。

要点 ブラウス…前後身頃と袖を20の作品と同要領でまっすぐ編みます。ヨークは袖中心線で前後に分けて図のようにダイヤルを調整しながら配色縞で編みます。衿ぐり回りもメリヤスダブルにし、4目の丸編コードを通し、好みの寸法にしぼります。

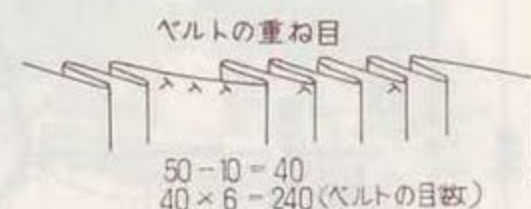
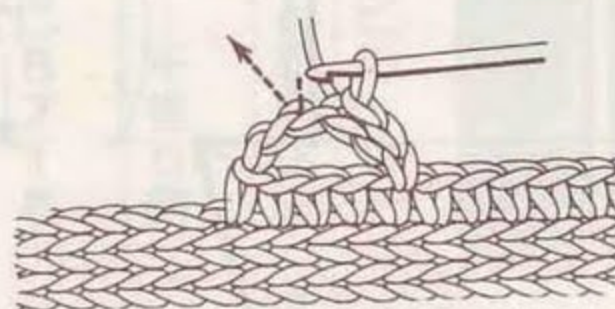
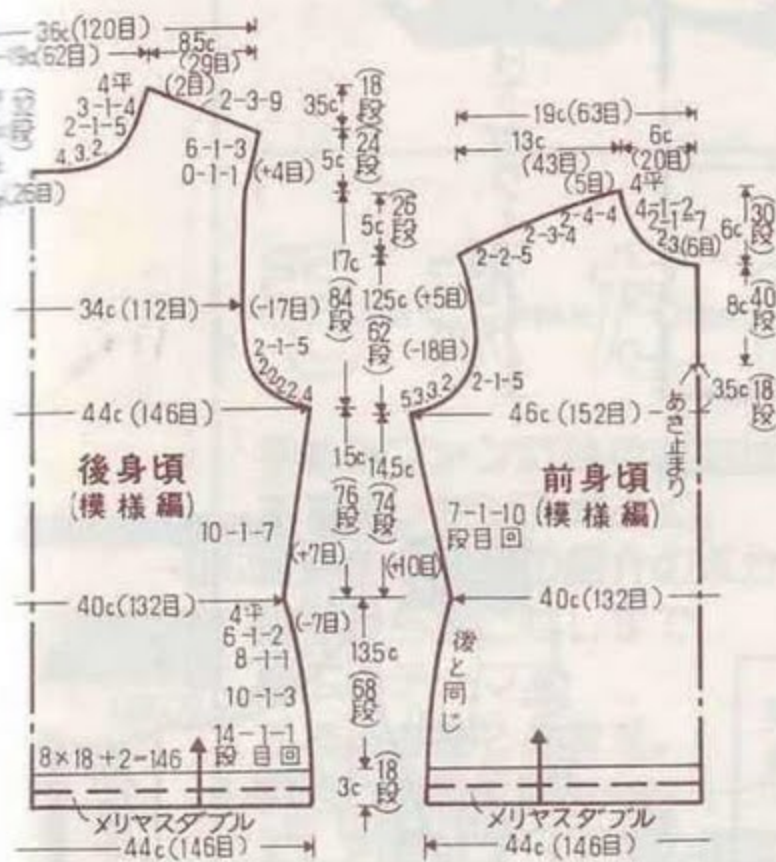
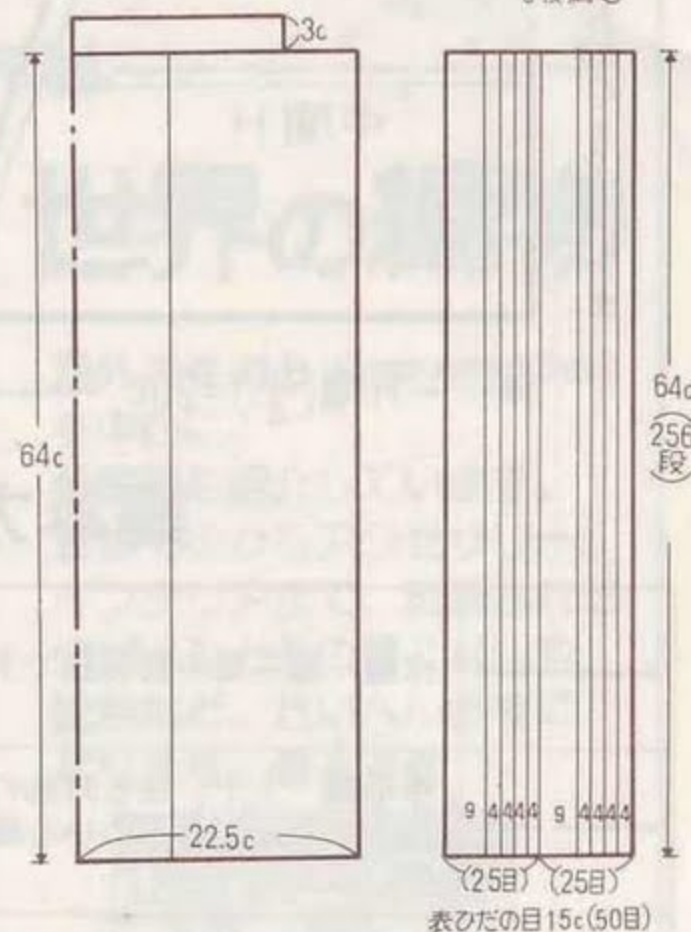
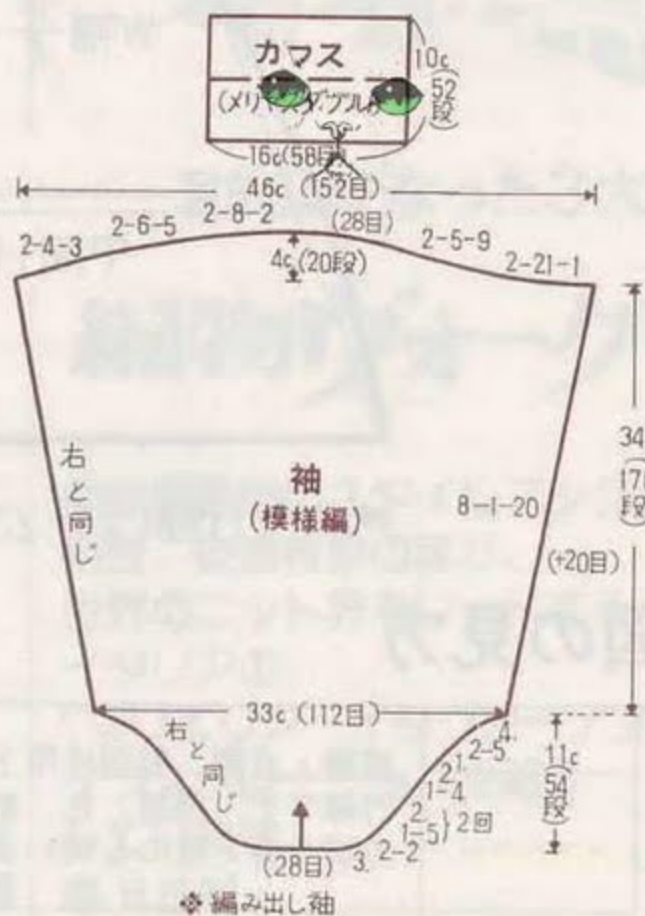
スカート…横編です。図のように３枚をそれぞれの色で編みますが、ベルト②は③と一緒に作り目(71目)して編み、[illegible]法に合わせるために引き返し編を[illegible]中表ベラ越し巻きはぎでわにして[illegible]それぞれの編み地を中表に穴を合[illegible]濃い方の糸で鎖とじします。自然に[illegible]方の編み地がいせ込まれて美しいシ[illegible]ットになります。はぎ目を後中心に[illegible]はきます。

16 ——写真17頁

材料　カネボウ　エリーゼ　ベージュ(４)　ブラウス…195ｇ、スカート…340ｇ。ボタン４個。

用具　ブラザー編機　デリカ。

出来上がり寸法　胸囲90cm、丈50.5cm、背肩幅33cm、袖丈50cm、スカート丈（ベルト下）64cm。

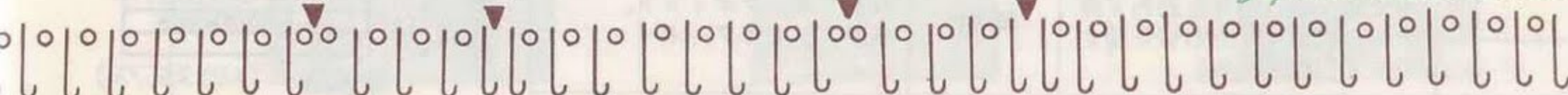
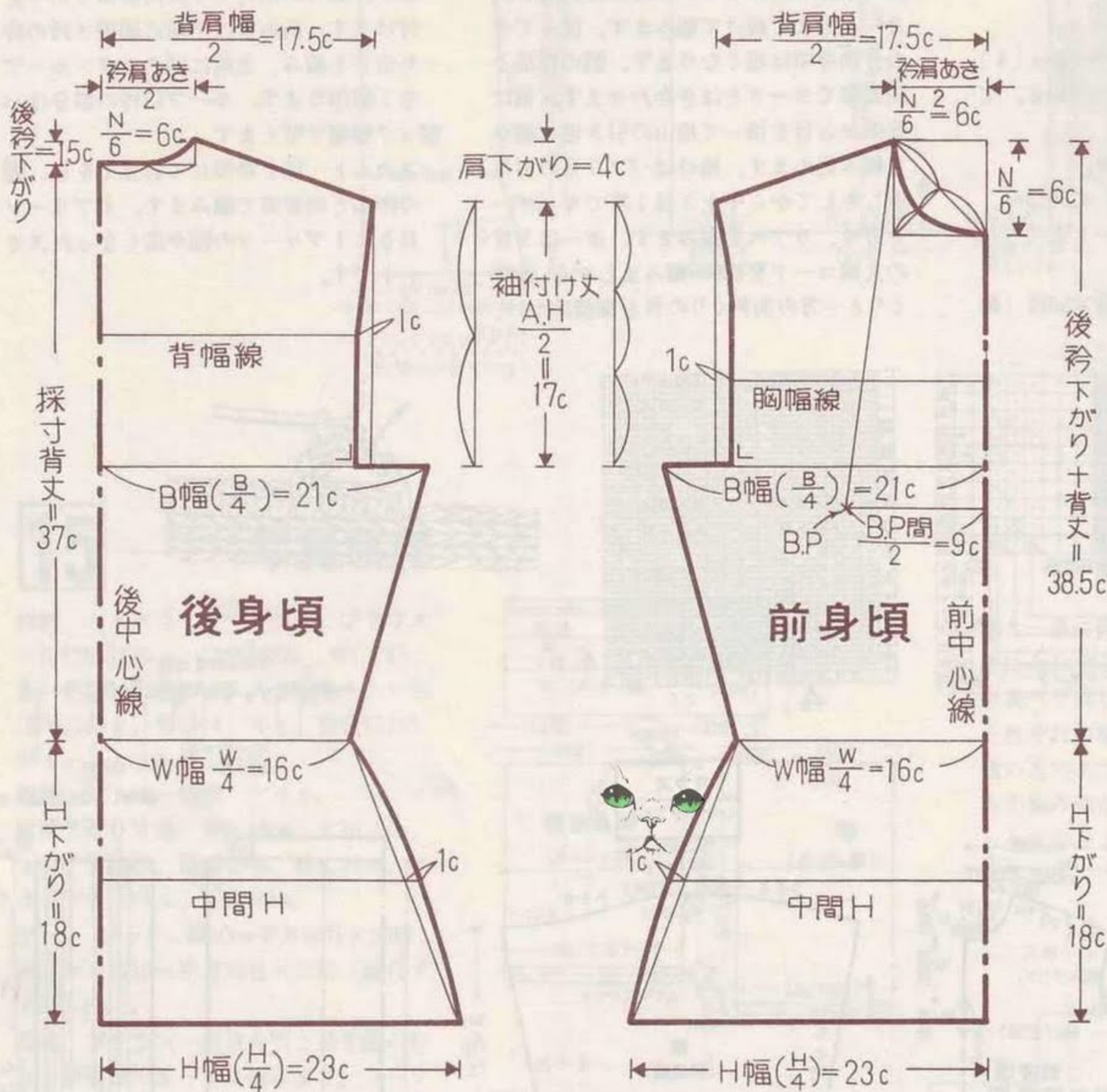
ゲージ　模様編10cm平方33目×50段（編目ダイヤル4⅔）。

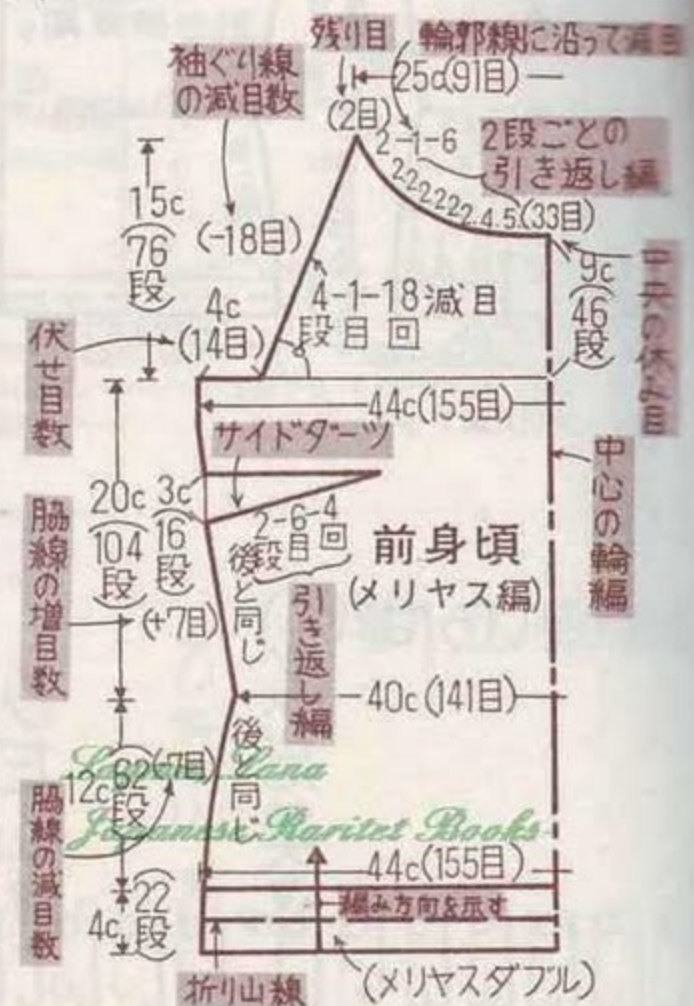
要点　ブラウス…操作表を参照して記号図の模様で編みます。後身頃は両肩で前ヨーク分まで続けて編みます。従ってその分前身頃は短くなります。21の作品と同要領でヨークをはぎ合わせます。袖は身頃から目を拾って袖山の引き返し編から編み始めます。袖口はパフリ分の引き返しをしてから中上３目１度でギャザーを寄せ、カフスを編みます。ボーは９目の丸編コードを120cm編みましたら、後衿ぐりと一方の前衿ぐりの目を編機にかけ、その上にボーの折り山の段の半目を拾ってかけベラ越しして３段編んで巻き止めます。残りの前衿ぐりに同要領でボーを付けます。前あきは下前に細編３段の持ち出しを編み、上前に図のボタンループを３個作ります。ループ以外の部分はバック細編で整えます。

スカート…図を参照して針立てをし、27の作品と同要領で編みます。４プリーツおきに１プリーツの幅が広くなったスカートです。

＝編機いっぱい)

ひだ奥　ひだ山　ひだ奥　ひだ山

この本に使用した原型

背肩幅/2＝17.5c
衿肩あき/2 N/6＝6c
後衿下がり＝1.5c
肩下がり＝4c
袖付け丈 A.H/2＝17c
1c
背幅線
胸幅線
採寸背丈＝37c
後衿下がり＋背丈＝38.5c
B幅(B/4)＝21c
B.P
B.P間/2＝9c
後中心線
前中心線
後身頃
前身頃
W幅 W/4＝16c
H下がり＝18c
中間H
H幅(H/4)＝23c

編み方図の見方

記号	説明	記号	説明
———	**太線** 編み地の輪郭線です。	——— - - - - - -	**細線・点線** 製図展開上の案内線です。模様、色、編み地の切り替え線にも使います。
—— - ——	**中心線** 上下、左右対称の製図をたたんだときの中心線です。	↑↓	**矢印** 中心の線を編み始めとして、矢印は編み方向を表わします。
—— - - -	**輪線** 向こう側にも同じものがあり、それを輪編にするときの輪郭線です。	))	**等分線** 分割された線が、等分であることを表わします。
— — —	**折り山線** たたんだときの折り山を表わす線です。	略称	**N.P** ネックポイント。 **S.P** ショルダーポイント。
———	**中太線** 編み続きを表わす線です。デザイン上の切り替え線です。		

KANEBO
For Beautiful Human Life
ミラノ・タッチは、糸がポイント。
シックで、洗練されていて、その上陽気な輝きもある。これがミラノ・タッチ。本ものの良さを持った糸でないと、この味はだせません。
●ミラノ感覚の30色●絹のような光沢とソフトな肌ざわり●編み目がシャープ、ファッショナブルなニット向き●アクリル46%、トリアセテート31%、ナイロン23%●25g玉巻
Hitown
Hitown
赤ちゃんのときから
カネボウ毛糸
ハイタウン
ミラノ・タッチ
春のカネボウ毛糸
型、色、編み地
すべてをコーディネイト
させるとシンプルが生きる。
ミラノ, ニット・デザイナーG.バッティーノ
この作品は、ミラノのニットデザイナーG.バッティーノがカネボウ毛糸のためにデザインしたものです。(禁無断掲載)
KANEBO 美しきヒューマンライフをめざすカネボウ
水沢アキ
カネボウ毛糸
この看板のあるお店でお買い求めください。
●編み図プレゼント この作品の編み図ご希望の方は50円切手同封の上、下記宛にお送り下さい。
〒541 大阪市東区淡路町3-3朝日毛糸(株)デザイン室 B係
発売元/朝日毛糸株式会社
本社 大阪市東区淡路町3-3 ☎06-203-5051
東京支店 東京都中央区日本橋小舟町2-5 ☎03-662-2171
九州支店 福岡市博多区店屋町 23 ☎092-281-1363
札幌支店 札幌市中央区大通西8-1 千代田ビル ☎011-644-6991
5077
5304
5759
定価680円